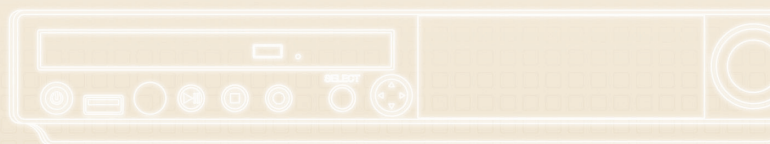


disklavierTM E³

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ヤマハ ディスクlavierをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、お使いになるまえに、
この取扱説明書を必ずお読みください。

- ◆安全上の注意事項について、「安全上のご注意」と「本機の取り扱いについて」(ii～vページ)に記載しています。本機をお使いになるまえに、必ずお読みください。
- ◆この取扱説明書と保証書は大切に保管し、使い方がわからないときや調子の悪いときにお役立てください。
- ◆お買い上げいただいた際、保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

■ 本製品について

ディスクlavierは、アコースティックピアノの音を消して、ピアノ電子音をヘッドフォンで聴きながら演奏できる「消音演奏機能」をはじめ、ピアノの演奏を録音・再生できる「自動演奏機能」や、内蔵電子音源の豊富な音色を使ってさまざまな楽器パートを加えて演奏できる「アンサンブル機能」など、多彩な機能を備えたピアノです。本書を参考にして十分にご活用いただき、ピアノを中心とした新しく幅広い音楽の世界をお楽しみください。

■ 商標および著作権について

- ・取扱説明書の著作権は、すべてヤマハ株式会社が保有します。
- ・ヤマハ、Disklavier、DisklavierRadio、Silent Piano、ピアノプレーヤー、サイレントアンサンブルは、ヤマハ株式会社の登録商標です。
- ・ピアノソフト、ピアノソフトプラス、スマートピアノソフト、スマートキー、XGは、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。
- ・インターネットダイレクトコネクションは、ヤマハ株式会社の商標です。
- ・Disklavier E3 software, Copyright © 2008 Yamaha Corporation.
- ・本製品には、GNU General Public License、GNU Lesser General Public License、BSD Copyright、Artistic License、その他によりライセンスされたプログラムを含みます。
- ・本製品には、OpenSSL ToolkitのためにOpenSSL Projectにて開発されたソフトウェアを含みます (<http://www.openssl.org/>)。
- ・Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・MacintoshおよびMac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・「MIDI」は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この製品は、クラス1レーザー機器に分類される操作ユニットを含んでいます。
それを意味する下の表示、あるいはそれに類する表示がCDドライブユニットにあります。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
1 类激光产品

CAUTION - CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION
WHEN OPEN.
AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
VORSICHT - SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG
KLASSE 3B, WHEN GEÖFFNET.
NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
注意 - 打开时有3B类可见及不可见激光辐射
避免光来照射

レーザーダイオードの特性

材質: GaAlAs
波長: 783nm
レーザーピックアップ部の出力: 130.7mW



注意

この取扱説明書で指定されている以外の調整や操作は、危険なレベルのレーザー被爆の原因となる場合があります。

安全上のご注意

お使いになるまえに、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れあり キャビネットをあげるな		注意: 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網にご依頼ください。
---	-------------------------------------	---	--

△ 記号は、**危険、警告または注意**を示します。上記の場合、△は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、△は注意が必要なことを示しています。

⊘ 記号は、**禁止行為**を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、**行為を強制または指示**することを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
--	---	--	--

警告

電源／電源コード

 **プラグを抜く**
本機の内部に異物や液体が入った場合は、**すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。

 **プラグを抜く**
使用中に電子音が出なくなったり、異常なおい煙が出た場合は、**すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。

 **接地する**
電源プラグをコンセントにつなぐまえに、必ずアース線を接続する。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行う。
万一漏電した場合、感電や火災の原因になります。

 **必ず行う**
電源コード／プラグは、必ず付属のものを使用する。
ほかの電源コード／プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

 **必ず行う**
電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など、交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

設置

 **使用禁止**
浴室や雨天時の屋外など、湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

 **水ぬれ禁止**
本機の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。こぼれたり、中に入ったりした場合、感電や火災、または故障の原因になります。

電池

 **禁止**
使い捨てタイプの電池は充電しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

 **禁止**
電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、専門の医師にご相談ください。

分解禁止

 **分解禁止**
本機の内部を開けたり、内部の部品を分解、改造したりしない。
感電や火災、または故障の原因になります。異常を感じた場合は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検修理をご依頼ください。

お手入れ

 **プラグを抜く**
お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電のおそれがあります。

 **必ず行う**
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

 **必ず行う**
ユニット類を拭く場合は、乾燥した布を使用する。
感電や火災、または故障の原因になります。

⚠ 注意

電源／電源コード



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものを載せない。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。



禁止

タコ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりすることがあります。



禁止

電源コードやプラグが傷んだときは使用しない。
感電やショート、発火などの原因になります。



プラグを抜く

長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電やショート、発火などの原因になります。



必ず行う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

機器が転倒して、故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



禁止

直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど、極端に温度が高いところ、逆に極端に温度が低いところ、またはほこりや振動が多いところで使用しない。

外形が変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

通風孔をふさがない。

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

テレビやラジオ、スピーカーなど、ほかの電気製品の近くで使用しない。

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

接続



必ず行う

ほかの機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったうえで、電源を入れたり切ったりするまでに、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電や機器の損傷のおそれがあります。

移動



禁止

本機を移動するときは、引きずらない。

床を傷つけるおそれがあります。



必ず行う

本機を移動するときは、必ず電源コードなどのケーブルをすべて外したうえで、コードを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



必ず行う

本機を移動するときは、手や足を挟まないようにする。

けがをするおそれがあります。



必ず行う

本機を移動するときは、ゆっくりと丁寧に行う。

本機が転倒したり、周囲のものと衝突したりするおそれがあります。本機の運搬、移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。

電池



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類が異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグにいれて携帯、保管しない。

電池がショートして、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱、分解したり、火や水の中に入れたりしない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池をお子様の手が届くところに置かない。
誤飲など、事故のおそれがあります。



必ず行う

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず行う

リモコンを長時間使用しないときは、電池をリモコンから取り外す。

電池が液もれするおそれがあります。



必ず行う

使い切った電池はすぐにリモコンから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず行う

使い切った電池は自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

使用上の注意



禁止

本機の上に乗ったり、重いものを載せたりしない。また、スイッチやツマミ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本機が破損する原因になります。



禁止

機器の開口部やすき間、鍵盤のすき間などから、金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴力障害の原因になります。特にヘッドフォンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず行う

本機を使用しないときは、鍵盤蓋を閉める。鍵盤蓋の開閉は両手で静かに行う。また、自分の周りの方が不用意に鍵盤蓋に触れないようにする。

鍵盤蓋に手や指を挟み、けがをするおそれがあります。



必ず行う

地震のときは、本機から離れる。

地震による強い揺れで本機が動いたり転倒したりして、けがをするおそれがあります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

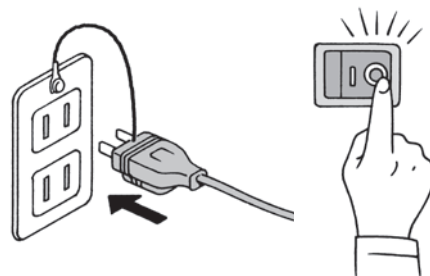
長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

本機取り扱いについて

お使いになるまえに、必ずこの「本機取り扱いについて」をよくお読みください。

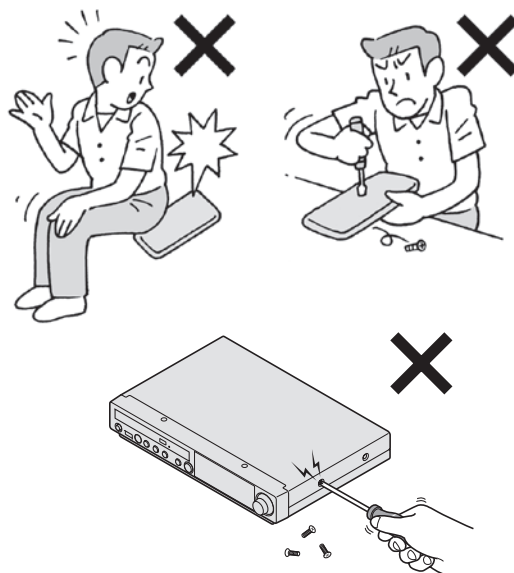
電源について

- 必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください（本機は日本国内仕様です）。
- 長期間ご使用にならない時は、主電源スイッチをオフにした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。



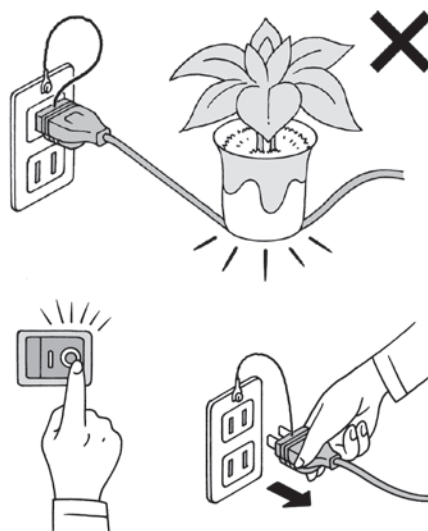
コントロールユニットとリモコンについて

- コントロールユニット、リモコンに無理な力を加えないでください。
- コントロールユニットの上に物を置かないでください。
- スイッチ、ボタンなどを無理やり押ししたりしないでください。
- ピアノの上にじかにコントロールユニットを置くと、ゴム足の痕が付く場合があります。ピアノの上にじかに置く場合は、ヤマハアップライトピアノ・トップカバーをご使用ください。
- コントロールユニットを開けて内部に触れると、故障や感電事故を起こすことがあります。ユニット内に物が入ってしまった時などは、まず電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。



コード類について

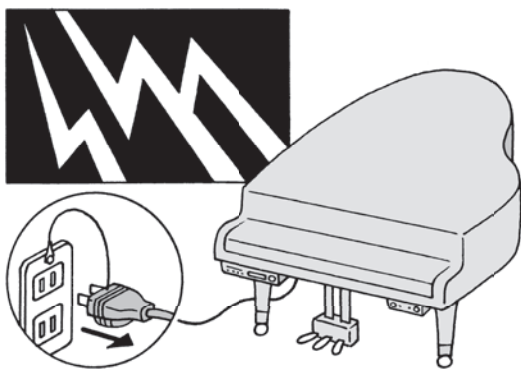
- コード類の上に物を置いたりピアノの鍵盤蓋に挟み込んだりしないでください。
- コード類を抜き差しする時は、必ず電源を切ってから行ってください。
- コード類を抜く時は、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



こんな時には？

落雷のおそれがある時は？

早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。



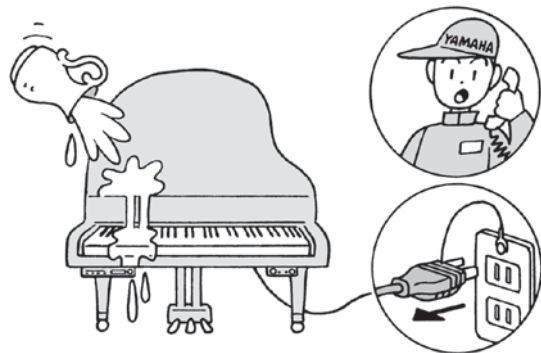
ピアノの外装を磨く時は？

表面についたほこりは、ピアノ用の羽毛かやわらかな布で軽くから拭きします。鏡面艶出し塗装のピアノは、専用のヤマハピアノユニコン（別売）でムラなく拭きあげてください。市販の化学雑巾や外装手入れ剤は成分が分かりませんので、使用はさけてください。



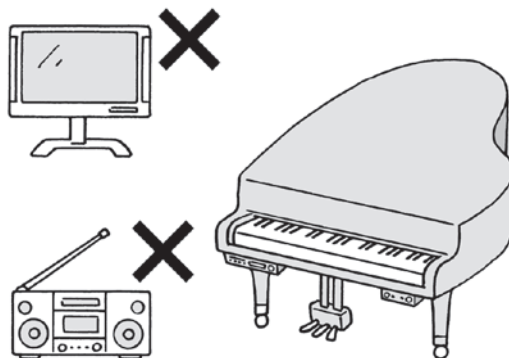
水に濡れた時は？

万一雨がかかったり、水をこぼしてしまった時は、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



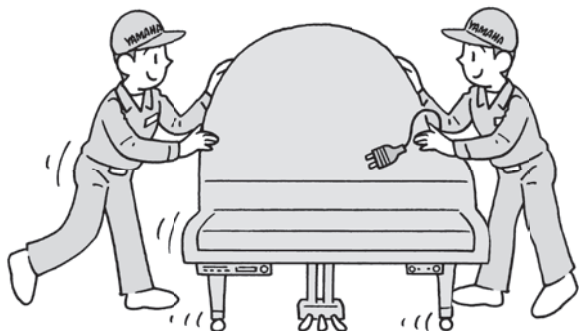
他の電気機器への影響は？

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



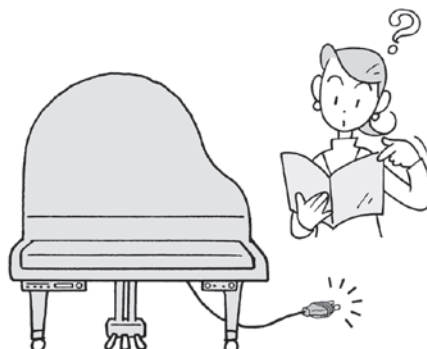
移動する時は？

電源プラグを抜き、コード類をすべてはずしてから、移動します。ピアノの運搬・移動は、専門の業者に依頼することをおすすめします。



故障かな?と思ったら

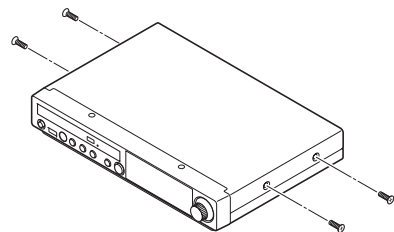
電源やコード類がきちんと接続されていないかったり、意外なところで操作を誤っている場合があります。148ページ「故障かな?と思ったら」でご確認ください。



コントロールユニットを取り付ける

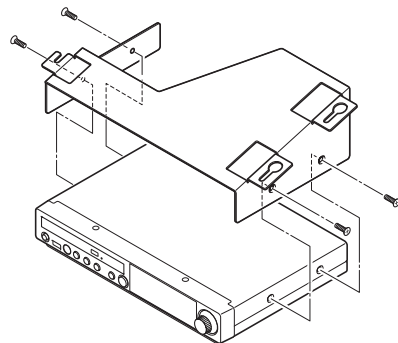
(グランドピアノのみ、必ずお読みください)

- 1** コントロールユニットの左右の側面に取り付けられた4本のネジを取り外します。

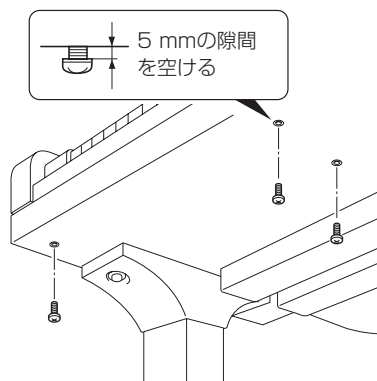


- 2** 本機に付属の金具取り付けネジ (径4mm×長10mm) 4本で、取り付け金具をコントロールユニットにしっかりと固定します。

※取り付け金具およびコントロールユニットは、傷等がつかないように大切に扱ってください。



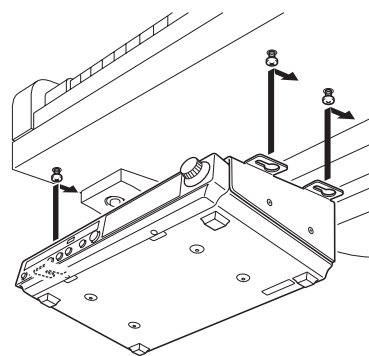
- 3** 本機に付属のコントロールユニット取り付けネジ (径5mm×長12mm) 3本を、グランドピアノの低音部裏側に埋め込まれているナットの穴に取り付けます。その際に最後まで締めず、図のようにネジ頭とピアノの底板の間に、5mm程度の隙間を空けて仮止めします。



- 4** 仮止めしたネジに、コントロールユニットに固定した取り付け金具の3カ所の差し込み口を通し、後方へしっかりと押し込みます。

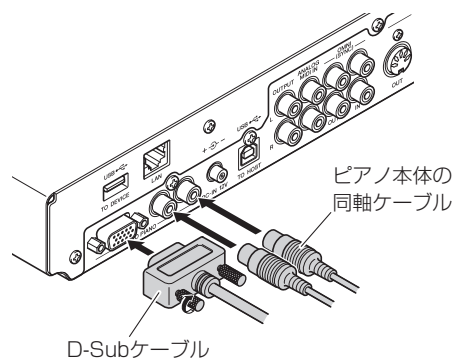
- 5** 仮止めしたネジを最後まで締めてコントロールユニットをしっかりと固定します。

※正しく設置された場合コントロールユニットは約18度上に向いた形となり、鍵盤に向かいながらの操作がしやすくなります。



- 6** コントロールユニット背面の^{トップピアノ}TO PIANO端子に、ピアノ本体の同軸ケーブルとD-Subケーブルを接続します。

別売のアンプ内蔵スピーカーをご用意されている場合は、^{アウトプット}OUTPUT端子にスピーカーコードを接続します。



注意



定期的にネジを締めなおす。

必ず実行

長期間使用しているとネジがゆるんでくることがあります。

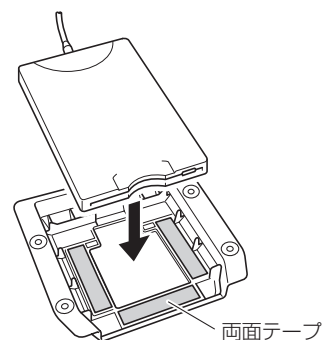
USBフロッピーディスクドライブ (別売) を取り付ける

(グランドピアノのみ、必ずお読みください)

※本機専用のUSBフロッピーディスクドライブ (UD-FD01) のみ使用できます。

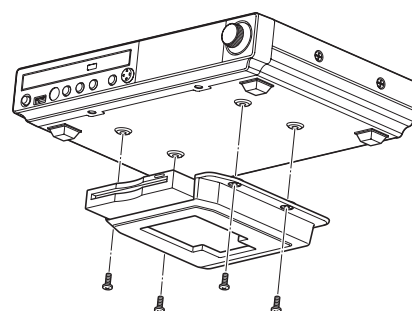
- 1 ケース内側の両面テープでUSBフロッピーディスクドライブをケースに固定します。

※ケースはUSBフロッピーディスクドライブに付属されています。

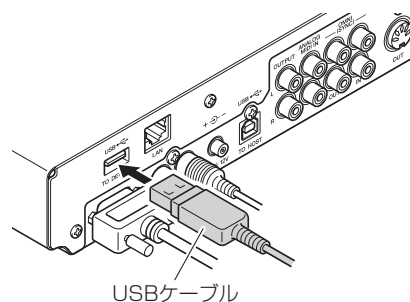


- 2 本機に付属のUSBフロッピーディスクドライブ取り付けネジ (径3mm×長6mm) 4本で、USBフロッピーディスクドライブをコントロールユニットにしっかりと固定します。

※取り付けには、必ず本機に付属の取り付けネジをご使用ください。



- 3 コントロールユニット背面のUSBポートに、USBフロッピーディスクドライブのUSBケーブルを接続します。



⚠ 注意



定期的にネジを締めなおす。

必ず実行 長期間使用しているとネジがゆるんできてくる場合があります。

■	準備しましょう	2
	コントロールユニットを接続しましょう	2
	電源コードを接続しましょう	2
	リモコンに電池をセットしましょう	3
	電源を入れましょう	3
■	付属のピアノソフトCDを聴いてみましょう	4
	CDをセットしましょう	4
	CDの中の曲を選びましょう	5
	CDを再生しましょう	5
■	ピアノ演奏を録音して聴いてみましょう	6
	内蔵メモリーを選びましょう	6
	ピアノ演奏を録音しましょう	7
	録音したソングを再生してみましょう	7
■	音を消して演奏してみましょう	8
	グランドピアノの場合	8
	アップライトピアノの場合	8

1 ^章	はじめに	10
	本機の特長	10
	付属品	11
	各部の名称と機能	12
	Disklavierの基礎用語	17
2 ^章	準備	18
	コントロールユニットを接続する	18
	電源コードを接続する	18
	リモコンを準備する	19
	電源を入れる	20
	現在の日時を設定する	21
	電源を切る(スタンバイモード)	22
	電源を完全に切る	22
	本機で扱えるリムーバブルメディアとメディアフォーマット	22
	本機で扱えるファイルフォーマット	23
	CDをお使いになる際の注意事項	23

3	章	再生の基本操作	26
		メディア／アルバム／ソングの仕組み	26
		本機で再生できるソフト	28
		メディア内のコンテンツを選ぶ	29
		リモコンの数字キーでアルバムまたはソングを選ぶ	33
		再生を開始する	33
		再生を停止する	33
		再生を一時停止する	34
		音を出しながら早送り／早戻しをする	34
		早送り／早戻しをする	35
		曲中の聴きたい部分を頭出しする(サーチ)	36
		インターネットで番組を聴く(DisklavierRadio)	37
		全体の音量を調節する	38
4	章	録音の基本操作	39
		ピアノの演奏を録音する	39
		タイトルをつけて録音する	40
5	章	インターネットダイレクトコネクション	42
		インターネットダイレクトコネクションとは?	42
		サービス登録について	42
		本機をインターネットに接続する	42
		インターネットにアクセスする	44
		インターネットで番組を聴く(DisklavierRadio)	44
		インターネットで曲を聴く(キキホーダイ)	45
		アカウント情報を確認する	46
		インターネット経由で本機のプログラムをアップデートする	47
		インターネット設定を変更する	48
		インターネット設定を初期化する	50
6	章	消音演奏	51
		消音演奏とは?	51
		Quietモード／Headphoneモードについて	51
		電子ピアノ音で演奏する(Quietモード)	51
		ヘッドフォンを使う(Headphoneモード)	53
		Quietモード／Headphoneモード時の演奏音色を選ぶ	54
		電子ピアノ音に残響効果(リバーブ)を加える	55
		鍵盤の動きを止めて再生する	56

7	章 再生の応用操作	58
	テンポを変えて再生する	58
	移調して再生する	58
	繰り返し再生する (リピート再生)	59
	曲中の聴きたい部分だけを繰り返し再生する (A～Bリピート再生)	60
	聴きたいパートだけを再生する (パートキャンセル)	61
	音量バランスを調節する	63
	オーディオのピッチを調節する	64
	オーディオのステレオバランスを調節する	65
	タイマーを使って再生する (タイマープレイ)	65
	曲頭の無音部分を自動的にスキップする	69
	鍵盤ガイド機能を使って演奏する (スマートキー再生)	70
8	章 録音の応用操作	71
	内蔵メトロノームに合わせて録音する	71
	左手パートと右手パートを別々に録音する	73
	音域をわけて左手パートと右手パートを同時に録音する	75
	パートを再録音する	76
	録音した曲のテンポを変える	78
9	章 演奏の応用操作	80
	内蔵メトロノームに合わせて演奏する	80
	内蔵音源の音色を使って演奏する	82
10	章 ビデオ同時録再	83
	ビデオ同時録音	83
	ビデオ同時再生	87
11	章 CD同時録再	88
	CD同時録音	88
	CD同時再生	89
12	章 アルバム／ソング／プレイリストの編集	90
	アルバムを編集する	90
	アルバムをコピーする	90
	アルバムを消去する	92
	アルバムを作成する	93
	アルバムタイトルを変更する	94
	アルバムの順番を入れ替える	95
	ソングを編集する	97

	ページ
ソングをコピーする	97
ソングを消去する	98
ソングタイトルを変更する	99
ソングの順番を入れ替える	101
ソングのフォーマットを変換する	102
カウンター表示方法を変更する	103
標準的なMIDIデータに変換する(ストリップXP)	105
プレイリストを編集する	106
ソングまたはアルバムをプレイリストに追加する	106
プレイリストを消去する	107
プレイリストを作成する	108
プレイリストタイトルを変更する	109
13章 メディアの管理	111
メディアを管理する	111
メディア内のすべてのコンテンツをコピーする	111
メディア内のすべてのコンテンツを消去する	112
パソコンからソングをコピーする	113
共有フォルダの内容を更新する	117
フロッピーディスクを初期化(フォーマット)する	118
ソングのバックアップを作成する	119
内蔵メモリー内のデータを復元する	121
14章 外部機器との接続	122
オーディオ機器を接続する	122
アンプ内蔵スピーカー(別売)を接続する	123
オーディオ信号の入出力を設定する	125
MIDI機器を接続する	127
MIDIデータの受信方法を設定する	128
MIDIデータの送信方法を設定する	130
鍵盤演奏データの送信方法を設定する	131
15章 その他の設定	133
内蔵音源の音程をピアノに合わせる(TGマスターチューン)	133
よく使う機能をリモコンの数字キーに登録する	134
パスコードを設定して不用意な操作を防ぐ	136
ディスプレイの明るさを調整する	138
ディスプレイ表示の言語を切り替える	139
お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定する	141
本機をリセットする	142
メンテナンスモードを使う	143
本機のプログラムをアップデートする	144

困ったときは

16 章	故障かな？と思ったら	148
17 章	エラーメッセージ	151

関連情報

18 章	用語解説	152
19 章	内蔵音源	155
	内蔵GM/XG音源の音色一覧	155
	内蔵GM/XG音源のドラム音色一覧	158
	内蔵TG3 (TG300B) 音源の音色一覧	159
	内蔵TG3 (TG300B) 音源のドラム音色一覧	160
20 章	仕様	161
	一般仕様	161
	機能	162

付録

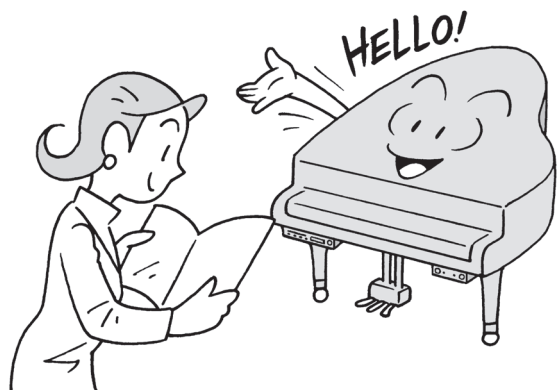
	ソフトウェアライセンスについて	163
	MIDIデータフォーマット	182
	MIDIインプリメンテーションチャート	203
	索引	204
	保証とサービスについて	206

はじめの Disklavier

準備や基本操作について、簡単に説明します。

はじめてDisklavierをお使いになる方、「とにかく使ってみたい」という方は、まずこちらをご覧ください。

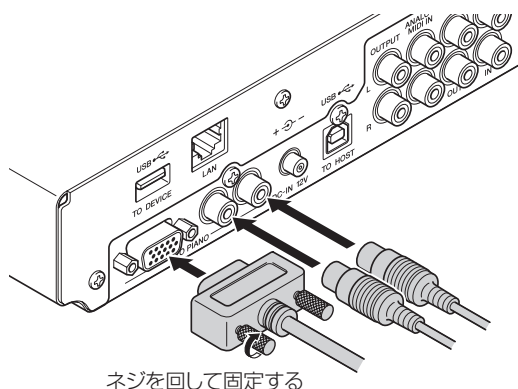
はじめてのDisklavier 準備しましょう



ディスクラビアを使用する前に、準備（確認）をしましょう。

コントロールユニットに接続しましょう

- 1 ピアノ本体から出ているケーブルをTO PIANO端子に接続します。



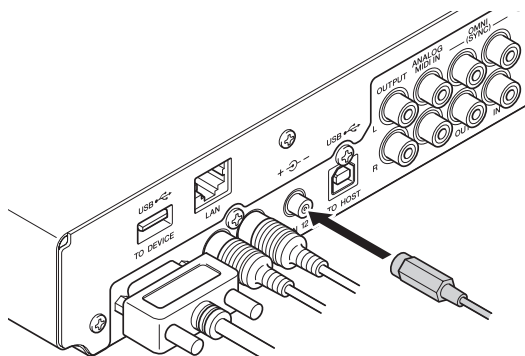
ネジを回して固定する

ここも参照

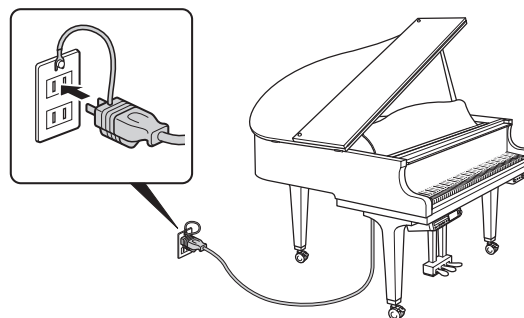
「コントロールユニットを接続する」(18ページ)も参照してください。

電源コードを接続しましょう

- 1 電源供給ユニットの電源コードをDC-IN12Vコネクタに接続します。

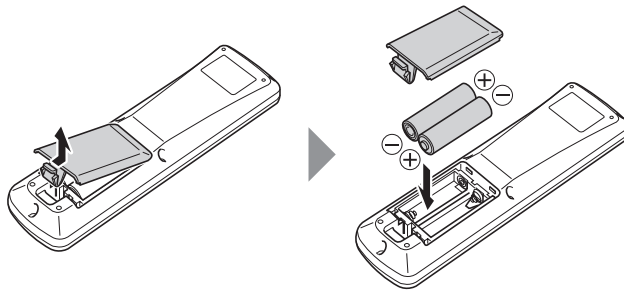


- 2 ピアノ本体から出ている電源コードをコンセントに接続します。



リモコンに電池をセットしましょう

- 1** リモコン裏面のカバーを外し、
付属の単3形乾電池2本を $\oplus$ $\ominus$ の表示に合わせ、セットします。



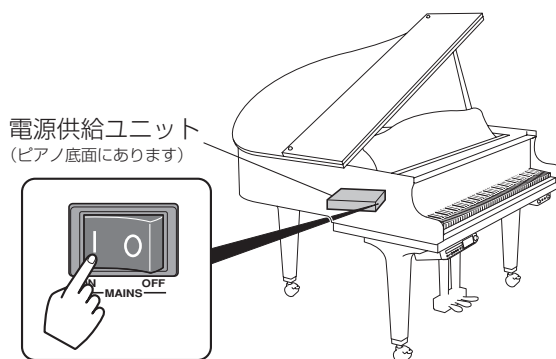
ここも参照

「リモコンを準備する」(19ページ)も参照してください。

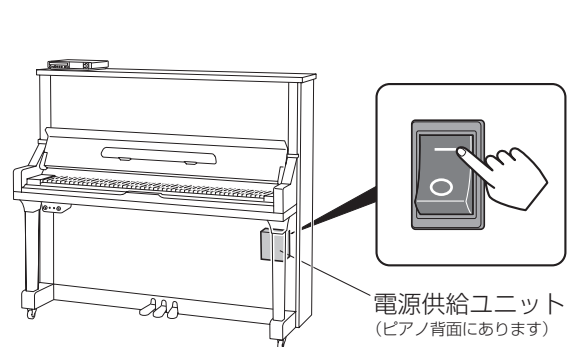
電源を入れましょう

- 1** 電源供給ユニットの主電源スイッチをオンにします。

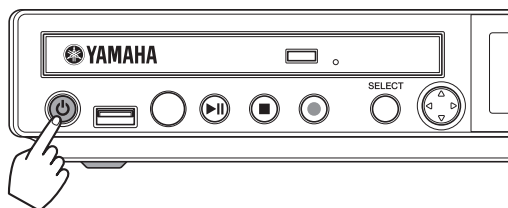
■ グランドピアノの場合



■ アップライトピアノの場合



- 2** コントロールユニットの電源ボタンを押します。

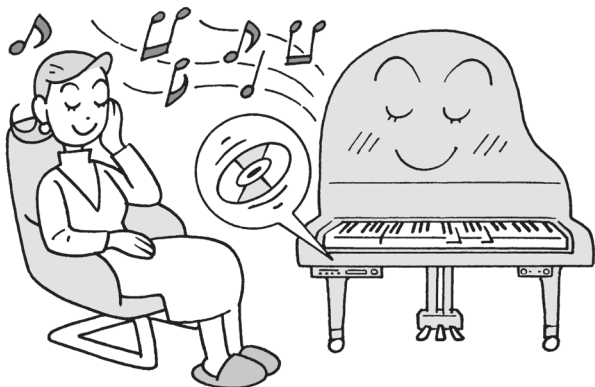


- 3** コントロールユニットのディスプレイに
以下の画面が順に表示されます。



はじめてのDisklavier

付属のピアノソフトCDを聴いてみましょう



付属のピアノソフトCDの中には、12のアルバムに440の楽曲が収録されています。ここでは1番目のアルバムの1曲目を選んで聴いてみましょう。

■すぐに再生できるアルバム

付属のピアノソフトCDの中には、さまざまな楽曲が収録されています。以下は再生ボタンを押すだけで手軽に楽しめるアルバムのリストです。

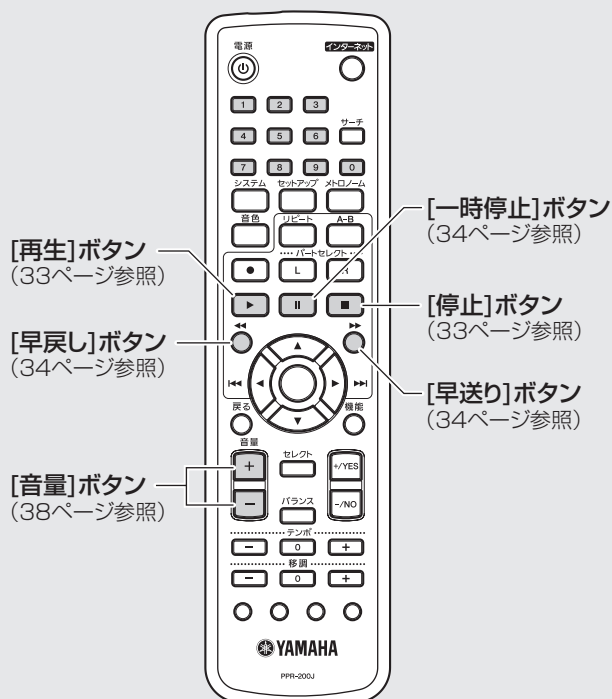
- ・ピアノで弾く名曲50選 (50 Greats for the Piano)
- ・ポップ (Pop)
- ・Jポップ (JPop)
- ・ホリデイ (クリスマス) (Holiday)
- ・クラシックBGM (BGM Classic)
- ・ポップBGM (BGM Pop)
- ・バイエル (Lesson Beyer)
- ・チェルニー30番練習曲 (Lesson Czerny 30)
- ・ブルグミュラー25の練習曲 (Lesson Burgmüller 25)
- ・バッハインベンション (Lesson Bach Invention)
- ・ソナチネアルバム第1巻 (Lesson Sonatinen Album 1)
- ・スマートキー (SmartKey)

※曲目の詳細は、別冊「ピアノソフトCDソングリスト」をご覧ください。

※「ピアノで弾く名曲50選」以外のアルバムの対応楽譜は付属しておりません。

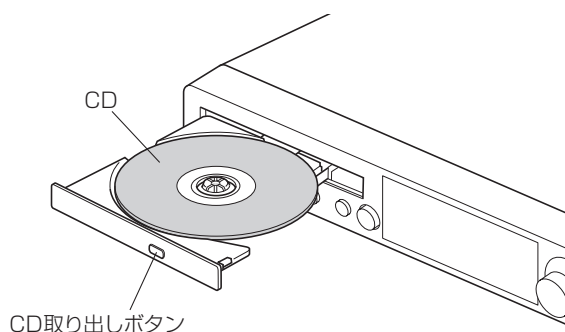
リモコンの使いかた

リモコンを使ってCD再生中にいろいろな操作ができます。



CDをセットしましょう

- 1 CD取り出しボタンを押して、CDトレイを開きます。



- 2 CDをトレイに置き、トレイを閉じます。

ここも参照

「CDをお使いになる際の注意事項」(23ページ)も参照してください。

CDの中の曲を選びましょう

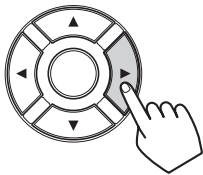
- 1 リモコンの[セレクト]ボタンを押します。



コントロールユニットの画面にメディアの選択画面が表示されます。



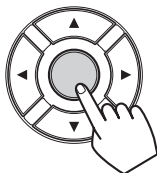
- 2 カーソルボタン[▶]ボタンを押して、“CD”を選びます。



“CD”の文字の下に白いカーソルが移動します。



- 3 [セット]ボタンを押します。

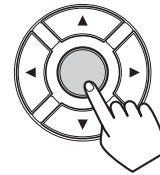


画面に1番目のアルバム名が表示されます。



別のアルバムを選びたい場合は、[▶]ボタンを押すと、次のアルバム名が表示されます。

- 4 アルバム名を確認して、[セット]ボタンを押します。

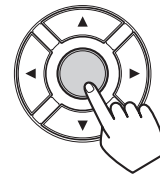


アルバムの中の、1曲目の楽曲名が表示されます。



別の楽曲を選びたい場合は、[▶]ボタンを押すと、次の楽曲名が表示されます。

- 5 楽曲名を確認して、[セット]ボタンを押します。



アルバムの中の1曲目の楽曲名が選ばれました。



CDを再生しましょう

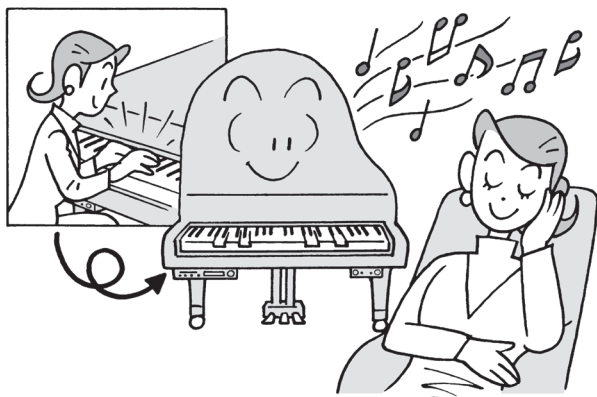
- 1 [再生]ボタンを押します。



1番目のアルバムの中の、1曲目の楽曲が再生されます。



ピアノ演奏を録音して聴いてみましょう



ピアノ演奏をキータッチやペダルの動きまで正確に録音し、自動演奏で再現することができます。

内蔵メモリーに新しいアルバムを作成して、あなたのピアノ演奏を録音し、自動演奏で聴いてみましょう。

内蔵メモリーを選びましょう

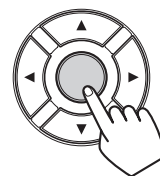
1 リモコンの[セレクト]ボタンを押します。



コントロールユニットの画面にメディア選択画面が表示されます。



2 “メモリー” が反転表示になっていることを確認して、[セット]ボタンを押します。



内蔵メモリーが選択され、アルバム選択画面が表示されます。



ピアノ演奏を録音しましょう

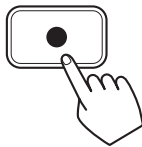
- 1** アルバム選択画面に“01：MyAlbum”が表示されていることを確認して、[セット]ボタンを押します。



アルバムが選択され、ソング選択画面が表示されます。

＝ソング センター＝ ↓↑
——：(no song)

- 2** [録音]ボタンを押します。



録音待機画面が表示されます。

＝メモリー＝ SO LR 99%
A01-001 (シキョク ロウソク)
<00:00>

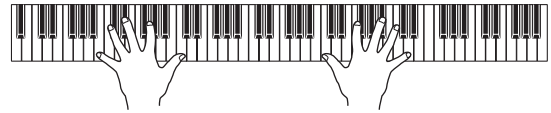
コントロールユニットの[録音]ボタンが赤く点灯し、[再生／一時停止]ボタンが緑に点灯します。

- 3** [再生]ボタンを押します。



コントロールユニットの[再生／一時停止]ボタンの点滅が止まり、演奏開始待機状態になります。

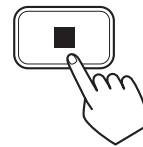
- 4** 演奏を開始します。



ピアノを弾きはじめると自動的に録音が始まります。

＝メモリー＝ SO LR 99%
A01-001 (シキョク ロウソク)
<00:01>

- 5** 演奏が終わったら、[停止]ボタンを押します。



演奏がソングとして保存されます。保存したソングがすぐに読み込まれ、再生待機画面が表示されます。

＝メモリー＝ LR SO V+00
A01-001 PIANO001.MID
<00:00>

ここでは内蔵メモリー（“メモリー”）の1番目のアルバム（“A01”）に、1曲目（“001”）として保存されています。

録音したソングを再生してみましょう

- 1** 保存したソングが再生待機状態になっていることを確認して、[再生]ボタンを押します。



先ほど録音した演奏が自動演奏で再現されます。

＝メモリー＝ LR SO V+00
A01-001 PIANO001.MID
<00:01>

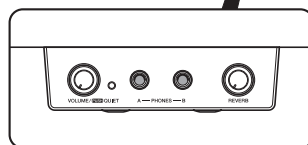
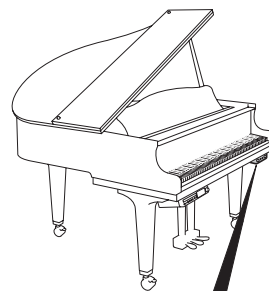
はじめてのDisklavier

音を消して演奏してみましょう

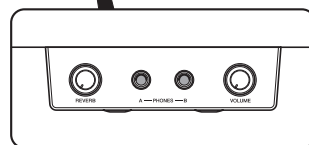
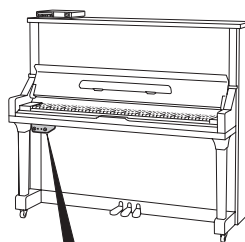


ヘッドフォンを使って外にまったく音を出さずに演奏してみましょう。

グランドピアノ

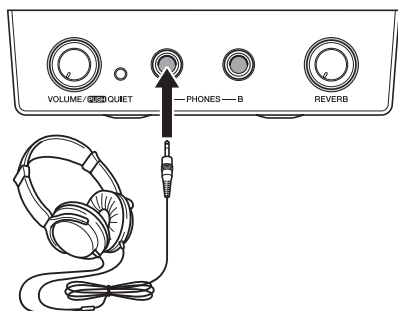


アップライトピアノ



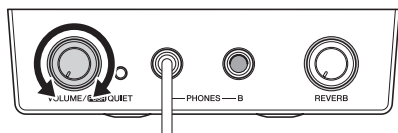
グランドピアノの場合

- 1 サイレントピアノ™ Silent Piano™ コントロールボックスの2つのPHONES端子のどちらかにヘッドフォンを接続します。



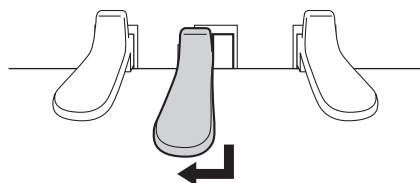
ヘッドフォンモードに切り替わり、すべての音がヘッドフォンから聴こえるようになります。

- 2 サイレントピアノ™ Silent Piano™ コントロールボックスの[VOLUME]ツマミで音量を調節します。

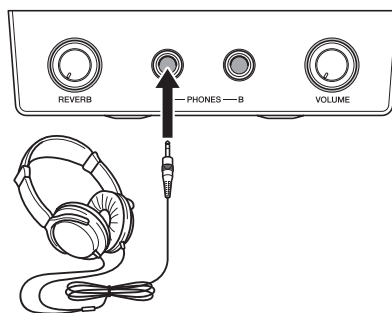


アップライトピアノの場合

- 1 センターペダルを踏みながら左にスライドさせます。

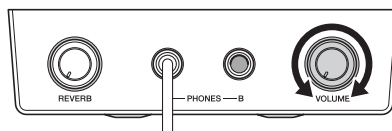


- 2 サイレントピアノ™ Silent Piano™ コントロールボックスの2つのPHONES端子のどちらかにヘッドフォンを接続します。



ヘッドフォンモードに切り替わり、すべての音がヘッドフォンから聴こえるようになります。

- 3 サイレントピアノ™ Silent Piano™ コントロールボックスの[VOLUME]ツマミで音量を調節します。



⚠ 注意

極端に大きな音量や長時間にわたってヘッドフォンを使用すると、聴覚を損傷する恐れがありますのでおやめください。

はじめに

本機をご活用いただくための準備や基礎知識をまとめています。
お使いになるまえに、必ずお読みください。

はじめに

本機の特長や、各部の名称と機能などを説明します。

本機の特長

豊かなミュージックライフを実現する本機の優れた特長を紹介します。

〈音楽鑑賞の新しい形を提供する、ふたつのメディア〉

■ 付属のピアノソフトCD

選りすぐりのナンバーを440曲収録した付属のピアノソフトCDを再生すれば、Disklavierを設置したその日から臨場感溢れる音楽を楽しむことができます。

■ DisklavierRadio

インターネット上にある10数チャンネルのカテゴリーから番組を選び、いつでも鑑賞することができます。

〈演奏をデータとして記録し、いつでも再現できる録音機能〉

■ 内蔵メモリー

演奏をデータとして保存できる128MBの内蔵メモリーを搭載しています。

■ USBフラッシュメモリーの接続

USBフラッシュメモリーに直接演奏を録音することができます。また、大切なデータをバックアップすることも可能です。

■ ビデオ同時録再

ピアノ演奏をホームビデオで撮影しながら録音できる「ビデオ同時録再」機能を搭載しています。映像に合わせてDisklavierがピアノ演奏を臨場感あふれる音で再現します。

■ USBフロッピーディスクドライブ (UD-FD01) の接続

お手持ちのフロッピーディスクに保存された音楽データを、別売のUSBフロッピーディスクドライブ (UD-FD01) を使用して再生することができます。また本体にデータをバックアップしておくことも可能です。

〈使いやすく簡単な操作性〉

■ リモコン

付属のリモコンは使いやすさと機能性の両立を追求し設計されています。演奏中はお手元で、再生を楽しむときは離れた場所から、すばやくDisklavierを操作することができます。

■ 読みやすい画面表示

コントロールユニットのフロントパネルディスプレイには、明るく読みやすい有機ELディスプレイを採用しています。

🎵 メモ

DisklavierRadioをお楽しみいただくには、インターネットへの接続が必要です。

🎵 メモ

ご利用には、別売のUSBフラッシュメモリーが必要です。動作確認済みの製品については、下記ウェブサイトを参照ください。
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/devicelist/>

付属品

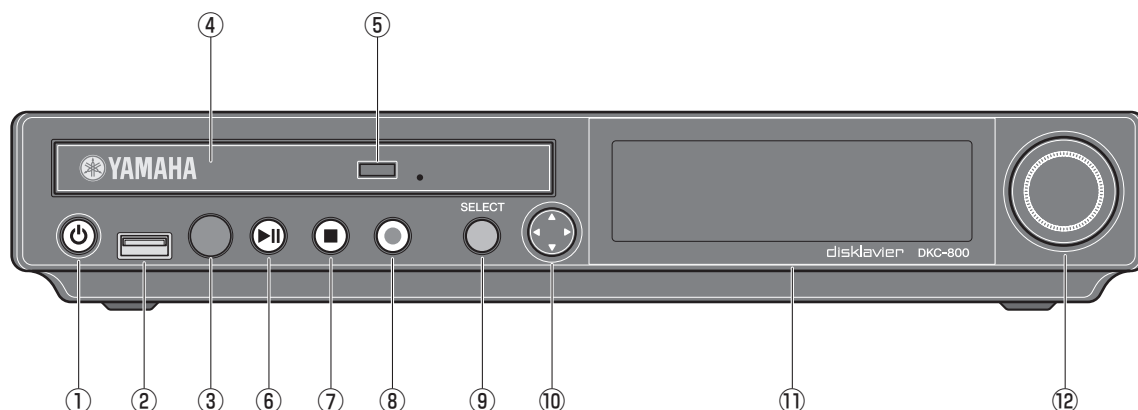
以下の付属品がお手元にあることをご確認ください。

コントロールユニット	1
コントロールユニット取り付け金具*	1
金具取り付けネジ(径4mm×長10mm)*	4
コントロールユニット取り付けネジ(径5mm×長12mm)*	3
USBフロッピーディスクドライブ取り付けネジ(径3mm×長6mm)*	4
リモコン	1
リモコン用単3形乾電池	2
ピアノソフトCD	1
ステレオヘッドフォン	1
取扱説明書	1
ピアノソフトCDソングリスト	1
インターネット接続ガイド	1
楽譜集「ピアノで弾く名曲50選」	1

※グランドピアノのみ

各部の名称と機能

〈コントロールユニット(フロントパネル)〉



① 電源ボタン

電源のオン／オフに使用します。
電源がオンのときは緑色に、スタンバイモードのときは赤色に点灯します。

② USBポート

USBフラッシュメモリーなど外付けUSB記憶装置の接続に使用します。

③ リモコン受光部

リモコン使用時は、リモコンの先端をこの部分に向けて操作します。

④ CDドライブ

付属のピアノソフトCDや市販のオーディオCDをセットします。

⑤ CD取り出しボタン

CDドライブを開けます。

⑥ [再生／一時停止] ボタン (33、34ページ)

再生を開始・一時停止するときに使用します。
ソングを再生しているときや録音しているときは緑色に点灯します。

⑦ [停止] ボタン (33ページ)

再生・録音を停止するときに使用します。

⑧ [録音] ボタン (39ページ)

録音待機状態にするときに使用します。
ソングを録音しているときは赤色に点灯します。

⑨ [SELECT] ボタン

メディアを選ぶときに使用します。
メディア、アルバム、ソングを選んでいるときは青色に点灯します。

⑩ カーソル／[セット] ボタン

設定項目やパラメーターを選択したり、選んだ項目を実行するときに使用します。

カーソルボタン

[セット] ボタン



ボタンを上下左右に
傾けながら押す。



ボタン中央部分を
まっすぐに押し込む。

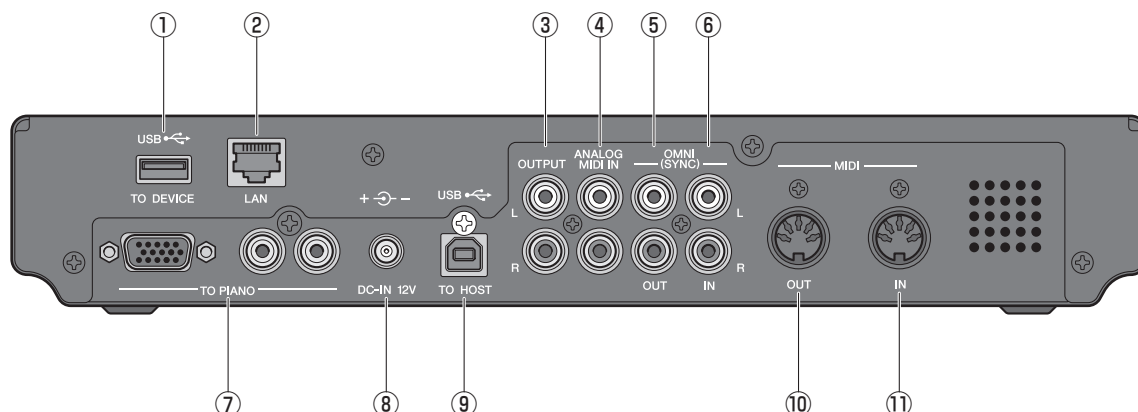
⑪ ディスプレイ

アルバム／ソングの番号やタイトル、機能の設定内容などさまざまな情報を表示します。

⑫ ダイアル

音量や設定値を調節するときに使用します。

〈コントロールユニット(リアパネル)〉



① USBポート

USBフラッシュメモリーや、別売のUSBフロッピーディスクドライブなど外付けUSB記憶装置の接続に使用します。

② LANポート

ルーターなどを介してネットワークと接続するときに使用します。

③ ^{アウトプット}OUTPUT端子

アンプ内蔵スピーカー（別売）との接続に使用します。

④ ^{アナログ ミディ イン}ANALOG MIDI IN端子

CDチェンジャーなど外部オーディオ機器との接続に使用します。

⑤ ^{オムニ シンクロ アウト}OMNI (SYNC) OUT端子

ビデオ同時録音時に、DVDレコーダーのオーディオ入力端子との接続に使用します。

⑥ ^{オムニ シンクロ イン}OMNI (SYNC) IN端子

ビデオ同時再生時に、DVDレコーダーのオーディオ出力端子との接続に使用します。

⑦ ^{トゥ ピアノ}TO PIANO端子

ピアノ本体との接続に使用します。

⑧ DC-IN 12V コネクター

電源供給ユニットとの接続に使用します。

⑨ USBポート

パソコンを接続し、^{ミディ}MIDIデータを送受信するときに使用します。

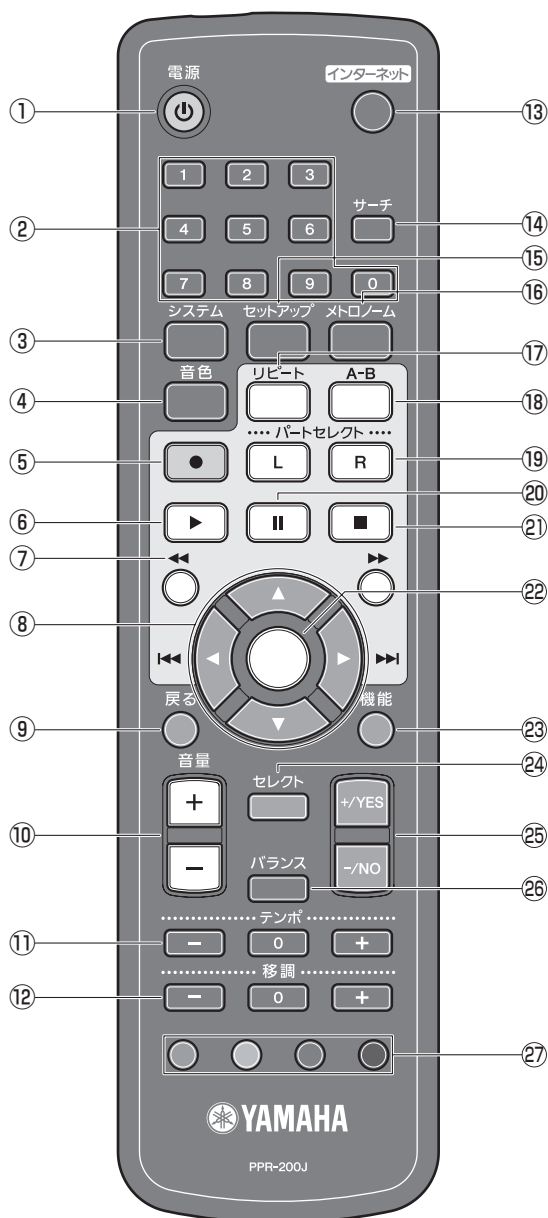
⑩ ^{ミディ アウト}MIDI OUT 端子

外部^{ミディ}MIDI機器との接続に使用します。

⑪ ^{ミディ イン}MIDI IN 端子

外部^{ミディ}MIDI機器との接続に使用します。

〈リモコン〉



- ① **【電源】 ボタン**
電源をオンにしたり、スタンバイモードにするときに使用します。
- ② **数字キー**
ソングやアルバムの番号や、ソングの再生開始位置を指定するときに使用します。
- ③ **【システム】 ボタン**
システムメニューを呼び出すときに使用します。
- ④ **【音色】 ボタン** (参照 54、82 ページ)
音色機能を呼び出すときに使用します。
- ⑤ **【録音】 ボタン** (参照 39 ページ)
録音待機状態にするときに使用します。
- ⑥ **【再生】 ボタン** (参照 33 ページ)
再生を開始するときに使用します。
- ⑦ **【早戻し】 / 【早送り】 ボタン**
早送り / 早戻し、早送り再生 / 早戻し再生をするときに使用します。
- ⑧ **カーソルボタン**
設定項目やパラメーターを選択するときに使用します。
- ⑨ **【戻る】 ボタン**
選択をキャンセルしたり、前画面に戻るときに使用します。
- ⑩ **【音量】 ボタン** (参照 38 ページ)
音量を調節するときに使用します。

⑪ **【テンポ】 ボタン**

再生テンポを調節するときに使用します。

⑫ **【移調】 ボタン**

ソングの移調を設定するときに使用します。

⑬ **【インターネット】 ボタン**

インターネットメニューを呼び出すときに使用します。

⑭ **【サーチ】 ボタン**

ソングの再生位置を指定し、移動するときに使用します。

⑮ **【セットアップ】 ボタン**

セットアップメニューを呼び出すときに使用します。

⑯ **【メトロノーム】 ボタン**

メトロノーム機能を呼び出すときに使用します。

⑰ **【リピート】 ボタン**

リピートモード (全曲・1 曲・ランダム・オフ) を選択するときに使用します。

⑱ **【A-B】 ボタン**

A～Bリピート使用時に繰り返しの開始・終了位置を指定するときに使用します。

⑲ **【パートセレクト】 ボタン**

L/Rソングでキャンセルしたいパートを選んだり、録音するパートを選ぶときに使用します。

⑳ **【一時停止】 ボタン (🔼 34 ページ)**

再生を一時停止するときに使用します。

㉑ **【停止】 ボタン (🔼 33 ページ)**

再生・録音を停止するときに使用します。

㉒ **【セット】 ボタン**

選んだ項目を実行するときに使用します。

㉓ **【機能】 ボタン**

機能メニューを呼び出すときに使用します。

㉔ **【セレクト】 ボタン**

メディアを選ぶときに使用します。

㉕ **【^{イエス}+ / ^{ノー}- / YES】 / 【^{ノー}- / NO】 ボタン**

パラメーターの選択や、設定値を調節したり、機能を実行・キャンセルするときに使用します。

㉖ **【バランス】 ボタン**

各種音源の音量バランスを調節するときに使用します。

㉗ **カラーボタン**

緑：数字キーと組み合わせて、ショートカットを実行するときに使用します。

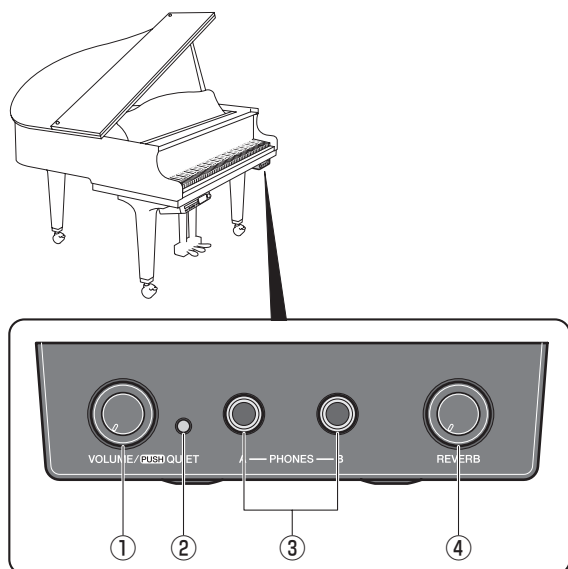
黄：タイトル入力時の文字種切り替えに使用します。

赤：アコースティックモードに切り替えるときに使用します (グランドピアノのみ)。

青：^{クワイエット}Quietモードに切り替えるときに使用します (グランドピアノのみ)。

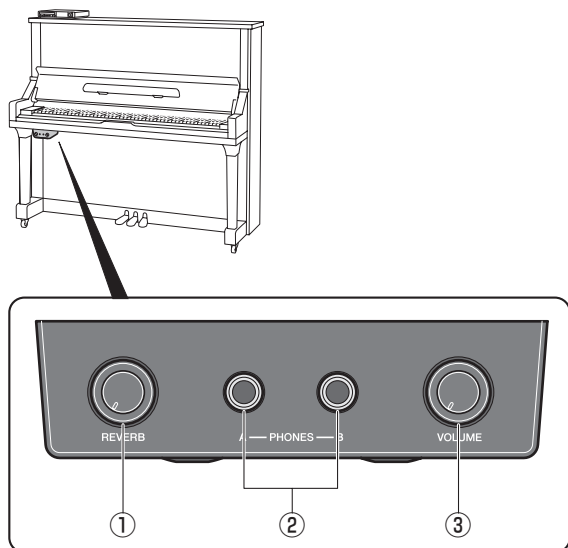
〈 Silent Piano™ コントロールボックス 〉

■ グランドピアノ



- ① **[VOLUME]** ツマミ / **[QUIET]** スイッチ
Headphoneモード時の音量を調節するときに使用します。また、このツマミを押すとQuietモード(消音演奏モード)に切り替わります。
- ② **[QUIET]** インジケーター
Quietモード時に点灯します。
- ③ **PHONES** 端子
ヘッドフォンを接続します。同時に2本接続できます。
- ④ **[REVERB]** ツマミ
ピアノ電子音に対する残響効果のかかり具合を調節します。

■ アップライトピアノ



- ① **[REVERB]** ツマミ
ピアノ電子音に対する残響効果のかかり具合を調節します。
- ② **PHONES** 端子
ヘッドフォンを接続します。同時に2本接続できます。
- ③ **[VOLUME]** ツマミ
Headphoneモード時の音量を調節するときに使用します。

ディスクlavierの基礎用語

下記は本書に頻繁に登場する用語の簡単な解説です。本書の記載内容に従ってディスクlavierの操作を行う前に、ご理解いただきたい用語となっております。詳細については、「用語解説」(152ページ)を参照ください。

メディア

再生または編集できるデータが収録された本機内部の記憶領域、および外部記憶媒体を総称してメディアと呼びます。

アルバム

複数のソングをまとめたグループをアルバムと呼びます。アルバムは複数のソングファイルを集めたフォルダとしてメディアに保存されます。

ソング

「ソング」は一般的には、旋律のある短い楽曲という意味の英語ですが、本書では本機で編集可能な楽曲データを「ソング」と呼び、オーディオCDなどに収録された一般的な楽曲を「曲」と呼びます。

アンサンブルソング

アンサンブルソングは、左右のピアノパートと内蔵音源によって演奏される伴奏パートの3つのパートで構成されています。伴奏パートはアコースティックベース、ドラム、ビブラフォン等様々な楽器の音色を再現することができます。

L/Rソング

左手パート右手パートを別々のトラックに録音するソングファイル。片側のパートだけの再生や再録音が可能なので、難しい曲の練習や、一人で連弾曲を録音することなどできます。

内蔵メモリー

本機は128メガバイトの記憶領域を内蔵しており、フロッピーディスクなど外部記憶装置を使わずにソングデータを保存することができます。

ピアノソフト

PianoSoft

ピアノのソロ演奏が収録されたソフトです。

ピアノソフトプラス

PianoSoft+Plus

ピアノ演奏のバックに、オーケストラなどのアンサンブル伴奏がついたピアノ用ソフトです。

スマートピアノソフト

対応するオーディオCDに合わせて、ピアノを演奏させるためのMIDIソングです。

音色

内蔵音源によって再現される、さまざまな楽器の音です。

トーンジェネレーター

音のトーンや楽器の音色を創り出す電子機器です。本機では約700種類の楽器や打楽器の音色を生成させるXGトーンジェネレーターを内蔵しています。

MIDI

Musical Instrument Digital Interfaceの略で、さまざまな電子楽器間で演奏情報をやりとりできる規格です。

XG

XG

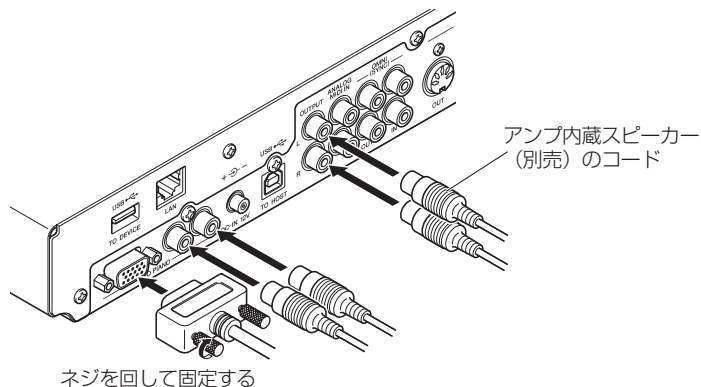
ヤマハXGは、GM (General MIDI) の拡張フォーマットです。その重厚なポリフォニーや、豊富な音色、音響効果を活かしながら、MIDI機器間での互換性をさらに高めます。ヤマハXGフォーマットのソングはXG対応音源やシンセサイザーで再生したときにはじめて作曲家が意図した音が再生されます。

準備

電源を入れるまでの手順や現在時刻の設定など、本機を活用していただくための準備を説明します。

コントロールユニットを接続する

ピアノ本体から出ているケーブルが、コントロールユニット背面のトウピアノ端子に正しく接続されていることを確認してください。



メモ

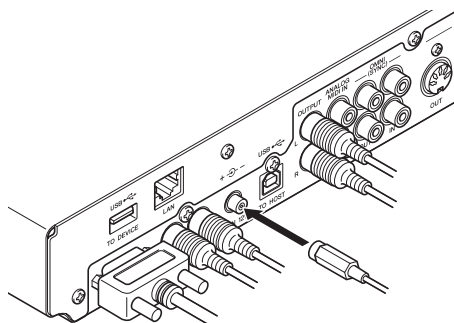
通常は、納入時にケーブルをコントロールユニットに接続した状態でDisklavierを設置します。もし、接続されていない場合は接続方法をご確認のうえ、端子にケーブルを正しく接続してください。

メモ

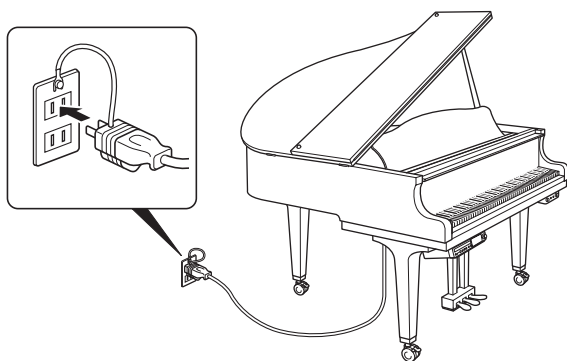
グランドピアノの場合、コントロールユニットは鍵盤の低音側底面に取り付けます。

電源コードを接続する

- 1 ピアノ本体の電源供給ユニットの電源コードをコントロールユニット背面のDC-IN 12Vコネクタに接続します。



- 2 ピアノ本体から出ている電源コードをコンセントに接続します。



メモ

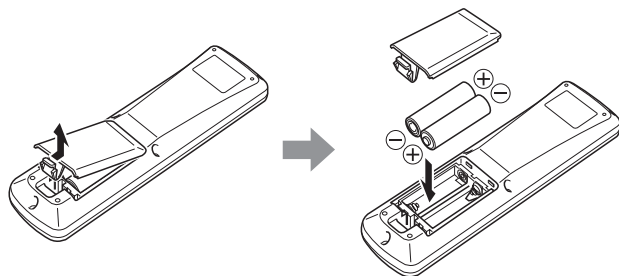
コンセントから供給される電源の電圧が本機のシリアルナンバープレートに記載されている電圧と合っているか、お確かめください。

リモコンを準備する

本機には部屋の中の離れた場所から操作できる便利なリモコンが付属しています。

〈リモコンに電池を入れる〉

リモコン裏面のカバーを外し、付属の単3形乾電池2本をセットして、カバーを閉じます。



電池を入れる際には、電池ボックス底面の⊕⊖表示に従って正しい方向に電池をセットしてください。

〈電池の交換〉

電池を交換する際には以下の点にご注意ください。

⚠ 警告



必ず行う

電池が液もれしている場合は、すぐに電池をリモコンから取り外し、廃棄する。
取り外す際は、皮膚や衣服がもれているバッテリー液に触れることがないように、十分ご注意ください。リモコンにバッテリー液が付着している場合は、きれいに拭き取ってから、新しい電池を挿入してください。

⚠ 注意



注意

使用できる乾電池は、単3形のアルカリ乾電池またはマンガン乾電池です。



禁止

種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しない。
同じ形状でも性質が異なる場合がありますのでご注意ください。



禁止

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。



必ず行う

リモコンを長時間使用しないときは、電池をリモコンから取り外す。
電池が液もれするおそれがあります。



必ず行う

使い切った電池はすぐにリモコンから取り外す。
リモコンに挿入したままにしておくと、破裂や液もれの原因になります。

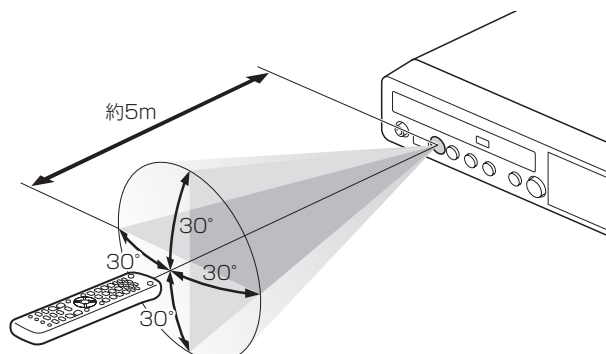


必ず行う

使い切った電池は自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

〈リモコンの使用について〉

リモコンはフロントパネルのリモコン受光部に対して、下図に示す範囲内でご使用ください。

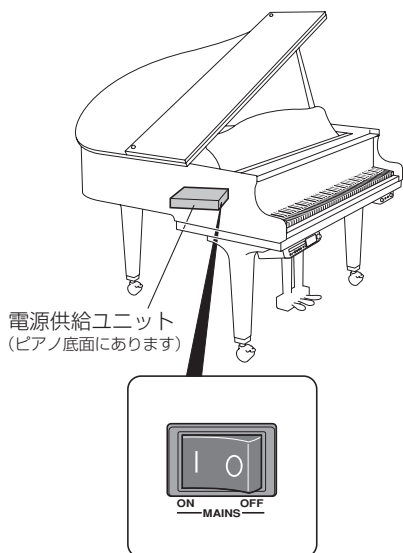


電源を入れる

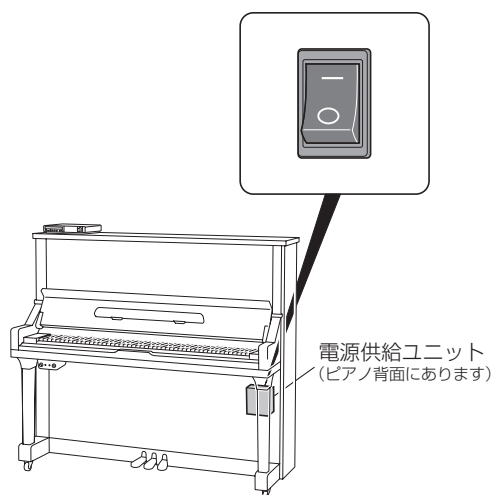
本機の起動方法を説明します。

1 電源供給ユニットの主電源スイッチがオンになっていることを確認します。

■ グランドピアノの場合



■ アップライトピアノの場合



2 コントロールユニットの電源ボタンを押します。



本機がスタンバイモード（コントロールユニットの電源ボタンが赤色に点灯している状態）の場合は、リモコンの「電源」ボタンを押して、電源を入れることができます。

電源



次のような画面が順番に表示され、コントロールユニットの電源ボタンが緑色に点灯します。



数秒後に読み込み中の画面が表示され、前回最後に選んでいたソングが読み込まれます。



これで本機を使用することができます。

ここも参照

スタンバイモードについては、「電源を切る（スタンバイモード）」(22ページ)を参照ください。

メモ

内蔵メモリーに多数のソングが保存されている場合、ソングの読み込みに時間がかかるため、本機を使用できるようになるまで時間がかかることがあります。

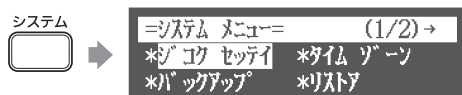
現在の日時を設定する

> [システム] ボタン > “ジコク セッテイ”

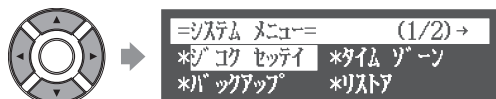
再生待機状態に表示される現在日時を設定します。タイマープレイ機能を使用する場合は正確な日時を設定しておく必要があります。

1 リモコンの [システム] ボタンを押します。

システムメニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“ジコク セッテイ”を選び、[セット] ボタンを押します。



現在の日時が表示されます。

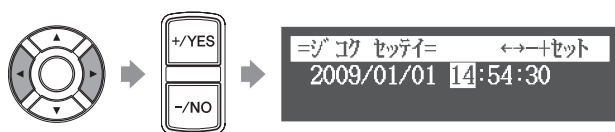


3 [セット] ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。



4 カーソルボタン[◀][▶]を使って年/月/日/時/分/秒を選び、 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って現在の日時を設定します。



5 [セット] ボタンを押します。

設定した日時が表示されますので、正しく設定されているかご確認ください。



6 リモコンの [戻る] ボタンを押します。

システムメニューに戻ります。



次ページに続く

7 リモコンの【システム】ボタンを押して、システムメニューを終了します。



電源を切る (スタンバイモード)

リモコンの【電源】ボタンを押します。

終了画面が表示され、コントロールユニットの電源ボタンが赤く点灯し、スタンバイモードになります。



システムメニュー

メモ

再度電源を入れるときには、リモコンの【電源】ボタンを押して、電源を入れてください。

電源を完全に切る

コントロールユニットの【電源】ボタンを押します。

終了画面が表示され、コントロールユニットの電源ボタンの点灯が消えます。



システムメニュー

メモ

再度電源を入れるときは、電源を切ってから5秒間お待ちください。

本機で扱えるリムーバブルメディアとメディアフォーマット

■ CD

本機ではオーディオCDとデータCD (ピアノソフトなど) を再生することができます。

再生できるCDのフォーマット

- ・ CD-DA 準拠のオーディオCD
- ・ ISO9660 Level 1 準拠のデータCD

■ USBフラッシュメモリー

USBフラッシュメモリーにソングを保存することができます。

使用できるUSBフラッシュメモリーのフォーマット

- ・ FAT16 ファイルシステム
- ・ FAT32 ファイルシステム

■ フロッピーディスク

別売の専用USBフロッピーディスクドライブ (UD-FD01) を使用することができます。

使用できるフロッピーディスク

- ・ 2DD
- ・ 2HD

使用できるフロッピーディスクのフォーマット

- ・ MS-DOS フォーマット

メモ

リムーバブルメディア内にアルバムやソングが多数入っている場合、メディアが認識されるまでに時間がかかることがあります。

メモ

ヤマハでは、市販のUSBフラッシュメモリーの動作保証はいたしません。動作確認済みの製品については、下記ウェブサイトを参照ください。
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/devicelist/>

メモ

外付けUSB記憶装置でのデータの読み書きが行われている状態で外付けUSB記憶装置の取り外しを行うと、本機や外付けUSB記憶装置の故障の原因になります。またデータの破損の原因にもなりますので、外付けUSB記憶装置を取り外すときは必ずデータの読み書きが終了してから行ってください。

本機で扱えるファイルフォーマット

本機では以下の3つのファイルフォーマットのソングを扱うことができます。

■ SMF (Standard MIDI File) フォーマット0

再生と録音が可能です。新規録音時はSMFフォーマット0が使用されます。拡張子は「.MID」または「.mid」になります。

■ SMF (Standard MIDI File) フォーマット1

再生のみが可能です。拡張子は「.MID」または「.mid」になります。

■ E-SEQフォーマット

ヤマハが開発したフォーマットで、再生のみが可能です。拡張子は「.FIL」または「.fil」になります。

CDをお使いになる際の注意事項

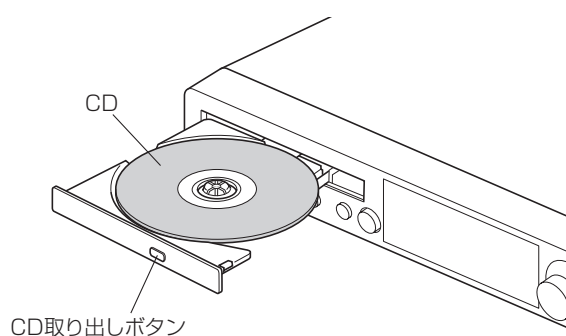
〈CDの取り扱いについて〉

CDに保存された大切なデータが破損、消失しないように、以下のことに注意して丁寧に扱ってください。

- ・ CDの記録面に触れないでください。
- ・ 極端に高温・多湿の場所での使用・保管は避け、室温が4℃～52℃の環境でご使用ください。
- ・ CDを挿入する前に、清潔で乾いた布で記録面を軽く拭いてください。
- ・ 本機の電源を切る場合は、電源を切る前にCDを取り出してください。

〈CDの挿入〉

- 1 コントロールユニットのCD取り出しボタンを押して、CDトレイを開きます。



- 2 CDをトレイに置き、指でゆっくりとトレイを閉じます。

基本編

本機の再生や録音、演奏に関する基本操作を説明します。
ふだんよく使う機能について説明していますので、よくお読みいただき、操作をマスターしましょう。

再生の基本操作

メディア、アルバム、ソングの仕組みや、再生の基本操作を説明します。

メディア／アルバム／ソングの仕組み

本機を操作するにあたってご理解いただきたいメディア、アルバム、ソングについて説明します。

〈メディアとは〉

再生または編集できるデータが収録された本機内部の記憶領域、および外部記憶媒体を総称してメディアと呼びます。

■ 本機ディスプレイに表示されるメディア名と解説

CD

CDドライブに挿入されたオーディオCDまたはデータCDです。ソングの再生またはデータの読み込みが可能です。保存または書き込みはできません。

メモリー

本機に搭載されている内蔵メモリーです。ソングを保存したり、再生したりすることができます。

プレイリスト

内蔵メモリー内に作成した曲順リストです。

PCキョウユウ

パソコンと本機とでソングを共有するための、内蔵メモリー内のフォルダです。

USB1 USB2

USBフラッシュメモリーなどの外付けUSB記憶装置です。ソングを保存したり、再生したりすることができます。
USB1：最初に接続したUSB記憶装置
USB2：次に接続したUSB記憶装置

D-Radio

インターネット上でストリーミング放送されている、Disklavier^{ディスクラビア}専用の番組です。

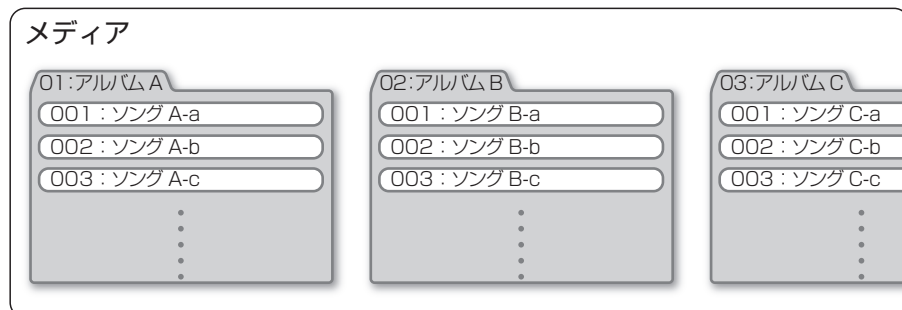
〈アルバムとは〉

複数のソングをまとめたグループをアルバムと呼びます。アルバムは複数のソングを集めたフォルダとしてメディアに保存されます。

〈ソングとは〉

本機で再生または編集できる楽曲データをソングと呼びます。ソングはアルバム内に保存することができます。

■メディア・アルバム・ソングのイメージ



🎵 メモ

アルバムはメディア内に99個、ソングはアルバム内に999個作成することができます。ただし、内蔵メモリーの容量には限りがあるため、実際に作成できるソングの総数は、約16,000曲になります。

🎵 メモ

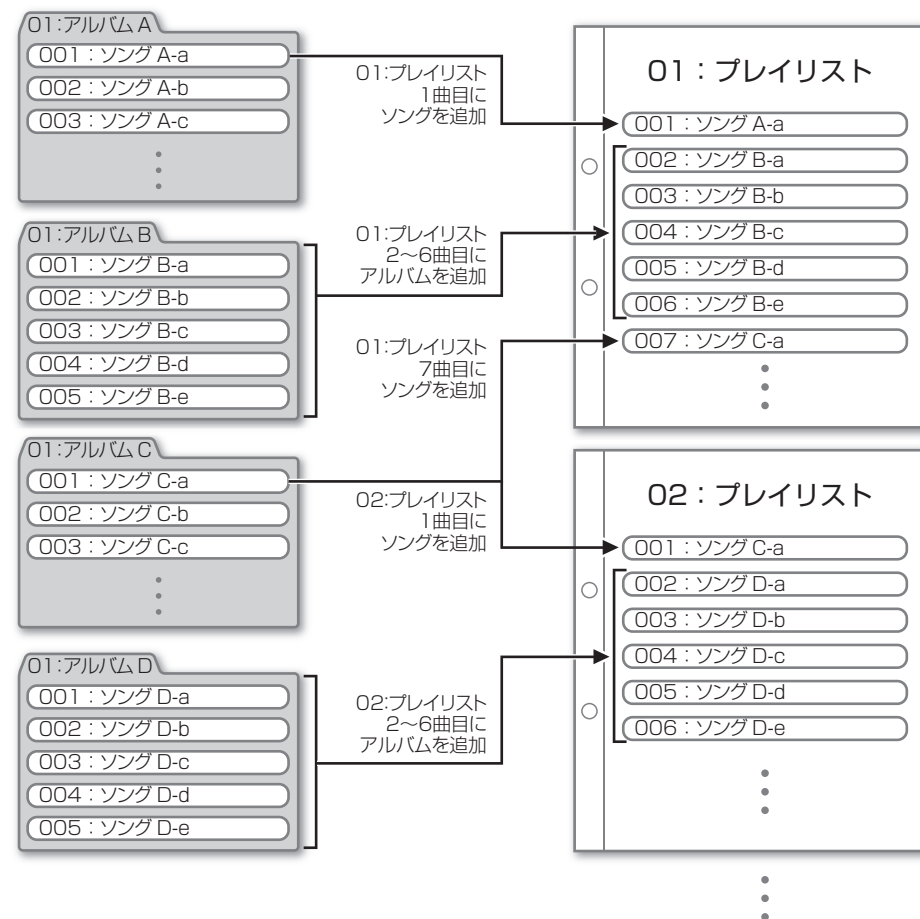
オーディオCDとフロッピーディスクの場合、アルバムはひとつしかありません。

〈プレイリストとは〉

内蔵メモリー内のソングを指定の順番どおりに再生させる曲順リストです。アルバムとは違い、プレイリストの中には実際のソングは保存されませんが、複数のソングを1つのグループとして扱うことができます。

プレイリストにはソングを1曲単位で追加することもできますし、アルバム内の全曲を追加することもできます。

■プレイリストのイメージ



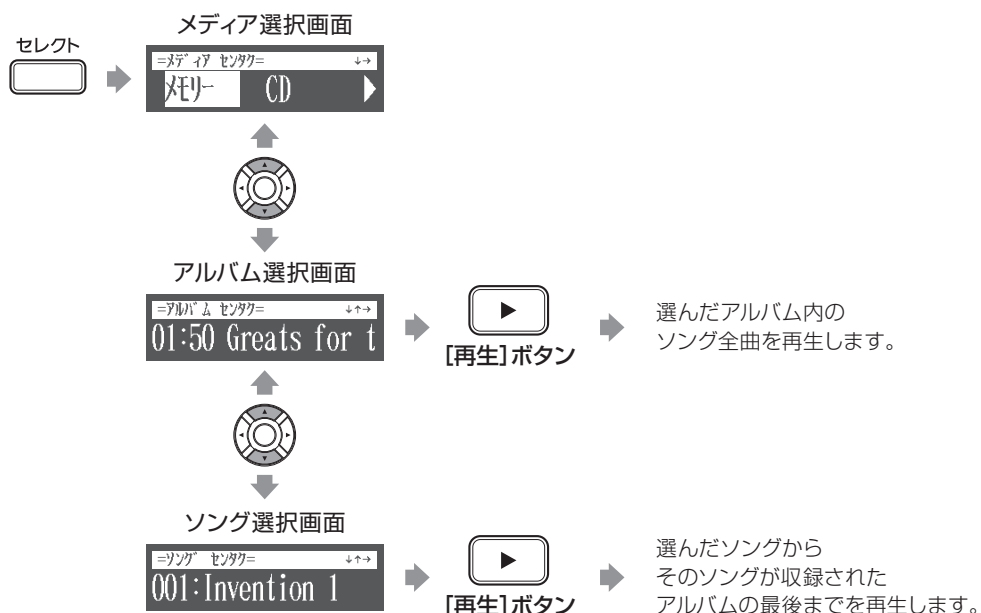
次ページに続く

〈ソングの選び方〉

ソングを再生するときは、[セレクト] ボタンを押し、メディア→アルバム→ソングの順に選び、[再生] ボタンを押します。

アルバムを選んだ状態で [再生] ボタンを押すと、選んだアルバムに保存されているすべてのソングが再生されます。

■ ソング再生時の操作の流れ



画面の右上には、使用できるキーが表示されます。

本機で再生できるソフト

■ ピアノソフトとピアノソフトプラス

ピアノパートは、誰かが演奏しているかのように鍵盤が動き、本機によって自動演奏されます。ピアノソフトプラスに収録されているアンサンブルパートは内蔵音源によって演奏されます。アンサンブルパートを再生するには別売のアンブ内蔵スピーカーが必要です。



■ スマートピアノソフト (SPS)

市販のオーディオCDに合わせてピアノを演奏させるためのピアノソフトです。本機では、オーディオCDに合わせてピアノ演奏を録音することで、スマートピアノソフトを作成することができます。

■ オーディオCD

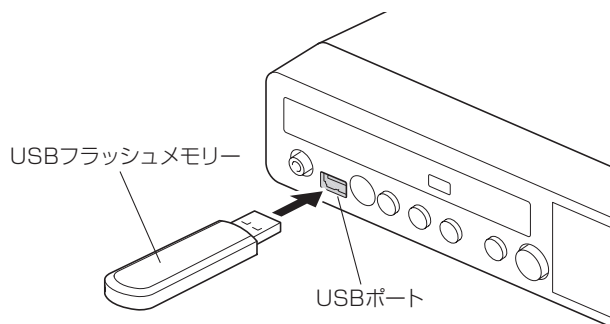
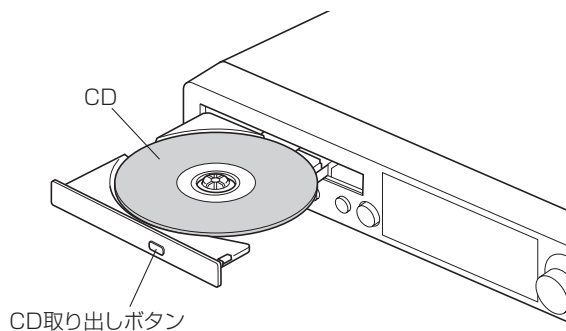
オーディオCDは2つのオーディオチャンネル(左右)で構成されており、別売のアンブ内蔵スピーカーを接続すれば、一般的なステレオと同じようにCDを楽しむことができます。

メディア内のコンテンツを選ぶ

> [セレクト] ボタン

本機の基本操作となるメディア、アルバム、ソングの選び方を説明します。

- 1 CDやUSBフラッシュメモリーなど、使用するメディアを挿入します。



- 2 [セレクト] ボタンを押します。

メディア選択画面が表示されます。



次ページに続く

3 カーソルボタン[◀] [▶]を使ってメディアを選びます。

カーソルボタン[◀] [▶]を押すごとに、下記のように画面が切り替わります。



■ 選択できるメディア

メモリー	本機に搭載されている内蔵メモリー
CD	CDドライブに挿入されたオーディオCDまたはデータCD
USB1	USBフラッシュメモリーなどの外付けUSB記憶装置
USB2	USB1：最初に接続したUSB記憶装置 USB2：次に接続したUSB記憶装置
プレイリスト	内蔵メモリー内に作成した曲順リスト
D-Radio	インターネット上でストリーミング放送されている、 Disklavier専用の番組 “D-Radio”については、「インターネットで番組を聴く (DisklavierRadio)」(37ページ)を参照ください。
PCキョウウ	パソコンと本機とでソングを共有するための、内蔵メモリー内のフォルダ “PCキョウウ”については、「パソコンからソングをコピーする」(113ページ)を参照ください。

4 [セット]ボタンまたはカーソルボタン[▼]を押します。

アルバム選択画面が表示されます。



5 カーソルボタン[◀] [▶]を使って目的のアルバムを選びます。



メディア選択画面に戻る場合は、カーソルボタン[▲]を押します。

6 [セット] ボタンまたはカーソルボタン[▼]を押します。

ソング選択画面が表示されます。



7 カーソルボタン[◀] [▶]を使って目的のソングを選びます。



アルバム選択画面に戻る場合は、カーソルボタン[▲]を押します。

8 [セット] ボタンを押します。



選んだソングが読み込まれ、ソング再生画面が表示されます。

ここも参照

リモコンの数字キーを使って直接アルバム番号を指定することもできます。詳しくは、「リモコンの数字キーでアルバムまたはソングを選ぶ」(33ページ)を参照ください。

ここも参照

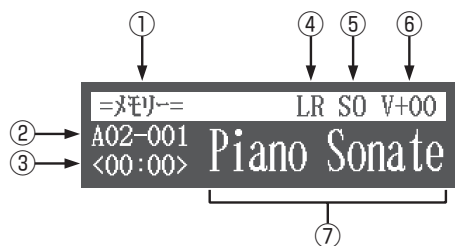
リモコンの数字キーを使って直接ソング番号を指定することもできます。詳しくは、「リモコンの数字キーでアルバムまたはソングを選ぶ」(33ページ)を参照ください。

メモ

複数バイトの文字がソングタイトルに含まれていると、本機で正常に表示されない場合があります。

〈ソング再生画面の表示について〉

ソング再生画面に表示される項目を説明します。



① メディア

現在選んでいるメディアが表示されます。

② アルバム番号とソング番号

現在選んでいるアルバム番号とソング番号が表示されます。

A02-001	2番目のアルバムの1曲目
P02-001	2番目のプレイリストの1曲目

③ カウンター

現在再生中の部分を演奏時間または何小節の何拍目かで表示します。

01:30	1分30秒
050-3	50小節3拍目

④ ソングタイプ

選んでいるソングのソングタイプが表示されます。

LR L	ピアノソフトソング
XP	XPイベントを含むソング
PS	スマートピアノソフトソング
SK	スマートキーソング
AU	オーディオCD内の曲

⑤ ソングフォーマット

選んでいるソングのファイル形式が表示されます。

S0	SMFフォーマット 0
S1	SMFフォーマット 1
ES	E-SEQフォーマット

⑥ 音量

現在の音量が表示されます。

⑦ ソングタイトル

選んでいるソングのタイトルが表示されます。タイトルが長い場合には、スクロール表示されます。

メモ

XPイベントとは、データを高精度化するヤマハ独自の付加情報のことです。

リモコンの数字キーでアルバムまたはソングを選ぶ

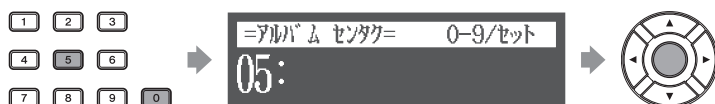
> [アルバムまたはソング選択画面] > 数字キー

リモコンの数字キーを使えば、アルバムやソングを直接選ぶことができます。

数字キーを使って目的のアルバム番号またはソング番号を入力し、**【セット】ボタン**を押します。

■ 例) アルバム番号5を指定する場合

[0]、[5] の順に入力し **【セット】ボタン**を押します。



■ 例) ソング番号36を指定する場合

[0]、[3]、[6] の順に入力し **【セット】ボタン**を押します。



メモ

保存されているアルバムまたはソングの数を超える数字を入力した場合は、最後のアルバムまたはソングが選ばれます。

再生を開始する

> [再生] ボタン

コントロールユニットの **【再生／一時停止】ボタン** またはリモコンの **【再生】ボタン**を押します。

コントロールユニットの **【再生／一時停止】ボタン** が緑色に点灯し、カウンターが動き始めます。



選んだソングの再生が終了すると、続けて次のソングが自動的に再生されます。選んだアルバムのすべてのソングを再生し終えると停止します。

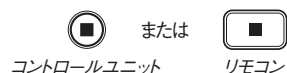
メモ

ペダリングを多用するソングを長時間連続で再生すると、本機が発熱する原因になり、保護回路が働いてペダル再生が停止する場合があります。ペダル再生が停止した場合は、再生を停止して本機を十分に休ませてください。

再生を停止する

> [再生中] > [停止] ボタン

【停止】ボタンを押します。

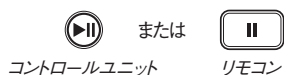


再生が停止し、ソングの先頭に戻ります。
コントロールユニットの **【再生／一時停止】ボタン** の点灯が消え、カウンターがリセットされます。

再生を一時停止する

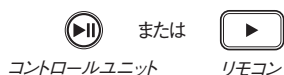
> [再生中] > [一時停止] ボタン

- 1 コントロールユニットの[再生／一時停止] ボタンまたはリモコンの[一時停止] ボタンを押します。



再生が一時停止します。
コントロールユニットの[再生／一時停止] ボタンが点滅し、カウンターが停止します。

- 2 再生を再開するには、コントロールユニットの[再生／一時停止] ボタンまたはリモコンの[再生] ボタンを押します。



一時停止が解除され、再生が再開されます。

音を出しながら早送り／早戻しをする

> [再生中] > [早送り] ボタンまたは [早戻し] ボタン

再生中の音を聴きながら早送り、早戻しをすることで、聴きたい部分をすばやくサーチすることができます(早送り再生/早戻し再生)。

〈 早送り再生 〉

- 1 ソング再生中にコントロールユニットのカーソルボタン[▶]を長押しする、またはリモコンの[早送り] ボタンを押して、早送りをします。



- 2 通常の再生に戻るには、コントロールユニットのカーソルボタン[▶]を離すか、リモコンの[早送り] ボタンをもう一度押します。

ソングの終わりまで早送り再生をした場合は、ソングの終了位置で一時停止状態になります。

〈 早戻し再生 〉

- 1 ソング再生中にコントロールユニットのカーソルボタン[◀]を長押しする、またはリモコンの[早戻し] ボタンを押して、早戻しをします。



- 2 通常の再生に戻るには、コントロールユニットのカーソルボタン[◀]を離すか、リモコンの[早戻し]ボタンをもう一度押します。

ソングの始まりまで早戻し再生をした場合は、ソングの開始位置で一時停止状態になります。

早送り／早戻しをする

> 停止または一時停止状態 > [早送り]ボタンまたは[早戻し]ボタン

＜早送り＞

- 1 停止または一時停止状態でコントロールユニットのカーソルボタン[▶]を長押しする、またはリモコンの[早送り]ボタンを押して、早送りをします。



カウンターの演奏時間または小節・拍を見ながら、聴きたい部分まで早送りをしてください。

- 2 コントロールユニットのカーソルボタン[▶]を離すか、リモコンの[早送り]ボタンをもう一度押して、早送りを停止します。

停止または一時停止状態に戻ります。

ソングの終わりまで早送りをした場合は、ソングの終了位置で一時停止状態になります。

＜早戻し＞

- 1 一時停止状態でコントロールユニットのカーソルボタン[◀]を長押しする、またはリモコンの[早戻し]ボタンを押して、早戻しをします。



カウンターの演奏時間または小節・拍を見ながら、聴きたい部分まで早戻しをしてください。

- 2 コントロールユニットのカーソルボタン[◀]を離すか、リモコンの[早戻し]ボタンをもう一度押して、早戻しを停止します。

停止または一時停止状態に戻ります。

ソングの始まりまで早戻しをした場合は、ソングの開始位置で一時停止状態になります。

曲中の聴きたい部分を頭出しする(サーチ)

> 再生中または一時停止・停止状態 > [サーチ] ボタン

選んでいるソングの聴きたい部分を指定して、すばやく移動することができます。カウンター表示の設定が演奏時間表示になっている場合は演奏時間で、小節・拍表示になっている場合は何小節の何拍目という形で数値を指定することができます。

1 リモコンの【サーチ】ボタンを押します。

ソングサーチ画面が表示され、一時停止になります。



[サーチ] ボタンを押した位置で一時停止状態になります。

2 数字キーを使ってソングの聴きたい位置を入力します。

■ 例) 演奏時間2分56秒の位置を指定する場合

[0]、[2]、[5]、[6] の順で数字キーを押します。



■ 例) 52小節3拍目の位置を指定する場合

[0]、[5]、[2]、[3] の順で数字キーを押します。



3 もう一度【サーチ】ボタンを押します。



指定した位置に移動します。

メモ

選んでいるソングの演奏時間を超えた数値を指定した場合には、ソングの最後に移動します。

インターネットで番組を聴く (DisklavierRadio)

> メディア選択画面 > "D-Radio"

インターネット上でストリーミング放送されている、Disklavier専用の番組を聴くことができます。

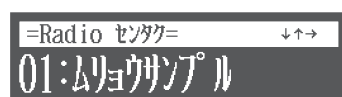
ここも参照

DisklavierRadioを聴くにはインターネットの接続環境が必要です。インターネット接続については、「本機をインターネットに接続する」(42ページ)を参照ください。

1 メディア選択画面で"D-Radio"を選びます。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

チャンネル選択画面が表示されます。

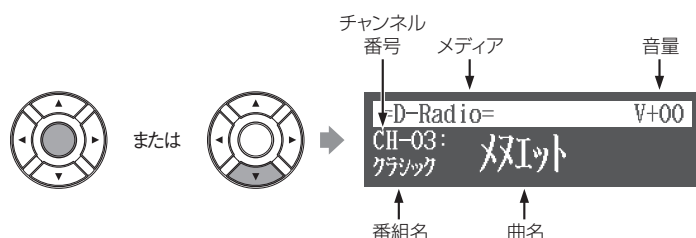


2 カーソルボタン[◀] [▶] または [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってチャンネルを選びます。



3 [セット] ボタンまたはカーソルボタン[▼]を押して、選んだ番組の放送を開始します。

DisklavierRadio画面が表示されます。



番組の放送を終了する

番組の放送を終了するには、カーソルボタン[▲]を2回押します。

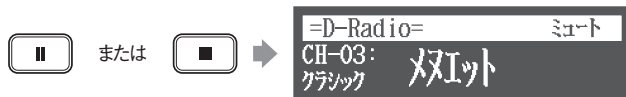


メディア選択画面に戻ります。

＜ミュート機能を利用する＞

- 1 【一時停止】ボタンまたは【停止】ボタンを押します。

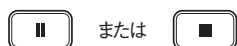
画面の右上に「ミュート」と表示され、一時的に音が消えます。



メモ

ミュート中でも番組の配信は継続しています。そのため、ミュートした時点とミュートを解除した時点とでは、流れている曲が異なる場合があります。

- 2 もう一度【一時停止】ボタンまたは【停止】ボタンを押すと、ミュートが解除されます。



全体の音量を調節する

> 【音量+】ボタンまたは【音量-】ボタン

コントロールユニットまたはリモコンで、本機全体の音量を調節することができます。ピアノソングはすべて最大音量の音量0で録音されています。この音量を最小音量-10まで調節することができます。

アンサンブルソングではピアノと内蔵音源の音量が同時に調節されます。これらのバランスについては、あらかじめ調節をしてください。

ここではリモコンによる操作方法を説明します。

メモ

手弾き演奏時、メインボリュームの設定はアコースティックピアノの打弦音には影響しません。

ここも参照

音量バランスについては、「音量バランスを調節する」(63ページ)を参照ください。

- 1 リモコンの【音量+】ボタン／【音量-】ボタンを押します。

メインボリューム設定画面が表示されます。



- 2 【音量+】ボタン／【音量-】ボタンを使って音量を調節します。



音量は-10～0の範囲で調節できます。

メモ

コントロールユニットのダイヤルでも音量を調節することができます。

メモ

音量が-10に設定されていると、自動演奏の際に鍵盤よりも若干遅れて音が鳴る場合や、音飛びが発生する場合があります。また、録音時に強いタッチで演奏しても、再生時に力強さが表現されない場合があります。

録音の基本操作

ピアノ演奏を録音し、簡単に指定のメディアに保存することができます。
ソングにタイトルをつけて録音することもできます。

ピアノの演奏を録音する

> [録音] ボタン

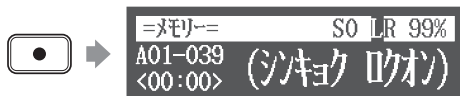
ピアノ演奏を選んでいるメディアに新しいソングとして録音することができます。

1 録音先のメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 [録音] ボタンを押します。

録音待機画面が表示され、コントロールユニットの[録音] ボタンが赤く点灯し、[再生/一時停止] ボタンが緑に点滅します。



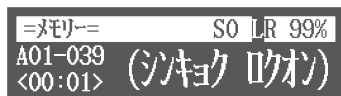
3 [再生] ボタンを押します。



コントロールユニットの[再生/一時停止] ボタンの点滅が止まり、演奏開始待機状態になります。

4 ピアノ演奏を始めます。

鍵盤を弾き始めると同時にカウンターが動き出し、自動的に録音を開始します。



5 演奏が終わったら、[停止] ボタンを押します。



録音したソングが読み込まれ、再生待機状態になります。

メモ

ひとつのアルバムに録音できるソングの数は999までとなります。

メモ

録音先のメディアにCD、プレイリスト、またはD-Radioを選ぶことはできません。

タイトルをつけて録音する

> [録音] ボタン > [機能] ボタン × 2

あらかじめソングにタイトルをつけて録音することができます。

ここも参照

すでに録音されているソングのタイトルを変更することもできます。詳しくは、「ソングタイトルを変更する」(99ページ)を参照ください。

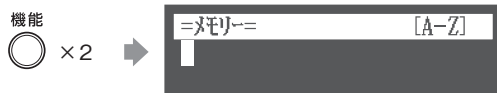
1 録音先のメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

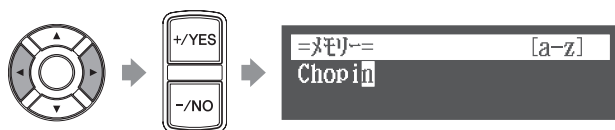
2 [録音] ボタンを押します。

3 録音待機画面でリモコンの [機能] ボタンを2回押します。

ソングタイトル編集画面が表示されます。



4 タイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、次ページの「文字の入力」を参照ください。

5 タイトルを入力し終わったら、[再生] ボタンを押します。

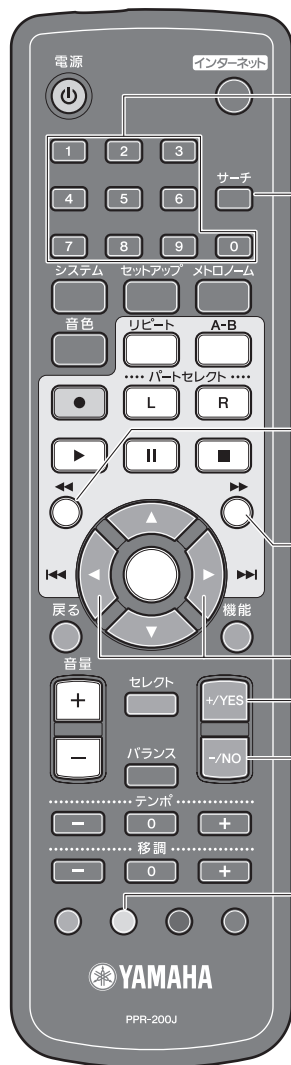


録音が始まります。

〈文字の入力〉

■ リモコンでの文字入力方法

リモコンでの文字の入力方法を説明します。



数字キー

数字を上書き入力します。

〔サーチ〕ボタン

ピリオド(.)を上書き入力します。

〔早戻し〕ボタン

カーソル上の文字を削除します(以降の文字がひとつ左にずれます)。

〔早送り〕ボタン

空白を一文字分挿入します(以降の文字がひとつ右にずれます)。

カーソルボタン

カーソルを左と右に動かします。

〔+ / YES〕 / 〔- / NO〕ボタン

文字を選びます。キーを同時に押すと、空白を上書き入力します。

黄ボタン

黄ボタンを押すたびに、各文字種の先頭を表示します。

〔A-Z〕: 英語大文字

↓
〔a-z〕: 英語小文字

↓
〔カナ〕: カタカナ

↓
〔etc〕: 記号

↓
〔0-9〕: 数字

■ 入力できる文字

アルバムやソングのタイトルに使用できる文字は以下の通りです。

文字種	文字													
英語大文字 〔A-Z〕	空白		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
英語小文字 〔a-z〕	空白		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l
	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
カタカナ 〔カナ〕	空白		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ン	ゝ	ゞ	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ
	ユ	ヨ	ツ	ー	。	「	」	、	・					
記号〔etc〕	空白		!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,
	-	.	/	:	;	<	=	>	?	_	@			
数字〔0-9〕	空白		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		

インターネットダイレクトコネクション

本機をインターネットに接続すれば、インターネット経由でストリーミング放送を聴いたり、インターネット上の好きな曲を聴いたり、直接本機をバージョンアップすることができます。

インターネットダイレクトコネクションとは？

楽器をインターネットに直接接続し、多彩なコンテンツを24時間いつでも手軽にお楽しみいただけるサービスです。多彩なジャンルからピアノ曲を選んで再生させたり、ヤマハウェブサイトから最新のプログラムをダウンロードしたりすることができます。

サービス登録について

インターネットダイレクトコネクションの会員制有料サービスを利用するためには、事前にヤマハオンラインメンバーにて製品ユーザー登録後、会員制サービスのご入会手続きにてアカウントIDとパスワードを登録してください。詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。パソコンで登録してください。

<https://member.yamaha.co.jp/>

ディスクラビアラジオの無料番組、キキホーダイの試聴、プログラムのバージョンアップについては、サービス登録なしでご利用いただけます。ディスクラビアラジオの有料番組を利用したり、キキホーダイで全曲再生したりするときは、事前に登録したアカウントIDとパスワードを入力してください。

メモ

会員制有料サービスを利用するには、他のインターネットダイレクトコネクションに対応しているヤマハの楽器をお持ちでも、再度製品ユーザー登録・入会登録が必要になります（別料金となります）。なお、アカウントIDおよびパスワードは同じものを使用できます。

ここも参照

DisklavierRadioについては、「インターネットで番組を聴く (DisklavierRadio)」(37ページ)を参照ください。

本機をインターネットに接続する

ブロードバンドルーターまたはルーター機能付きモデムを通して、本機を常時接続回線 (ADSL、光ファイバー、ケーブルテレビインターネット) に接続します。

〈 準備 〉

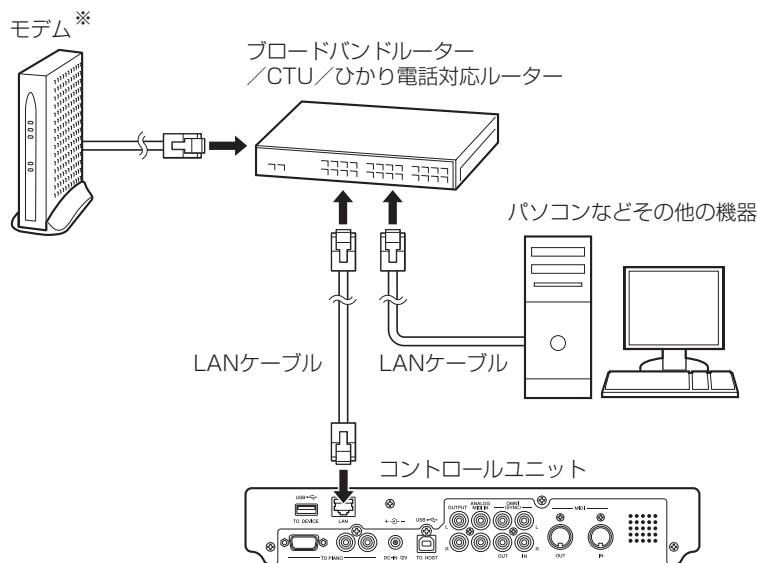
- ・ インターネット接続には、インターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。
- ・ ブロードバンドルーターやルーター機能付きモデムの設定は本機では行えません。本機をインターネット回線に接続する前に、パソコンで設定を行ってください。
- ・ コントロールユニットとルーターの接続には、STPケーブル (シールド付きツイストペアケーブル) をご使用ください。
- ・ LANケーブルを接続する前に、本機の電源を切ってください。

メモ

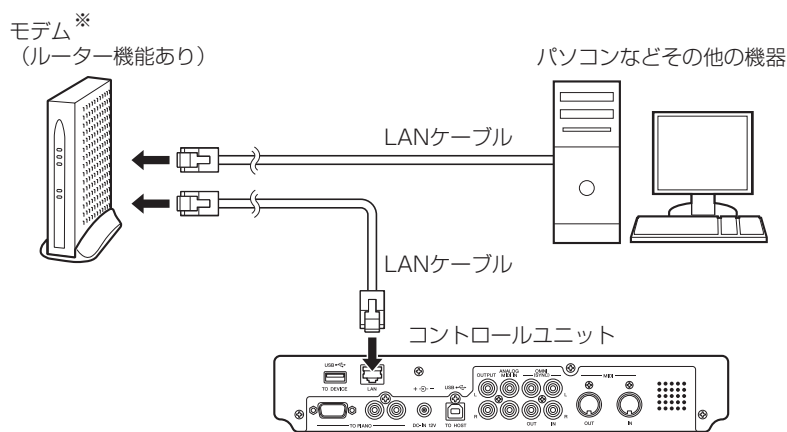
ダイヤルアップ回線、ISDN回線ではインターネットダイレクトコネクションはご利用になれません。

〈コントロールユニットをインターネットに接続する〉

■ 接続例1：ブロードバンドルーターまたはCTUを使用



■ 接続例2：ルーター機能がついているモデムを使用



■ 接続できない例

- ・ ルーター機能がないモデムと本機を接続した場合、本機はインターネットへ接続できません。別途ブロードバンドルーターをご用意のうえ、接続例1を参照してください。
- ・ ルーター等のLANポートに空きがない場合、本機を接続できません。別途ハブをご用意ください。
- ・ 学校、病院、会社などの施設のネットワーク環境では、手動でのネットワーク設定が必要な場合があります。設定内容については、ネットワーク管理者へご相談ください。

♪ メモ

インターネットサービスプロバイダーとの契約内容によっては、複数の機器（パソコンとDisklavierなど）を接続できない場合があります。契約内容をご確認ください。

♪ メモ

モデムの種類によっては、複数の機器（パソコンや楽器など）を接続するために、別途イーサネットハブが必要な場合もあります。

♪ メモ

本機はPPPoE通信に対応していないため、ルーター機能のないモデムに直接接続できません。

ここも参照

固定IPアドレス、指定のDNSサーバー、プロキシサーバーを使用する場合には、「インターネット設定を変更する」(48ページ)を参照ください。

※ADSLモデム、ONU（光回線終端装置）、ケーブルモデムなど

♪ メモ

接続にはSTPケーブル（シールド付きツイスト・ペア・ケーブル）をご使用ください。

ここも参照

手動でのネットワーク設定方法については、「インターネット設定を変更する」(48ページ)を参照ください。

インターネットにアクセスする

> [インターネット] ボタン

インターネットダイレクトコネクションを使ってお楽しみいただける内容を説明します。

1 リモコンの[インターネット] ボタンを押します。

インターネットメニューが表示されます。



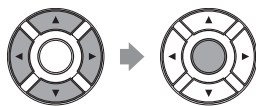
🎵 メモ

アカウントIDとパスワードが不要な無料コンテンツもご用意しています。

🎵 メモ

サービス内容は予告なく変更することがあります。

2 カーソルボタンを使ってサービスを選び、[セット] ボタンを押します。



選んだサービスの画面が表示されます。

■ 選択できるサービス

D-Radio	インターネット上でストリーミング放送されている、Disklavier 専用の番組を聴くことができます。
キキホーダイ	インターネット上にある曲から、好きな曲を選んで聴いたり、プレイリストに登録したりすることができます。
マイアカウント	番組には、有料と無料のものがあります。有料番組をお楽しみいただくためのアカウントの作成については、「サービス登録について」(42ページ)を参照ください。
バージョンアップ	最新のプログラムをヤマハのウェブサイトからダウンロードすることができます。

インターネットで番組を聴く (DisklavierRadio)

> [インターネット] ボタン > "D-Radio"

インターネット上でストリーミング放送されている、Disklavier 専用の番組を聴くことができます。

詳しくは、「インターネットで番組を聴く (DisklavierRadio)」(37ページ)を参照ください。

インターネットで曲を聴く (キキホーダイ)

> [インターネット] ボタン > “キキホーダイ”

インターネット上にある曲から、好きな曲を選んで聴いたり、プレイリストに登録したりすることができます。

サービス登録なしでも、すべての曲を90秒試聴できます。会員制有料サービスに登録することにより、全曲を再生することができます。

＜ 曲を選んで再生する ＞

1 リモコンの [インターネット] ボタンを押します。

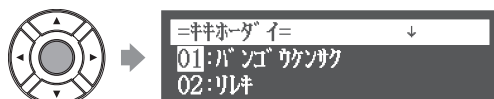
インターネットメニューが表示されます。



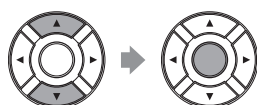
2 カーソルボタンを使って “キキホーダイ” を選び、[セット] ボタンを押します。



キキホーダイ画面が表示されます。



3 カーソルボタン [▲] [▼] を使って機能を選び、[セット] ボタンを押します。



選んだ機能の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

■ 選択できる機能

パ'ンゴ' ウケンサク	曲番号を入力して、聴きたい曲を選びます。
リレキ	過去に聴いた曲の履歴を表示します。
シンキョク	新着曲を表示します。
キョクメイケンサク	曲名から聴きたい曲を検索します。
アーティストケンサク	アーティスト名から聴きたい曲を検索します。
サ'クキョク' シャケンサク	作曲者名から聴きたい曲を検索します。
ジャンルケンサク	ジャンルから聴きたい曲を検索します。

🎵 メモ

配信内容は随時更新されます。

🎵 メモ

最新の曲リスト／曲番号については、下記ウェブサイトを参照ください。
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/net/idc/dkv/stream/>

🔗 ここも参照

履歴を削除したい場合には、クッキーを削除する必要があります。クッキーの削除については、「本機をリセットする」(142ページ)を参照ください。

次ページに続く

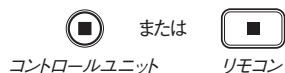
4

曲の再生を開始するには、コントロールユニットの**【再生／一時停止】**ボタンまたはリモコンの**【再生】**ボタンを押します。



5

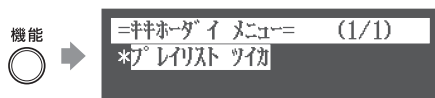
曲の再生を停止するには、**【停止】**ボタンを押します。



＜曲をプレイリストに追加する＞

プレイリストに追加するには、キキホーダイのソング再生画面で**【機能】**ボタンを押します。

キキホーダイ機能メニューが表示されます。



プレイリストへの追加方法については、「ソングまたはアルバムをプレイリストに追加する」(106ページ)を参照ください。

メモ

曲をプレイリストに追加すると、内蔵メモリー内の曲と同様に通常の再生機能を使えます。

アカウント情報を確認する

> **【インターネット】**ボタン > **“マイアカウント”**

インターネットダイレクトコネクションサービスに登録されているアカウント情報を確認したり、ログイン、ログアウトを行うことができます。

1

リモコンの**【インターネット】**ボタンを押します。

インターネットメニューが表示されます。

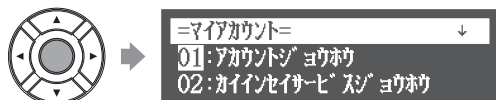


2

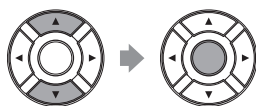
カーソルボタンを使って**“マイアカウント”**を選び、**【セット】**ボタンを押します。



マイアカウント画面が表示されます。



3 カーソルボタン[▲][▼]を使って機能を選び、[セット]ボタンを押します。



選んだ機能の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

■ 選択できる機能

ログイン	アカウントIDとパスワードを入力してログインすることにより、インターネットダイレクトコネクションの有料サービス (DisklavierRadioの有料番組など) をお楽しみいただけます。
ログアウト	ユーザーの変更など、別のアカウントIDでログインしたときに、ログアウトすることができます。
アカウントジョウホウ	登録されているアカウント情報を確認することができます。
カインセイサービスジョウホウ	現在の有料サービス情報を確認することができます。

🎵 メモ

DisklavierRadioの無料番組を聴いたり、プログラムのバージョンアップをしたりする場合は、ログインの必要はありません。

インターネット経由で本機のプログラムをアップデートする

> [インターネット] ボタン > "バージョンアップ"

最新のバージョンアップデータをヤマハのウェブサイトから直接ダウンロードして、本機のプログラムをアップデートできます。

1 リモコンの[インターネット]ボタンを押します。

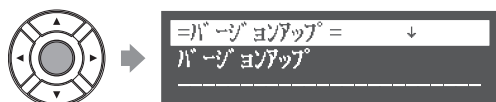
インターネットメニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“バージョンアップ”を選び、[セット]ボタンを押します。



新しいバージョンアップデータがある場合はバージョンアップ画面が表示されます。

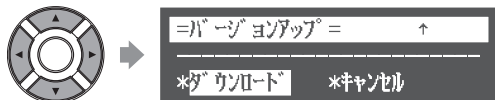


画面はカーソルボタン[▲][▼]を使ってスクロールできます。

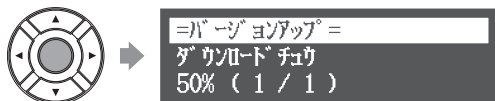
次ページに続く

3

画面に表示される指示に従って、カーソルボタンを使ってオプションを選び、**【セット】** ボタンを押します。

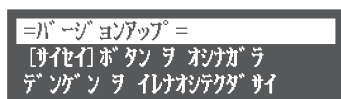


バージョンアップデータのダウンロードが開始されます。



4

ダウンロードが完了したら、コントロールユニットの**【電源】** ボタンを押して、電源を切ります。



バージョンアップデータの準備が完了しました。

「本機のプログラムをアップデートする」(144ページ)をご参照のうえ、本機のプログラムをアップデートしてください。

インターネット設定を変更する

> **【セットアップ】ボタン** > **“ネットワーク”**

インターネットの設定を変更することができます。ほとんどの場合は設定を変更する必要はありません。

■ インフォメーション

現在のインターネット設定を確認することができます。

■ Use DHCP

インターネット設定を自動的に行うDHCPを使用するかどうかを選びます。お手持ちのルーターにDHCP機能がある場合には、「DHCP」または「DHCP+DNS」に設定します。

■ DNS1 / DNS2

DNSサーバーのアドレスを指定します。DNS1がプライマリサーバー、DNS2がセカンダリサーバーになります。上記のUse DHCPを「DHCP+DNS」または「MANUAL」に設定しているときは、この設定が必要です。

■ IP Addr. / SubMask / Gateway

本機のIPアドレスや、使用するサブネットマスク、ゲートウェイサーバーのアドレスを指定します。上記のUse DHCPを「MANUAL」に設定しているときは、この設定が必要です。

■ プロキシ / プロキシポート

使用するプロキシサーバーのアドレスとポート番号を指定します。お使いのネットワーク上にプロキシサーバーを設置しているときのみ、この設定が必要です。

🎵 メモ

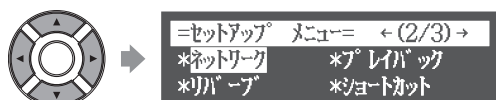
DNSサーバーのアドレス、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイサーバーのアドレスについては、インターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

1 リモコンの【セットアップ】ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



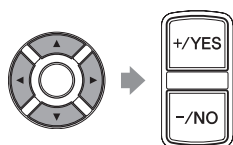
2 カーソルボタンを使って“ネットワーク”を選び、【セット】ボタンを押します。



ネットワーク設定画面が表示されます。



3 カーソルボタンを使って項目を選び、【+/YES】ボタン／【-/NO】ボタンを使って設定を変更します。



現在の設定を確認したい場合には、“インフォメーション”を選びます。現在の設定が表示されます。[戻る]ボタンを押すと、ネットワーク設定画面に戻ります。

4 設定し終わったら、【セット】ボタンを押します。

インターネットの設定が変更され、セットアップメニューに戻ります。



5 リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



インターネット設定を初期化する

> [セットアップ] ボタン > "リセット"

インターネットの設定を工場出荷時の状態に戻したい場合には、本機をリセットする必要があります。

パラメーターをリセットしたあとでも、クッキーは残ります。クッキーを削除するには、リセット画面で“クッキーショウキョ”を選んで削除してください。

ここも参照

リセットについては、「本機をリセットする」(142ページ)を参照ください。

ここも参照

クッキーについては、「用語解説」(152ページ)を参照ください。

状況に応じて使い分けることができる2つの消音演奏モードや、ヘッドフォンの使い方などについて説明します。

消音演奏とは？

本機は、ハンマーで弦を打つピアノ本来の仕組みを持ちながら効果的に消音する「消音演奏機能」により、ピアノの音を自在にコントロールすることができます。この機能を使用すると、ピアノの音はすべて電子音としてヘッドフォン、もしくはアンプ内蔵スピーカー（別売）から聴こえ、状況に応じて2つの消音演奏モードを選べるようになります。

通常のアコースティックモードでは、ピアノの音以外の伴奏音だけがアンプ内蔵スピーカー（別売）から聴こえます。これに対して消音演奏機能を使った場合には、ピアノの音もヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカー（別売）から聴こえるようになります。外部に音を漏らさず演奏したり、音量を調節して演奏ができるので、使い方の幅が大きく広がります。

Quietモード／Headphoneモードについて

本機には2つの消音演奏モードが用意されています。

■ Quietモード

このモードを使用すると、ハンマーが弦を叩かなくなり、ピアノの音はアンプ内蔵スピーカー（別売）から聴こえます。より静かに音を出しながら演奏をしたいときに便利です。

■ Headphoneモード

Silent Piano™コントロールボックスにヘッドフォンを接続するとHeadphoneモードに切り替わります。このモードではピアノの音はすべてヘッドフォンから聴こえますので、夜間の練習など、ピアノの音をまったく出したいときに便利です。

♪ メモ

Quietモードを使用するにはアンプ内蔵スピーカー（別売）が必要です。

♪ メモ

グランドピアノの場合はヘッドフォンを接続するだけでHeadphoneモードになりますが、アップライトピアノの場合はQuietモード時にヘッドフォンを接続するとHeadphoneモードとなります。

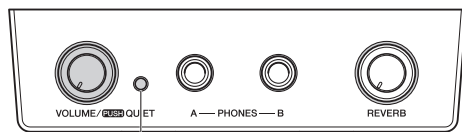
電子ピアノ音で演奏する (Quietモード)

アコースティックピアノよりも静かに演奏をしたい時には、Quietモードをご利用ください。Quietモードではアコースティックピアノの音は消され、電子ピアノ音がアンプ内蔵スピーカー（別売）から聴こえます。

〈 グランドピアノの場合 〉

Silent Piano™コントロールボックスの [VOLUME] ツマミを押すか、リモコンの青ボタンを押します。

[VOLUME] ツマミ右横の [QUIET] インジケーターが緑色に点灯し、Quietモードに切り替わります。



[QUIET] インジケーター

もう一度 [VOLUME] ツマミを押すか、リモコンの赤ボタンを押すと、アコースティックモードに戻ります。

♪ メモ

Quietモードを使用するにはアンプ内蔵スピーカー（別売）が必要です。

♪ メモ

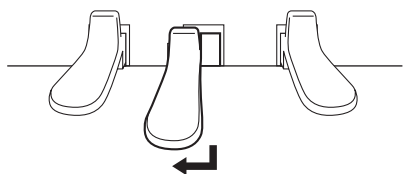
消音演奏時でも、アコースティックピアノ本来の打鍵音は残ります。

次ページに続く

〈アップライトピアノの場合〉

センターペダルを踏みながら左にスライドさせます。

ピアノのハンマーが弦を叩かなくなり、クワイエットモードに切り替わります。



センターペダルを右にスライドさせて元の位置に戻すと、アコースティックモードに戻ります。

〈音量を調節する〉

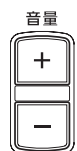
クワイエットモード時の音量は、メインボリュームで調節します。

1 リモコンの【音量+】ボタンまたは【音量-】ボタンを押します。

メインボリューム設定画面が表示されます。



2 【音量+】ボタンまたは【音量-】ボタンで音量を調節します。



音量は-10～0の範囲で調節できます。

メモ

コントロールユニットのダイヤルでも音量を調節することができます。

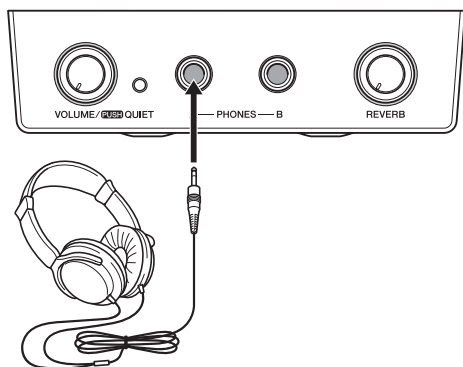
ヘッドフォンを使う (Headphoneモード)

周囲にまったく音を出したくないときには、Headphoneモードをお使いください。Headphoneモードではアコースティックピアノの音は消され、電子ピアノ音がヘッドフォンから聴こえます。

〈グランドピアノの場合〉

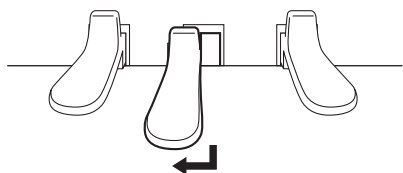
Silent Piano™ コントロールボックスの2つのPHONES端子のどちらかにヘッドフォンを接続します。

[VOLUME] ツマミ右横の [QUIET] インジケーターが緑色に点灯し、Headphoneモードに切り替わります。

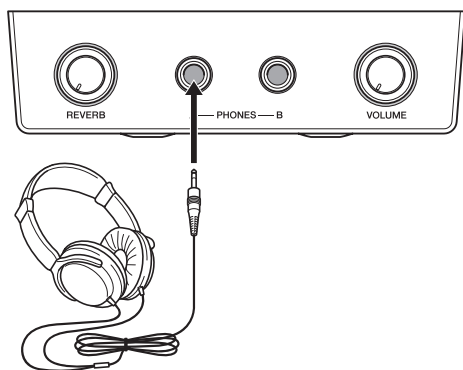


〈アップライトピアノの場合〉

- 1 センターペダルを踏みながら左にスライドさせます。



- 2 Silent Piano™ コントロールボックスの2つのPHONES端子のどちらかにヘッドフォンを接続します。



注意

極端に大きな音量や長時間にわたってヘッドフォンを使用すると、聴覚を損傷する恐れがありますのでおやめください。

メモ

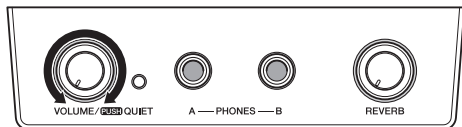
消音演奏時でも、アコースティックピアノ本来の打鍵音は残ります。

次ページに続く

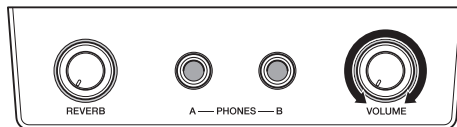
＜音量を調節する＞

Headphoneモード時の音量は、Silent Piano™コントロールボックスの[VOLUME]ツマミで調節します。

■ グランドピアノ



■ アップライトピアノ



Quietモード／Headphoneモード時の演奏音色を選ぶ

> [音色] ボタン

Quietモード／Headphoneモードを使っているときは、内蔵音源のさまざまな音色を使ってピアノの鍵盤演奏を楽しむことができます。

電子音は480種類の楽器と11種類のドラムキットの中から選ぶことができます。

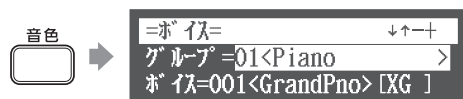
音色グループ・音色については、「内蔵音源」(155ページ)を参照ください。

メモ

Quiet／Headphoneモードを解除したときは、アコースティックピアノ音とXG音源の音色が両方鳴ります。

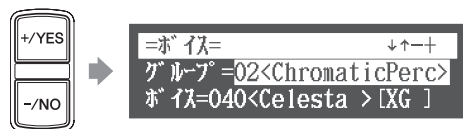
1 リモコンの[音色] ボタンを押します。

音色選択画面が表示されます。

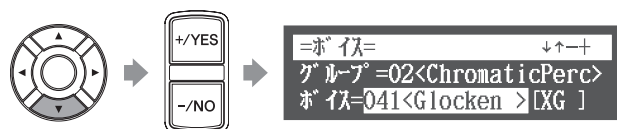


2 [+ / YES] ボタン／[- / NO] ボタンで音色グループを選びます。

音色グループを変更すると、そのグループの先頭の音色が表示されます。



3 カーソルボタン[▼]を押して、音色名にカーソルを合わせ、[+ / YES] ボタン／[- / NO] ボタンで音色を選びます。



必要に応じて音色の音量バランスを調節してください。

4 音色機能をオフにしたい場合は、もう一度[音色] ボタンを押します。



ここも参照

音量バランスについては、「音量バランスを調節する」(63ページ)を参照ください。

電子ピアノ音に残響効果(リバーブ)を加える

> [セットアップ] ボタン > “リバーブ”

ピアノの響きは部屋の大きさや材質によって変化し、特に残響はその影響を大きく受けます。本機のリバーブ機能は、室内やコンサートホールでの残響をシミュレートすることにより、臨場感溢れる演奏を楽しむことができます。

メモ

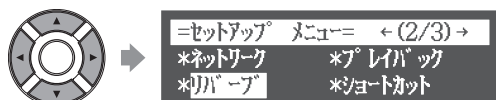
リバーブタイプの設定は、電源を切っても本機に記憶されています。

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

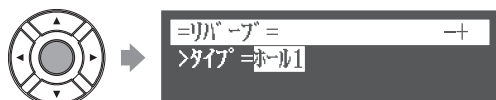
セットアップメニューが表示されます。



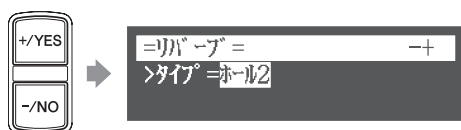
2 カーソルボタンを使って “リバーブ” を選び、[セット] ボタンを押します。



リバーブ設定画面が表示されます。



3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってリバーブタイプを選びます。



■ 選択できるリバーブタイプ

ルーム	一般的な大きさの部屋の残響をシミュレートします。
ホール 1	小さなコンサートホールの残響をシミュレートします。
ホール 2	大きなコンサートホールの残響をシミュレートします。

4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



メモ

リバーブタイプの初期設定は “ホール 1” です。

次ページに続く

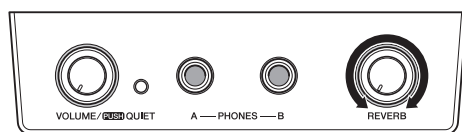
- 5 リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



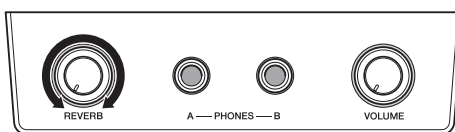
- 6 サイレントピアノ™コントロールボックスの[REVERB]ツマミを使って残響効果のかかり具合を調節します。

時計回りに回すと効果が大きくなり、反時計回りに回すと効果が小さくなります。
反時計回りに回し切ると残響効果は完全になくなります。

■ グランドピアノ



■ アップライトピアノ



鍵盤の動きを止めて再生する

通常、ソングの再生中は音に合わせて鍵盤が動きますが、QuietモードやHeadphoneモード時には、鍵盤の動きを止めることができます。例えば、再生中の曲に独自のアレンジを加えたり、自動演奏との連弾を楽しむことができます。



鍵盤駆動設定はQuietモードおよびHeadphoneモード使用時のみ設定が可能です。



セットアップメニューのプレイバック設定画面でも設定が可能です。

- 1 ソング再生中にリモコンの【機能】ボタンを数回押します。

鍵盤駆動設定画面が表示されます。



- 2 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って設定を“OFF”にします。



応 用 編

より進んだ再生／録音／演奏や、アルバム／ソング／メディアの編集、
各種設定に関する操作を説明します。
よくお読みいただき、本機の多彩な機能をご活用ください。

再生の応用操作

テンポや調を変えて再生したり、繰り返し再生するなど、楽しみの幅を広げる機能を説明します。

テンポを変えて再生する

> [テンポ -] ボタンまたは [テンポ +] ボタン

再生のテンポを必要に応じて調節することができます。難しいフレーズを練習する場合などはテンポを遅く設定すると便利です。

1 リモコンの [テンポ -] ボタンまたは [テンポ +] ボタンを押します。

テンポ設定画面が表示されます。



2 [テンポ -] ボタンまたは [テンポ +] ボタンを使ってテンポを調節します。



再生テンポは-50%~+50%の範囲で、1%単位で調節できます。

[テンポ 0] ボタンを押すと元のテンポに戻ります。



メモ

録音を開始したり、別のメディアやアルバムを選んだり、本機の電源を切るなどすると、テンポの設定は元に戻ります。

メモ

オーディオCDのテンポを変更することはできません。

ここも参照

自分で録音したソングのテンポを変更して保存し、次の再生時に変更したテンポで再生することもできます。詳しくは、「録音した曲のテンポを変える」(78ページ)を参照ください。

メモ

コントロールユニットのダイヤルでテンポを調節することもできます。

移調して再生する

> [移調 -] ボタンまたは [移調 +] ボタン

再生時のキーを上下2オクターブまで移調することができます。ボーカルや他の楽器と合奏する時などに便利です。

1 リモコンの [移調 -] ボタンまたは [移調 +] ボタンを押します。

移調設定画面が表示されます。



メモ

録音を開始したり、別のメディアやアルバムを選んだり、本機の電源を切るなどすると、移調の設定は元に戻ります。

メモ

OMNI IN端子に接続した外部機器で再生される曲や、オーディオCDの曲は移調できません。

2 [移調 -] ボタンまたは [移調 +] ボタンを使ってキーを調節します。



移調の設定は上下2オクターブ（-24キー～+24キー）の範囲で、半音単位で調節できます。

[移調 0] ボタンを押すと元のキーに戻ります。



メモ

コントロールユニットのダイヤルでキーを調節することもできます。

繰り返し再生する(リピート再生)

> [リピート] ボタン

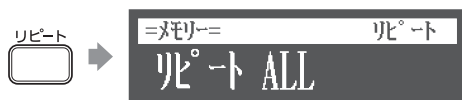
繰り返し再生には3つのリピートモード（ALL、RPT、RND）を利用することができ、好みのソングを繰り返し楽しんだり、練習に活用することができます。

メモ

録音を開始したり、別のメディアやアルバムを選んだり、本機の電源を切るなどすると、リピートモードの設定は元に戻ります。

1 リモコンの [リピート] ボタンを押します。

リピート設定画面が表示されます。



2 [リピート] ボタンを押して、リピートモードを選びます。



■ 選択できるリピートモード

ALL	選んだアルバム全体を繰り返し再生します。
RPT	選んだソングを繰り返し再生します。
RND	選んだアルバムに収録されているソングをランダムに並べ替えて繰り返し再生します。
OFF	繰り返し再生設定を解除します。

3 [再生] ボタンを押すとリピート再生が開始されます。



4 キャンセルしたい場合は、[リピート] ボタンを押して、“OFF” を選びます。



曲中の聴きたい部分だけを繰り返し再生する (A～Bリピート再生)

> [ソング再生中] > [A-B] ボタン

設定した2つのポイント (A、B) の間を繰り返し再生することができます。難しいパートを覚えたり、練習するときに活用できます。

メモ

録音を開始したり、別のソングを選んだり、本機の電源を切るなどすると、リピートの設定は解除されます。

1 ソング再生中にリモコンの [A-B] ボタンを押して、開始位置 (Aポイント) を設定します。

Aポイントが設定されます。

A～Bリピート設定画面が表示され、“B” の文字が点滅します。

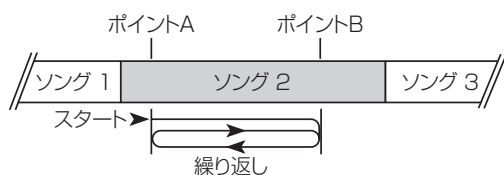


2 もう一度 [A-B] ボタンを押して、終了位置 (Bポイント) を設定します。

Bポイントが設定されます。



ポイントAからポイントBまでの繰り返し再生が開始されます。



メモ

曲をまたいでA～Bリピートを設定することはできません。

3 A～Bリピートを解除する場合は、もう一度 [A-B] ボタンを押します。

ソング再生画面に“OFF”の文字が点滅します。



A～Bリピート設定中に解除したい場合には、[戻る] を押します。

メモ

その他の操作でA～Bリピート設定画面から抜けた場合も、A～Bリピートが解除されます。

聴きたいパートだけを再生する(パートキャンセル)

> [パートセレクト L] ボタンまたは [パートセレクト R] ボタン

左手パート、右手パート、ペダルパートそれぞれに対して再生するパートを指定することが可能です。ひとつのパートをよく聴いてみたい時や、右手、左手どちらか一方のパートを集中的に練習したい時などに便利です。

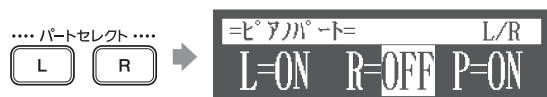
＜右手、左手パートのパートキャンセル設定＞

1 再生するソングを選びます。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 リモコンの [パートセレクト L] ボタンまたは [パートセレクト R] ボタンを押します。

パートキャンセル画面が表示され、押したパートがキャンセルされます。



■ 設定できるパート

L	左手パート
R	右手パート
P	ペダルパート

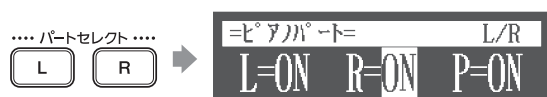
■ 選択できる設定

ON	再生するパート
OFF	キャンセルするパート
G	鍵盤ガイド機能使用(スマートキーソングのみ)
--	収録されていないパート

メモ

スマートキーソングを選んでいる場合は、[パートセレクト L] ボタンまたは [パートセレクト R] ボタンを押すたびに ON→OFF→G の順に設定が表示されます。

3 パートキャンセルを解除したい場合は、解除したいパートのパートセレクトボタンを押して、“ON” に設定します。



4 リモコンの [戻る] ボタンを押します。



ソング再生画面に戻ります。

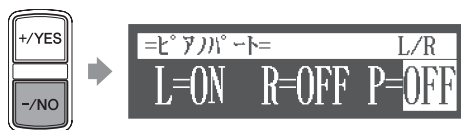
〈ペダルのパートキャンセル設定〉

- 1 パートキャンセル画面でカーソルボタン[▶]を使って“P=”にカーソルを合わせます。



- 2 リモコンの[^ノ−/NO] ボタンを押して、“OFF”を設定します。

ペダルパートがキャンセルされます。



- 3 パートキャンセルを解除したい場合は、カーソルボタン[▶]を使って“P=”にカーソルを合わせ、リモコンの[+/YES] ボタンを押して、“ON”に設定します。



- 4 リモコンの[戻る] ボタンを押します。



ソング再生画面に戻ります。

音量バランスを調節する

> [バランス] ボタン

全体の音量調節とは別に、ピアノ音（アコースティックピアノの打弦音および電子ピアノ音）に対する各音源の音量バランスを調節することができます。

TG: 本機の内蔵電子音源で発音されるアンサンブルパートの音量を調節します。

オーディオ: スマートピアノソフト再生時のオーディオCDの音量を調節します。

ボイス: 内蔵音源の音色を使った演奏時の電子音および消音演奏時の電子ピアノ音の音量を調節します。

＜アンサンブルパートの音量バランスを調節する＞

1 リモコンの [バランス] ボタンを押します。

TG バランス設定画面が表示されます。



2 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってアンサンブルパートの音量を調節します。

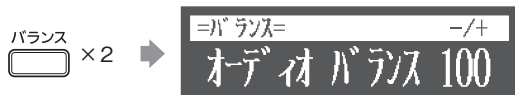


アンサンブルパートの音量は10～127の範囲で調節できます。

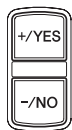
＜オーディオCDの音量バランスを調節する＞

1 リモコンの [バランス] ボタンを2回押します。

オーディオバランス設定画面が表示されます。



2 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってオーディオCDの音量を調節します。



オーディオCDの音量は10～127の範囲で調節できます。

🎵 メモ

DisklavierRadio再生中は、音量バランスを調節できません。

📖 ここも参照

キキホーダイの曲の音量バランスを調整するには、曲をプレイリストに追加してください。プレイリストへの追加方法については、「ソングまたはアルバムをプレイリストに追加する」(106ページ)を参照ください。

📖 ここも参照

音色については、「内蔵音源」(155ページ)を参照ください。

🎵 メモ

コントロールユニットのダイヤルで音量を調節することもできます。

🎵 メモ

コントロールユニットのダイヤルで音量を調節することもできます。

次ページに続く

＜内蔵音源の音色を使って演奏するときの音量バランスを調節する＞

- 1 リモコンの【バランス】ボタンを3回押します。

ボイスバランス設定画面が表示されます。



ここも参照

内蔵音源の音色を使った演奏については、「内蔵音源の音色を使って演奏する」(82ページ)を参照ください。

- 2 ^{イエス}【+/YES】ボタン／^{ノー}【-/NO】ボタンを使って電子音の音量を調節します。



電子音の音量は0～127の範囲で調節できます。

メモ

コントロールユニットのダイヤルで音量を調節することもできます。

オーディオのピッチを調節する

> [ソング再生中] > [機能] ボタン

オーディオCDに収録された音声ピッチがピアノのピッチと異なる場合は、オーディオCDの音声ピッチを一時的に調節することができます。オーディオCDに合わせてピアノを演奏するときなどに便利です。

- 1 ソング再生画面でリモコンの【機能】ボタンを押します。

オーディオピッチの設定画面が表示されます。



- 2 ^{イエス}【+/YES】ボタン／^{ノー}【-/NO】ボタンを使ってオーディオピッチを調節します。



オーディオピッチは半音を100セントとして、-50セント～+50セントの範囲で調節できます。

メモ

録音を開始したり、別のメディアやアルバムを選んだり、本機の電源を切るなどすると、ピッチの設定は元に戻ります。

メモ

OMNI IN端子に接続した外部機器で再生されるオーディオCDには使用できません。

オーディオのステレオバランスを調節する

> [ソング再生中] > [機能] ボタン

オーディオCD再生時のステレオバランスを一時的に変更することができます。

1 ソング再生中にリモコンの【機能】ボタンを2回押します。

オーディオパンの設定画面が表示されます。



2 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってオーディオパンの設定を変更します。



■ 選択できる設定

ヒタリ	Lチャンネルが左右のスピーカーから再生されます。
チュウオウ	Lチャンネルは左のスピーカーから、Rチャンネルは右のスピーカーからそれぞれ再生されます。
ミギ	Rチャンネルが左右のスピーカーから再生されます。

♪ メモ

録音を開始したり、別のソングを選んだり、本機の電源を切るなどすると、ステレオバランスの設定は元に戻ります。

タイマーを使って再生する(タイマープレイ)

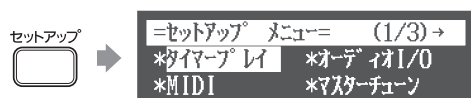
> [セットアップ] ボタン > "タイマープレイ"

あらかじめプログラムを登録して、指定の時刻にソングの再生開始や停止を行うことができます。最大99のプログラムを登録しておくことができます。

ここでの説明は、内蔵メモリーの最初のアルバムを午前8時15分に再生する例です。

1 リモコンの【セットアップ】ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



ここも参照

タイマープレイを使用するには、あらかじめ現在の日時を設定しておく必要があります。設定については、「現在の日時を設定する」(21ページ)を参照ください。

♪ メモ

タイマープレイを使用するには、あらかじめコントロールユニットの電源をオンしておく必要があります。タイマープレイのプログラムではコントロールユニットを起動することはできません。

- 2 カーソルボタンを使って“タイマー プレイ”を選び、[セット] ボタンを押します。

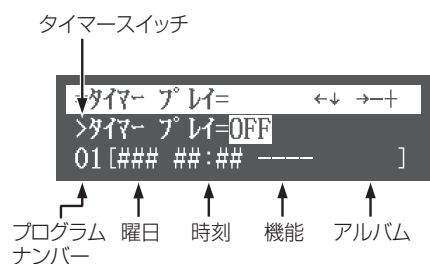


タイマープレイ設定画面が表示されます。



〈タイマー設定画面の読み方〉

タイマー設定画面の項目の読み方を説明します。



- 3 タイマースイッチ項目にカーソルが合っていることを確認し、**[+ / YES]** ボタン / **[- / NO]** ボタンを使って“ON”に設定します。



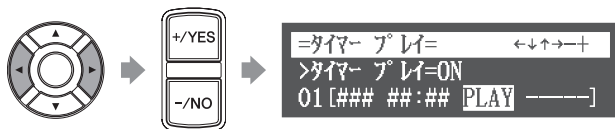
- 4 カーソルボタン[▲][▼]を使って設定したいタイマープレイのプログラム番号を選びます。



[▲][▼]を押すたびに、画面がスクロールしてプログラム番号を選ぶことができます。

5

カーソルボタン[◀] [▶]を使って機能項目にカーソルを合わせ、[+/^{イエス}YES] ボタン / [−/^{ノー}NO] ボタンを使って機能を選びます。



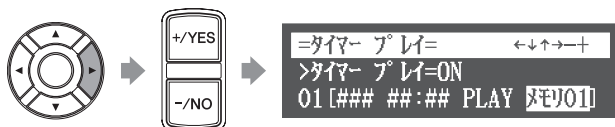
■ 設定できる機能

PLAY	再生を開始します。
STOP	再生を停止します。
RND	選んだアルバム／プレイリスト内のソングをランダムに再生します。
OFF	電源を切ります (スタンバイモード)。
----	設定されていない状態です。

“PLAY” または “RND” を選ぶと、アルバム項目が表示されます。

6

カーソルボタン[▶]を押して、アルバム項目にカーソルを合わせ、[+/^{イエス}YES] ボタン / [−/^{ノー}NO] ボタンを使ってアルバムを選びます。



■ 選択できるアルバム

メモリ01 - メモリ99	内蔵メモリー内のアルバム (01～99) を再生します。
リスト01 - リスト99	内蔵メモリー内のプレイリスト (01～99) を再生します。
Radio	最後に聴いていたDisklavierRadioチャンネルを再生します。
----	現在選んでいるソングを再生します。

メモ

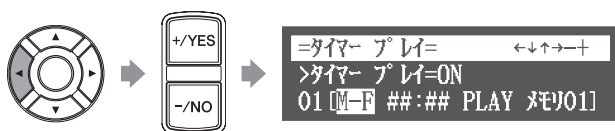
手順5で “RND” を選んだときは、“Radio” を選べません。

メモ

“Radio” を選んだときは、指定した時刻の1分前にインターネットに接続し、チャンネル選択画面が表示されます。指定した時刻になると、DisklavierRadioが再生されます。

7

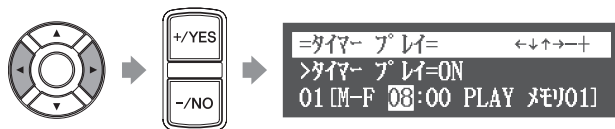
カーソルボタン[◀]を押して、曜日項目にカーソルを合わせ、[+/^{イエス}YES] ボタン / [−/^{ノー}NO] ボタンを使って曜日を設定します。



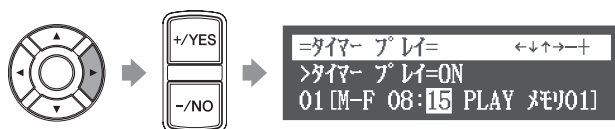
■ 設定できる曜日

###	設定されていない状態です。
ALL	毎週指定した時刻にタイマープレイが作動します。
MON	毎週月曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
TUE	毎週火曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
WED	毎週水曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
THU	毎週木曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
FRI	毎週金曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
SAT	毎週土曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
SUN	毎週日曜日の指定した時刻にタイマープレイが作動します。
M - F	月曜日から金曜日までの指定した時刻にタイマープレイが作動します。
M - S	月曜日から土曜日までの指定した時刻にタイマープレイが作動します。

- 8 カーソルボタン[◀][▶]を使って時数項目にカーソルを合わせ、[+/^{イエス}YES]ボタン/[−/^{ノー}NO]ボタンを使って時数を設定します。



- 9 カーソルボタン[▶]を押して、分数項目にカーソルを合わせ、[+/^{イエス}YES]ボタン/[−/^{ノー}NO]ボタンを使って分数を設定します。



- 10 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



- 11 リモコンの[セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



〈 再生待機画面の表示 〉

タイマースイッチを“ON”にすると、再生待機画面に表示されている現在時刻の右側に“T”の文字が点滅表示されます。



↑
タイマースイッチが“ON”の時に
“T”の文字が点滅

曲頭の無音部分を自動的にスキップする

> [セットアップ] ボタン > “プレイバック”

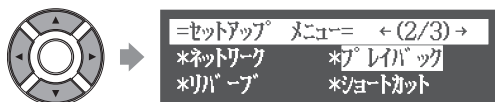
録音された曲の最初に無音部分がある場合、この機能を使って無音部分をスキップし、実際の曲の始めから再生を始めることができます。

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

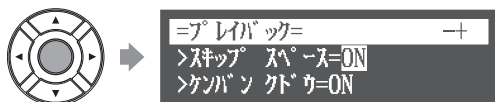
セットアップメニューが表示されます。



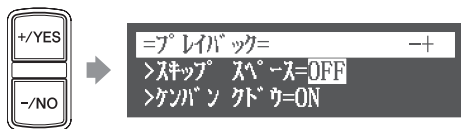
2 カーソルボタンを使って“プレイバック”を選び、[セット] ボタンを押します。



プレイバック設定画面が表示されます。



3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って設定を変更します。



■ 選択できる設定

ON	無音部分をスキップします。
OFF	無音部分をスキップしません。

4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



5 リモコンの [セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



鍵盤ガイド機能を使って演奏する(スマートキー再生)

> [スマートキーソングを選択] > [再生] ボタン

初心者向けに演奏をリードする機能です。弾きたい曲をスマートキーソングの中から選んで再生すると、鍵盤がわずかに動き、次に弾く鍵盤を「教えて」くれます。その通りに鍵盤を弾いていくことで曲の演奏が進み、曲の練習をすることができます。

ここも参照

スマートキー再生をキャンセルするには、「聴きたいパートだけを再生する(パートキャンセル)」(61ページ)を参照ください。

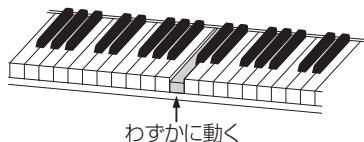
1 スマートキーソングを選びます。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 [再生] ボタンを押します。



最初に弾くべき鍵盤がわずかに動きます。



ソング再生画面の左下には弾くべき鍵盤が番号で表示されます。



3 わずかに動いた鍵盤を弾いていきます。

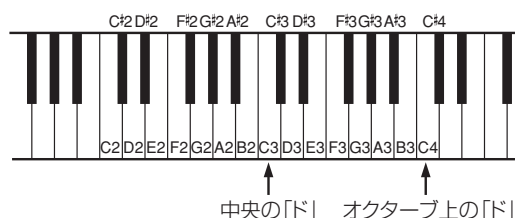
示した通りの鍵盤が弾かれると、次に弾く鍵盤が動きます。正しい鍵盤が弾かれるまで、繰り返し次に弾く鍵盤が動きます。この動作を、曲の最後まで繰り返します。

メモ

スマートキーソングの再生では、1曲ごとに再生が停止します。

＜鍵盤の配列＞

「C3」は中央にある「ド」の音を指します。「C4」はその1オクターブ上の「ド」を指します。



録音の応用操作

メトロノームでテンポを確かめながら録音したり、右手左手のパートを別々に録音するなど、録音を補助する機能を説明します。

内蔵メトロノームに合わせて録音する

> [メトロノーム] ボタン > [録音] ボタン

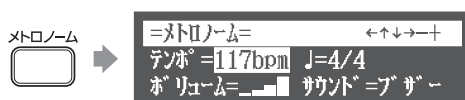
拍子とテンポを設定し、メトロノームに合わせて演奏を録音することができます。正確なリズムを確かめながら録音したい時や、一定のテンポを維持しながら録音をしたい時などに便利です。

メモ

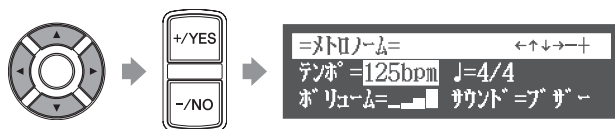
テンポの設定値は毎分の拍数 (bpm) で指定します。拍子の設定値は1小節に入る4分音符の数で指定しますので、それ以外の拍子を指定する場合は4分音符に換算した拍子で指定してください。(3/2拍子の場合は6/4拍子を指定します。)

1 リモコンの [メトロノーム] ボタンを押します。

メトロノーム設定画面が表示され、メトロノームが鳴り始めます。

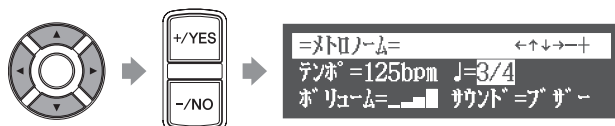


2 カーソルボタンを使ってテンポの設定値(“テンポ”)にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使ってテンポを調節します。



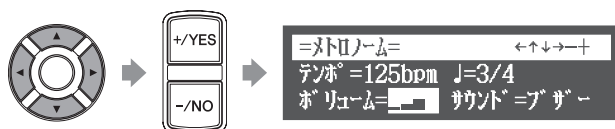
テンポは30bpm～400bpmの範囲で設定できます。

3 カーソルボタンを使って拍子の設定値(“J”)にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使って拍子を設定します。



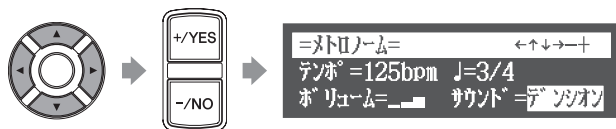
設定できる拍子は、1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、8/4、9/4です。

4 カーソルボタンを使って音量の設定値(“ボリューム”)にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使って音量を調節します。



メトロノームの音量は4段階で設定できます。

- 5 カーソルボタンを使って音源の設定値（“サウンド”）にカーソルを合わせ、
[+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってサウンドを設定します。



設定できる音源はブザーまたはデンシオンです。

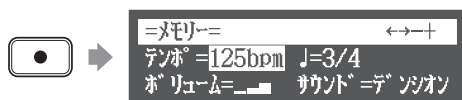
- | | |
|--------------|--|
| ブザー | コントロールユニットの内蔵スピーカーから、ブザー音でメトロノームが鳴ります。 |
| デンシオン | アンプ内蔵スピーカー（別売）から、XG音源でメトロノームが鳴ります。 |

メモ

QuietモードまたはHeadphoneモード時は、音源の設定はできません。

- 6 [録音] ボタンを押します。

メトロノーム録音設定画面が表示されます。



- 7 [再生] ボタンを押します。



録音が始まります。

メトロノームの1拍目でコントロールユニットの[再生/一時停止] ボタン、[録音] ボタン、[SELECT] ボタンが同時に点灯します。



- 8 ピアノ演奏を始めます。

- 9 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。



録音した曲が読み込まれ、停止状態になります。

左手パートと右手パートを別々に録音する

> [録音] ボタン > [機能] ボタン

L/Rソングで録音をすれば、右手パート、左手パートいずれか一方とペダルパートを先に録音し、先に録音したパートを再生しながらもう一方のパートを後から録音することができます。

通常のテンポでは演奏が難しいパートは、ゆっくりしたテンポで録音し、後から通常のテンポでもう一方のパートを録音することもできます。

ここでは左手パートを先に録音し、右手パートを次に録音する方法を説明します。

1 録音先のメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 [録音] ボタンを押します。



3 録音待機画面で [機能] ボタンを押します。

録音パート選択画面が表示されます。



4 左手パートが録音される状態になっていること(“L=REC”)を確認し、[再生] ボタンを押します。



左手パートの録音待機状態になります。

5 ピアノ演奏を始めます。

鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。

6 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。



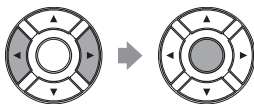
左手パートを録音したL/Rソングが、アルバムに保存されます。
次に、たった今録音した左手パートに重ねながら、右手パートを録音します。

次ページに続く

7 [録音] ボタンを押します。



8 カーソルボタン[◀] [▶] を使って先程左手パートを録音したL/Rソングを選び、[セット] ボタンを押します。



9 録音待機画面で[機能] ボタンを押します。

録音パート選択画面が表示されます。



すでに録音している左手パートは“L=PLY”と表示されます。

10 [パートセレクト R] ボタンを押して、右手パートを“REC”に設定します。



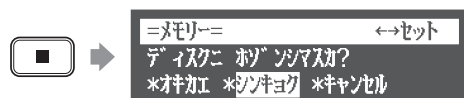
11 [再生] ボタンを押します。



先程録音した左手パートが再生されます。それに合わせて右手パートを演奏してください。

12 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。

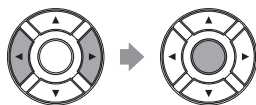
保存オプションの選択画面が表示されます。



■ 設定内容

オキカエ	先に録音したパートのソングに今録音したパートが追加され、上書き保存されます。
シンキョク	今録音したパートが新しいソングとして保存されます。先に録音したパートは別のソングとして残ります。
キャンセル	今録音したパートは保存されず破棄されます。先に録音したパートのソングはそのまま残ります。

- 13 カーソルボタン[◀] [▶]を使ってオプションを選び、[セット] ボタンを押します。



右手パートの演奏が保存またはキャンセルされます。

音域をわけて左手パートと右手パートを同時に録音する

> [録音] ボタン > [機能] ボタン

左手パートと右手パートを区分する境界点「スプリットポイント」を設定し、両方のパートを同時に録音することができます。この場合、スプリットポイントから左にある鍵盤が左手パート、右にある鍵盤が右手パートとして録音されます。

- 1 録音先のメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

- 2 [録音] ボタンを押します。



- 3 録音待機画面で [機能] ボタンを押します。

録音パート選択画面が表示されます。



- 4 [パートセレクト R] ボタンを押して、どちらのパートも“REC”に設定します。

どちらのパートも“REC”に設定すると、スプリットポイントの設定画面が表示されます。

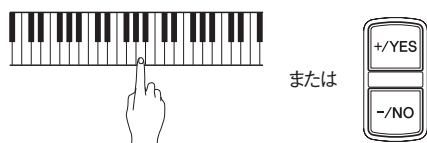


スプリットポイントの初期設定は「C3」になっています。この場合、C3を含め左側の鍵盤が左手パートとして、右側が右手パートとして録音されます。



次ページに続く

- 5 鍵盤で直接指定するか、**[+ / YES]** ボタン / **[- / NO]** ボタンを使ってスプリットポイントを変更します。



スプリットポイントはA-1～C7の範囲で設定できます。

- 6 **[再生]** ボタンを押します。



録音待機状態になります。

- 7 左手パート、右手パート、ペダリングすべての演奏を開始します。

鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。

- 8 演奏し終わったら、**[停止]** ボタンを押します。



録音したソングが読み込まれ、再生待機状態になります。

パートを再録音する

> **[録音]** ボタン > **[L/Rソングを選択]** > **[パートセレクト L]** ボタンまたは **[パートセレクト R]** ボタン

すでに録音してあるL/Rソングの左手パートまたは右手パートを再録音することができます。

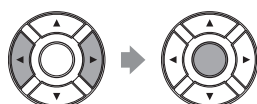
- 1 再録音するL/Rソングが保存されているメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

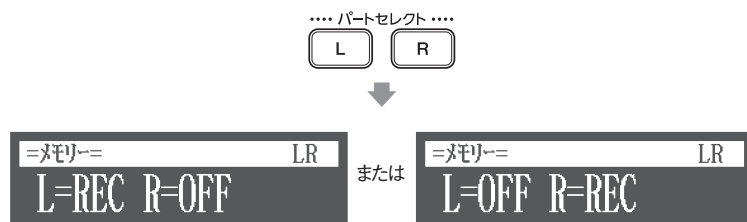
- 2 **[録音]** ボタンを押します。



- 3 カーソルボタン**[◀]****[▶]**を使って録音し直したいL/Rソングを選び、**[セット]** ボタンを押します。



- 4 **【パートセレクト L】ボタンまたは【パートセレクト R】ボタンを押して、再録音するパートを選びます。**



“REC” に設定されたパートが録音されます。

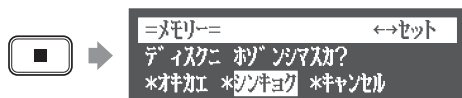
- 5 **【再生】ボタンを押します。**



録音が始まりますので、選んだパートの演奏を始めます。

- 6 **演奏し終わったら、【停止】ボタンを押します。**

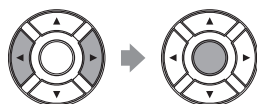
保存オプションの選択画面が表示されます。



■ 設定内容

オキカエ	選んだソングに今録音し直したパートが上書き保存されます。
シンク	今録音し直したパートが新しいソングとして保存されます。選んだソングはそのまま残ります。
キャンセル	今録音したパートは保存されず破棄されます。選んだソングはそのまま残ります。

- 7 **カーソルボタン【◀】【▶】を使ってオプションを選び、【セット】ボタンを押します。**



再録音したパートの演奏が保存またはキャンセルされます。

録音した曲のテンポを変える

> [録音] ボタン > [ソングを選択] > [機能] ボタン × 3

録音したソングのテンポを変更し、設定情報とともに保存し直すことで次回以降再生時にはそのテンポで再生されるように設定することができます。このテンポ設定保存機能は一時的なテンポの設定（7章「再生の応用操作 - テンポを変えて再生する」参照）とは違い、録音を開始したり、別のメディアやアルバムを選んだり、本機の電源を切るなどしても設定が元に戻ることはありません。

テンポ設定は何度でも変更することができます。

テンポ変更の設定値は、設定するソングのカウンター表示の設定によって異なります。カウンター表示が小節・拍になっている場合は毎分の拍数 (bpm) で、演奏時間になっている場合はそのソングの演奏時間に対するパーセンテージ (%) で、それぞれ設定します。

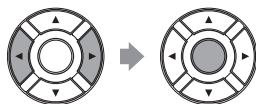
1 メディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ) を参照ください。

2 [録音] ボタンを押します。



3 カーソルボタン[◀][▶]を使ってテンポを変更したいソングを選び、[セット] ボタンを押します。



4 [機能] ボタンを3回押します。



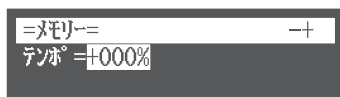
■ カウンター表示が小節・拍になっている場合

現在のテンポが毎分の拍数 (bpm) で表示されます。



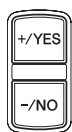
■ カウンター表示が演奏時間になっている場合

現在のテンポがパーセンテージ (%) で表示されます。



録音したソングの拍子の設定を変更することはできません。

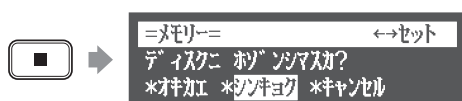
5 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってテンポを変更します。



[+ / YES] ボタンでテンポが速くなり、[- / NO] ボタンでテンポが遅くなります。
 カウンター表示が小節・拍の場合は、30bpm～400bpmの範囲で設定できます。
 カウンター表示が演奏時間の場合は、-75%～+242%の範囲で設定できます。

6 テンポを変更し終わったら、[停止] ボタンを押します。

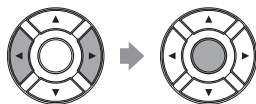
保存オプションの選択画面が表示されます。



■ 設定内容

オキカエ	選択中のソングにテンポ設定が上書き保存されます。
シンキョク	テンポ設定された新しいソングが保存されます。変更前のソングはそのまま残ります。
キャンセル	変更したテンポ設定は保存されず、変更前のソングがそのまま残ります。

7 カーソルボタン[◀] [▶] を使ってオプションを選び、[セット] ボタンを押します。



テンポ設定を変更したい場合や、元のテンポに戻したい場合は1～6の手順で設定し直してください。

演奏の応用操作

メトロノームでテンポを確かめながら演奏したり、電子音を鳴らしながら演奏する機能を説明します。

内蔵メトロノームに合わせて演奏する

> [メトロノーム] ボタン

内蔵メトロノームを使用すれば、正確なリズムとテンポに合わせて演奏することができます。内蔵メトロノームの音量も設定できます。

メモ

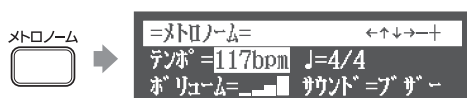
メトロノーム設定のテンポの設定値は毎分の拍数 (bpm) で指定します。拍子の設定値は1小節に入る四分音符の数で指定しますので、それ以外の拍子を指定する場合は4分音符に換算した拍子で指定してください。(3/2拍子の場合は6/4拍子を指定します。)

メモ

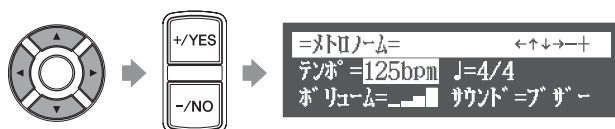
メトロノーム音は、アコースティックモード時はコントロールユニット内のスピーカーから、Headphoneモード時はヘッドフォンから出ます。

1 リモコンの [メトロノーム] ボタンを押します。

メトロノーム設定画面が表示され、メトロノームが鳴り始めます。

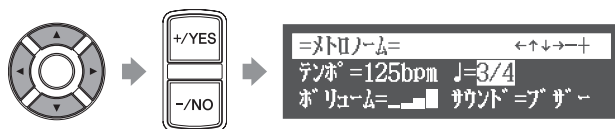


2 カーソルボタンを使ってテンポの設定値 (“テンポ”) にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使ってテンポを調節します。



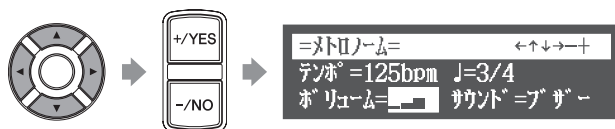
テンポは30bpm～400bpmの範囲で設定できます。

3 カーソルボタンを使って拍子の設定値 (“J”) にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使って拍子を設定します。



設定できる拍子は、1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、8/4、9/4です。

4 カーソルボタンを使って音量の設定値 (“ボリューム”) にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使って音量を調節します。

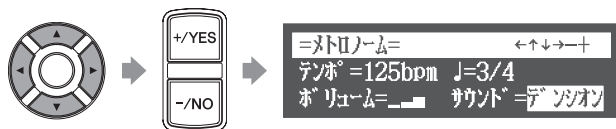


メトロノームの音量は4段階で設定できます。

🎵 メモ

QuietモードまたはHeadphoneモード時は、音源の設定はできません。

- 5 カーソルボタンを使って音源の設定値（“サウンド”）にカーソルを合わせ、
[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使ってサウンドを設定します。



設定できる音源はブザーまたはデンションです。

- | | |
|--------------|--|
| ブザー | コントロールユニットの内蔵スピーカーから、ブザー音でメトロノームが鳴ります。 |
| デンション | アンプ内蔵スピーカー（別売）から、XG音源でメトロノームが鳴ります。 |

- 6 キャンセルしたい場合は、もう一度 [メトロノーム] ボタンを押します。



内蔵音源の音色を使って演奏する

> [音色] ボタン

本機の音色機能を使用すれば、ピアノ演奏に合わせて内蔵XG音源の電子音を鳴らすことができます。

電子音は480種類の楽器と11種類のドラムキットの中から選ぶことができます。

音色グループ・音色については、「内蔵音源」(155ページ)を参照ください。

メモ

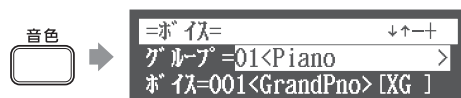
音色機能がオンの状態で鍵盤を弾くと、アコースティックピアノ音とXG音源の音色が両方鳴ります。

ここも参照

選んだ音色のみで演奏する場合は、「Quietモード／Headphoneモード時の演奏音色を選ぶ」(54ページ)を参照ください。

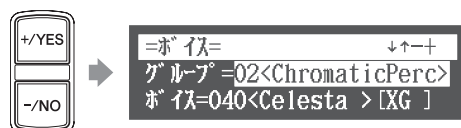
1 リモコンの[音色] ボタンを押します。

音色選択画面が表示されます。

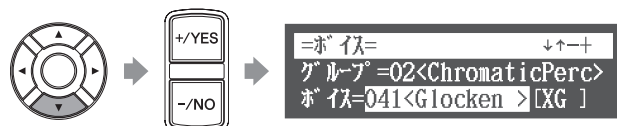


2 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンで音色グループを選びます。

音色グループを変更すると、そのグループの先頭の音色が表示されます。



3 カーソルボタン[▼]を押して、音色名にカーソルを合わせ、[+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンで音色を選びます。



必要に応じて音色の音量バランスを調節してください。

ここも参照

音量バランスについては、「音量バランスを調節する」(63ページ)を参照ください。

4 音色機能をオフにしたい場合は、もう一度[音色] ボタンを押します。



メモ

その他の操作で音色選択画面から抜けた場合も、音色機能がオフになります。

ビデオ同時録再

ピアノ演奏の録音時にビデオカメラで撮影した映像を、ピアノ演奏に合わせて再生することができます。演奏者の姿勢や指づかい、指・手首の動き、腕の使い方などの映像がついた状態で再生することにより、演奏をよりリアルに再現することができます。

ビデオ同時録音

＞ [セットアップ] ボタン ＞ “オーディオ I/O” ＞ ビデオカメラ、DVDレコーダーを接続

本機にビデオカメラとDVDレコーダーを接続して、映像を撮影しながらソングを録音します。録音後はビデオ映像に合わせてピアノ演奏を再生をすることができます。

ここではDVDレコーダーを使用した録音方法を説明します。

ここも参照

ビデオ同時再生については、「ビデオ同時再生」(87ページ)を参照ください。

＜ビデオカメラ、DVDレコーダー、本機を準備する＞

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



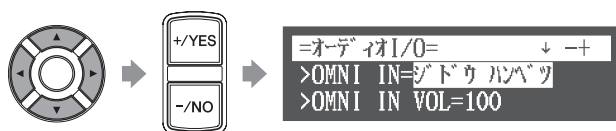
2 カーソルボタンを使って“オーディオ I/O”を選び、[セット] ボタンを押します。



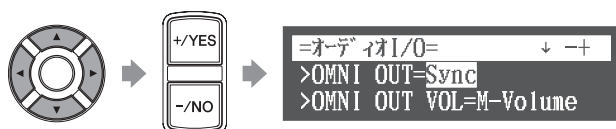
オーディオ I/O 設定画面が表示されます。



3 カーソルボタンを使って“OMNI IN”にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [−/NO] ボタンを使って“ジドウハンベツ”を選びます。



4 カーソルボタンを使って“OMNI OUT”にカーソルを合わせ、[+/YES] ボタン / [−/NO] ボタンを使って“Sync”を選びます。



ビデオ同時録再

F 設定し終わったら、**[セット]** ボタンを押します。

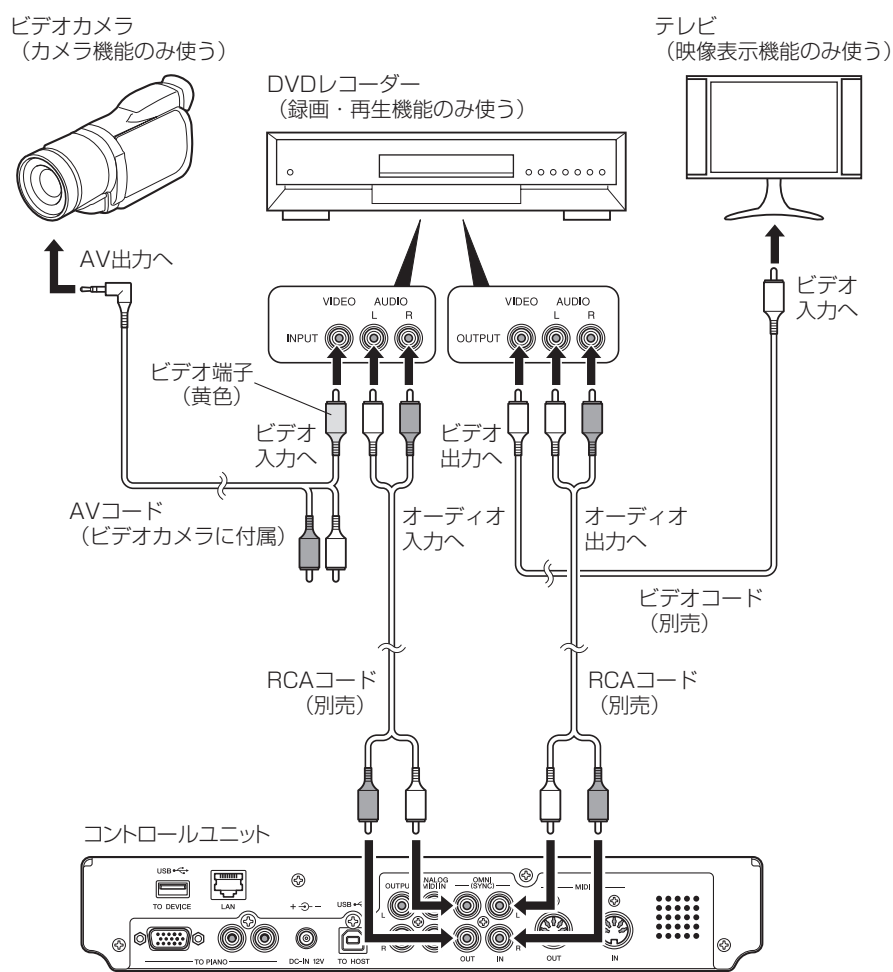
セットアップメニューに戻ります。



6 リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



7 ビデオカメラ、DVDレコーダーを本機に接続します。



メモ

お手持ちのビデオカメラ、DVDレコーダーの入出力端子をご確認のうえ、端子形状にあったケーブルをご用意ください。

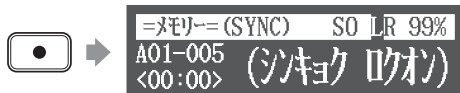
〈ビデオ同時録音を開始する〉

1 録音先のメディアとアルバムを選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 [録音] ボタンを押します。

録音待機画面が表示され、コントロールユニットの[録音] ボタンが赤く点灯し、[再生／一時停止] ボタンが緑色に点滅します。

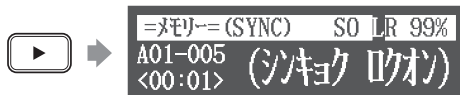


3 ビデオカメラをビデオ撮影モードにします。

4 DVDレコーダーでビデオカメラを接続したビデオ入力を選び、録画を開始します。

5 [再生] ボタンを押します。

コントロールユニットの[再生／一時停止]ボタンの点滅が止まり、カウンターが動き始めます。



6 10秒ほど待ってから、ピアノ演奏を始めます。

同期信号を使用するため、この手順が必要となります。必ず10秒ほど待ってからピアノ演奏を始めてください。

7 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。

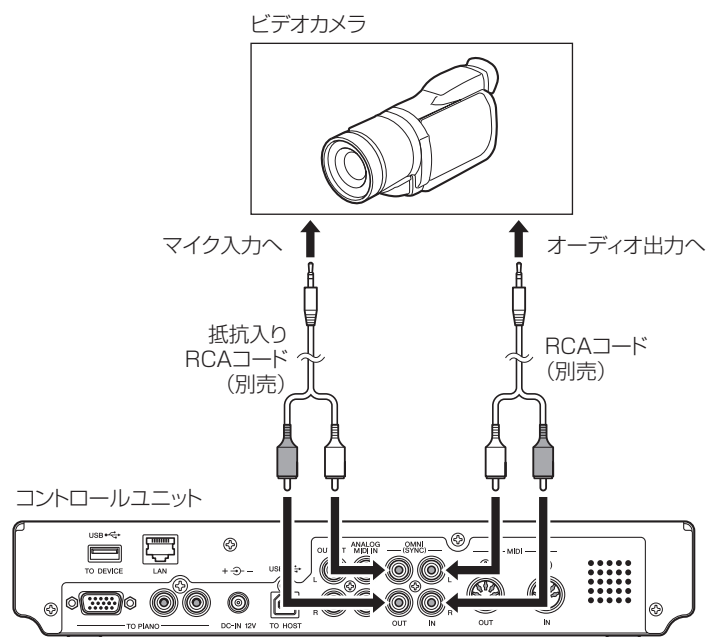


8 DVDレコーダーの録画を停止します。

■ ビデオカメラのみを使ったビデオ同時録音

マイク入力端子とオーディオ出力端子があるビデオカメラをお持ちの場合は、ビデオカメラのみでビデオ同時録音が可能です。

- 1 くビデオカメラ、DVDレコーダー、本機を準備するくの手順1～5で接続設定を行います。
- 2 ビデオカメラを本機に接続します。



- 3 録音先のメディアとアルバムを選びます。
- 4 [録音] ボタンを押します。
- 5 ビデオカメラの録画を開始します。
- 6 [再生] ボタンを押します。
- 7 10秒ほど待ってから、ピアノ演奏を始めます。
- 8 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。
- 9 ビデオカメラの録画を停止します。

ビデオ同時再生

DVDレコーダーで録画したビデオ映像に合わせて、ピアノ演奏を再生します。

1 ビデオ同時録音したソングをあらかじめ用意します。

2 ビデオ同時録再の接続設定が完了していることを確認します。

3 DVDレコーダーの音声出力がテレビに接続されている場合は、テレビの音量を0にします。

ビデオカメラのみを使用する場合は、ビデオカメラの音量を0にします。

4 DVDレコーダーで再生を開始します。

ビデオカメラのみを使用する場合は、ビデオカメラで再生を開始します。

ビデオ同時再生の対象ソングを本機が自動的に検索して、ビデオ同時再生を開始します。

メモリー (SYNC) SO V+00
A01-005 PIANO005. MID
<00:03>

〈ビデオ映像とピアノ演奏がずれているときは〉

ビデオ映像に対するピアノ演奏のタイミングを調整してください。調整方法については、「オーディオ信号の入出力を設定する」(125ページ)を参照ください。

〈再生時に「ピー」という信号が聴こえるときは〉

同期用信号のレベルを下げて、録音しなおしてください。調整方法については、「オーディオ信号の入出力を設定する」(125ページ)を参照ください。

🎵 メモ

再生の前に、ビデオを録画開始した位置まで戻してください。途中からビデオを再生した場合は、ピアノの演奏開始までに時間がかかることがあります。

🔗 ここも参照

接続設定については、「ビデオカメラ、DVDレコーダー、本機を準備する」(83ページ)を参照ください。

🎵 メモ

パソコンなどでUSBフラッシュメモリーにコピーしたソングを使用する場合、本機が同期情報を取得するまでに時間がかかることがあります。保存されているソングの数により異なりますが、約1分間ほどお待ちください。

🎵 メモ

ビデオ同時再生の対象ソングをUSBフラッシュメモリーから検索する場合、ひとつのUSBフラッシュメモリーからの検索数は最大で150曲となります。そのため、ビデオ同時再生の対象ソングを保存するときは、内蔵メモリーにコピーすることをおすすめします。また、USBフラッシュメモリーに保存する場合は、ひとつのUSBフラッシュメモリー内の合計ソング数が150曲以下となるように保存することをおすすめします。

🎵 メモ

ビデオ同時再生中は、コントロールユニットやリモコンで本機を操作することはできません。ソングの再生を停止するときは、DVDレコーダー(またはビデオカメラ)側で再生を停止します。

市販のオーディオCDに合わせてピアノ演奏を再生するスマートピアノソフト (SPS) ソングの録音・再生機能を説明します。

CD同時録音

> CDの挿入 > [録音] ボタン

市販のオーディオCDに合わせて再生されるピアノ演奏を録音することができます。

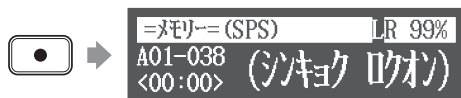
1 録音先のメディアとアルバムを選び、そのなかのソングを1曲選びます。

メディアとアルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

2 オーディオCDを挿入し、ピアノ演奏と合わせて再生させる曲を選びます。

3 [録音] ボタンを押します。

スマートピアノソフト録音待機画面が表示され、コントロールユニットの[録音] ボタンが赤く点灯し、[再生/一時停止] ボタンが緑に点滅します。



4 [再生] ボタンを押して、同時録音を開始します。



CDの再生に合わせて、録音が始まります。

5 CDの再生に合わせて、ピアノを演奏します。

6 演奏し終わったら、[停止] ボタンを押します。



録音したスマートピアノソフト (SPS) ソングが読み込まれ、再生待機状態になります。

メモ

ソングを選ぶことにより、本機はCD同時録音を行ったときの録音先のアルバムを認識します。選ばれたソング自体が書き換えられることはありません。

CD同時再生

> **CDの挿入** > **[再生] ボタン**

市販のオーディオCDに合わせて、ピアノ演奏を再生させることができます。

1 スマートピアノソフト (SPS) ソングに対応する曲が収録されたオーディオCDを挿入します。

2 スマートピアノソフト (SPS) ソングを選びます。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

3 **[再生]** ボタンを押します。

オーディオCDに合わせて、スマートピアノソフト (SPS) ソングの再生が開始されます。



アルバム／ソング／プレイリストの編集

アルバム、ソング、プレイリストなど、メディア内のコンテンツの編集機能を説明します。

アルバムを編集する

本機には、アルバムを効率良く管理するための、便利な編集機能が備わっています。使用できる機能は以下のとおりです。操作方法については、それぞれの解説ページを参照ください。

アルバム コピー	アルバムのコピーを作成します。	90ページ
アルバム ショウキョ	アルバムを消去します。	92ページ
アルバム サクセイ	新しいアルバムを作成します。	93ページ
タイトル ヘンコウ	アルバムのタイトルを変更します。	94ページ
アルバム ソート	アルバムのメディア内での順番を変更します。	95ページ
プレイリスト ツイカ	アルバムをプレイリストに追加します。	106ページ
リスト ショウキョ	プレイリストを消去します。	107ページ
リスト サクセイ	新しいプレイリストを作成します。	108ページ

メモ

使用できる機能は選んでいるメディアによって異なります。

ここも参照

プレイリストについては、「プレイリストを編集する」(106ページ)を参照ください。

アルバムをコピーする

> [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > "アルバムコピー"

別のメディアにアルバムのコピーを作成することができます。

利用可能メディア: [メモリー]、[CD] (CD-ROM)、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

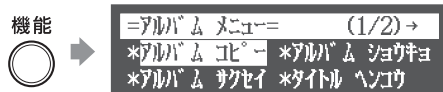
メモ

作成できるアルバムの数は99までです。

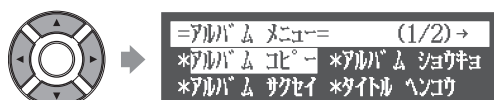
1 アルバム選択画面でコピーしたいアルバムを表示させて、[機能] ボタンを押します。

アルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って "アルバムコピー" を選び、[セット] ボタンを押します。

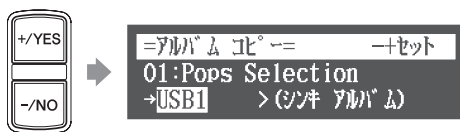


アルバムコピー画面が表示されます。



3

[+/^{イエス}YES] ボタン / [-/^{ノー}NO] ボタンを使って保存先メディアを選びます。



4

■ 新しいアルバムとしてコピーを作成する場合

[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



■ 別のアルバムにコピーする場合

カーソルボタン [▶] を押して、アルバム項目にカーソルを移動し、
[+/^{イエス}YES] ボタン / [-/^{ノー}NO] ボタンを使ってアルバムを選び、
[セット] ボタンを押します。



“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



5

[+/^{イエス}YES] ボタンを押して、アルバムをコピーします。キャンセルする場合は [-/^{ノー}NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

アルバムを消去する

> [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “アルバムショウキョ”

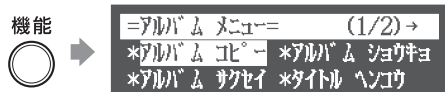
アルバムを消去することができます。

利用可能メディア: [メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

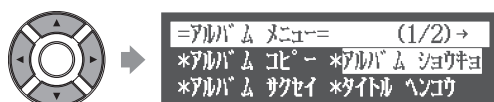
- 1 アルバム選択画面で消去したいアルバムを表示させて、[機能] ボタンを押します。

アルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“アルバム ショウキョ”を選び、[セット] ボタンを押します。



アルバム消去画面が表示されます。



- 3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 4 [+ / YES] ボタンを押して、アルバムを消去します。キャンセルする場合には [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

アルバムを作成する

> [メディア選択画面] > [アルバムを作成したいメディア] > [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “アルバムサクセイ”

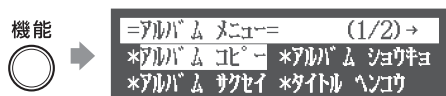
新しいアルバムを作成することができます。

利用可能メディア：[メモリー]、[USB1]、[USB2]

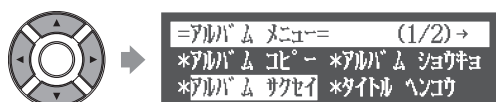
- 1 メディア選択画面でアルバムを作成したいメディアを選び、選んだメディアのアルバム選択画面で[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“アルバム サクセイ”を選び、[セット] ボタンを押します。



アルバム作成画面が表示されます。



- 3 [セット] ボタンを押します。

アルバムタイトル入力画面が表示されます。



- 4 アルバムタイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、「文字の入力」(41ページ)を参照ください。

メモ

作成できるアルバムの数は99までです。

メモ

既存のアルバムと同じタイトルをつけた場合、タイトルのあとに“XX”が追加されます(“XX”は数字を表わしています)。

5 タイトルを入力し終わったら、[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



6 [+ / YES] ボタンを押して、アルバムを作成します。キャンセルの場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

アルバムタイトルを変更する

> [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “タイトルヘンコウ”

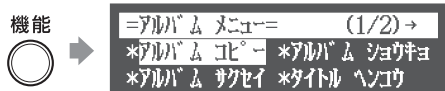
アルバムのタイトルを変更することができます。

利用可能メディア：[メモリー]

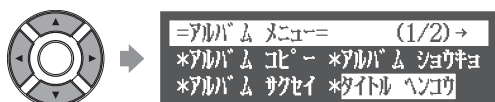
1 アルバム選択画面でタイトルを変更したいアルバムを表示させて、[機能] ボタンを押します。

アルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“タイトル ヘンコウ”を選び、[セット] ボタンを押します。



タイトル変更画面が表示されます。



3 [セット] ボタンを押します。

アルバムタイトル入力画面が表示されます。



4 アルバムタイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、「文字の入力」(41ページ)を参照ください。

5 タイトルを入力し終わったら、[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



6 [+ / YES] ボタンを押して、タイトルを変更します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

アルバムの順番を入れ替える

> [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “アルバムソート”

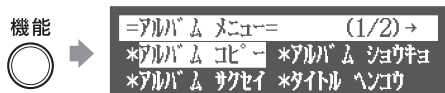
アルバムのメディア内での順番を変更することができます。

利用可能メディア：[メモリー]

1 アルバム選択画面で順番を変更したいアルバムを表示させて、[機能] ボタンを押します。

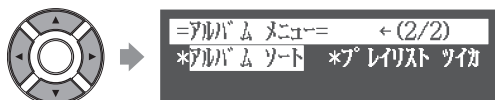
アルバムの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



次ページに続く

- 2 カーソルボタンを使って“アルバム ソート”を選び、[セット] ボタンを押します。



アルバムソート画面が表示されます。



- 3 カーソルボタン[▲][▼]を使ってアルバムの位置を移動します。



- 4 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 5 [+ / YES] ボタンを押して、アルバムの順番を変更します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

ソングを編集する

本機には、ソングを効率良く管理するための、便利な編集機能が備わっています。使用できる機能は以下のとおりです。操作方法については、それぞれの解説ページを参照ください。

ソングコピー	ソングのコピーを作成します。	🔗 97ページ
ソングショウキョ	ソングを消去します。	🔗 98ページ
タイトルヘンコウ	ソングのタイトルを変更します。	🔗 99ページ
ソングソート	ソングのアルバム内での順番を変更します。	🔗 101ページ
プレイリストツイカ	ソングをプレイリストに追加します。	🔗 106ページ
ソングヘンカン	ソングのフォーマットを変換します。	🔗 102ページ
カウンターヘンコウ	ソングのカウンター表示の方法を変更します。	🔗 103ページ
ストリップXP	標準的なMIDIデータに変換します。	🔗 105ページ

🎵 メモ

使用できる機能は選んでいるメディアによって異なります。

🎵 メモ

使用できる機能がない場合やアルバム内にソングがない場合は、ソング機能メニューは表示されません。

🔗 ここも参照

プレイリストについては、「プレイリストを編集する」(106ページ)を参照ください。

ソングをコピーする

> [ソング選択画面] > [機能] ボタン > "ソング コピー"

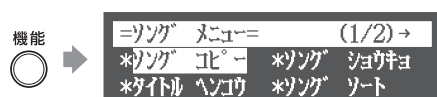
アルバムを指定してソングのコピーを作成することができます。

利用可能メディア: [メモリー]、[CD] (CD-ROM)、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

1 ソング選択画面でコピーしたいソングを表示させて、[機能] ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

ソング機能メニューが表示されます。



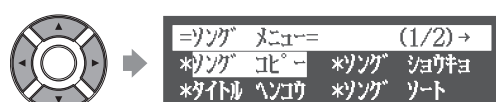
🎵 メモ

ピアノソフトソングのようなコピープロテクトのかかったソングを、リムーバブルメディアにコピーすることはできません。

🎵 メモ

保存できるソング数は999までです。

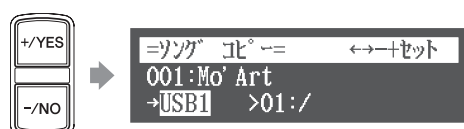
2 カーソルボタンを使って"ソング コピー"を選び、[セット] ボタンを押します。



ソングコピー画面が表示されます。

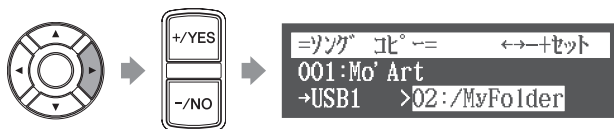


3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って保存先メディアを選びます。



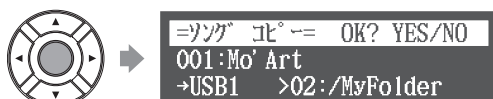
次ページに続く

- 4 カーソルボタン[▶]を押して、アルバム項目にカーソルを移動し、[+/^{イエス}YES]ボタン／[-/^{ノー}NO]ボタンを使ってアルバムを選びます。



- 5 [セット]ボタンを押します。

“OK?”の文字が画面最上段に点滅します。



- 6 [+/^{イエス}YES]ボタンを押して、ソングをコピーします。キャンセルする場合は[-/^{ノー}NO]ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

ソングを消去する

> ソング選択画面 > [機能]ボタン > “ソング ショウキョ”

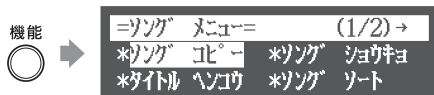
アルバム内のソングを消去することができます。

利用可能メディア：[メモリー]、[USB1]、[USB2]、[プレイリスト]、[PCキョウユウ]

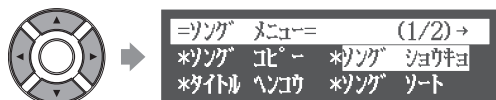
- 1 ソング選択画面で消去したいソングを表示させて、[機能]ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

ソング機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“ソング ショウキョ”を選び、[セット] ボタンを押します。



ソング消去画面が表示されます。



- 3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 4 ^{イエス} [+ / YES] ボタンを押して、ソングを消去します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

ソングタイトルを変更する

> [ソング選択画面] > [機能] ボタン > “タイトル ヘンコウ”

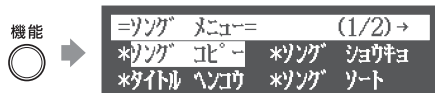
ソングのタイトルを変更することができます。

利用可能メディア：[メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

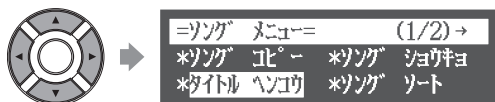
- 1 ソング選択画面でタイトルを変更したいソングを表示させて、[機能] ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

ソング機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“タイトル ヘンコウ”を選び、[セット] ボタンを押します。



タイトル変更画面が表示されます。



- 3 [セット] ボタンを押します。

ソングタイトル入力画面が表示されます。



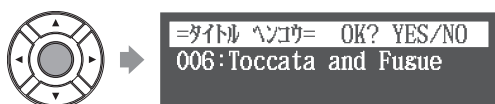
- 4 ソングタイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、「文字の入力」(41 ページ) を参照ください。

- 5 タイトルを入力し終わったら、[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 6 ^{イエス}[+/YES] ボタンを押して、タイトルを変更します。キャンセルする場合は [ー/NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

ソングの順番を入れ替える

> [ソング選択画面] > [機能] ボタン > "ソング ソート"

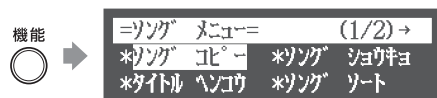
選んでいるソングのアルバム内での順番を変更することができます。

利用可能メディア: [メモリー]

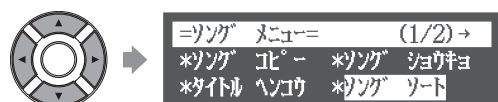
- 1 ソング選択画面で順番を変更したいソングを表示させて、[機能] ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

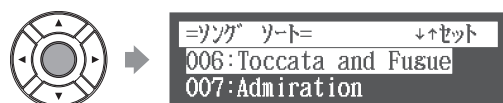
ソング機能メニューが表示されます。



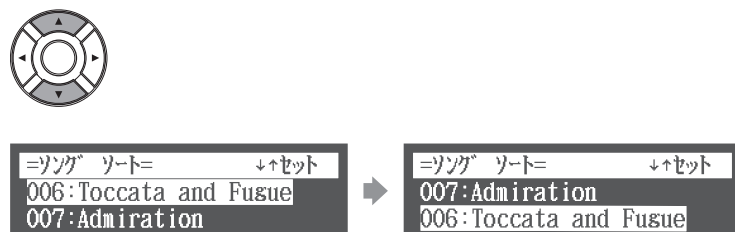
- 2 カーソルボタンを使って"ソング ソート"を選び、[セット]ボタンを押します。



ソングソート画面が表示されます。

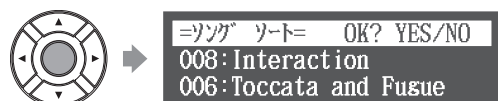


- 3 カーソルボタン[▲][▼]を使ってソングの位置を移動します。



- 4 [セット] ボタンを押します。

"OK?" の文字が画面最上段に点滅します。



次ページに続く

- 5 ^{イエス} **[+ / YES]** ボタンを押して、ソングの順番を変更します。キャンセルする場合は **[- / NO]** ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

ソングのフォーマットを変換する

> **ソング選択画面** > **[機能] ボタン** > **“ソング ヘンカン”**

ソングのフォーマット（保存形式）を別のフォーマットに変換することができます。

利用可能メディア：[メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

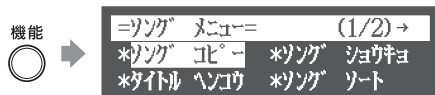
メモ

フォーマットを変換したソングは新しいソングとして、選んでいるアルバムの最後に追加されます。

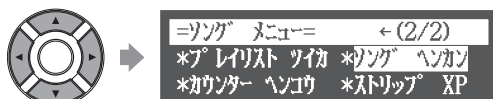
- 1 ソング選択画面でフォーマットを変換したいソングを表示させて、**[機能] ボタン**を押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

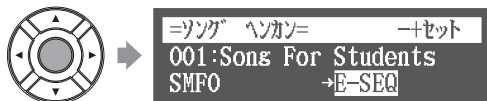
ソング機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“ソング ヘンカン”を選び、**[セット]** ボタンを押します。



ソングフォーマット変換画面が表示されます。



3 ^{イエス} [+ / YES] ボタン / ^{ノー} [- / NO] ボタンを使ってソングフォーマットを指定します。



■ 選択できるソングフォーマット

E-SEQ	E-SEQ フォーマット
SMFO	SMF (Standard MIDI File) フォーマット0
SMF1	SMF (Standard MIDI File) フォーマット1
E-SEQ (MX)	ピアノプレーヤMXシリーズ (1986～1992) で再生するためのフォーマット

メモ

E-SEQ フォーマット:
従来のサイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤとの互換性を重視した形式です。ピアノプレーヤMXシリーズ (1986～1992) で再生するためには "E-SEQ (MX)" を選んでください。

SMF フォーマット:
パソコンのシーケンスソフトで作成されるデータと互換性があり、もっとも広く使われている形式です。

4 [セット] ボタンを押します。

"OK?" の文字が画面最上段に点滅します。



5 ^{イエス} [+ / YES] ボタンを押して、ソングフォーマットを変換します。キャンセルする場合は ^{ノー} [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

カウンター表示方法を変更する

> [ソング選択画面] > [機能] ボタン > "カウンター ヘンコウ"

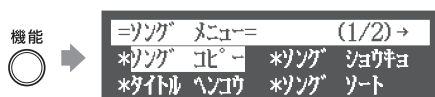
ソングのカウンター表示の方法を「演奏時間」(ジカン) か「小節・拍」(メトロノーム) のどちらかに変更することができます。

利用可能メディア: [メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

1 ソング選択画面で表示方法を変更したいソングを表示させて、[機能] ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

ソング機能メニューが表示されます。



次ページに続く

- 2 カーソルボタンを使って“カウンター ヘンコウ”を選び、[セット] ボタンを押します。



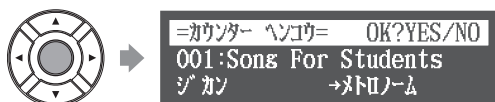
カウンター表示変更画面が表示されます。



ジカウ : 分・秒による表示
メトロノーム : 小節・拍による表示

- 3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 4 ^{イエス}[+/YES] ボタンを押して、カウンター表示を変更します。キャンセルする場合は ^{ノー}[-/NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

標準的なMIDIデータに変換する(ストリップXP)

> [ソング選択画面] > [機能] ボタン > “ストリップ XP”

本機の一部の機種(C3~C7/S/CFⅢSグランドピアノ)で録音したソングには、MIDIデータとして「データを高精度化する付加情報」(XPイベント)が記録されています。一般のMIDI楽器ではXPイベントは意味を持たないため無視されますが、楽器の設定内容によっては再生に影響が出る場合もあります。

また、XPイベントを含むソングをパソコンのシーケンスソフトなどを使って編集すると、XPイベントと音符データとの関係が崩れ、最高のパフォーマンスで再生することができなくなります。他の機器で編集する場合は、あらかじめソングデータからXPイベントを削除し、標準的なMIDIデータに変換してください。

利用可能メディア:[メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

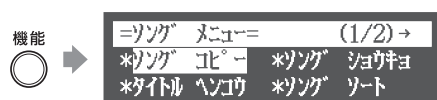
注意

XPイベントを削除すると元に戻すことはできません。大切なソングデータを変換する場合は、必ずバックアップをとってから作業を行ってください。

1 ソング選択画面で変換したいソングを表示させて、[機能] ボタンを押します。

ソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

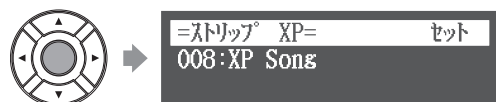
ソング機能メニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“ストリップ XP”を選び、[セット] ボタンを押します。

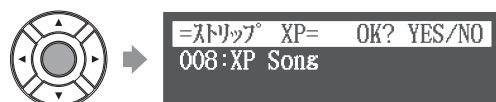


ストリップXP画面が表示されます。



3 [セット] ボタンを押します。

“OK?”の文字が画面最上段に点滅します。



4 [+ / YES] ボタンを押して、データを変換します。キャンセルする場合は[- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、ソング選択画面に戻ります。

プレイリストを編集する

あなただけのベストアルバムを作るような感覚で、気に入ったソングを指定の順番で再生させるプログラムをプレイリストといいます。内蔵メモリー内のプレイリストの作成方法や編集方法を以下に説明します。

ソングまたはアルバムをプレイリストに追加する

> [メディア選択画面] > [“メモリー”] > [アルバムまたはソング選択画面] > [機能] ボタン > [“プレイリスト ツイカ”]

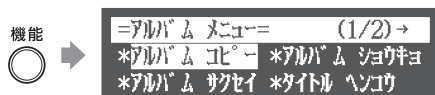
選んでいるアルバム内のソングすべてまたは1曲ずつソングをプレイリストに追加することができます。

利用可能メディア:[メモリー]

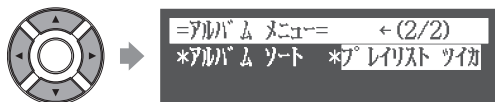
1 プレイリストに追加したい内蔵メモリー内のアルバムまたはソングを選び、[機能] ボタンを押します。

アルバムやソングの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューまたはソング機能メニューが表示されます(下図はアルバム機能メニューです)。



2 カーソルボタンを使って“プレイリスト ツイカ”を選び、[セット] ボタンを押します。



プレイリスト追加画面が表示されます。



3 ■ 新しいプレイリストとして保存する場合

[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



新しく作成したプレイリストには、自動的にタイトルがつけられます。

- ・ アルバムを“シンキプレイリスト”に追加した場合は、追加したアルバムのタイトルが、新しく作成したプレイリストにつきます。
- ・ ソングを“シンキプレイリスト”に追加した場合は、“My Playlist”というタイトルが、新しく作成したプレイリストにつきます。

メモ

プレイリストには999曲までソングを追加できます。

ここも参照

インターネットダイレクトコネクションサービスで提供しているキキホーダーの曲をプレイリストに追加することもできます。「曲をプレイリストに追加する」(46ページ)を参照ください。

ここも参照

メモリー以外のメディアから、直接アルバムやソングをプレイリストに追加することはできません。まず、追加したいアルバムやソングを内蔵メモリーにコピーしてください。アルバムやソングのコピーについては、「アルバムをコピーする」(90ページ)または「ソングをコピーする」(97ページ)を参照ください。

■ 既存のプレイリストに追加する場合

[^{イエス}+ / YES] ボタン / [^{ノー}- / NO] ボタンを使ってプレイリストを選び、[セット] ボタンを押します。



“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



4

[^{イエス}+ / YES] ボタンを押して、アルバムまたはソングを追加します。キャンセルする場合は [^{ノー}- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバムまたはソング選択画面に戻ります。

作成したプレイリストは、メディア選択画面で“プレイリスト”を選べると、他のメディア内のアルバムと同じように再生することができます。プレイリストの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

プレイリストを消去する

> [メディア選択画面] > “プレイリスト” > [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “リスト ショウキョ”

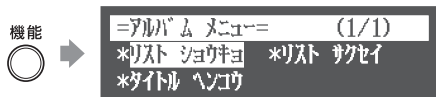
選んでいるプレイリストを消去します。

1

消去したいプレイリストを選び、[機能] ボタンを押します。

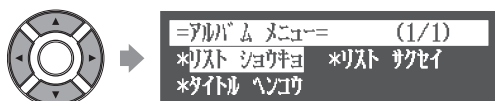
プレイリストの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



2

カーソルボタンを使って“リスト ショウキョ”を選び、[セット] ボタンを押します。



プレイリスト消去画面が表示されます。



次ページに続く

3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



=リスト ショウキョ= OK? YES/NO
02:My Best Collection

4 [+ / YES] ボタンを押して、プレイリストを消去します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。

=リスト ショウキョ=
ジ ッグウチュウ...



=リスト ショウキョ=
シュウリョウシマシタ
サニホ ボタン オシゲタ サイ

しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

プレイリストを作成する

> [メディア選択画面] > “プレイリスト” > [アルバム選択画面] > [機能] ボタン > “リスト サクセイ”

新しいプレイリストを作成します。

1 メディア選択画面で“プレイリスト”を選び、[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



=アルバム メニュー= (1/1)
*リスト ショウキョ *リスト サクセイ
*タイトル ヘンコウ

2 カーソルボタンを使って“リスト サクセイ”を選び、[セット] ボタンを押します。



=アルバム メニュー= (1/1)
*リスト ショウキョ *リスト サクセイ
*タイトル ヘンコウ

リスト作成画面が表示されます。



=リスト サクセイ= セット
03: (タイトルなし)

3 [セット] ボタンを押します。

プレイリストタイトル入力画面が表示されます。



=リスト サクセイ= [A-Z]
|

🎵 メモ

作成できるプレイリストの数は99までです。

🎵 メモ

既存のプレイリストと同じタイトルをつけた場合、タイトルのあとに “[XX]” が追加されます。(“XX” は数字を表わしています。)

4 プレイリストタイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、「文字の入力」(41ページ)を参照ください。

5 タイトルが入力し終わったら、[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



6 ^{イエス}[+ / YES] ボタンを押して、プレイリストを作成します。キャンセルする場合は ^{ノー}[- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

作成したプレイリストは、メディア選択画面で“プレイリスト”を選ぶと、他のメディア内のアルバムと同じように再生することができます。プレイリストの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

プレイリストタイトルを変更する

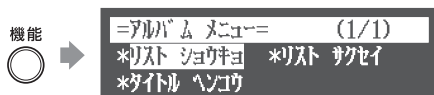
> メディア選択画面 > “プレイリスト” > アルバム選択画面 > [機能] ボタン > “タイトル へんこう”

選んでいるプレイリストのタイトルを変更します。

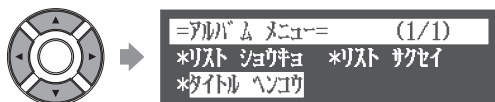
1 タイトルを変更したいプレイリストを選び、[機能] ボタンを押します。

プレイリストの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

アルバム機能メニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“タイトルヘンコウ”を選び、[セット] ボタンを押します。



タイトル変更画面が表示されます。



- 3 [セット] ボタンを押します。

プレイリストタイトル入力画面が表示されます。



- 4 プレイリストタイトルを入力します。



タイトルは64文字まで入力することができます。
文字の入力については、「文字の入力」(41 ページ) を参照ください。

- 5 タイトルを入力し終わったら、[セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 6 [+ / YES] ボタンを押して、タイトルを変更します。キャンセルをする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、アルバム選択画面に戻ります。

メディアの内容のコピーや消去、パソコンとのソングデータ共有やバックアップの作成など、メディアの管理機能を説明します。

メディアを管理する

本機には、メディアを効率良く管理する機能が備わっています。
使用できる機能は以下のとおりです。操作方法については、それぞれの解説ページを参照ください。

スベテコピー	メディア内のすべてのコンテンツをコピーします。	111ページ
スベテショウキョ	メディア内のすべてのコンテンツを消去します。	112ページ
フォーマット	フロッピーディスクを初期化（フォーマット）します。	118ページ
サイヨミコミ	共有フォルダの内容を更新します。	117ページ

メモ

使用できる機能は選んでいるメディアによって異なります。

メモ

使用できる機能がない場合は、メディア機能メニューは表示されません。

メディア内のすべてのコンテンツをコピーする

> [メディア選択画面] > [機能] ボタン > “スベテコピー”

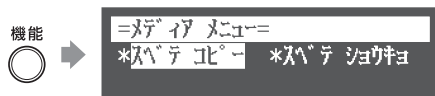
メディア内のすべてのコンテンツを別のメディアにコピーすることができます。

利用可能メディア：[メモリー]、[CD]（CD-ROM）、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

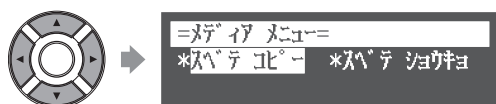
1 メディア選択画面でコピーしたいメディアにカーソルを合わせて、[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」（29ページ）を参照ください。

メディア機能メニューが表示されます。



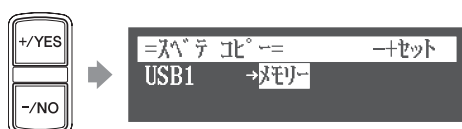
2 カーソルボタンを使って“スベテコピー”を選び、[セット] ボタンを押します。



メディアコピー画面が表示されます。



3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って保存先メディアを選びます。



メモ

保存先メディアに十分な空き容量があることを確認してください。

次ページに続く

4 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



5 [+ / YES] ボタンを押して、メディアの内容をコピーします。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、メディア選択画面に戻ります。

メモ

保存先のメディアのアルバムの数が99を超えた場合、その時点でコピーは止まります。

メディア内のすべてのコンテンツを消去する

> [メディア選択画面] > [機能] ボタン > “スベテ ショウキョ”

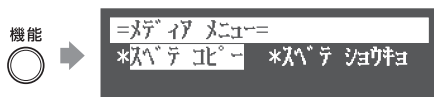
選んでいるメディア内のすべてのコンテンツを消去することができます。

利用可能メディア: [メモリー]、[USB1]、[USB2]、[PCキョウユウ]

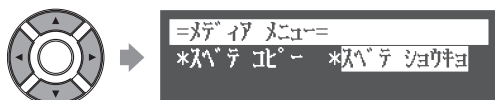
1 メディア選択画面でコンテンツを消去したいメディアにカーソルを合わせて、[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

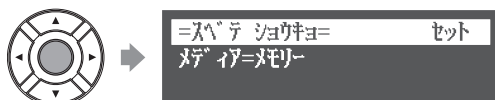
メディア機能メニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“スベテ ショウキョ”を選び、[セット] ボタンを押します。

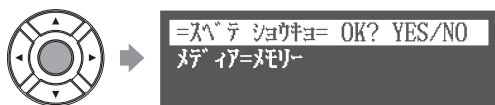


メディア消去画面が表示されます。



3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



4 [+ / YES] ボタンを押して、メディアの内容を消去します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。

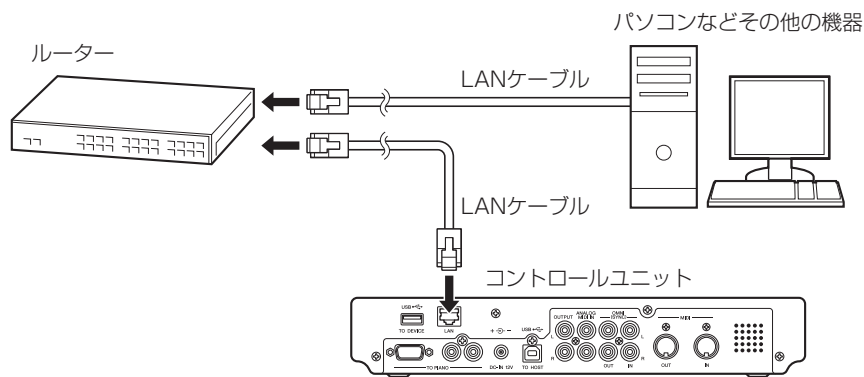


しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、メディア選択画面に戻ります。

パソコンからソングをコピーする

本機に内蔵の共有フォルダにパソコンからソングファイルを転送して、本機で再生することができます。

1 ソングファイルが保存してあるパソコンのLANポートと、本機コントロールユニットのLANポートをそれぞれLANケーブルでルーターに接続します。



メモ

ピアノソフトやピアノソフトプラスソングなどの、コピープロテクトのかかったファイルを [FromToPC] フォルダに転送することはできません。

メモ

本機がサポートするファイル以外のファイルを転送しないでください。

メモ

Disklavier側で [FromToPC] フォルダ内のソングのコピーや削除など、他の操作をしているときにはパソコン側からのアクセスはお止めください。

ここも参照

本機がネットワークに正しく接続されていることをご確認ください。ネットワークへの接続方法は、インターネットへの接続方法と同じです。詳しくは、「本機をインターネットに接続する」(42ページ)を参照ください。

メモ

お使いのパソコンのネットワーク接続の方法については、パソコン付属の取扱説明書をご確認ください。

次ページに続く

＜ Windows^{ウインドウズ}の場合 ＞

2 [スタート] から [マイネットワーク] を選びます。

マイネットワーク画面が表示されます。画面内に [Dkv] アイコンがあることを確認します。

3 [Dkv.....] アイコンをダブルクリックします。

[Dkv] フォルダが開きます。フォルダ内に [FromToPC] アイコンがあることを確認します。

4 [FromToPC] アイコンをダブルクリックします。

[FromToPC] フォルダが開きます。

5 [FromToPC] フォルダにソングファイルをコピーします。

6 フォルダ内のコンテンツを更新します。

■ [Dkv.....] が見つからないときは (Windows^{ウインドウズ}の場合)

- 1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニュー画面を表示します。
- 2 “ネットワーク” を選び、ネットワーク設定画面を表示します。
- 3 “インフォメーション” を選び、ネットワーク情報を表示します。
- 4 カーソルボタン [▼] を数回押して、“NAME=DKV.....” を表示します。“DKV.....” の部分をメモしておきます。
- 5 Windows^{ウインドウズ}上でマイネットワーク画面を開き、画面上部の [検索] アイコンをクリックします。
- 6 右側に表示される検索メニュー内の [コンピュータ名] に、手順4で確認した “Dkv.....” を入力し、検索を実行します。
- 7 見つかった [Dkv.....] アイコンをダブルクリックして開き、[FromToPC] フォルダがあることを確認します。
- 8 [FromToPC] フォルダにソングファイルをコピーします。

🎵 メモ

[Dkv.....] は本機のネットワーク上の名称で、Disklavier 1 台ごとに異なります。

🎵 メモ

フォルダ名、ファイル名はお使いのパソコンのOSのバージョンによって異なります。

🔗 ここも参照

[FromToPC] フォルダの内容の更新については、「共有フォルダの内容を更新する」(117ページ)を参照ください。

マッキントッシュ 〈 Macintosh (Mac OS X 10.3～10.4) の場合 〉

- 2 ドック内の **【Finder】** アイコンをクリックし、表示された画面の左側にある **【ネットワーク】** アイコンをクリックします。

ネットワーク画面が表示されます。画面内に **[Dkv]** アイコンがあることを確認します。

- 3 **[Dkv]** アイコンをクリックします。

[Dkv] フォルダが開きます。フォルダ内に **[Dkv.....]** アイコンがあることを確認します。

- 4 **[Dkv.....]** アイコンをクリックします。

- 5 表示された画面内のプルダウンメニューで **【FromToPC】** を選び、**【OK】** をクリックします。

- 6 次に表示された画面でも **【OK】** をクリックします。

接続が確立し、画面の左側に **[FromToPC]** アイコンが表示されます。

- 7 **[FromToPC]** アイコンをクリックします。

[FromToPC] フォルダが開きます。

- 8 **[FromToPC]** フォルダにソングファイルをコピーします。

- 9 フォルダ内のコンテンツを更新します。

🎵 メモ

[Dkv.....] は本機のネットワーク上の名称で、Disklavier 1 台ごとに異なります。

🎵 メモ

接続の際にID、パスワードの入力を求められた場合には、IDを入力しパスワード欄は空白のままにしてください。

ここも参照

[FromToPC] フォルダの内容の更新については、「共有フォルダの内容を更新する」(117ページ)を参照ください。

マッキントッシュ 〈 Macintosh (Mac OS X 10.5～10.6) の場合 〉

- 2 ドック内の **【Finder】** アイコンをクリックし、メニューバーから **【移動】** → **【ネットワーク】** を選びます。

ネットワーク画面が表示されます。画面内に **[Dkv.....]** アイコンがあることを確認します。

- 3 **[Dkv.....]** アイコンをクリックします。

[Dkv.....] フォルダが開きます。フォルダ内に **[FromToPC]** アイコンがあることを確認します。

- 4 **[FromToPC]** アイコンをクリックします。

[FromToPC] フォルダが開きます。

- 5 **[FromToPC]** フォルダにソングファイルをコピーします。

- 6 フォルダ内のコンテンツを更新します。

■ **[Dkv.....]** が見つからないときは (Mac OS X の場合)

- 1 リモコンの **【セットアップ】** ボタンを押して、セットアップメニュー画面を表示します。
- 2 “ネットワーク” を選び、ネットワーク設定画面を表示します。
- 3 “インフォメーション” を選び、ネットワーク情報を表示します。
- 4 カーソルボタン **【▼】** を数回押して、“NAME=DKV.....” を表示します。“DKV.....” の部分をメモしておきます。
- 5 マッキントッシュ
Macintosh 上のメニューバーから **【移動】** → **【サーバーへ接続】** を選びます。
- 6 表示された画面内の **【サーバーアドレス】** に、手順4で確認した “Dkv.....” を入力し、**【接続】** をクリックします。入力するときには、名前の前に “smb://” を付けて “smb://Dkv.....” と入力します。
- 7 表示された画面内のプルダウンメニューで **[FromToPC]** を選び、**【OK】** をクリックします。次に表示された画面でも **【OK】** をクリックします。
- 8 画面の左側にある **[FromToPC]** にソングファイルをコピーします。

🎵 メモ

[Dkv.....] は本機のネットワーク上の名称で、Disklavier 1 台ごとに異なります。

🎵 メモ

接続の際に ID、パスワードの入力を求められた場合には、ID を入力しパスワード欄は空白のままにしてください。

🔗 ここも参照

[FromToPC] フォルダの内容の更新については、「共有フォルダの内容を更新する」(117 ページ) を参照ください。

共有フォルダの内容を更新する

> [メディア選択画面] > ["PCキョウユウ"] > [機能] ボタン > ["サイヨミコミ"]

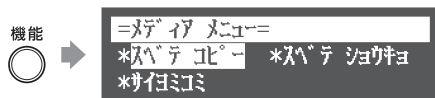
パソコンから [FromToPC] フォルダにソングファイルをコピーしたあと、それらを本機で再生するためには、このフォルダの内容を更新する必要があります。

利用可能メディア: [PCキョウユウ]

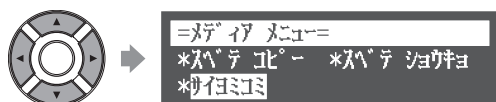
1 メディア選択画面で“PCキョウユウ”を選び、[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

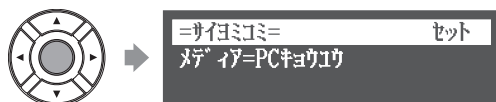
メディア機能メニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って“サイヨミコミ”を選び、[セット] ボタンを押します。

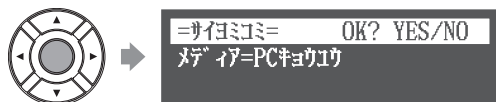


再読み込み画面が表示されます。



3 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



4 [+ / YES] ボタンを押して、再読み込みを実行します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、メディア選択画面に戻ります。

フロッピーディスクを初期化(フォーマット)する

> [メディア選択画面] > ["USB1" または "USB2"] > [機能] ボタン > "フォーマット"

フォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合やフロッピーディスク内のコンテンツをすべて削除する場合は、フロッピーディスクのフォーマットを行います。

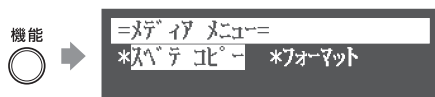
1 USBフロッピーディスクドライブ(別売)をUSBポートに接続します。

2 フロッピーディスクを挿入します。

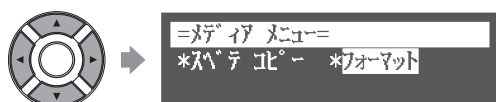
3 メディア選択画面で "USB1" または "USB2" を選び、[機能] ボタンを押します。

メディアの選び方については、「メディア内のコンテンツを選ぶ」(29ページ)を参照ください。

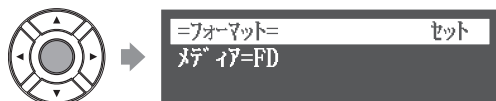
メディア機能メニューが表示されます。



4 カーソルボタンを使って "フォーマット" を選び、[セット] ボタンを押します。

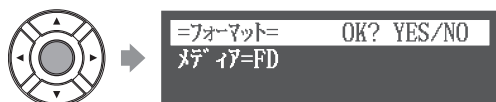


フォーマット画面が表示されます。



5 [セット] ボタンを押します。

"OK?" の文字が画面最上段に点滅します。



6 ^{イエス} [+ / YES] ボタンを押して、フォーマットします。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、メディア選択画面に戻ります。

重要

フォーマットを行うとフロッピーディスク内のすべてのデータが削除されますので、必要なデータが含まれていないかをあらかじめ確認してからフォーマットを行ってください。

メモ

フロッピーディスクのフォーマットを行う時には書き込み防止用ツメ(ライトプロテクトタブ)が閉じていることをご確認ください。詳しくは次ページを参照ください。

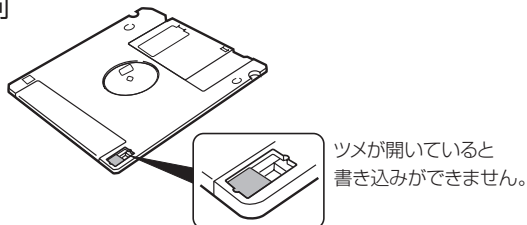
メモ

フォーマットを行ったフロッピーディスクは、SMFタイプディスクになります。

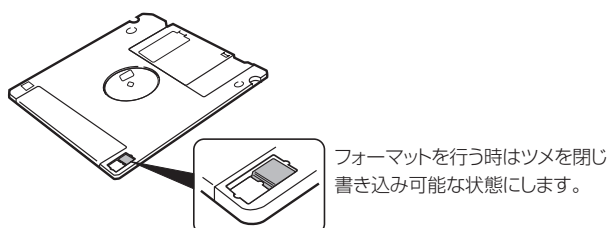
〈フロッピーディスクのライトプロテクトタブについて〉

フロッピーディスクには書き込み防止用のツメ（ライトプロテクトタブ）が付いています。このツメが開いているとフロッピーディスクにデータの書き込みができません。フロッピーディスクのフォーマットを行う際にはこのツメが閉じていることをご確認ください。

■ 書き込み不可



■ 書き込み可



ソングのバックアップを作成する

> [システム] ボタン > "バックアップ"

内蔵メモリー内の大切なデータを守るために、ソングやプレイリストのバックアップを作成することができます。大切な録音を守るために定期的なバックアップをおすすめします。

フロッピーディスクが挿入されている場合は、バックアップを作成する前にフロッピーディスクを取り出してください。バックアップが実行されない可能性があります。

ここも参照

バックアップには、「本機で扱えるリムーバブルメディアとメディアフォーマット」(22ページ)に記載されている機器をお使いください。

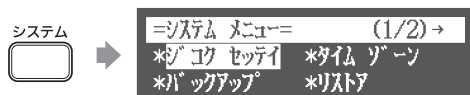
メモ

バックアップを作成するときは、外付けUSB記憶装置に十分な空き容量があることをあらかじめご確認ください。

1 外付けUSB記憶装置をUSBポートに接続します。

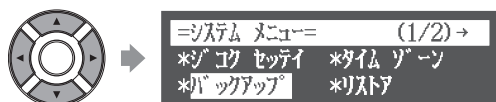
2 リモコンの[システム] ボタンを押します。

システムメニューが表示されます。



次ページに続く

3 カーソルボタンを使って“バックアップ”を選び、[セット] ボタンを押します。

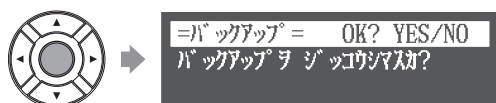


バックアップ画面が表示されます。



4 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



5 [+ / YES] ボタンを押して、バックアップを実行します。キャンセルする場合は [- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、システムメニューに戻ります。

6 リモコンの [システム] ボタンを押して、システムメニューを終了します。



内蔵メモリー内のデータを復元する

> [システム] ボタン > “リストア”

内蔵メモリー内のデータを、前回バックアップをとった時点と同じ状態に戻します。

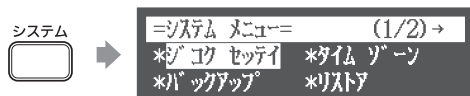
ここも参照 

バックアップの作成については、「ソングのバックアップを作成する」(119ページ)を参照ください。

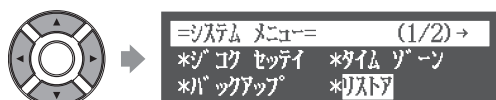
- 1 外付けUSB記憶装置をUSBポートに接続します。

- 2 リモコンの[システム] ボタンを押します。

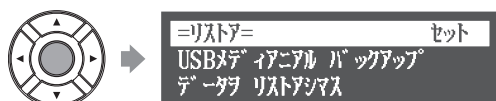
システムメニューが表示されます。



- 3 カーソルボタンを使って“リストア”を選び、[セット] ボタンを押します。



リストア画面が表示されます。



- 4 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 5 ^{イエス}[+ / YES] ボタンを押して、リストアを実行します。キャンセルする場合は ^{ノー}[- / NO] ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、システムメニューに戻ります。

- 6 リモコンの[システム] ボタンを押して、システムメニューを終了します。

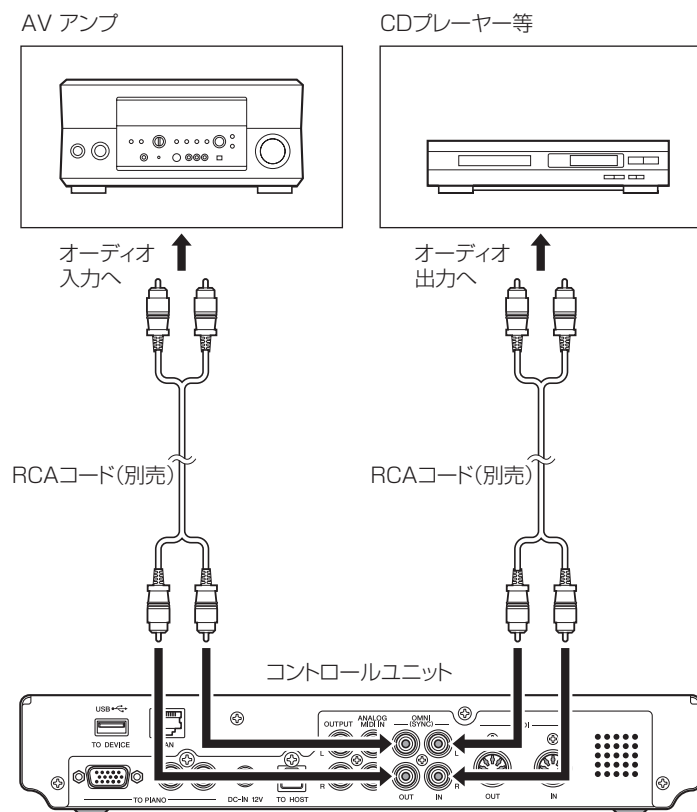


外部機器との接続

本機を外部のオーディオ機器や、^{ミディ}MIDI機器に接続する方法などを説明します。

オーディオ機器を接続する

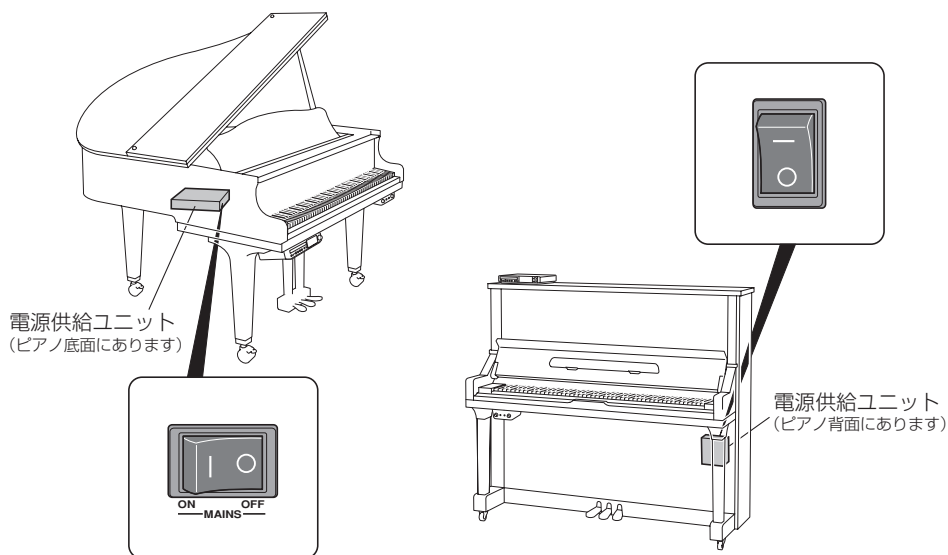
オーディオ機器に^{ディスクラビア}Disklavierを接続すると、^{ディスクラビア}Disklavierの音をオーディオ機器から、オーディオ機器の音を^{ディスクラビア}Disklavierから流すことができます。



アンプ内蔵スピーカー（別売）を接続する

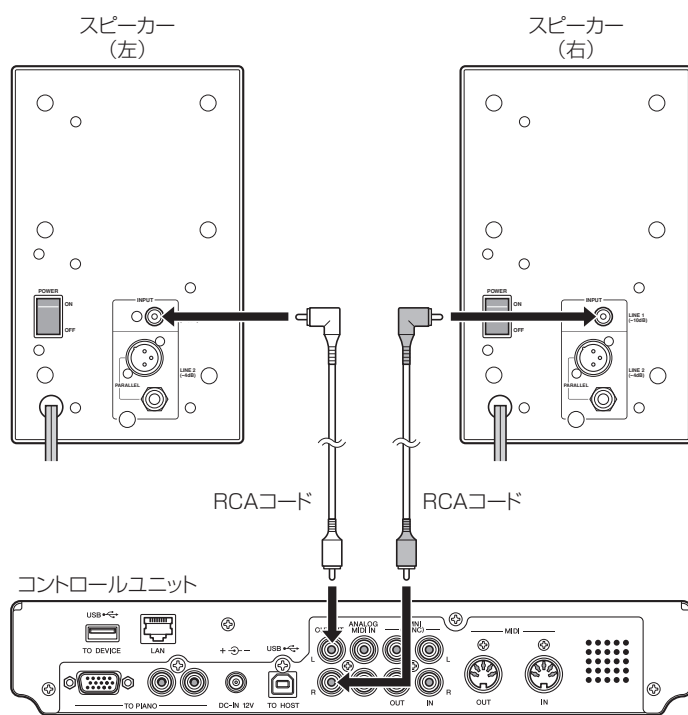
1 電源供給ユニットの主電源スイッチをオフにします。

電源供給ユニットは、グランドピアノの場合はピアノ底面に、アップライトピアノの場合はピアノ背面にあります。



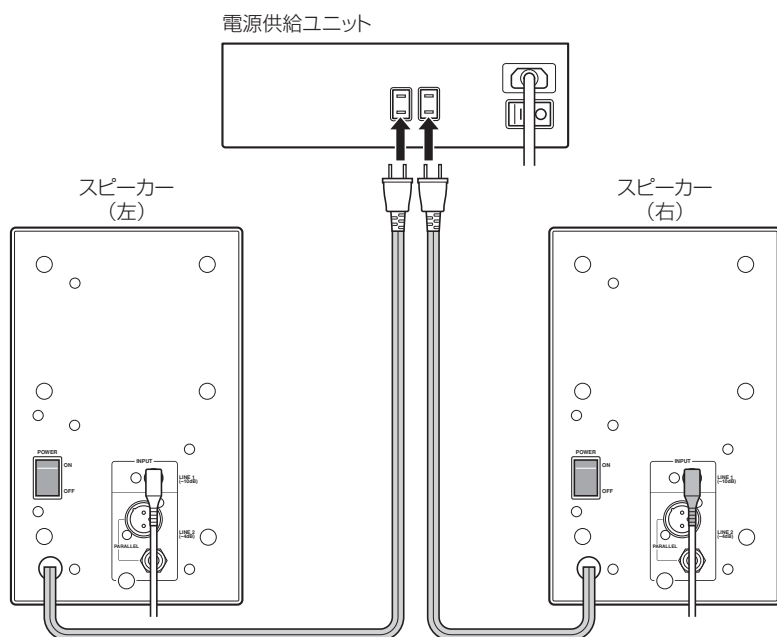
2 アンプ内蔵スピーカー背面の^{インプット} INPUT LINE1端子と、コントロールユニット背面の^{アウトプット} OUTPUT端子をスピーカーコード（市販のRCAコード）で接続します。

左側のスピーカーは^{アウトプット} OUTPUT端子のL側に、右側のスピーカーはR側にそれぞれ接続します。

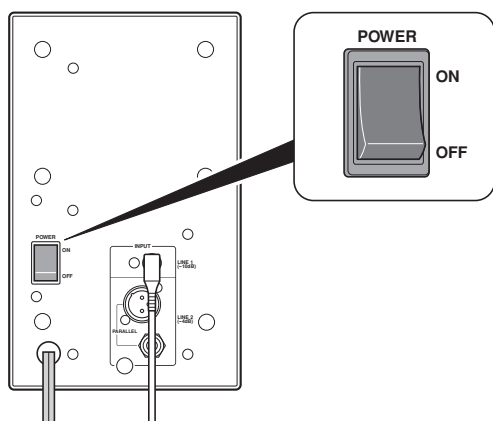


次ページに続く

3 アンプ内蔵スピーカーの電源コードを、電源供給ユニットに接続します。



4 アンプ内蔵スピーカー背面のPOWERスイッチを^{パワ}ー^{オン}にします。



5 電源供給ユニットの主電源スイッチをオンにします。

電源供給ユニットに接続されたスピーカーの電源は、コントロールユニットの電源オン／オフに連動します。

オーディオ信号の入出力を設定する

> [セットアップ] ボタン > "オーディオI/O"

目的に応じてオーディオ信号の入出力設定を変更できます。

■ OMNI IN

OMNI(SYNC) IN 端子に入力される信号にマッチした設定ができます。

ジドウハンベツ	入力された信号を本機に自動検出させる場合に選びます。
AUDIO	外部のCDプレーヤーなどからオーディオ信号を入力し、本機に接続したアンプ内蔵スピーカー（別売）などで音を聴く場合に選びます。
OFF	OMNI (SYNC) IN端子からの信号を入力しない場合に選びます。

■ OMNI IN Vol

OMNI (SYNC) IN 端子から入力されたオーディオ信号の音量を調節します。000～127の範囲で音量を調節できます。

■ OMNI OUT

OMNI (SYNC) OUT 端子から出力する信号を選びます。

Output	アンプ内蔵スピーカー（別売）に出力した信号と同じオーディオ信号を出力する場合に選びます。
Output+PianoTG	アンサンブルパートと電子ピアノ音を出力する場合に選びます。電子ピアノ音はアコースティックモードでもOMNI(SYNC)OUT端子から出力されます。
PianoTG	電子ピアノ音のみを出力する場合に選びます。
Sync	ビデオの同時再生に使われるSMPTE信号（同期用信号）を出力する場合に選びます。
OFF	OMNI (SYNC) OUT 端子から信号を出力しない場合に選びます。

■ OMNI OUT Vol

OMNI (SYNC) OUT 端子から出力するオーディオ信号の音量を調節します。000～127の範囲、または“M-Volume”での調節が可能です。“M-Volume”を選んでいるときは、メインボリュームにて調整を行います。

■ ANALOG MIDI IN Vol

ANALOG MIDI IN 端子から入力されたオーディオ信号の音量を調節します。000～127の範囲で音量を調節できます。

■ A-MIDI IN オフセット

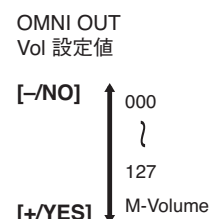
アナログ MIDI 信号を含むDVDソフトの再生に合わせて本機を同時再生するときに、ディスプレイによってはビデオ映像がピアノ演奏より遅れる場合があります。アナログ MIDI 信号に対するオフセット時間を調整することで、ビデオ映像の遅れをピアノ演奏に合わせることができます。-500ms～0msの範囲でオフセット時間を調整できます。マイナス（-）側に調整した場合は、映像に対してピアノ演奏が遅れます。

■ SYNC IN オフセット

ビデオ同時再生時に、ビデオ映像に対してピアノ演奏のタイミングを調整できます。-500ms～+500msの範囲でオフセット時間を調整できます。マイナス（-）側に調整した場合は、映像に対してピアノ演奏が遅れます。プラス（+）側に調整した場合は、映像に対してピアノ演奏が早くなります。

♪ メモ

“M-Volume”はOMNI OUT Vol設定でボリューム範囲“127”の次に表示されます。



■ SYNC OUT レベル

ビデオ同時録音時に出力する SMPTE 信号（同期用信号）のレベルを調整できます。通常は調整する必要はありません。ビデオ同時再生時に **OUTPUT** 端子から「ピー」という信号音が出力されている場合は、レベルを下げてビデオ同時録音をやり直してください。

■ OUTPUT オフセット

お使いのスピーカーまたはデジタルアンプによっては本機からのオーディオ信号がピアノ演奏より遅れて出力される場合があります。オーディオ信号に対するオフセット時間を調整することで、オーディオ信号出力の遅れをピアノ演奏に合わせることができます。－100ms～0ms の範囲でオフセット時間を調整できます。マイナス（－）側に調整した場合は、オーディオ信号出力に対してピアノ演奏が遅れます。

1 リモコンの【セットアップ】ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



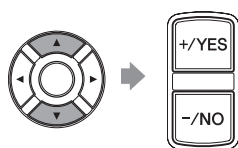
2 カーソルボタンを使って“オーディオ I/O”を選び、【セット】ボタンを押します。



オーディオ I/O 設定画面が表示されます。



3 カーソルボタン【▲】【▼】を使ってオプションを選び、【+/YES】ボタン／【-/NO】ボタンを使って設定を変更します。



4 設定し終わったら、【セット】ボタンを押します。

入出力設定が変更され、セットアップメニューに戻ります。



5

リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。

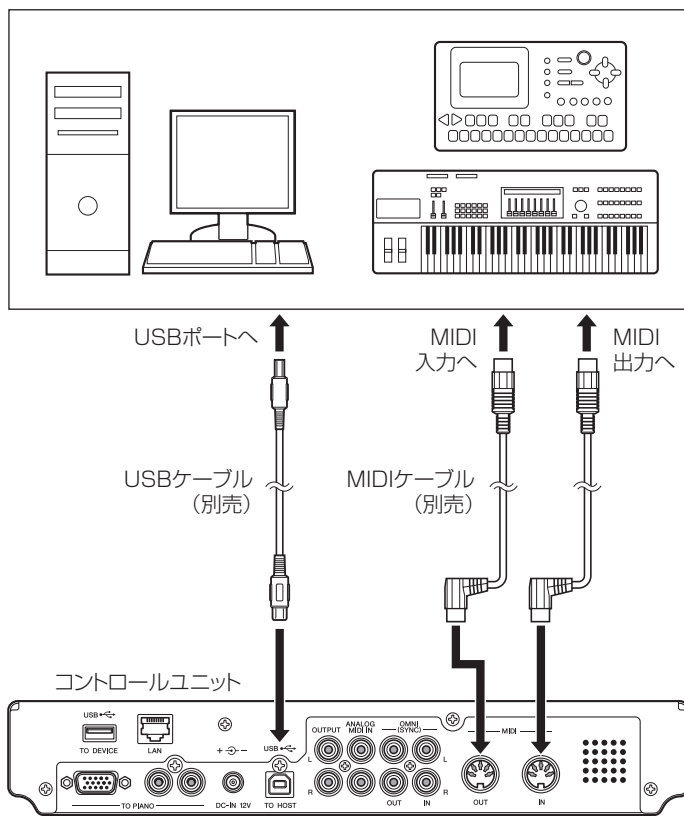


MIDI機器を接続する

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) はシンセサイザー等の電子楽器をはじめとする様々な音楽再生／編集／演奏装置の間で、さまざまな演奏情報をやりとりできる世界統一規格です。

本機のコントロールユニットに他のMIDI対応機器やパソコンを接続すれば、MIDIがもたらす多様な可能性を実感していただくことができます。

MIDI 対応装置 (シーケンサー、シンセサイザー等) およびパソコン



メモ

USB接続を使用する場合には、接続する装置にUSBドライバーをインストールする必要があります。USBドライバーについては、以下のウェブサイトアクセスしてダウンロードしてください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

モデル名を入力し、お使いのOSに対応したUSB MIDIドライバーを選択してください。インストール方法は、ダウンロードファイルに付属のインストールガイドを参照ください。

メモ

MIDIケーブルのL字型コネクタは、必ずコントロールユニット側にご使用ください。

MIDIデータの受信方法を設定する

〔セットアップ〕ボタン > “MIDI”

本機は、保存されたデータと同様に、接続したMIDI対応機器からMIDIデータを受信し、再生することができます。MIDIデータを受信するときは、あらかじめ以下の設定を行ってください。

MIDI IN Port

データを受信する端子を選びます。

MIDI	MIDI対応装置をMIDI IN端子に接続する場合に選びます。
USB	MIDI対応装置をUSBポートに接続する場合に選びます。

Piano Rcv Ch

MIDIデータは、それぞれある楽器のパートが割り当てられた複数のチャンネルで構成されています。この設定では、本機のピアノパート（鍵盤）で演奏する受信チャンネルを選ぶことができます。

01 ~ 16	01 ~ 16チャンネルのなかから、目的のチャンネルをピアノパートに割り当てる場合に選びます。
1 + 2	01と02チャンネルをピアノパートに割り当てる場合に選びます。
Prg	ピアノグループの音色が割り当てられているチャンネルのなかで、一番若い数字のチャンネルをピアノパートに割り当てる場合に選びます。
Prg(ALL)	ピアノグループの音色が割り当てられているチャンネルをピアノパートに割り当てる場合に選びます。

MIDI IN Delay

Disklavierで同時に2種類のデータ（強い音と弱い音）を受信した場合、Disklavierの機械的な特質によって、再生時に弱い音が強い音よりもわずかに遅れて聴こえます。これを修正し、データ受信の500ミリ秒後に正確に発音させるため、受信したMIDIデータに遅延を加えます。

ON	受信したMIDIデータを、500ミリ秒後に正確なタイミングで発音させるときに選びます。
OFF	受信したMIDIデータを、リアルタイムで発音させるときに選びます。

1 リモコンの〔セットアップ〕ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



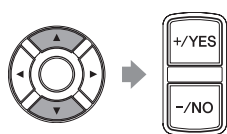
- 2 カースルボタンを使って“MIDI”を選び、[セット] ボタンを押します。



MIDI設定画面が表示されます。



- 3 カースルボタン[▲] [▼] を使ってオプションを選び、[+ /YES] ボタン / [− /NO] ボタンを使って設定を変更します。



- 4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



- 5 リモコンの[セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



MIDIデータの送信方法を設定する

> [セットアップ] ボタン > "MIDI"

本機で演奏したピアノパートやアンサンブルパートを、接続したMIDI対応機器にMIDIデータとして送信し、それらの音源で音を出したり、そのMIDIデータを録音することができます。MIDIデータを送信するときは、あらかじめ以下の設定を行ってください。

■ MIDI OUT Port

データを送信する端子を選びます。

MIDI	MIDI対応装置をMIDI OUT端子に接続する場合に選びます。
USB	MIDI対応装置をUSBポートに接続する場合に選びます。

■ MIDI OUT

接続したMIDI対応機器に送信するパートを選びます。

ESBL OUT	再生しているソングのアンサンブルパートを送信する場合に選びます。
KBD OUT	自分が演奏したピアノパート（鍵盤演奏のデータ）を送信する場合に選びます。

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



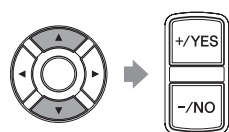
2 カーソルボタンを使って "MIDI" を選び、[セット] ボタンを押します。



MIDI設定画面が表示されます



3 カーソルボタン [▲] [▼] を使ってオプションを選び、[+/YES] ボタン / [-/NO] ボタンを使って設定を変更します。



4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



5 リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



鍵盤演奏データの送信方法を設定する

> [セットアップ] ボタン > "MIDI"

MIDI OUT 設定の他に、鍵盤演奏データ送信の際のさらに細かい設定ができます。あらかじめ以下の設定を行ってください。

■ KBD OUT CH

ピアノパートを割り当てるチャンネルを選びます。

01 ~ 16 01 ~ 16チャンネルのなかから、いずれかのチャンネルをピアノパートに割り当てる場合に選びます。

■ Local

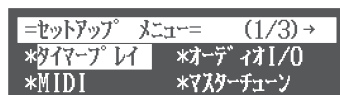
自分が演奏したピアノパートを本機内蔵のピアノ電子音で発音するかどうかを選びます。

ON 自分が演奏したピアノパートを本機内蔵のピアノ電子音で発音させる場合に選びます。

OFF 自分が演奏したピアノパートを、外部MIDI対応機器で発音させる場合に選びます。この設定では、本機のピアノ電子音と外部音源が同時に発音することはありません。

1 リモコンの【セットアップ】ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



次ページに続く

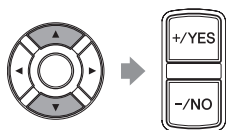
2 カースルボタンを使って“MIDI”を選び、[セット] ボタンを押します。



MIDI設定画面が表示されます



3 カースルボタン[▲][▼]を使ってオプションを選び、[+ /YES] ボタン / [- /NO] ボタンを使って設定を変更します。



4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



5 リモコンの[セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



その他の設定

内蔵音源のチューニングや、本機のリセットなどの補助機能を説明します。

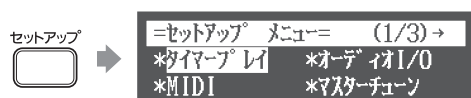
内蔵音源の音程をピアノに合わせる (TGマスターチューン)

> [セットアップ] ボタン > “マスターチューン”

内蔵XG音源はアコースティックピアノのピッチ (A3=440Hz) に合うようにすでに調律されています。もし、アコースティックピアノのピッチを変えた場合は、以下の手順で内蔵XG音源のピッチを変更後のアコースティックピアノのピッチに合わせることができます。

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

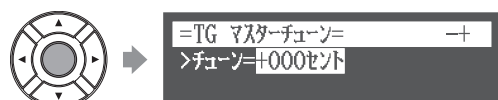
セットアップメニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って “マスターチューン” を選び、[セット] ボタンを押します。



TGマスターチューン設定画面が表示されます。



3 鍵盤で音を鳴らしながら、[+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使って内蔵XG音源のピッチを調整します。



鍵盤で音を鳴らすと同時に内蔵XG音源が同じ音程の電子ピアノ音を鳴らします。ピッチは-50セント～+50セントの範囲で調整できます。

4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



メモ

4セントは約1Hzとなります。

ここも参照

工場出荷時の設定に戻したい場合は、「本機をリセットする」(142ページ)を参照ください。

次ページに続く

- 5 リモコンの【セットアップ】ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



よく使う機能をリモコンの数字キーに登録する

> 【セットアップ】ボタン > “ショートカット”

よく使う機能をリモコンの数字キー（[1] から [9] および [0]）に登録しておくと、簡単にその機能呼び出して使うことができます。

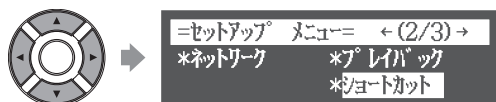
〈ショートカットの設定〉

- 1 リモコンの【セットアップ】ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って“ショートカット”を選び、【セット】ボタンを押します。



ショートカット設定画面が表示されます。



- 3 カーソルボタン【▲】【▼】を使って設定したいショートカット番号を選びます。



4 ^{イエス} [+ / YES] ボタン / ^{ノー} [- / NO] ボタンを使って登録する機能を選びます。



■ 設定できる機能

PLAY	選んだアルバム／プレイリスト内のソングを再生します。
RPT	選んだアルバム／プレイリスト全体または1曲を繰り返し再生します。
RND	選んだアルバム／プレイリスト内のソングをランダムに再生します。
RADIO	選んだ ^{ディスクlavierRadio} チャンネルを再生します。
BLNC	音源のバランスを調整します。
POWER	本機をオン、オフします。
QUIET	アコースティックモードとQuietモードを切り替えます (グランドピアノのみ)。

“POWER” または “QUIET” 以外の項目を選んだときは、詳細設定項目が表示されます。

5 カーソルボタン [▶] を使って詳細設定項目を選び、^{イエス} [+ / YES] ボタン / ^{ノー} [- / NO] ボタンを使って設定します。



■ “PLAY” を選んだとき

詳細設定 1	詳細設定 2
Mem01 - Mem99	---
	001 - 999
	選んだアルバムの1曲目から再生します。
	選んだアルバムの指定曲番から再生します。
Lst01 - Lst99	---
	001 - 999
	選んだプレイリストの1曲目から再生します。
	選んだプレイリストの指定曲番から再生します。

■ “RPT” を選んだとき

詳細設定 1	詳細設定 2
Mem01 - Mem99	---
	001 - 999
	選んだアルバムの1曲目から全曲リピート再生します。
	選んだアルバムの指定曲番を1曲リピート再生します。
Lst01 - Lst99	---
	001 - 999
	選んだプレイリストを全曲リピート再生します。
	選んだプレイリストの指定曲番を1曲リピート再生します。

■ “RND” を選んだとき

詳細設定
Mem01 - Mem99
選んだアルバムをランダムに再生します。
Lst01 - Lst99
選んだプレイリストをランダムに再生します。

次ページに続く

■ “BLNC” を選んだとき

詳細設定 1	詳細設定 2
TG	UP アンサンブルパートの音量を上げます。
	DOWN アンサンブルパートの音量を下げます。
AUDIO	UP オーディオの音量を上げます。
	DOWN オーディオの音量を下げます。

■ “POWER” または “QUIET” を選んだとき

特に設定の必要はありません。

6 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。

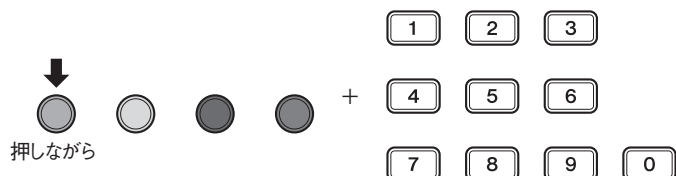


7 リモコンの [セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



〈 ショートカットを使う 〉

緑ボタンを押したまま、機能が登録されているショートカット番号と同じ数字キーを押して、ショートカットを実行します。



パスコードを設定して不用意な操作を防ぐ

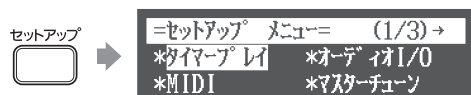
> [セットアップ] ボタン > “パスコード”

4桁のパスコードを設定して外部リモコンからのアクセスを制限し、不用意な操作を防ぐことができます。

〈 パスコードの設定 〉

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。



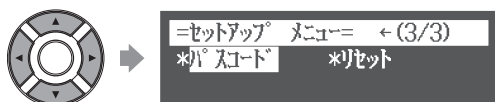
メモ

この設定は外部リモコン専用です。本機のリモコンを使う場合は、設定する必要はありません。外部リモコンをご使用の際は、外部リモコンの取扱説明書を参照ください。

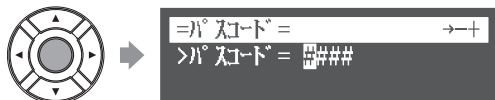
ここも参照

設定が不適切だと外部リモコンが正しく機能しない場合があります。正しく機能しないときは、工場出荷時の設定に本機を戻してください。設定方法については、「本機をリセットする」(142ページ)を参照ください。

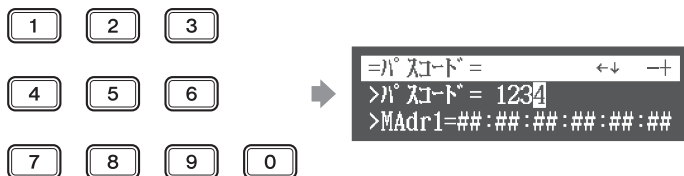
- 2 カーソルボタンを使って“パスコード”を選び、[セット] ボタンを押します。



パスコード画面が表示されます。



- 3 数字キーで4桁のコードを入力します。



MACアドレスの登録については、「MACアドレスの登録」をご参照ください。

- 4 [セット] ボタンを押します。

セットアップメニューに戻ります。



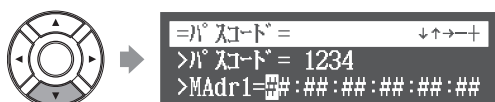
- 5 リモコンの[セットアップ] ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



〈MACアドレスの登録〉

本機に外部リモコンのMACアドレスを登録すると、登録した外部リモコンからはパスコードなしで本機にアクセスできます。

- 1 パスコード画面でパスコードが正しく入力されていることを確認し、カーソルボタン[▼]を押して、“MAdr1”を選びます。

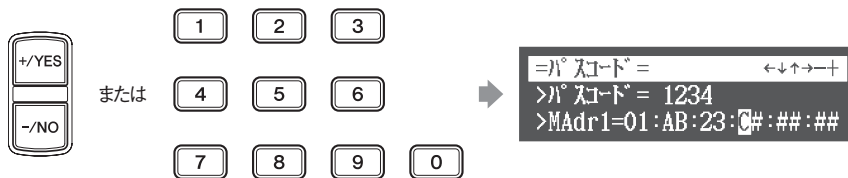


- 2 カーソルボタン[◀] [▶] を使ってカーソルを左右に動かします。



次ページに続く

- 3** **[+ / YES] ボタン** / **[- / NO] ボタン**または**数字キー**を使ってアドレスを入力します。



アドレスは3つまで登録できます。

- 4** **[セット] ボタン**を押します。

セットアップメニューに戻ります。



- 5** リモコンの**[セットアップ]** ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



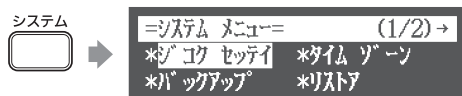
ディスプレイの明るさを調整する

> [システム] ボタン > "ディスプレイ"

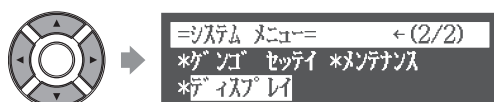
ディスプレイの明るさを調整することができます。また、一定時間ボタンの操作がないときに、自動的に暗くなるように設定することもできます。

- 1** リモコンの**[システム]** ボタンを押します。

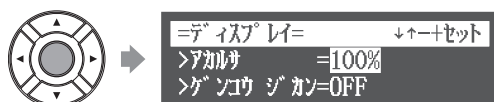
システムメニューが表示されます。



- 2** カーソルボタンを使って**"ディスプレイ"**を選び、**[セット]** ボタンを押します。

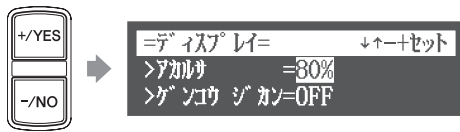


ディスプレイ設定画面が表示されます。



3

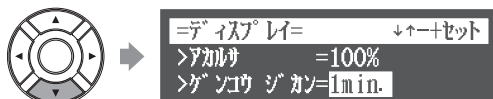
[+/^{イエス}YES] ボタン / [-/^{ノー}NO] ボタンを使って明るさを設定します。



明るさは、40%、60%、80%、100%の4段階で設定できます。

4

カーソルボタン[▼]を使って“ゲンコウジカン”を選び、[+/^{イエス}YES] ボタン / [-/^{ノー}NO] ボタンを使って減光時間（ディスプレイが暗くなるまでの時間）を設定します。



設定できる時間は、OFF、1min、2min、3min、5min、10min、15min、30min、45min、60minです。

5

[セット] ボタンを押します。

システムメニューに戻ります。



6

リモコンの[システム] ボタンを押して、システムメニューを終了します。



メモ

ボタンを押したり、メディアを挿入したり、取り出したりすると、ディスプレイの明るさは初期設定に戻ります。

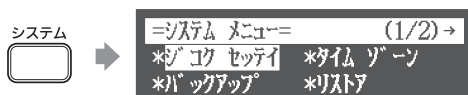
ディスプレイ表示の言語を切り替える

> [システム] ボタン > “ゲンゴ セッテイ”

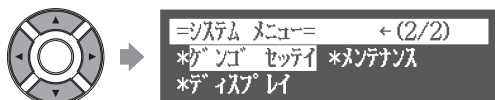
1

リモコンの[システム] ボタンを押します。

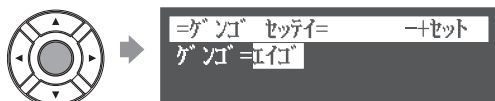
システムメニューが表示されます。



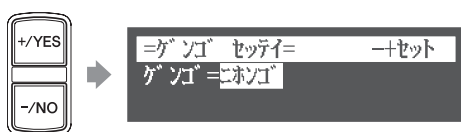
- 2 カーソルボタンを使って“ゲンゴセッテイ”を選び、[セット] ボタンを押します。



言語設定画面が表示されます。

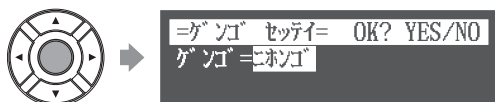


- 3 [+/^{イエス}YES] ボタン／[-/^{ノー}NO] ボタンを使って言語を選びます。



- 4 [セット] ボタンを押します。

“OK?” の文字が画面最上段に点滅します。



- 5 [+/^{イエス}YES] ボタンを押して、言語を切り替えます。

言語切り替えが完了し、自動的にシステムメニューに戻ります。

[-/NO] ボタンを押すと、言語切り替えをキャンセルし、言語設定画面に戻ります。

- 6 リモコンの[システム] ボタンを押して、システムメニューを終了します。



お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定する

> [システム] ボタン > "タイムゾーン"

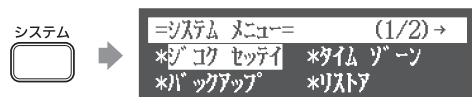
タイムゾーンの初期設定で“GMT + 9”（日本）に設定されており、国内で使用する場合は変更する必要はありません。もし海外で使用する場合には、このタイムゾーンを変更することができます。

メモ

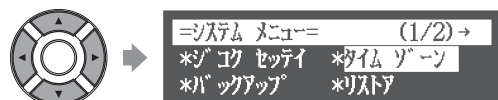
GMTとはグリニッジ標準時
(Greenwich Mean Time) を指します。

1 リモコンの[システム] ボタンを押します。

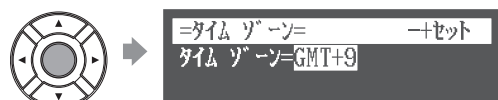
システムメニューが表示されます。



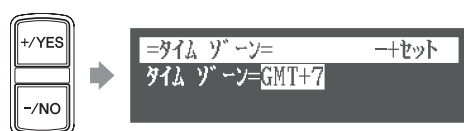
2 カーソルボタンを使って“タイムゾーン”を選び、[セット] ボタンを押します。



タイムゾーン設定画面が表示されます。



3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってタイムゾーンを選びます。



4 セットボタンを押します。

タイムゾーンが設定され、システムメニューに戻ります。



5 リモコンの[システム] ボタンを押して、システムメニューを終了します。



本機をリセットする

> [セットアップ] ボタン > "リセット"

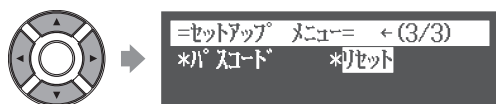
本機を工場出荷時の状態に戻したい場合には、以下の手順で本機をリセットしてください。

1 リモコンの [セットアップ] ボタンを押します。

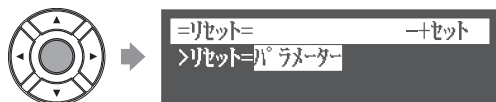
セットアップメニューが表示されます。



2 カーソルボタンを使って "リセット" を選び、[セット] ボタンを押します。



リセット画面が表示されます。



3 [+ / YES] ボタン / [- / NO] ボタンを使ってオプションを選びます。

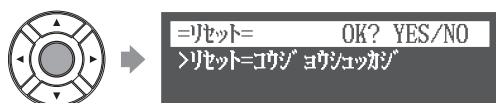


■ 選択できるオプション

パラメーター	時刻設定およびインターネット設定を除く、すべてのパラメーターを初期化します。
メモリスティック	内蔵メモリーを初期化します。
コウジョウシュッカ	本機を工場出荷時の状態に戻します。
クッキー ショウキョ	保存されているすべてのクッキーを消去します。

4 [セット] ボタンを押します。

"OK?" の文字が画面最上段に点滅します。



重要

Disklavier をリセットすると、選んだオプションによって、すべてのパラメーター、内蔵メモリー内のすべてのデータ、またはその両方が失われます。通常の使用においてはリセットの必要はありません。止むを得ずリセットする場合は、内蔵メモリー内のソングのバックアップを作成することをおすすめします。なお、各種パラメーター設定については、バックアップを取ることはできません。

ここも参照

バックアップの作成方法については、「ソングのバックアップを作成する」(119 ページ) を参照ください。

- 5 **[+ / YES]** ボタンを押して、リセットを実行します。キャンセルする場合は **[- / NO]** ボタンを押します。



しばらくすると、完了メッセージが表示されます。いずれかのボタンを押して、セットアップメニューに戻ります。

- 6 リモコンの **[セットアップ]** ボタンを押して、セットアップメニューを終了します。



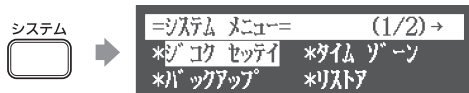
メンテナンスモードを使う

> [システム] ボタン > "メンテナンス"

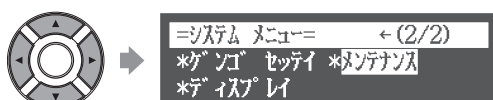
すぐにでも対処が必要なほど本機に不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にお問い合わせのうえ、以下のメンテナンスモードをお試しください。

- 1 リモコンの **[システム]** ボタンを押します。

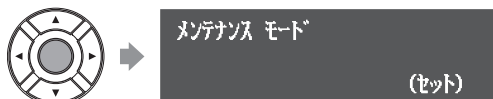
システムメニューが表示されます。



- 2 カーソルボタンを使って "メンテナンス" を選び、**[セット]** ボタンを押します。



メンテナンスモード画面が表示されます。



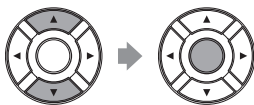
- 3 **[セット]** ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。



次ページに続く

- 4 カーソルボタン[▲][▼]を使って実行するメニューを選び、[セット]ボタンを押します。



選んだメニューが実行されます。

- 5 [停止]ボタンを押して、メンテナンスモードを終了します。

システムメニューに戻ります。



- 6 リモコンの[システム]ボタンを押して、システムメニューを終了します。



メモ

サービスマンの指示がない限り、メンテナンスメニューは実行しないでください。

本機のプログラムをアップデートする

> 電源を切る > [再生/一時停止]ボタン+電源ボタン

CD-ROMやUSBフラッシュメモリーに保存されているバージョンアップデータやインターネットからダウンロードしたバージョンアップデータを使用し、本機のプログラムをアップデートすることができます。

バージョンアップデータは下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

- 1 本機の電源を切ります。

- 2 コントロールユニットの[再生/一時停止]ボタンを押しながら、電源ボタンを押します。



各モジュールの現在のプログラムバージョンが順次表示されます。

- 3 バージョンアップデータが用意されていることを確認し、コントロールユニットの[セット]ボタンを押します。

アップデート確認画面が表示されます。



メモ

電源を切る前に、最新のバージョンアップデータが保存されているCD-ROMやUSBフラッシュメモリーを本機に挿入するか、インターネットからバージョンアップデータをダウンロードしておきます。

4 もう一度コントロールユニットの【セット】ボタンを押します。

各モジュールごとにアップデートをするかどうかの確認が表示されます。



v2. 01 → v2. 20
MC -イデ スカ? (PLAY, STOP)

5 【再生／一時停止】ボタンを押して、アップデートを開始します。

1 回目のアップデートには約3分かかります。



MC v2. 01 → v2. 20
デ スカ ヲ トリダ スイデ !

1 回目のアップデートが終わると、下記の画面が表示されます。

2回目の開始画面

v2. 01 → v2. 10
CTRL-イデ スカ? (PLAY, STOP)

【再生／一時停止】ボタンを押して、2回目のアップデートを開始します。

2回目のアップデートには約3分かかります。

合計で4回のアップデートが必要です。以降、同様の操作でアップデートを行います。

3回目の開始画面

v2. 01 → v2. 01
APE -イデ スカ? (PLAY, STOP)

3回目のアップデートには約2分かかります。

4回目の開始画面

v2. 02 → v2. 10
CSP -イデ スカ? (PLAY, STOP)

4回目のアップデートには約2分かかります。

すべてのモジュールのアップデートが終わるとアップデート完了の画面が表示されます。

シュリョウシマシ
デ ンゲ ンダ イナオシ クダ サイ

6 アップデートが終わったら、本機を再起動します。

重要

アップデート中は電源を切らないでください。途中で電源を切ると正常に動作しなくなります。

重要

必ずすべてのモジュールをアップデートしてください。

困ったときは／ 関連情報／付録

本機の機能に関する情報や解説などをまとめています。
お困りのとき、知りたい情報が見つからないときなどにご覧ください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しない場合は、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しなかったり、以下の項目以外の異常が認められた場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または最寄りのヤマハまでご連絡ください。

■ 電源

症状	対処法
本機が起動しない。	電源供給ユニットの主電源スイッチが入っているか確認してください。
	電源コードが適切なコンセントに接続されているかどうか、確認してください。
	上の2つを試しても直らない場合には、お買い上げ店または最寄りのヤマハにご相談ください。

■ コントロールユニット

症状	対処法
コントロールユニットが正しく作動しない。	コントロールユニットの電源を切り、5秒後に再び電源を入れてください。それでも改善されない場合にはお買い上げ店または最寄りのヤマハにご相談ください。
コントロールユニットが熱くなる。	コントロールユニットは本機の電源が入っている間（スタンバイモード中も）熱くなりますが、これは異常ではありません。

■ リモコン

症状	対処法
リモコンを使って操作できない。	コントロールユニットのリモコン受光部に、リモコンを向けて操作してください。
	リモコンの操作範囲内で操作しているかどうか確認してください。
	リモコンの電池が正しく装着されているかどうか確認してください。
	リモコンの電池が消耗していないかどうか確認してください。

■ 再生

症状	対処法
再生機能のすべてが作動しない。	本機に音源の入ったメディアを入れてください。
本機がソングのファイルを読み込まない。	1つのアルバムに入れられるファイル数は999までです。現状のファイル数を確認してみてください。
	SMFファイルの拡張子が“MID”や“mid”、またE-SEQファイルの拡張子が“FIL”や“fil”になっているか確認してください。またファイル名に余分な文字が付け足されていないかどうか、確認してください。
間違ったテンポやキーで演奏される。	テンポや移調の設定をリセットしてください。一度テンポや調が変わると、別のメディアかアルバムを選んだり、録音待機状態にしたり、電源を切るまで、それらの設定は記憶されています。
通常の曲順で演奏されない。	ランダムリピートモードになっていないかどうか確認してください。

症状	対処法
別の機器で再生する時と曲順が違う。	再生の順番は録音時に使用したソフトウェアなどいくつかの要因により左右される場合があります。本機上で指定した曲順で演奏したい場合にはファイル名の頭に「01、02…」と番号を付ければ解決する場合があります。
リモコンの数字キーで聴きたいソングを選んだが、アルバムの最後のソングが演奏されてしまう。	アルバムの最後のソングよりも番号の大きなソングを選ぶと、最後のソングが演奏されます。
リモコンの数字キーでソングを頭出しをしたが、ソングの最後が出てしまう。	ソング全体の長さよりも大きい数値が指定されるとソングの最後が演奏されます。もう一度演奏時間を確認してみてください。
音が飛ぶことがある。	ピアノ曲を低い音量で再生した場合、複雑なトリルやデリケートなピアノニッシモの楽節などで音が飛ぶことがあります。こうした場合には音量を高めに設定されることをおすすめします。
スマートピアノソフト再生時に音声が演奏されない。	スマートピアノソフトとペアになったオーディオCDが挿入されているかどうか確認してください。
再生中ペダルが動かない。	ペダルパートがキャンセルされていないか確認してください。

■ 内蔵音源

症状	対処法
アンサンブルソング再生時にアンサンブルパートが聴こえない。	TGバランスが適切なレベルにセットされているか確認し、調整してください。
本機と内蔵音源のピッチが合わない。	TGマスターチューンを使って内蔵音源のピッチを調整してください。

■ 録音

症状	対処法
再録音できない。	データCDやフロッピーディスクに収録されたピアノソフトやピアノソフトプラスなど、上書き保護された曲は再録音ができません。

■ メディア

症状	対処法
本機がUSBフラッシュメモリーを認識しない。	USBフラッシュメモリーによっては本機で正しく動作しないものもあります。動作確認済みの製品については、下記ウェブサイトを参照ください。 http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/devicelist/
本機がCD-R/RWディスクを読み取らない。	本機は一般のオーディオCD (CD-DA準拠オーディオCD)、およびISO 9660 Level 1でフォーマットされたデータCDに対応しています。上記以外のフォーマットのCD-R/RWディスクは本機で認識しない場合があります。

■ 外部機器との接続

症状	対処法
本機と他のMIDI ^{ミディ} 機器との間でデータの受送信ができない。	MIDI ^{ミディ} ケーブルまたはUSBケーブルが正しく接続されているか確認してください。
本機のMIDI ^{ミディ} OUT ^{アウト} 端子にパソコンを接続すると、データが2つの機器間を回り続けるループ状態が起こった。	MIDI ^{ミディ} OUT ^{アウト} 端子の設定を“KBD OUT”にしてください。

■ ビデオ同時録再

症状	対処法
同時再生されない。	本機とDVDレコーダーを接続しているRCAコードのL/Rチャンネルが間違っ て接続されていないかご確認ください。 本機とDVDレコーダーを接続しているRCAコードの入出力が間違っ て接続されていないかご確認ください。 OMNI IN^{オムニ イン}の設定が“ジドウハンベツ”になっているかご確認ください。 OMNI OUT^{オムニ アウト}の設定が“Sync”になっているかご確認ください。
録音中に雑音が聴こえる。	DVDレコーダーに接続したテレビの音声をミュートしてください。 OMNI OUT^{オムニ アウト}端子のL側に接続されているコードを外してご使用ください (機能的には影響ありません)。
同時再生中に雑音が聴こえる。	本機から送信される同期信号(SMPTE)のレベルが大きい可能性があります。 SYNC OUT ^{シンク アウト} レベルを小さくして再度同時録音し直してください。
映像とピアノ演奏がずれる。	映像表示装置側で遅れている可能性があります。映像とピアノ演奏が同時 に再生されるようにSYNC IN ^{シンク イン} オフセットで調整してください。
同時再生時にピアノ演奏の頭が欠けてしまう。	本機が同期信号を受けてからピアノが再生されるまで、時間がかかってい る可能性があります。あらかじめ同時再生する曲を選んでから、ビデオを 再生してください。また、録音時には録音開始してから、演奏するまでも う少し時間を空けてください。

■ インターネットダイレクトコネクション

症状	対処法
インターネットに接続できない。	モデム、ONU、ルーターなどのネットワーク機器の電源をご確認ください。 LANケーブルをネットワーク機器のコネクターにしっかりと奥まで差し 込んでください。 ご家庭の環境にあった接続方法をご確認ください。 ご利用のプロバイダーをご確認ください。
接続が切れる、または遅い。	ご利用のインターネット回線の混雑状況によっては、接続が切れてしま うことがあります。時間を変えて再度インターネット接続してください。

エラーメッセージ

本機を操作中、エラーメッセージがディスプレイに表示される場合があります。メッセージが現れた場合は、下記の表の各メッセージの説明をご確認ください。

■ メディア選択／再生

エラーメッセージ	発生原因	対処法
メディアが ソリコウサレマセン	メディア選択画面で、挿入されていないメディアを選んだ。	何かボタンを押して、メッセージを消してから、メディアを挿入し、再度メディアを選んでください。
CDが 読み込み!	スマートピアノソフトを再生する際、同時再生させるオーディオCDが違っていた。	スマートピアノソフトに対応したオーディオCDを挿入し直してください。

■ ファイル操作

エラーメッセージ	発生原因	対処法
ディスクの容量が 不足しています	容量一杯のメディアにソングをコピーしようとした。	ソングを消去するなどして空き容量を増やしてから、再度コピーを実行してください。
ディスクの容量が 不足しています	コピー先のメディアが挿入されていない。	メディアを挿入してから、再度コピーを実行してください。
ディスクの保護が 解除されています	プロテクトタブがオンになっているメディアにコピーしようとした。	ライトプロテクトを解除してから、再度コピーを実行してください。
ディスクの保護が 解除されています	プロテクトがかかっているソングをコピーしようとした。	プロテクトがかかっているソングは、外部メディアにコピーできません。
アルバム名が 変更されています	外部メディアにてサブフォルダがある状態で、アルバムを削除しようとした。	USBメディアでは、消去しようとするフォルダの中にフォルダがある場合、「アルバムショウキョ」ではフォルダを消さずにファイルのみを消去します。
アルバム名が 変更されています	メディア内に99個アルバムが存在する状態で、さらに新規アルバムを作成しようとした。	ひとつのメディアに作成できるアルバムは99個です。他のアルバムを消去してから再実行してください。
アルバム名が 変更されています	アルバム内にソングが999曲存在する状態で、新たにソングを作成しようとした。	ひとつのアルバムに作成できるソングの数は999曲です。他のソングを消去してから再実行してください。
アルバム名が 変更されています	アルバムやプレイリストのタイトルへ変更するときに、メディア内に同じタイトルのアルバムが存在していた。	同じタイトルのアルバムやプレイリストを作成することはできません。別のタイトルに変更してください。

■ 録音

エラーメッセージ	発生原因	対処法
リコーダが エラーです	再録音する際に、録音するパートを選んでいなかった。	何かボタンを押して、メッセージを消してから、[パートキャンセルL]ボタンまたは[パートキャンセルR]ボタンを押して、録音するパートを選び、再録音を行ってください。

■ タイマープレイ

エラーメッセージ	発生原因	対処法
タイマーが エラーです	タイマープログラム設定で2つのプログラムが同じ時刻に登録されようとした。	同じ時刻に2つのプログラムを実行することはできません。時刻を変えて登録してください。

アンサンブルソング

ピアノパートとそれ以外の伴奏楽器パートのあるソングです。アンサンブルソングにはL/Rソングの左手パートと右手パートに加え、伴奏楽器用のトラックが含まれます。これらのトラックは内蔵音源で演奏されます。伴奏用トラックはアコースティックベース、ドラム、弦楽器、ビブラフォンなどに使われます。

移調

曲の調を変えることです。例えば、ハ長調の曲を2半音上げると、二長調の曲になります。

インターネット

地球規模に広がる大規模通信網です。インターネットはコンピュータ、携帯電話、その他の機器間の開かれたネットワークを提供します。特に遠隔地との安価な通信手段として世界中の多くの人々に親しまれています。

ウェブサイト

インターネット上で公開されているウェブページの集まりのことです。例えば <http://www.yamaha.co.jp/> のアドレスで始まる一連のウェブページは、ヤマハのウェブサイトということになります。

ウェブページ

インターネット上で閲覧することができる、情報発信のためのページのことです。

音色

内蔵音源によって再現される、さまざまな楽器の音です。

クッキー

ウェブサイトを閲覧したときに、ユーザーの情報などを一時的に書き込んだデータファイルのことです。本機の場合、クッキーはIDCサービスのIDやパスワードを保存するために使われます。

ゲートウェイ

2つの異なるネットワークやシステムを相互に接続するための機器で、異なった通信手段を使用する機器間でのデータ転送を可能にします。

サーバー

ネットワーク上でデータの送受信を行うハードウェアまたはコンピュータです。インターネットやネットワーク上のクライアントコンピュータや通信機器に対して、ファイル送受信やさまざまな通信サービスを提供します。

最大同時発音数

MIDI楽器で同時に再生可能な音の最大数です。

サブネットマスク

大規模ネットワークをいくつかの小規模ネットワークに分割するのに使われるセッティングです。

シーケンサー

本機と一緒に使用することができる、MIDIデータを再生したり、録音したりする機器です。

ストリーミング放送

インターネットなどのネットワークを通じて配信される映像や音声などのマルチメディアコンテンツです。視聴する際は、データを受信しながら同時に再生します。本機をインターネットに接続すればDisklavierRadioでDisklavier専用の音楽コンテンツを再生することができます。

スマートピアノソフト

対応するオーディオCDに合わせて、ピアノを演奏させるためのMIDIソングです。本機で作成することができます。

ソング

「ソング」は一般的には、旋律のある短い楽曲という意味の英語です。しかし本書では本機で編集可能な楽曲データを「ソング」と呼び、オーディオCDなどに収録された一般的な楽曲を「曲」と呼びます。

トーンジェネレーター

音のトーンや楽器の音色を創り出す電子機器です。

ハーフペダル

ピアノのペダルは、完全に踏み込むか離すだけではなく、その中間の任意の位置まで（漸進的に）踏み込む場合があります。本機は、この連続したペダルの踏み加減（ハーフペダル）を忠実に記録し、再現します。

ピアノソフト

ピアノのソロ演奏が収録されたソフトです。

ピアノソフトプラス

ピアノ演奏のバックに、オーケストラなどのアンサンブル伴奏がついたピアノ用ソフトです。

ピアノパート

左手パートと右手パートのことです。初期設定では、左手パートはトラック1に、右手パートはトラック2に録音されるように設定されています。

プロキシ

プロキシサーバーは、ローカルネットワーク上のすべてのコンピューターがインターネット上の情報にアクセスする前に通過しなければならないサーバーです。プロキシサーバーは実際にアクセスしようとしているサーバーに対する要求をいったん受け止め、プロキシサーバー自身でその要求が完結するか判断します。完結しない場合は要求を実際のサーバーに送ります。プロキシサーバーはパフォーマンスと速度、セキュリティを向上させたり、ネットワークへの不正アクセスを防止するために使われます。

フロッピーディスク

磁気記録メディアです。本機では別売のUSBフロッピーディスクドライブを使用することで、3.5インチの2DDまたは2HDのフロッピーが使用できます。

プロバイダー

インターネット通信接続サービスを行う会社です。インターネットに接続するためには、プロバイダーと契約することが必要です。

モデム

通常の電話線とコンピューター間に接続され、データ通信を行うための装置です。コンピューターからのデジタル信号をアナログ音声に変換し、電話線を通じてデータ通信を行います。またはその逆を行います。

ルーター

複数のコンピューターネットワークに接続するためのデバイスです。例えばルーターは、家庭やオフィスの複数のコンピューターをインターネットに接続することやファイル共有を可能にします。ルーターは通常コンピューターとモデム間に接続されますが、モデムにルーターが内蔵されているものもあります。

DNS

(Domain Name Server)

インターネット上の名前であるドメイン名と住所であるIPアドレスを関連付けるためのサーバーです。

DHCP

(Dynamic Host Configuration Protocol)

インターネットに接続するコンピューターにIPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。DHCPを利用すればネットワークに詳しくない人でも簡単にインターネットに接続することができます。

E-SEQ ソングフォーマット

サイレントアンサンブルピアノやピアノプレーヤなどで使用される、ヤマハ独自のフォーマットです。

General MIDI (GM)

異なるメーカーの製品間でのMIDIソングデータのやりとりを簡単にするMIDI規格のひとつです。GM音源で録音されたMIDIソングは、GM音源を使用したときに正しく再生されます。規格ではGM音源の最大同時発音数は24以上で、16のパートと128の基本音源を内蔵すると規定されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されている、それぞれのコンピューターに割り振られた番号で、ネットワーク上の住所を表します。

LAN

(Local Area Network)

オフィスや家庭など同一の屋内にあるコンピューター同士を繋ぎ、高速なデータ送受信を可能にするネットワークです。

L/Rソング

L/Rソングでは、左手パートと右手パートは別々のトラックに記録されています。再生するときに、ひとつのパートをキャンセルして、そのパートを自分で演奏することができます。また、L/Rソングを録音するときは、2つのパートを同時に録音したり、別々に録音したりすることもできます。

MIDI

(Musical Instrument Digital Interface)

電子楽器同士で演奏情報をやりとりできる規格です。

Quietモード

ヤマハ独自の画期的なシステムで、ハンマーが弦を打つのを止め、アコースティックピアノの音を消します。電子ピアノ音で演奏されるので、Quietモードではアンブ内蔵スピーカー（別売）から音が聴こえるようになります。

SMF

(Standard MIDI File)

さまざまなMIDI機器やコンピューターで読み込んで使用できる、MIDIデータファイルです。

SMFソングフォーマット

MIDIシーケンサーや音楽ソフトで使用できる曲フォーマットです。

USB

プラグアンドプレイ に対応した外部機器を接続するためのインターフェースです。本機にはUSB1.1 接続の2つの TO DEVICE 端子と1つの TO HOST 端子を装備しています。TO DEVICE 端子にUSBフラッシュメモリーやUSBハードディスクを接続すれば外部記憶媒体として利用できます。また、TO HOST 端子にパソコンを接続すれば、パソコンから本機を外部 MIDI 機器として操作することもできます。

XG

ヤマハXGは、GM (ジェネラル ミディ General MIDI) の拡張フォーマットです。その重厚なポリフォニーや、豊富な音色、音響効果を活かしながら、MIDI 機器間での互換性をさらに高めます。ヤマハXGフォーマットのソングはXG対応音源やシンセサイザーで再生したときにはじめて作曲家が意図した音が再生されます。

内蔵音源

本機内蔵のGM/XGおよびTG3 (TG300B) 音源の音色の一覧です。

内蔵GM/XG音源の音色一覧

グループ	音色	備考
01 Piano		
001	GrandPno	グランドピアノ
002	GrndPnoK	グランドピアノ KSP
003	MelloGrP	メローグランドピアノ
004	PianoStr	ピアノストリングス
005	Dream	ドリーム
006	BritePno	ブライトピアノ
007	BritPnoK	ブライトピアノ KSP
008	E.Grand	エレクトリックグランドピアノ
009	ElGrPnoK	エレクトリックグランドピアノ KSP
010	Det.CP80	デチューンドCP80
011	ElGrPno1	エレクトリックグランドピアノ1
012	ElGrPno2	エレクトリックグランドピアノ2
013	HnkyTonk	ホンキートンクピアノ
014	HnkyTnkK	ホンキートンクピアノ KSP
015	E.Piano1	エレクトリックピアノ1
016	El.Pno1K	エレクトリックピアノ1 KSP
017	MelloEP1	メローエレクトリックピアノ1
018	Chor.EP1	コーラスエレクトリックピアノ1
019	HardEl.P	ハードエレクトリックピアノ1
020	VX El.P1	VXエレクトリックピアノ1
021	60sEl.P	60'sエレクトリックピアノ1
022	E.Piano2	エレクトリックピアノ2
023	El.Pno2K	エレクトリックピアノ2 KSP
024	Chor.EP2	コーラスエレクトリックピアノ2
025	DX Hard	DXエレビハード
026	DXLegend	DXレジェンド
027	DX Phase	DXフェーズエレビ
028	DX+Analg	DX+アナログエレビ
029	DXKotoEP	DXコトエレクトリックピアノ
030	VX El.P2	VXエレクトリックピアノ2
031	Harpsi.	ハーブシコード
032	Harpsi.K	ハーブシコード KSP
033	Harpsi.2	ハーブシコード2
034	Harpsi.3	ハーブシコード3
035	Clavi.	クラビコード
036	Clavi.K	クラビコード KSP
037	ClaviWah	クラビワウ
038	PulseClv	パルスクラビ
039	PierceCl	ピアスクラビ
02 ChromaticPerc		
040	Celesta	チェレスタ
041	Glocken	グロックンシュピール
042	MusicBox	オルゴール1
043	Orgel	オルゴール2
044	Vibes	ビブラフォン
045	VibesK	ビブラフォン KSP
046	HardVibe	ハードビブラフォン
047	Marimba	マリンバ
048	MarimbaK	マリンバ KSP
049	SineMrmb	サインマリンバ

グループ	音色	備考
050	Balafon2	バラフォン2
051	Log Drum	ログドラム
052	Xylophon	シロフォン
053	TubulBel	チューブラーベル
054	ChrchBel	チャーチベル
055	Carillon	カリヨン
056	Dulcimer	ダルシマー
057	Dulcirm2	ダルシマー2
058	Cimbalom	ツィンパロン
059	Santur	サントゥール
03 Organ		
060	DrawOrgn	ドローパーオルガン
061	DetDrwOr	デチューンドドローパーオルガン
062	60sDrOr1	60'sドローパーオルガン1
063	60sDrOr2	60'sドローパーオルガン2
064	70sDrOr1	70'sドローパーオルガン1
065	DrawOrg2	ドローパーオルガン2
066	60sDrOr3	60'sドローパーオルガン3
067	EvenBar	イーブンバー
068	16+2"2/3	16+2"2/3オルガン
069	Organ Ba	オルガンベース
070	70sDrOr2	70'sドローパーオルガン2
071	CheezOrg	チージーオルガン
072	DrawOrg3	ドローパーオルガン3
073	PercOrgn	パーカッシブオルガン
074	70sPcOr1	70'sパーカッシブオルガン
075	DetPrcOr	デチューンドパーカッシブオルガン
076	LiteOrg	ライトオルガン
077	PercOrg2	パーカッシブオルガン2
078	RockOrgn	ロックオルガン
079	RotaryOr	ロータリーオルガン
080	SloRotar	スローロータリー
081	FstRotar	ファストロータリー
082	ChrchOrg	教会オルガン
083	ChurOrg3	教会オルガン3
084	ChurOrg2	教会オルガン2
085	NotreDam	ノートルダム
086	OrgFlute	オルガンフルート
087	TrmOrgFl	トレモロオルガンフルート
088	ReedOrgn	足踏みオルガン
089	Puff Org	パフオルガン
090	Acordion	アコーディオン
091	AccordIt	イタリアンアコーディオン
092	Harmnica	ハーモニカ
093	Harmo 2	ハーモニカ2
094	TangoAcd	タンゴアコーディオン
095	TngoAcd2	タンゴアコーディオン2
04 Guitar		
096	NylonGtr	ナイロン弦ギター
097	NylonGt2	ナイロン弦ギター2
098	NylonGt3	ナイロン弦ギター3

グループ	音色	備考
099	VelGtHrm	ベロシティギターハーモニクス
100	Ukulele	ウクレレ
101	SteelGtr	スチール弦ギター
102	SteelGt2	スチール弦ギター2
103	12StrGtr	12弦ギター
104	Nyln&Stl	ナイロン&スチール弦ギター
105	Stl&Body	スチール弦&ボディサウンド
106	Mandolin	マンドリン
107	Jazz Gtr	ジャズギター
108	MelloGtr	メローギター
109	JazzAmp	ジャズアンプ
110	CleanGtr	クリーンギター
111	ChorusGt	コーラスギター
112	Mute.Gtr	ミュートギター
113	FunkGtr1	ファンクギター1
114	MuteStlG	ミュートスチール弦ギター
115	FunkGtr2	ファンクギター2
116	Jazz Man	ジャズマン
117	Ovrdrive	オーバードライブギター
118	Gt.Pinch	ギターピンチ
119	Dist.Gtr	ディストーションギター
120	FeedbkGt	フィードバックギター
121	FeedbGt2	フィードバックギター2
122	GtrHarmo	ギターハーモニクス
123	GtFeedbk	ギターフィードバック
124	GtrHrmo2	ギターハーモニクス2
05 Bass		
125	Aco.Bass	アコースティックベース
126	JazzRthm	ジャズリズム
127	VXUprght	VXアップライトベース
128	FngrBass	フィンガーベース
129	FingrDrk	フィンガーダーク
130	FlangeBa	フランジベース
131	Ba&DstEG	ベース&ディストーションギター
132	FngrSlap	フィンガースラップベース
133	FngBass2	フィンガーベース2
134	ModAlem	モジュレートッドベース
135	PickBass	ピックベース
136	MutePkBa	ミュートピックベース
137	Fretless	フレットレスベース
138	Fretles2	フレットレスベース2
139	Fretles3	フレットレスベース3
140	Fretles4	フレットレスベース4
141	SynFretl	シンセフレットレス
142	Smooth	スムーズフレットレス
143	SlapBas1	スラップベース1
144	ResoSlap	レゾナントスラップ
145	PunchThm	パンチサムベース
146	SlapBas2	スラップベース2
147	VeloSlap	ベロシティスイッチスラップ
148	SynBass1	シンセベース1

グループ	音色	備考
149	SynBa1Dk	シンセベース1ダーク
150	FastResB	ファストレゾナントベース
151	AcidBass	アシッドベース
152	Clv Bass	クラブベース
153	TeknoBa	テクノシンセベース
154	Oscar	オスカー
155	SqrBass	スクエアベース
156	RubberBa	ラバーベース
157	Hammer	ハンマー
158	SynBass2	シンセベース2
159	MelloSB1	メローシンセベース
160	Seq Bass	シーケンスドベース
161	ClkSynBa	クリックシンセベース
162	SynBa2Dk	シンセベース2ダーク
163	SmthBa 2	スムーズシンセベース2
164	ModulrBa	モジュラーシンセベース
165	DX Bass	DXベース
166	X WireBa	エックスワイヤーベース
06 Strings		
167	Violin	バイオリン
168	SlowVln	スローバイオリン
169	Viola	ビオラ
170	Cello	チェロ
171	Contrabs	コントラバス
172	Trem.Str	トレモロストリングス
173	SlwTrStr	スロートレモロストリングス
174	Susp Str	サスペンストリングス
175	Pizz.Str	ピチカートストリングス
176	Harp	ハープ
177	YangChin	ヤンチン
178	Timpani	ティンパニ
07 Ensemble		
179	Strings1	ストリングス1
180	S.Strngs	ステレオストリングス
181	SlowStr	スローストリングス
182	ArcoStr	アルコストリングス
183	60sStrng	60'sストリングス
184	Orchestr	オーケストラ
185	Orchstr2	オーケストラ2
186	TremOrch	トレモロオーケストラ
187	VeloStr	ベロシティストリングス
188	Strings2	ストリングス2
189	S.SlwStr	ステレオスローストリングス
190	LegatoSt	レガートストリングス
191	Warm Str	ウォームストリングス
192	Kingdom	キングダム
193	70s Str	70'sストリングス
194	Str Ens3	ストリングスアンサンブル3
195	Syn.Str1	シンセストリングス1
196	ResoStr	レゾナントストリングス
197	Syn Str4	シンセストリングス4
198	SS Str	SSストリングス
199	Syn.Str2	シンセストリングス2
200	ChoirAah	合唱(Aah)
201	S.Choir	ステレオクワイア
202	Ch.Aahs2	合唱(Aah) 2
203	MelChoir	メロークワイア
204	ChoirStr	クワイアストリングス

グループ	音色	備考
205	VoiceOoh	合唱(Ooh)
206	SynVoice	シンセボイス
207	SynVox2	シンセボイス2
208	Choral	コラール
209	AnaVoice	アナログボイス
210	Orch.Hit	オーケストラヒット
211	OrchHit2	オーケストラヒット2
212	Impact	インパクト
08 Brass		
213	Trumpet	トランペット
214	Trumpet2	トランペット2
215	BriteTrp	ブライトトランペット
216	WarmTrp	ウォームトランペット
217	Trombone	トロンボーン
218	Trmbone2	トロンボーン2
219	Tuba	チューバ
220	Tuba 2	チューバ2
221	Mute.Trp	ミュートトランペット
222	Fr.Horn	フレンチホルン
223	FrHrSolo	フレンチホルンソロ
224	FrHorn2	フレンチホルン2
225	HornOrch	ホルンオーケストラ
226	BrasSect	ブラスセクション
227	Tp&TbSec	Tp&Tbセクション
228	BrssSec2	ブラスセクション2
229	HiBrass	ハイブラス
230	MelloBrs	メローブラス
231	SynBras1	シンセブラス1
232	QuackBr	クアックブラス
233	RezSynBr	レゾナントシンセブラス
234	PolyBrss	ポリブラス
235	SynBras3	シンセブラス3
236	JumpBrss	ジャンプブラス
237	AnaVelBr	アナログベロシティブラス
238	AnaBrss1	アナログブラス1
239	SynBras2	シンセブラス2
240	Soft Brs	ソフトブラス
241	SynBras4	シンセブラス4
242	ChorBrss	クワイアブラス
243	VelBras2	アナログベロシティブラス2
244	AnaBrss2	アナログブラス2
09 Reed		
245	SprnoSax	ソプラノサクソフォン
246	Alto Sax	アルトサクソフォン
247	Sax Sect	サクソフォンセクション
248	HyprAlto	ハイパーアルトサクソフォン
249	TenorSax	テナーサクソフォン
250	BrthTnSx	ブレスーテナーサクソフォン
251	SoftTenr	ソフトテナーサクソフォン
252	TnrSax 2	テナーサクソフォン2
253	Bari.Sax	バリトンサクソフォン
254	Oboe	オーボエ
255	Eng.Horn	イングリッシュホルン
256	Bassoon	バスーン(ファゴット)
257	Clarinet	クラリネット
10 Pipe		
258	Piccolo	ピッコロ
259	Flute	フルート

グループ	音色	備考
260	Recorder	リコーダー
261	PanFlute	パンフルート
262	Bottle	ボトルの口を吹く音
263	Shakhchi	尺八
264	Whistle	口笛
265	Ocarina	オカリナ
11 Synth Lead		
266	SquareLd	矩形波リード
267	Square 2	矩形波リード2
268	LMSquare	LMスクエア
269	Hollow	ハロー
270	Shmoog	シュラウド
271	Mellow	メロー
272	SoloSine	ソロサイン
273	SineLead	サインリード
274	Saw.Lead	鋸歯状波リード
275	Saw 2	鋸歯状波リード2
276	ThickSaw	シックソートウース
277	DynaSaw	ダイナミックソートウース
278	DigiSaw	デジタルソートウース
279	Big Lead	ビッグリード
280	HeavySyn	ヘビーシンセ
281	WaspySyn	ワスピーシンセ
282	PulseSaw	パルスソートウース
283	Dr. Lead	ドクターリード
284	VeloLead	ベロシティリード
285	Seq Ana	シーケンスドアナログ
286	CalioPld	カリオペリード
287	Pure Pad	ピュアリード
288	Chiff Ld	チフリード
289	Rubby	ルビー
290	CharanLd	チャランリード
291	DistLead	ディストーションリード
292	WireLead	ワイヤーリード
293	Voice Ld	ボイスリード
294	SynthAah	シンセ(Aah)
295	VoxLead	ボックスリード
296	Fifth Ld	5度リード
297	Big Five	ビッグファイブ
298	Bass &Ld	ベース&リード
299	Big&Low	ビッグ&ロー
300	Fat&Prky	ファット&パーキー
301	SoftWurl	ソフトホワール
12 Synth Pad		
302	NewAgePd	ニューエイジパッド
303	Fantasy2	ファンタジー2
304	Warm Pad	ウォームパッド
305	ThickPad	シックパッド
306	Soft Pad	ソフトパッド
307	SinePad	サインパッド
308	Horn Pad	ホルンパッド
309	RotarStr	ロータリーストリングス
310	PolySyPd	ポリシンセパッド
311	PolyPd80	ポリパッド80
312	ClickPad	クリックパッド
313	Ana Pad	アナログパッド
314	SquarPad	スクエアパッド
315	ChoirPad	クワイアパッド

グループ	音色	備考
316	Heaven2	ヘブン2
317	Itopia	アイトピア
318	CC Pad	CCパッド
319	BowedPad	ボウドパッド
320	Glacier	グレイシャ
321	GlassPad	グラスパッド
322	MetalPad	メタリックパッド
323	Tine Pad	タインパッド
324	Pan Pad	パンパッド
325	Halo Pad	ハローパッド
326	SweepPad	スイープパッド
327	Shwimmer	シュイマー
328	Converge	コンバージ
329	PolarPad	ポーラーパッド
330	Celstial	セレスティアル

13 Synth Effects

331	Rain	レイン
332	ClaviPad	クラビパッド
333	HrmoRain	ハーモレイン
334	AfrcnWnd	アフリカンウィンド
335	Caribbean	カリブ
336	SoundTrk	サウンドトラック
337	Prologue	プロローグ
338	Ancestrl	アンセストラル
339	Crystal	クリスタル
340	SynDrCmp	シンセドラムコンプ
341	Popcorn	ポップコーン
342	TinyBell	タイニーベル
343	RndGlock	ラウンドグロックンシュビール
344	GlockChi	グロックンシュビールチャイム
345	ClearBel	クリアベル
346	ChorBell	コーラスベル
347	SynMalet	シンセマレット
348	SftCryst	ソフトクリスタル
349	LoudGlok	ラウドグロックンシュビール
350	XmasBell	クリスマスベル
351	VibeBell	ビブラフォンベル
352	DigiBell	デジタルベル
353	AirBells	エアベル
354	BellHarp	ベルハーブ
355	Gamelmba	ガムリンバ
356	Atmosphr	アトモスフィア
357	WarmAtms	ウォームアトモスフィア
358	HollwRls	ハローリリース
359	NylonEP	ナイロンエレクトリックピアノ
360	NylnHarp	ナイロンハーブ
361	Harp Vox	ハーブボックス
362	AtmosPad	アトモスフィアパッド
363	Planet	プラネット
364	Bright	ブライトネス
365	FantaBel	ファンタジーベル
366	Smokey	スモーキー
367	Goblins	ゴブリン
368	GobSyn	ゴブリンシンセ
369	50sSciFi	50'sサイエンスフィクション
370	Ring Pad	リングパッド
371	Ritual	リチュアル
372	ToHeaven	トゥーヘブン

グループ	音色	備考
373	Night	ナイト
374	Glisten	グリズン
375	BelChoir	ベルクワイア
376	Echoes	エコー
377	EchoPad2	エコー2
378	Echo Pan	エコーパン
379	EchoBell	エコーベル
380	Big Pan	ビッグパン
381	SynPiano	シンセピアノ
382	Creation	クリエイション
383	Stardust	スターダスト
384	Reso Pan	レゾナント&パンニング
385	Sci-Fi	サイエンスフィクション
386	Starz	スターズ

14 Ethnic

387	Sitar	シタール
388	DetSitar	デチューンドシタール
389	Sitar 2	シタール2
390	Tambra	タンブラ
391	Tamboura	タンブーラ
392	Banjo	バンジョー
393	MuteBnjo	ミュートバンジョー
394	Rabab	ラバブ
395	Gopichnt	ゴピチャント
396	Oud	ウード
397	Shamisen	三味線
398	Koto	琴
399	T.Koto	大正琴
400	Kanoon	カヌーン
401	Kalimba	カリンバ
402	Bagpipe	バグパイプ
403	Fiddle	フィドル
404	Shanai	シャナイ
405	Shanai2	シャナイ2
406	Pungi	プーンギ
407	Hichriki	箏篋

15 Percussive

408	TnklBell	ティンクルベル
409	Bonang	ボナン
410	Gender	グンデル
411	Gamelan	ガムラン
412	S.Gamlan	ステレオガムラン
413	Rama Cym	ラマシンバル
414	AsianBel	アジアンベル
415	Agogo	アゴゴ
416	SteelDrm	スチールドラム
417	GlasPerc	グラスパーカッション
418	ThaiBell	タイベル
419	WoodBlok	ウッドブロック
420	Castanet	カスターネット
421	TaikoDrm	和太鼓
422	Gr.Cassa	グランカッサ
423	MelodTom	メロディックタム
424	Mel Tom2	メロディックタム2
425	Real Tom	リアルタム
426	Rock Tom	ロックタム
427	Syn.Drum	シンセドラム
428	Ana Tom	アナログタム

グループ	音色	備考
429	ElecPerc	エレクトリックパーカッション
430	RevCymbl	リバースシンバル

16 Sound Effects

431	FretNoiz	フレットノイズ
432	BrthNoiz	ブレスノイズ
433	Seashore	海辺
434	Tweet	鳥のさえずり
435	Telephone	電話
436	Helicptr	ヘリコプター
437	Applause	拍手
438	Gunshot	銃声

18 SFX Voices

450	CuttngNz	カッティングノイズ
451	CttngNz2	カッティングノイズ2
452	Str Slap	ストリングスラップ
453	Fl.KClik	フルートキークリック
454	Rain	雨
455	Thunder	雷
456	Wind	風
457	Stream	せせらぎ
458	Bubble	泡
459	Feed	フィード
460	Dog	犬
461	Horse	馬
462	Bird 2	鳥のさえずり2
463	Ghost	ゴースト
464	Maou	マオウ
465	Tel.Dial	電話のダイヤル音
466	DoorSqek	ドアがきしむ音
467	DoorSlam	ドアが閉まる音
468	Scratch	スクラッチカット
469	Scratch2	スクラッチスプリット
470	WindChm	風鈴
471	Telphon2	電話の呼出音2
472	CarEngin	車のエンジン音
473	Car Stop	車の停止音
474	Car Pass	車の通過音
475	CarCrash	車の衝突音
476	Siren	サイレン
477	Train	列車
478	Jetplane	ジェット機
479	Starship	宇宙船
480	Burst	バースト
481	Coaster	ローラーコースター
482	SbMarine	潜水艦
483	Laughing	笑い声
484	Scream	叫び声
485	Punch	パンチ
486	Heart	心臓音
487	FootStep	足音
488	MchinGun	機関銃
489	LaserGun	レーザー銃
490	Xplosion	爆発
491	FireWork	花火

内蔵GM/XG音源のドラム音色一覧

	439 StandKit	440 Stnd2Kit	441 Room Kit	442 Rock Kit	443 ElectKit	444 AnalgKit	445 Jazz Kit	446 BrushKit	447 ClascKit	448 SFX Kit1	449 SFX Kit2
C#-1	Surdo Mute										
D-1	Surdo Open										
D#-1	Hi Q										
E-1	Whip Slap										
F-1	Scratch Push										
F#-1	Scratch Pull										
G-1	Finger Snap										
G#-1	Click Noise										
A-1	Metronome Click										
A#-1	Metronome Bell										
B-1	Seq Click L										
C0	Seq Click H										
C#0	Brush Tap										
D0	Brush Swirl L										
D#0	Brush Slap										
E0	Brush Swirl H				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal					
F0	Snare Roll	Snare Roll 2									
F#0	Castanet				Hi Q	Hi Q					
G0	Snare L	Snare L 2		SD Rock M	Snare M	SD Rock H		Brush Slap L			
G#0	Sticks										
A0	Bass Drum L			Bass Drum M	Bass Drum H 4	Bass Drum M			Bass Drum L 2		
A#0	Open Rim Shot	Open Rim Shot 2									
B0	Bass Drum M	Bass Drum M 2		Bass Drum H 3	BD Rock	BD Analog L			Gran Cassa		
C1	Bass Drum H	Bass Drum H 2		BD Rock	BD Gate	BD Analog H	BD Jazz	BD Soft	Gran Cassa Mute	Guitar Cutting Noise	Dial Tone
C#1	Side Stick					Analog Side Stick				Guitar Cutting Noise 2	Door Creaking
D1	Snare M	Snare M 2	SD Room L	SD Rock	SD Rock L	Analog Snare L		Brush Slap	Marching Sn M		Door Slam
D#1	Hand Clap									String Slap	Scratch
E1	Snare H	Snare H 2	SD Room H	SD Rock Rim	SD Rock H	Analog Snare H		Brush Tap	Marching Sn H		Scratch 2
F1	Floor Tom L		Room Tom 1	Rock Tom 1	E Tom 1	Analog Tom 1	Jazz Tom 1	Brush Tom 1	Jazz Tom 1		Windchime
F#1	Hi-Hat Closed					Analog HH Closed 1					Telephone Ring 2
G1	Floor Tom H		Room Tom 2	Rock Tom 2	E Tom 2	Analog Tom 2	Jazz Tom 2	Brush Tom 2	Jazz Tom 2		
G#1	Hi-Hat Pedal					Analog HH Closed 2					
A1	Low Tom		Room Tom 3	Rock Tom 3	E Tom 3	Analog Tom 3	Jazz Tom 3	Brush Tom 3	Jazz Tom 3		
A#1	Hi-Hat Open					Analog HH Open					
B1	Mid Tom L		Room Tom 4	Rock Tom 4	E Tom 4	Analog Tom 4	Jazz Tom 4	Brush Tom 4	Jazz Tom 4		
C2	Mid Tom H		Room Tom 5	Rock Tom 5	E Tom 5	Analog Tom 5	Jazz Tom 5	Brush Tom 5	Jazz Tom 5		
C#2	Crash Cymbal 1					Analog Cymbal			Hand Cym. Open L		
D2	High Tom		Room Tom 6	Rock Tom 6	E Tom 6	Analog Tom 6	Jazz Tom 6	Brush Tom 6	Jazz Tom 6		
D#2	Ride Cymbal 1								Hand Cym. Closed L		
E2	Chinese Cymbal									FL. Key Click	Engine Start
F2	Ride Cymbal Cup										Tire Screech
F#2	Tambourine										Car Passing
G2	Splash Cymbal										Crash
G#2	Cowbell					Analog Cowbell					Siren
A2	Crash Cymbal 2								Hand Cym. Open H		Train
A#2	Vibraslap										Jetplane
B2	Ride Cymbal 2								Hand Cym. Closed H		Starship
C3	Bongo H										Burst Noise
C#3	Bongo L										Coaster
D3	Conga H Mute					Analog Conga H					SbMarine
D#3	Conga H Open					Analog Conga M					
E3	Conga L					Analog Conga L					
F3	Timbale H										
F#3	Timbale L										
G3	Agogo H										
G#3	Agogo L									Rain	Laughing
A3	Cabasa									Thunder	Screaming
A#3	Maracas					Analog Maracas				Wind	Punch
B3	Samba Whistle H									Stream	Heartbeat
C4	Samba Whistle L									Bubble	Footsteps
C#4	Guero Short									Feed	
D4	Guero Long										
D#4	Claves					Analog Claves					
E4	Wood Block H										
F4	Wood Block L										
F#4	Cuica Mute				Scratch Push	Scratch Push					
G4	Cuica Open				Scratch Pull	Scratch Pull					
G#4	Triangle Mute										
A4	Triangle Open										
A#4	Shaker										
B4	Jingle Bell										
C5	Bell Tree									Dog	Machine Gun
C#5										Horse Gallop	Laser Gun
D5										Bird 2	Explosion
D#5											Firework
E5											
F5											
F#5										Ghost	
G5										Maou	

: Standard Kitと同じ音が鳴ります。

: 音は鳴りません。

内蔵TG3 (TG300B) 音源の音色一覧

グループ	音色	備考
01	Piano	
001	GrandPno	グランドピアノ
002	BritePno	ブライトピアノ
003	E.Grand	エレクトリックグランドピアノ
004	HnkyTonk	ホンキートンクピアノ
005	E.Piano1	エレクトリックピアノ1
006	E.Piano2	エレクトリックピアノ2
007	Harpsi.	ハーブシコード
008	Clavi.	クラビコード
02	ChromaticPerc	
009	Celesta	チェレスタ
010	Glocken	グロッケンシュピール
011	MusicBox	オルゴール
012	Vibes	ビブラフォン
013	Marimba	マリンバ
014	Xylophon	シロフォン
015	TubulBel	チューブラーベル
016	Dulcimer	ダルシマー
03	Organ	
017	DrawOrgn	ドローパーオルガン
018	PercOrgn	パーカッションオルガン
019	RockOrgn	ロックオルガン
020	ChrchOrg	教会オルガン
021	ReedOrgn	足踏みオルガン
022	Acordion	アコーディオン
023	Harmnica	ハーモニカ
024	TangoAcd	タンゴアコーディオン
04	Guitar	
025	NylonGtr	ナイロン弦ギター
026	SteelGtr	スチール弦ギター
027	Jazz Gtr	ジャズギター
028	CleanGtr	クリーンギター
029	Mute.Gtr	ミュートギター
030	Ovrdrive	オーバードライブギター
031	Dist.Gtr	ディストーションギター
032	GtrHarmo	ギターハーモニクス
05	Bass	
033	Aco.Bass	アコースティックベース
034	FngrBass	フィンガーベース
035	PickBass	ピックベース
036	Fretless	フレットレスベース
037	SlapBas1	スラップベース1
038	SlapBas2	スラップベース2
039	SynBass1	シンセベース1
040	SynBass2	シンセベース2
06	Strings	
041	Violin	バイオリン
042	Viola	ビオラ
043	Cello	チェロ
044	Contrabs	コントラバス
045	Trem.Str	トレモロストリングス
046	Pizz.Str	ピチカートストリングス
047	Harp	ハーブ
048	Timpani	ティンパニ
07	Ensemble	
049	Strings1	ストリングス1

グループ	音色	備考
050	Strings2	ストリングス2
051	Syn.Str1	シンセストリングス1
052	Syn.Str2	シンセストリングス2
053	ChoirAah	合唱(Aah)
054	VoiceOoh	合唱(Ooh)
055	SynVoice	シンセボイス
056	Orch.Hit	オーケストラヒット
08	Brass	
057	Trumpet	トランペット
058	Trombone	トロンボーン
059	Tuba	チューバ
060	Mute.Trp	ミュートトランペット
061	Fr.Horn	フレンチホルン
062	BrasSect	ブラスセクション
063	SynBras1	シンセブラス1
064	SynBras2	シンセブラス2
09	Reed	
065	SprnoSax	ソプラノサクソフォン
066	Alto Sax	アルトサクソフォン
067	TenorSax	テナーサクソフォン
068	Bari.Sax	バリトンサクソフォン
069	Oboe	オーボエ
070	Eng.Horn	イングリッシュホルン
071	Bassoon	バスーン(ファゴット)
072	Clarinet	クラリネット
10	Pipe	
073	Piccolo	ピッコロ
074	Flute	フルート
075	Recorder	リコーダー
076	PanFlute	パンフルート
077	Bottle	ボトルの口を吹く音
078	Shakhchi	尺八
079	Whistle	口笛
080	Ocarina	オカリナ
11	Synth Lead	
081	SquareLd	矩形波リード
082	Saw.Lead	鋸歯状波リード
083	CaliopLd	カリオペリード
084	Chiff Ld	チフリード
085	CharanLd	チャランリード
086	Voice Ld	ボイスリード
087	Fifth Ld	5度リード
088	Bass &Ld	ベース&リード
12	Synth Pad	
089	NewAgePd	ニューエイジパッド
090	Warm Pad	ウォームパッド
091	PolySyPd	ポリシンセパッド
092	ChoirPad	クワイアパッド
093	BowedPad	ボウドパッド
094	MetalPad	メタリックパッド
095	Halo Pad	ハローパッド
096	SweepPad	スイープパッド
13	Synth Effects	
097	Rain	レイン
098	SoundTrk	サウンドトラック
099	Crystal	クリスタル

グループ	音色	備考
100	Atmosphr	アトモスフィア
101	Bright	ブライトネス
102	Goblins	ゴブリン
103	Echoes	エコー
104	Sci-Fi	サイエンスフィクション
14	Ethnic	
105	Sitar	シタール
106	Banjo	バンジョー
107	Shamisen	三味線
108	Koto	琴
109	Kalimba	カリンバ
110	Bagpipe	バグパイプ
111	Fiddle	フィドル
112	Shanai	シャナイ
15	Percussive	
113	TnklBell	ティンクルベル
114	Agogo	アゴゴ
115	SteelDrm	スチールドラム
116	WoodBlok	ウッドブロック
117	TaikoDrm	和太鼓
118	MelodTom	メロディックタム
119	Syn.Drum	シンセドラム
120	RevCymb	リバースシンバル
16	Sound Effects	
121	FretNoiz	フレットノイズ
122	BrthNoiz	ブレスノイズ
123	Seashore	海辺
124	Tweet	鳥のさえずり
125	Telephone	電話
126	Helicptr	ヘリコプター
127	Applause	拍手
128	Gunshot	銃声

内蔵TG3 (TG300B) 音源のドラム音色一覧

	129 StandKit
C#0	Snare Roll
D0	Finger Snap
D#0	Hi Q
E0	Whip Slap
F0	Scratch Push
F#0	Scratch Pull
G0	Sticks
G#0	Click Noise
A0	Metronome Click
A#0	Metronome Bell
B0	Bass Drum M
C1	Bass Drum H
C#1	Side Stick
D1	Snare M
D#1	Hand Clap
E1	Snare H
F1	Floor Tom L
F#1	Hi-Hat Closed
G1	Floor Tom H
G#1	Hi-Hat Pedal
A1	Low Tom
A#1	Hi-Hat Open
B1	Mid Tom L
C2	Mid Tom H
C#2	Crash Cymbal 1
D2	High Tom
D#2	Ride Cymbal 1
E2	Chinese Cymbal
F2	Ride Cymbal Cup
F#2	Tambourine
G2	Splash Cymbal
G#2	Cowbell
A2	Crash Cymbal 2
A#2	Vibraslap
B2	Ride Cymbal 2
C3	Bongo H
C#3	Bongo L
D3	Conga H Mute
D#3	Conga H Open
E3	Conga L
F3	Timbale H
F#3	Timbale L
G3	Agogo H
G#3	Agogo L
A3	Cabasa
A#3	Maracas
B3	Samba Whistle H
C4	Samba Whistle L
C#4	Guiro Short
D4	Guiro Long
D#4	Claves
E4	Wood Block H
F4	Wood Block L
F#4	Cuica Mute
G4	Cuica Open
G#4	Triangle Mute
A4	Triangle Open
A#4	Shaker
B4	Jingle Bell
C5	Bell Tree
C#5	Castanet
D5	Surdo Mute
D#5	Surdo Open

一般仕様

		アップライトピアノ	グランドピアノ	グランドピアノ (C3X~C7X/S/CF)
センサーユニット	キー部	非接触式光ファイバー／グレースケールシャッター方式、88鍵対応（鍵盤位置、打鍵速度、離鍵速度感知）		
	ハンマー部	非接触式光ファイバー方式 (1スリットシャッター)	非接触式光ファイバー方式 (2スリットシャッター)	非接触式光ファイバー方式 (グレースケールシャッター)
	ペダル部	非接触式アナログ光学検出方式		非接触式デジタル光学検出方式
		ダンパーペダル／ソフトペダル：連続位置検出	ダンパーペダル／シフトペダル：連続位置検出 ソステヌートペダル：ON/OFF検出	
ドライブユニット	キー部	DSPサーボドライブシステム（サーボ制御ソレノイド）、最大同時打鍵数：16音		DSPサーボドライブシステム（超高感度磁気センサー内蔵ハイパワー・サーボ制御ソレノイド）、最大同時打鍵数：32音
	ペダル部	DSPサーボドライブシステム（サーボ制御ソレノイド）		
記憶媒体	内蔵メモリー	128MB		
対応メディア	CD-ROM	音楽CD（CD-DA準拠）、データCD（ISO 9660 Level1 準拠）		
	USBフラッシュメモリー	すべてのUSBフラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。		
	フロッピーディスク※1	3.5インチ2DDディスク（720 KB）、2HDディスク（1.44 MB）		
対応ファイルフォーマット		SMF（Standard MIDI File）フォーマット0および1、E-SEQフォーマット		
対応ソングフォーマット		ピアノソフト、ピアノソフトプラス、スマートピアノソフト、スマートキー		
コントロールユニット	ドライブ	CDドライブ		
	寸法（幅×高さ×奥行き）	292×49×216mm		
	重量	2.7kg		
端子	MIDI	MIDI IN、MIDI OUT		
	オーディオ	OUTPUT、ANALOG MIDI IN、OMNI IN、OMNI OUT、PHONES×2		
	その他	LAN、USB（TO HOST×1、TO DEVICE×2）		
ピッチコントロール		A=440Hz、－50セント～＋50セント（1セント単位）		
ピアノ音源	種類	AWM 2（Advanced Wave Memory 2）音源		
	最大同時発音数	32音		
	ノーマルボイス	ピアノ（デジタルステレオサンプリング）		
	リバーブタイプ	ルーム、ホール1、ホール2		
アンサンブル音源	種類	AWM 2（Advanced Wave Memory 2）音源		
	最大同時発音数	32音		
	アンサンブルパート	16パート		
	音色配列フォーマット	XG、GM		
	ノーマルボイス	676音色（ユーザー選択可能な音色数は480）		
	ドラムキット	21キット（ユーザー選択可能なキット数は11）		
定格電源電圧・周波数		AC100V、50/60Hz		
消費電力		180W		
付属品（個数）		コントロールユニット（1）、コントロールユニット取り付け金具（1）※2、金具取り付けネジ（径4mm×長10mm）（4）※2、コントロールユニット取り付けネジ（径5mm×長12mm）（3）※2、USBフロッピーディスクドライブ取り付けネジ（径3mm×長6mm）（4）※2、リモコン（1）、リモコン用単3型乾電池（2）、ピアノソフトCD（1）、ステレオヘッドフォン（1）、取扱説明書（1）、ピアノソフトCDソングリスト（1）、インターネット接続ガイド（1）、楽譜集「ピアノで弾く名曲50選」（1）		
別売オプション		USBフロッピーディスクドライブ※3、アンプ内蔵スピーカー		

機能

再生	メディア選択	内蔵メモリー、CD、USBメディア（フロッピーディスクを含む）
	ソング選択	カーソルボタン（コントロールユニット）、カーソルボタン／数字キー（リモコン）
	基本機能	再生、停止、一時停止
	ソングサーチ	早送り再生／早戻し再生、早送り／早戻し、頭出し再生
	リピート	ALL（現在のアルバムのすべての曲）、RPT（現在の曲）、RND（現在のアルバム内のすべての曲をランダムに）、A～B（曲中の指定範囲）
	パートキャンセル	L（左）パート、R（右）パート、ペダルパート
	タイマープレイ	65ページをご参照ください。
	ビデオ同時再生	87ページをご参照ください。
	CD同時再生	89ページをご参照ください。
	スマートキー再生	70ページをご参照ください。
	音量	11段階（－10～0）
	テンポ	－50%～＋50%（1%単位）
	移調	－24～＋24（2オクターブ）（半音単位）
	バランス（TG、オーディオ）	10～127
録音	ピアノパート録音	L/Rソング上書き、スプリット
	メトロノーム録音	71ページをご参照ください。
	テンポ変更	78ページをご参照ください。
	ビデオ同時録音	83ページをご参照ください。
	CD同時録音	88ページをご参照ください。
メトロノーム	テンポ	30bpm～400bpm
	拍子	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、8/4、9/4
	音量	調整可能
メディア編集	ソング	コピー、消去、タイトル変更、ソート、プレイリスト追加、フォーマット変換、カウンター表示変更、ストリップXP
	アルバム	コピー、消去、作成、タイトル変更、ソート、プレイリスト追加
	プレイリスト	作成、消去、タイトル変更
	バックアップ／リストア	119、121ページをご参照ください。
	フロッピーディスク※1	フォーマット
ネットワーク	DisklavierRadio	37ページをご参照ください。
	キキホーダイ	45ページをご参照ください。
	PCとのファイル共有	117ページをご参照ください。
	ネットワークアップデート	47ページをご参照ください。
アップデート		アップデートCD-ROMおよびインターネット経由

仕様は予告なく変更する場合があります。

※1 別売のUSBフロッピーディスクドライブ（UD-FD01）が必要

※2 グランドピアノのみ

※3 本機専用のUSBフロッピーディスクドライブ（UD-FD01）のみ使用可能

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

■ Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software — to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary.

To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

■ TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term modification.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program’s source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code.
(This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable.

However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made

generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission.
For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this.
Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

■ Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software — to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages — typically libraries — of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

■ TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License.

Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user’s computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it.

However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

expat

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright © 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

glibc

This file contains the copying permission notices for various files in the GNU C Library distribution that have copyright owners other than the Free Software Foundation. These notices all require that a copy of the notice be included in the accompanying documentation and be distributed with binary distributions of the code, so be sure to include this file along with any binary distributions derived from the GNU C Library.

All code incorporated from 4.4 BSD is distributed under the following license:

Copyright © 1991 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [This condition was removed.]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The DNS resolver code, taken from BIND 4.9.5, is copyrighted both by UC Berkeley and by Digital Equipment Corporation. The DEC portions are under the following license:

Portions Copyright © 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The Sun RPC support (from rpcsrc-4.0) is covered by the following license:

Copyright © 1984, Sun Microsystems, Inc.

Sun RPC is a product of Sun Microsystems, Inc. and is provided for unrestricted use provided that this legend is included on all tape media and as a part of the software program in whole or part. Users may copy or modify Sun RPC without charge, but are not authorized to license or distribute it to anyone else except as part of a product or program developed by the user.

SUN RPC IS PROVIDED AS IS WITH NO WARRANTIES OF ANY KIND INCLUDING THE WARRANTIES OF DESIGN, MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE OR TRADE PRACTICE.

Sun RPC is provided with no support and without any obligation on the part of Sun Microsystems, Inc. to assist in its use, correction, modification or enhancement.

SUN MICROSYSTEMS, INC. SHALL HAVE NO LIABILITY WITH RESPECT TO THE INFRINGEMENT OF COPYRIGHTS, TRADE SECRETS OR ANY PATENTS BY SUN RPC OR ANY PART THEREOF.

In no event will Sun Microsystems, Inc. be liable for any lost revenue or profits or other special, indirect and consequential damages, even if Sun has been advised of the possibility of such damages.

The following CMU license covers some of the support code for Mach, derived from Mach 3.0:

Mach Operating System

Copyright © 1991, 1990, 1989 Carnegie Mellon University All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

or Software.Distribution@CS.CMU.EDU any improvements or extensions that they make and grant Carnegie Mellon the rights to redistribute these changes.

The file `if_ppp.h` is under the following CMU license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY CARNEGIE MELLON UNIVERSITY AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following license covers the files from Intel's "Highly Optimized Mathematical Functions for Itanium" collection:

Intel License Agreement
Copyright © 2000, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The files `inet/getnameinfo.c` and `sysdeps/posix/getaddrinfo.c` are copyright © by Craig Metz and are distributed under the following license:

The Inner Net License, Version 2.00

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of the all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors’ copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors’ copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. [The copyright holder has authorized the removal of this clause.]
5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

If these license terms cause you a real problem, contact the author.

libcap

Unless otherwise *explicitly* stated, the following text describes the licensed conditions under which the contents of this libcap release may be used and distributed:

Redistribution and use in source and binary forms of libcap, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain any existing copyright notice, and this entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of warranties.
2. Redistributions in binary form must reproduce all prior and current copyright notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of any author may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License, in which case the provisions of the GNU GPL are required INSTEAD OF the above restrictions. (This clause is necessary due to a potential conflict between the GNU GPL and the restrictions contained in a BSD-style copyright.)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libupnp

Copyright © 2000-2003 Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ntp

Copyright Notice

jpg “Clone me,” says Dolly sheepishly

Last update: 02:45 UTC Tuesday, June 27, 2006

The following copyright notice applies to all files collectively called the Network Time Protocol Version 4 Distribution. Unless specifically declared otherwise in an individual file, this notice applies as if the text was explicitly included in the file.

Copyright © David L. Mills 1992-2006

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty.

openldap

The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation (“Software”), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

openssl

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
 "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
 (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
 "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
 (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed.

i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license
[including the GNU Public License.]

pam

Unless otherwise *explicitly* stated the following text describes the licensed conditions under which the contents of this Linux-PAM release may be distributed:

Redistribution and use in source and binary forms of Linux-PAM, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain any existing copyright notice, and this entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of warranties.
2. Redistributions in binary form must reproduce all prior and current copyright notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of any author may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License, in which case the provisions of the GNU GPL are required INSTEAD OF the above restrictions. (This clause is necessary due to a potential conflict between the GNU GPL and the restrictions contained in a BSD-style copyright.)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

unzip

This is version 2005-Feb-10 of the Info-ZIP copyright and license.

The definitive version of this document should be available at
<ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely.

Copyright © 1990-2005 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions — including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions — must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases — including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).

4. Info-ZIP retains the right to use the names “Info-ZIP,” “Zip,” “UnZip,” “UnZipSFX,” “WiZ,” “Pocket UnZip,” “Pocket Zip,” and “MacZip” for its own source and binary releases.

zlib

© 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly	Mark Adler
jloup@gzip.org	madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

ソースコード配布について

工場出荷時より3年間は、製品のソースコードのうちGNU General Public Licenseに基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布させていただきます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
ヤマハ株式会社 ピアノ開発部

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担頂きます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。

http://www.yamaha.co.jp/download/dkv_e3/

- ・弊社（または弊社認定の関係者）以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除などによって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- ・弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

MIDI データフォーマット

1. CHANNEL MESSAGES

1.1 Key On / Key Off

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Piano Part reception note range = A-1~C7 : C3=60

ESBL part reception note range = C-2~G8

Velocity range = 1~127 (Only the Key On velocity is received)

1.2 Control Change

1.2.1 Bank Select

(ESBL Part) (transmitted)

Cntrl#	Parameter	Data Range
0	Bank Select MSB	0: Normal, 63: User voice, 64: SFX, 126: SFX kit, 127: Drum
32	Bank Select LSB	0...127

You can select the Voice banks with MSB and LSB numbers. MSB and LSB functions differently depending on the play mode. In XG mode, MSB numbers select Voice type (Normal Voice or Drum Voice), and LSB number select Voice banks. In TG300B mode, LSB is fixed, and MSB numbers select Voice banks.

(See Normal Voice List Drum Voice List.)

A new bank selection will not become effective until the next Program Change message is received.

1.2.2 Modulation

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
1	Modulation	0...127

1.2.3 Portamento Time

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
5	Portamento Time	0...127

When the parameter 1.2.9 Portamento = ON, values will adjust the speed of pitch change.

A setting of 0 - minimum portamento time, and 127 - maximum portamento time.

1.2.4 Data Entry

(ESBL Part)

Messages which set the value for the parameter specified by RPN/NRPN.

Cntrl#	Parameter	Data Range
6	Data Entry MSB	0...127
38	Data Entry LSB	0...127

Parameter value is determined by combining MSB and LSB.

1.2.5 Main Volume

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Cntrl#	Parameter	Data Range
7	Main Volume	0...127

1.2.6 Pan

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
10	Pan	0...127

1.2.7 Expression

(Piano Part, ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
11	Expression	0...127

1.2.8 Hold1

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Cntrl#	Parameter	Data Range
64	Hold1	0...127 (0-63:off, 64-127:on)

1.2.9 Portamento

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
65	Portamento	0...127 (0-63:off, 64-127:on)

1.2.10 Sostenuto

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Cntrl#	Parameter	Data Range
66	Sostenuto	0...127 (0-63:off, 64-127:on)

1.2.11 Soft Pedal

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Cntrl#	Parameter	Data Range
67	Soft Pedal	0...127 (0-63:off, 64-127:on)

1.2.12 Harmonic Content

(ESBL Part)

Messages which adjust the resonance set for each Voice.

Cntrl#	Parameter	Data Range
71	Harmonic Content	0...127 (0:-64, 64:+0, 127:+63)

Higher values will result in a more characteristic, resonant sound.

Depending on the Voice, the effective range may be narrower than the range available for adjustment.

1.2.13 Release Time

(ESBL Part)

Messages which adjust the envelope release time set for each Voice.

Cntrl#	Parameter	Data Range
72	Release Time	0...127 (0:-64, 64:+0, 127:+63)

1.2.14 Attack Time

(ESBL Part)

Messages which adjust the envelope attack time set for each Voice.

Cntrl#	Parameter	Data Range
73	Attack Time	0...127 (0:-64, 64:+0, 127:+63)

1.2.15 Brightness

(ESBL Part)

Messages which adjust the filter cutoff frequency set for each Voice.

Cntrl#	Parameter	Data Range
74	Brightness	0...127 (0:-64, 64:+0, 127:+63)

1.2.16 Portamento Control

(ESBL Part)

Messages which apply a portamento between the currently-sounding note and the subsequent note.

Cntrl#	Parameter	Data Range
84	Portamento Control	0...127

1.2.17 Effect1 Depth (Reverb Send Level)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
91	Effect1 Depth	0...127

1.2.18 Effect3 Depth (Chorus Send Level)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
93	Effect3 Depth	0...127

1.2.19 Effect4 Depth (Variation Effect Send Level)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
94	Effect4 Depth	0...127

1.2.20 Data Increment / Decrement (for RPN)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
96	RPN Increment	0...127
97	RPN Decrement	0...127

1.2.21 NRPN (Non-Registered Parameter Number)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
98	NRPN LSB	0...127
99	NRPN MSB	0...127

First send the NRPN MSB and NRPN LSB to specify the parameter which is to be controlled. Then use Data Entry to set the value of the specified parameter.

* Note that once the NRPN has been set for a channel subsequent data entry will be recognized as the same NRPN's value change. Therefore, after you use the NRPN, you should set a Null (7FH, 7FH) value to avoid an unexpected result.

The following NRPN number can be received.

NRPN	Data entry		
MSB	LSB	MSB	PARAMETER NAME and VALUE RANGE
\$01	\$08	\$mm	Vibrato Rate mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$09	\$mm	Vibrato Depth mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$0A	\$mm	Vibrato Delay mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$20	\$mm	Filter Cutoff Frequency mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$21	\$mm	Filter Resonance mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$63	\$mm	EG Attack Time mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$64	\$mm	EG Decay Time mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$01	\$66	\$mm	EG Release Time mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63)
\$14	\$rr	\$mm	Drum Filter Cutoff Frequency mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number
\$15	\$rr	\$mm	Drum Filter Resonance mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number
\$16	\$rr	\$mm	Drum EG Attack mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number
\$17	\$rr	\$mm	Drum EG Decay Rate mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number Applies to both Decay1 and 2.
\$18	\$rr	\$mm	Drum Instrument Pitch Coarse mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number
\$19	\$rr	\$mm	Drum Instrument Pitch Fine mm : \$00 - \$40 - \$7F (-64 - 0 - +63) rr : drum instrument note number
\$1A	\$rr	\$mm	Drum Instrument Level mm : \$00 - \$7F (0 - max) rr : drum instrument note number
\$1C	\$rr	\$mm	Drum Instrument Pan mm : \$00 - \$40 - \$7F (random, left - center - right) rr : drum instrument note number

\$1D	\$rr	\$mm	Drum Instrument Reverb Send Level mm : \$00 - \$7F (0 - max) rr : drum instrument note number
\$1E	\$rr	\$mm	Drum Instrument Chorus Send Level mm : \$00 - \$7F (0 - max) rr : drum instrument note number
\$1F	\$rr	\$mm	Drum Instrument Variation Send Level mm : \$00 - \$7F (0 - max) rr : drum instrument note number

MSB 14H- 1FH (for Drum) is valid only if the Multi Part parameter PART MODE = DRUMS 1 or DRUMS2 for that channel. (If PART MODE = DRUM, no values will be changed.)

1.2.22 RPN (Registered Parameter Number)

(ESBL Part)

Cntrl#	Parameter	Data Range
100	RPN LSB	0...127
101	RPN MSB	0...127

The following RPN numbers can be received.

RPN	Data entry		
MSB	LSB	MSB	PARAMETER NAME and VALUE RANGE
00H	00H	mmH	— Pitch Bend Sensitivity mm:00-18H (0-24 chromatic steps) Assignable in chromatic steps up to 2 octaves Default : 02H LSB value is ignored.
00H	01H	mmH	11H Fine Tuning mm: 00H-40H-7FH (-64-0-+63)
00H	02H	mmH	— Coarse Tuning mm: 28H - 40H - 58H (-24 - +24 chromatic steps) LSB value is ignored.
7FH	7FH	—	— RPN null Cancels RPN and NRPN numbers

1.2.23 Channel Mode Messages

The following Channel Mode Messages can be received.

2nd byte	3rd byte	
120	0	All Sound Off
121	0	Reset All Controllers
123	0	All Note Off
124	0	Omni Off
125	0	Omni On
126	0 ~ 16	Mono
127	0	Poly

1.2.23.1 All Sound Off

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

ESBL part;

Terminates all sounds currently sounding on the specified channel. However, the status of channel messages such as Note On and Hold On is maintained.

Piano Part;

The status of channel messages is not maintained.

1.2.23.2 Reset All Controllers

(ESBL Part)

The values of the following controllers will be reset to the defaults.

CONTROLLER	VALUE
Pitch Bend Change	±0 (center)
Channel Aftertouch	0 (off)
Polyphonic Aftertouch	0 (off)
Modulation	0 (off)
Expression	127 (max)
Hold 1	0 (off)
Portamento	0 (off)
Sostenuto	0 (off)
Soft Pedal	0 (off)

Portamento Control	cancels the Portamento Source Key Number that was received
RPN	number not specified; internal data will not change
NRPN	number not specified; internal data will not change

1.2.23.3 All Note Off

(Piano Part, ESBL Part) (transmitted)

Terminates all notes currently on for the specified channel. However, if Hold 1 or Sostenuto is on, notes will continue sounding until these are turned off.

1.2.23.4 Omni Off

(Piano Part, ESBL Part)

Performs the same function as when an All Notes Off message is received.

1.2.23.5 Omni On

(Piano Part, ESBL Part)

Performs the same function as when an All Notes Off message is received.

1.2.23.6 Mono

(Piano Part, ESBL Part)

Performs the same function as when an All Sounds on message is received, and if the 3rd byte (mono number) is in the range of 0 - 16, sets the corresponding channel to Mono Mode (Mode 4 : m = 1).

1.2.23.7 Poly

(Piano Part, ESBL Part)

Performs the same function as when an All Sounds Off message is received. and sets the corresponding channel to Poly Mode (Mode 3).

1.2.24 Local Control

(Piano Part, ESBL Part)

0:Off Disklavier keyboard does not play the internal voices.
127:On

1.3 Program Change

(ESBL Part) (transmitted)

Messages for Voice selection.
With a combination of Bank Select, you can select not only basic Voice numbers, but also variation Voice bank numbers.

1.4 Pitch Bend

(ESBL Part)

When Multi Part Parameter Rcv PITCH BEND CHANGE=OFF, pitch bend for that part is not received.

1.5 Channel Aftertouch

(ESBL Part)

1.6 Polyphonic Aftertouch

(ESBL Part) (PianoPart) (transmitted)

Applying further pressure on the key does not output "key aftertouch" information. Instead, key position is transmitted as additional information.

2. SYSTEM EXCLUSIVE MESSAGES

2.1 Parameter Change

The Disklavier receives the following parameter change messages.

[UNIVERSAL REALTIME MESSAGE]

1) Master Volume

[UNIVERSAL NON REALTIME MESSAGE]

1) General MIDI Mode On

[XG NATIVE]

1) XG System on

2) XG System Data parameter change

3) Multi Effect1 Data parameter change

4) Multi Part Data parameter change

5) Drums Setup Data parameter change

[OTHER]

1) Master tuning

2) TG300 System Data Parameter change

3) TG300 Multi Effect Data parameter change

4) TG300 Multi Part Data parameter change

2.1.2 Universal Realtime Messages

2.1.2.1 Master Volume

(Piano Part, ESBL Part)

11110000	F0	= Exclusive status
01111111	7F	= Universal Real Time
01111111	7F	= ID of target device
0000100	04	= Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	= Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	*SS	= Volume LSB
0ttttttt	TT	= Volume MSB
11110111	F7	= End of Exclusive
or		
11110000	F0	= Exclusive status
01111111	7F	= Universal Real Time
0xxxxnnnn	XN	= Device Number, xxx = don't care
0000100	04	= Sub-ID #1=Device Control Message
00000001	01	= Sub-ID #2=Master Volume
0sssssss	SS	= Volume LSB
0ttttttt	TT	= Volume MSB
11110111	F7	= End of Exclusive

When received, the Volume MSB will be effective for the System Parameter MASTER VOLUME.

* "SS" is the hexadecimal expression of 0sssssss; same as for "tt", "aa", etc.

2.1.3 Universal Non-Realtime Messages

2.1.3.1 General MIDI Mode On

(ESBL Part)

11110000	F0	= Exclusive status
01111110	7E	= Universal Non-Real Time
01111111	7F	= ID of target device
00001001	09	= Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	= Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	= End of Exclusive
or		
11110000	F0	= Exclusive status
01111110	7E	= Universal Non-Real Time
0xxxxnnnn	XN	= Device Number, xxx = don't care
00001001	09	= Sub-ID #1=General MIDI Message
00000001	01	= Sub-ID #2=General MIDI On
11110111	F7	= End of Exclusive

When General MIDI Mode On is received. the play mode will be changed to XG mode.

When this happens, the ESBL part will receive the MIDI messages which compatible with GM System Level 1, and consequently will not receive NRPN and Bank Select messages. Since approximately 50ms is required to execute this message, be sure to leave an appropriate interval before the subsequent message.

2.1.4 XG Native Parameter Change

(ESBL Part)

With the Parameter Change messages as listed below, you can change the characteristic of a Voice, such as by Effect Type or effect parameter, transpose, tuning, and others.

11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1n	Device Number
01001100	4C	XG Model ID
0aaaaaaa	aaaaaa	Address High
0aaaaaaa	aaaaaa	Address Mid
0aaaaaaa	aaaaaa	Address Low
0ddddd	ddddd	Data
11110111	F7	End of Exclusive

* Any number is OK since the device number for the Disklavier is fixed to "All."

For parameters with data size of 2 or 4, transmit the appropriate number of data bytes.

When sending the parameter change messages consecutively, be sure to leave an appropriate interval (if the time base is 480. ca 5 unit) between the messages.

2.1.4.1 XG System On (ESBL Part)

11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1N	Device Number
01001100	4C	XG Model ID
0aaaaaaa	00	Address High
0aaaaaaa	00	Address Mid
0aaaaaaa	7E	Address Low
00000000	00	Data
11110111	F7	End of Exclusive

When this data is received, the Disklavier will switch to XG mode and all the parameters will be initialized accordingly, and XG-compatible messages such as NRPN and Bank Select messages can be received.

Since approximately 50ms is required to execute this message, be sure to leave an appropriate interval before the subsequent message

2.1.4.2 XG System Data parameter change (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-2>.

2.1.4.3 Multi Effect1 Data parameter change (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-3>.

2.1.4.4 Multi Part Data parameter change (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-4>.

2.1.4.5 Drums Setup Data parameter change (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-5>.

If a Drum Setup Reset parameter change message is received, the Drum Setup parameter values will be initialized.
Selecting a Drum Set will cause the Drum Setup parameter values to be initialized.

2.1.5 Other parameter changes

2.1.5.1 Master Tuning (ESBL Part)

11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0001nnnn	1n	Device Number
00100111	27	Model ID
00110000	30	Sub ID2
00000000	00	
00000000	00	
0mmmmmmm	mm	Master Tune MSB
0lllllll	ll	Master Tune LSB
0ccccccc	cc	
11110111	F7	End of Exclusive

This message simultaneously changes the pitch of all channels.

2.2 Bulk Dump (ESBL Part)

The Disklavier receives the following bulk dump data.

[XG NATIVE]

- 1) XG System Data
- 2) Multi Effect1 Data
- 3) Multi Part Data
- 4) Drums Setup Data

[QS300 NATIVE]

- 1) QS300 User Normal Voice Data

2.2.1 XG Native Bulk Dump

11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0000nnnn	0n	Device Number
01001100	4C	XG Model ID
0bbbbbbb	bbbbbbb	ByteCount
0bbbbbbb	bbbbbbb	ByteCount
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address High
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address Mid
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address Low
0ddddd	dd	Data
0ccccccc	ccccccc	Checksum
11110111	F7	End of Exclusive

For the Address and Byte Count, refer to the supplementary tables.

The Checksum is the value that results in a value of 0 for the lower 7 bits when the Start Address, Byte Count, plus the Checksum itself are added.

2.2.1.1 XG System Data bulk dump (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-2>.

2.2.1.2 Multi Effect1 Data bulk dump (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-3>.

2.2.1.3 Multi Part Data bulk dump (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-4>.

2.2.1.4 Drums Setup Data bulk dump (ESBL Part)

See tables <1-1> and <1-5>.

2.2.2 QS300 Native Bulk Dump

11110000	F0	Exclusive status
01000011	43	YAMAHA ID
0000nnnn	0n	Device Number
01001101	4B	QS300 Model ID
0bbbbbbb	bbbbbbb	ByteCount
0bbbbbbb	bbbbbbb	ByteCount
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address High
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address Mid
0aaaaaaa	aaaaaaa	Address Low
0ddddd	dd	Data
0ccccccc	ccccccc	Checksum
11110111	F7	End of Exclusive

2.2.2.1 QS300 User Normal Voice Data bulk dump (ESBL Part)

See tables <2-1> and <2-2>.

3. SYSTEM REALTIME MESSAGES

3.1 Active Sensing

- a) Transmission
Transmitted.
- b) Reception
Once FE has been received, if no MIDI data is subsequently received for longer than an interval of approximately 300msec. the Disklavier will perform the same function as when ALL SOUNDS OFF, ALL NOTES OFF, and RESET ALL CONTROLLERS messages are received, and will then return to a status in which FE is not monitored.

<Table 1-1>

Parameter Bass Address
Model ID = 4C [XG]

	Parameter Change Address			Description
	(H)	(M)	(L)	
XG SYSTEM	00	00	00	System
	00	00	7D	Drum setup Reset
	00	00	7E	XG System On
	00	00	7F	All Parameter Reset
EFFECT1	02	01	00	Effect1 (Reverb, Chorus, Variation)
MULTI PART	08	00	00	Multi Part 1
	08	0F	00	Multi Part 16
DRUM	30	18	00	Drum Setup 1
	30	18	00	Drum Setup 2

----->

Address			Parameter
3n	0B	00	note number 13
3n	0C	00	note number 14
	:		:
3n	5B	00	note number 91

n: Drum setup number (0, 1)

<Table 1-2>

MIDI Parameter Change table (SYSTEM) [XG]

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description (H)	Default value
00 00 00	4	0000-07FF	MASTER TUNE	-102.4 - +102.3 [cent] 1st bit3-0→bit15-12 2nd bit3-0→bit11-8 3rd bit3-0→bit7-4 4th bit3-0→bit3-0	00 04 00 00 -400
04	1	00 - 7F	MASTER VOLUME	0 - 127	7F
05	1	00 - 7F	not used		
06	1	28 - 58	TRANPOSE	-24 - +24 [semitones]	40
7D	n		DRUM SETUP RESET	n=Drum setup number	
7E	00		XG SYSTEM ON	00=XG system ON (receive only)	
7F	00		ALL PARAMETER RESET	00=ON (receive only)	
TOTAL SIZE		07			

<Table 1-3>

MIDI Parameter Change table (EFFECT 1) [XG]

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	Default value (H)
02 01 00	2	00-7F	REVERB TYPE MSB	see Effect Type List	01(=HALL1)
		00-7F	REVERB TYPE LSB	00 : basic type	00
02	1	00-7F	REVERB PARAMETER 1	see Effect Parameter List	Depends on reverb type
03	1	00-7F	REVERB PARAMETER 2	"	"
04	1	00-7F	REVERB PARAMETER 3	"	"
05	1	00-7F	REVERB PARAMETER 4	"	"
06	1	00-7F	REVERB PARAMETER 5	"	"
07	1	00-7F	REVERB PARAMETER 6	"	"
08	1	00-7F	REVERB PARAMETER 7	"	"
09	1	00-7F	REVERB PARAMETER 8	"	"
0A	1	00-7F	REVERB PARAMETER 9	"	"
0B	1	00-7F	REVERB PARAMETER 10	"	"
0C	1	00-7F	REVERB RETURN	-∞dB...0dB...+6dB(0...64...127)	40
0D	1	01-7F	REVERB PAN	L63...C...R63(1...64...127)	40

TOTAL SIZE	0E						
02	01	10	1	00-7F	REVERB PARAMETER 11	see Effect Parameter List	Depends on reverb type
		11	1	00-7F	REVERB PARAMETER 12	"	"
		12	1	00-7F	REVERB PARAMETER 13	"	"
		13	1	00-7F	REVERB PARAMETER 14	"	"
		14	1	00-7F	REVERB PARAMETER 15	"	"
		15	1	00-7F	REVERB PARAMETER 16	"	"
TOTAL SIZE		6					
02	01	20	2	00-7F	CHORUS TYPE MSB	see Effect Type List	41 (=CHORUS1)
				00-7F	CHORUS TYPE LSB	00 : basic type	00
		22	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 1	see Effect Parameter List	Depends on chorus Type
		23	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 2	"	"
		24	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 3	"	"
		25	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 4	"	"
		26	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 5	"	"
		27	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 6	"	"
		28	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 7	"	"
		29	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 8	"	"
		2A	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 9	"	"
		2B	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 10	"	"
		2C	1	00-7F	CHORUS RETURN	-∞dB...0dB...+6dB(0...64...127)	40
		2D	1	01-7F	CHORUS PAN	L63...C...R63(1...64...127)	40
		2E	1	00-7F	SEND CHORUS TO REVERB	-∞dB...0dB... +6dB(0...64...127)	00
TOTAL SIZE		0F					
02	01	30	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 11	see Effect Parameter List	Depends on chorus Type
		31	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 12	"	"
		32	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 13	"	"
		33	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 14	"	"
		34	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 15	"	"
		35	1	00-7F	CHORUS PARAMETER 16	"	"
TOTAL SIZE		6					
02	01	40	2	00-7F	VARIATION TYPE MSB	see Effect Type List	05 (=DELAY L, C, R)
				00-7F	VARIATION TYPE LSB	00 : basic type	00
		42	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 1 MSB	see Effect Parameter List	Depends on variation type
				00-7F	VARIATION PARAMETER 1 LSB	"	"
		44	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 2 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 2 LSB	"	"
		46	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 3 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 3 LSB	"	"
		48	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 4 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 4 LSB	"	"
		4A	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 5 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 5 LSB	"	"
		4C	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 6 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 6 LSB	"	"
		4E	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 7 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 7 LSB	"	"
		50	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 8 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 8 LSB	"	"
		52	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 9 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 9 LSB	"	"
		54	2	00-7F	VARIATION PARAMETER 10 MSB	"	"
				00-7F	VARIATION PARAMETER 10 LSB	"	"
		56	1	00-7F	VARIATION RETURN	-∞ dB...0dB...+6dB(0...64...127)	40
		57	1	01-7F	VARIATION PAN	L63...C...R63(1...64...127)	40
		58	1	00-7F	SEND VARIATION TO REVERB	-∞ dB...0dB...+6dB(0...64...127)	00
		59	1	00-7F	SEND VARIATION TO CHORUS	-∞ dB...0dB...+6dB(0...64...127)	00
		5A	1	00-01	VARIATION CONNECTION	0:INSERTION, 1:SYSTEM	00
		5B	1	00-0F,7F	VARIATION PART	Part1...16(0...15)	7F
					OFF (127)		
		5C	1	00-7F	MW VARIATION CONTROL DEPTH	-64 - +63	40
		5D	1	00-7F	BEND VARIATION CONTROL DEPTH	-64 - +63	40
		5E	1	00-7F	CAT VARIATION CONTROL DEPTH	-64 - +63	40
		5F	1	00-7F	AC1 VARIATION CONTROL DEPTH	-64 - +63	40
		60	1	00-7F	AC2 VARIATION CONTROL DEPTH	-64 - +63	40
TOTAL SIZE		21					
02	01	70	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 11	see Effect Parameter List	Depends on variation type
		71	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 12	"	"
		72	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 13	"	"
		73	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 14	"	"
		74	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 15	"	"
		75	1	00-7F	VARIATION PARAMETER 16	"	"
TOTAL SIZE		6					

<Table 1-4>

MIDI Parameter Change table (MULTI PART) [XG]

Address (H)		Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	Default value (H)
08	nn	00	1	00 - 20	ELEMENT RESERVE	0 - 32
	nn	01	1	00 - 7F	BANK SELECT MSB	0 - 127
	nn	02	1	00 - 7F	BANK SELECT LSB	0 - 127
	nn	03	1	00 - 7F	PROGRAM NUMBER	1 - 128
	nn	04	1	00 - 0F, 7F	Rcv CHANNEL	1 - 16, OFF
	nn	05	1	00 - 01	MONO/POLY MODE	0: MONO 1: POLY
	nn	06	1	00 - 02	SAME NOTE NUMBER KEY ON ASSIGN	0: SINGLE 1: MULTI 2: INST (for DRUM)
	nn	07	1	00 - 03	PART MODE	0: NORMAL 1: DRUM 2-3: DRUMS1 - 2
	nn	08	1	28 - 58	NOTE SHIFT	-24 - +24 [semitones]
	nn	09	2	00 - FF	DETUNE	-12.8 - +12.7 [Hz]
	nn	0A			1st bit3-0→bit7-4 2nd bit3-0→bit3-0	(80)
	nn	0B	1	00 - 7F	VOLUME	0 - 127
	nn	0C	1	00 - 7F	VELOCITY SENSE DEPTH	0 - 127
	nn	0D	1	00 - 7F	VELOCITY SENSE OFFSET	0 - 127
	nn	0E	1	00 - 7F	PAN	0/random, 1/L63-64/C-127/R63
	nn	0F	1	00 - 7F	NOTE LIMIT LOW	C-2 - G8
	nn	10	1	00 - 7F	NOTE LIMIT HIGH	C-2 - G8
	nn	11	1	00 - 7F	DRY LEVEL	0 - 127
	nn	12	1	00 - 7F	CHORUS SEND	0 - 127
	nn	13	1	00 - 7F	REVERB SEND	0 - 127
	nn	14	1	00 - 7F	VARIATION SEND	0 - 127
	nn	15	1	00 - 7F	VIBRATO RATE	-64 - +63
	nn	16	1	00 - 7F	VIBRATO DEPTH	-64 - +63
	nn	17	1	00 - 7F	VIBRATO DELAY	-64 - +63
	nn	18	1	00 - 7F	FILTER CUTOFF FREQUENCY	-64 - +63
	nn	19	1	00 - 7F	FILTER RESONANCE	-64 - +63
	nn	1A	1	00 - 7F	EG ATTACK TIME	-64 - +63
	nn	1B	1	00 - 7F	EG DECAY TIME	-64 - +63
	nn	1C	1	00 - 7F	EG RELEASE TIME	-61 - +63
	nn	1D	1	28 - 58	MW PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]
	nn	1E	1	00 - 7F	MW FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]
	nn	1F	1	00 - 7F	MW AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63
	nn	20	1	00 - 7F	MW LFO PMOD DEPTH	0 - 127
	nn	21	1	00 - 7F	MW LFO FMOD DEPTH	0 - 127
	nn	22	1	00 - 7F	MW LFO AMOD DEPTH	0 - 127
	nn	23	1	28 - 58	BEND PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]
	nn	24	1	00 - 7F	BEND FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]
	nn	25	1	00 - 7F	BEND AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63
	nn	26	1	00 - 7F	BEND LFO PMOD DEPTH	+100 - +100 [%]
	nn	27	1	00 - 7F	BEND LFO FMOD DEPTH	+100 - +100 [%]
	nn	28	1	00 - 7F	BEND LFO AMOD DEPTH	+100 - +100 [%]
TOTAL SIZE		29				
	nn	30	1	00 - 01	Rcv PITCH BEND	0/OFF, 1/ON
	nn	31	1	00 - 01	Rcv CH AFTER TOUCH (CAT)	0/OFF, 1/ON
	nn	32	1	00 - 01	Rcv PROGRAM CHANGE	0/OFF, 1/ON
	nn	33	1	00 - 01	Rcv CONTROL CHANGE	0/OFF, 1/ON
	nn	34	1	00 - 01	Rcv POLY AFTER TOUCH (PAT)	0/OFF, 1/ON
	nn	35	1	00 - 01	Rcv NOTE MESSAGE	0/OFF, 1/ON
	nn	36	1	00 - 01	Rcv RPN	0/OFF, 1/ON
	nn	37	1	00 - 01	Rcv NRPN	0/OFF, 1/ON
	nn	38	1	00 - 01	Rcv MODULATION	0/OFF, 1/ON
	nn	39	1	00 - 01	Rcv VOLUME	0/OFF, 1/ON
	nn	3A	1	00 - 01	Rcv PAN	0/OFF, 1/ON
	nn	3B	1	00 - 01	Rcv EXPRESSION	0/OFF, 1/ON
	nn	3C	1	00 - 01	Rcv HOLD1	0/OFF, 1/ON
	nn	3D	1	00 - 01	Rcv PORTAMENTO	0/OFF, 1/ON
	nn	3E	1	00 - 01	Rcv SOSTENUTO	0/OFF, 1/ON
	nn	3F	1	00 - 01	Rcv SOFT PEDAL	0/OFF, 1/ON
	nn	40	1	00 - 01	Rcv BANK SELECT	0/OFF, 1/ON
	nn	41	1	00 - 7F	SCALE TUNING C	-64 - +63 [cent]

nn	42	1	00 - 7F	SCALE TUNING C#	-64 - +63 [cent]	40
nn	43	1	00 - 7F	SCALE TUNING D	-64 - +63 [cent]	40
nn	44	1	00 - 7F	SCALE TUNING D#	-64 - +63 [cent]	40
nn	45	1	00 - 7F	SCALE TUNING E	-64 - +63 [cent]	40
nn	46	1	00 - 7F	SCALE TUNING F	-64 - +63 [cent]	40
nn	47	1	00 - 7F	SCALE TUNING F#	-64 - +63 [cent]	40
nn	48	1	00 - 7F	SCALE TUNING G	-64 - +63 [cent]	40
nn	49	1	00 - 7F	SCALE TUNING G#	-64 - +63 [cent]	40
nn	4A	1	00 - 7F	SCALE TUNING A	-64 - +63 [cent]	40
nn	4B	1	00 - 7F	SCALE TUNING A#	-64 - +63 [cent]	40
nn	4C	1	00 - 7F	SCALE TUNING B	-64 - +63 [cent]	40
nn	4D	1	28 - 58	CAT PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]	40
nn	4E	1	00 - 7F	CAT FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]	40
nn	4F	1	00 - 7F	CAT AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63	40
nn	50	1	00 - 7F	CAT LFO PMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	51	1	00 - 7F	CAT LFO FMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	52	1	00 - 7F	CAT LFO AMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	53	1	28 - 58	PAT PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]	40
nn	54	1	00 - 7F	PAT FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]	40
nn	55	1	00 - 7F	PAT AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63	40
nn	56	1	00 - 7F	PAT LFO PMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	57	1	00 - 7F	PAT LFO FMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	58	1	00 - 7F	PAT LFO AMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	59	1	00 - 5F	AC1 CONTROLLER NUMBER	0 - 95	10
nn	5A	1	28 - 58	AC1 PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]	40
nn	5B	1	00 - 7F	AC1 FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]	40
nn	5C	1	00 - 7F	AC1 AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63	40
nn	5D	1	00 - 7F	AC1 LFO PMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	5E	1	00 - 7F	AC1 LFO FMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	5F	1	00 - 7F	AC1 LFO AMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	60	1	00 - 5F	AC2 CONTROLLER NUMBER	0 - 95	11
nn	61	1	28 - 58	AC2 PITCH CONTROL	-24 - +24 [semitones]	40
nn	62	1	00 - 7F	AC2 FILTER CONTROL	-9600 - +9450 [cent]	40
nn	63	1	00 - 7F	AC2 AMPLITUDE CONTROL	-64 - +63	40
nn	64	1	00 - 7F	AC2 LFO PMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	65	1	00 - 7F	AC2 LFO FMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	66	1	00 - 7F	AC2 LFO AMOD DEPTH	0 - 127	00
nn	67	1	00 - 01	PORTAMENTO SWITCH	0/OFF, 1/ON	00
nn	68	1	00 - 7F	PORTAMENTO TIME	0 - 127	00
nn	69	1	00 - 7F	PITCH EG INITIAL LEVEL	-64 - +63	40
nn	6A	1	00 - 7F	PITCH EG ATTACK TIME	-64 - +63	40
nn	6B	1	00 - 7F	PITCH EG RELEASE LEVEL	-64 - +63	40
nn	6C	1	00 - 7F	PITCH EG RELEASE TIME	-64 - +63	40
nn	6D	1	01 - 7F	VELOCITY LIMIT LOW	1 - 127	01
nn	6E	1	01 - 7F	VELOCITY LIMIT HIGH	1 - 127	7F
TOTAL SIZE 3F						

nn = Part Number (0:1Part, 1:2Part, 2:3Part, ..., 15:16Part)

For the DRUM PART, the following parameters have no effect.

- SOFT PEDAL
- BANK SELECT LSB
- MONO/POLY
- SCALE TUNING
- PORTAMENTO
- PITCH EG INITIAL LEVEL
- PITCH EG ATTACK TIME
- PITCH EG RELEASE LEVEL
- PITCH EF RELEASE TIME
- POLY AFTER TOUCH

<Table 1-5>

MIDI Parameter Change table (DRUM SETUP) [XG]

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	Default (H)
3n rr	00	1 00 - 7F	PITCH COARSE	-64 - +63	40
3n rr	01	1 00 - 7F	PITCH FINE	-64 - +63 [cent]	40
3n rr	02	1 00 - 7F	LEVEL	0 - 127	Depends on the note
3n rr	03	1 00 - 7F	ALTERNATE GROUP	0/OFF, 1 - 127	"
3n rr	04	1 00 - 7F	PAN	0/random, 1/L63 - 64/C - 127/R63	"
3n rr	05	1 00 - 7F	REVERB SEND	0 - 127	"
3n rr	06	1 00 - 7F	CHORUS SEND	0 - 127	"
3n rr	07	1 00 - 7F	VARIATION SEND	0 - 127	7F

3n	rr	08	1	00 - 01	KEY ASSIGN	0/SINGLE, 1/MULTI	00
3n	rr	09	1	00 - 01	Rcv NOTE OFF	0/OFF, 1/ON	Depends on the note
3n	rr	0A	1	00 - 01	Rcv NOTE ON	0/OFF, 1/ON	01
3n	rr	0B	1	00 - 7F	FILTER CUTOFF FREQUENCY	-64 - +63	40
3n	rr	0C	1	00 - 7F	FILTER RESONANCE	-64 - +63	40
3n	rr	0D	1	00 - 7F	EG ATTACK RATE	-64 - +63	40
3n	rr	0E	1	00 - 7F	EG DECAY1 RATE	-64 - +63	40
3n	rr	0F	1	00 - 7F	EG DECAY2 RATE	-64 - +63	40
TOTAL SIZE		10					

[Note]

n: Drum number (0 - 1)

rr: note number (0D - 5B)

When XG system on or GM mode on messages are received, all Drum Setup parameters are initialized.

The Drum Setup Reset message can be used to initialize each Drum Setup parameter.

Selecting a Drum Set will cause the Drum Setup parameter values to be initialized.

<Table 2-1>

Parameter Bass Address

Model ID = 4B [QS300]

Bulk Dump				
	Address			Description
	(H)	(M)	(L)	
USER	11	00	00	User Normal Voice 1
NORMAL				:
VOICE	00	1F	00	User Normal Voice 32

<Table 2-2>

MIDI Bulk Dump table (USER NORMAL VOICE) [QS300]

Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	Default (H)
11 nn 00	17D	20-7E	Voice Name	[Common]	
:					
07					
08			not used		
:			"		
0A			"		
0B		01-03	Element Switch	1:Element 1 on, 2:Element 2 on, 3:Element 1 and 2 on	
0C		00-7F	Voice Level		
0D			not used		
:			"		
3C			"		
3D		00-7F	Wave Number High	[Element 1]	
3E		00-7F	Wave Number Low	bit13-bit7	
3F		00-7F	Note Limit Low	bit6-bit0	
40		00-7F	Note Limit High		
41		00-7F	Velocity Limit Low		
42		00-7F	Velocity Limit High		
43		00-01	Filter EG Velocity Curve		
44		00-02	LFO Wave Select	0:saw, 1:tri, 2:S&H	
45		00-01	LFO Phase Initialize	0:OFF, 1:ON	
46		00-3F	LFO Speed		
47		00-7F	LFO Delay		
48		00-7F	LFO Fade Time		
49		00-3F	LFO PMD Depth		
4A		00-0F	LFO CMD Depth		
4B		00-1F	LFO AMD Depth		
4C		20-60	Note Shift		
4D		0E -72	Detune		
4E		00-05	Pitch Scaling	0:100%, 1:50%, 2:20%, 3:10%, 4:5%, 5:0%	
4F		00-7F	Pitch Scaling Center Note		
50		00-03	Pitch EG Depth	0:1/2oct, 1:1oct, 2:2oct, 3:4oct	
51		39-47	Velocity PEG Level Sensitivity		
52		39-47	Velocity PEG Rate Sensitivity		
53		39-47	PEG Rate Scaling		
54		00-7F	PEG Rate Scaling Center Note		
55		00-3F	PEG Rate 1		
56		00-3F	PEG Rate 2		
57		00-3F	PEG Rate 3		

58	00-3F	PEG Rate 4	
59	00-7F	PEG Level 0	
5A	00-7F	PEG Level 1	
5B	00-7F	PEG Level 2	
5C	00-7F	PEG Level 3	
5D	00-7F	PEG Level 4	
5E	00-3F	Filter Resonance	
5F	00-07	Velocity Sensitivity	
60	00-7F	Cutoff Frequency	
61	00-7F	Cutoff Scaling Break Point 1	
62	00-7F	Cutoff Scaling Break Point 2	
63	00-7F	Cutoff Scaling Break Point 3	
64	00-7F	Cutoff Scaling Break Point 4	
65	00-7F	Cutoff Scaling Offset 1	
66	00-7F	Cutoff Scaling Offset 2	
67	00-7F	Cutoff Scaling Offset 3	
68	00-7F	Cutoff Scaling Offset 4	
69	39-47	Velocity FEG Level Sensitivity	
6A	39-47	Velocity FEG Rate Sensitivity	
6B	39-47	FEG Rate Scaling	
6C	00-7F	FEG Rate Scaling Center Note	
6D	00-3F	FEG Rate 1	
6E	00-3F	FEG Rate 2	
6F	00-3F	FEG Rate 3	
70	00-3F	FEG Rate 4	
71	00-7F	FEG Level 0	
72	00-7F	FEG Level 1	
73	00-7F	FEG Level 2	
74	00-7F	FEG Level 3	
75	00-7F	FEG Level 4	
76	00-7F	Element Level	
77	00-7F	Level Scaling Break Point 1	
78	00-7F	Level Scaling Break Point 2	
79	00-7F	Level Scaling Break Point 3	
7A	00-7F	Level Scaling Break Point 4	
7B	00-7F	Level Scaling Offset 1	
7C	00-7F	Level Scaling Offset 2	
7D	00-7F	Level Scaling Offset 3	
7E	00-7F	Level Scaling Offset 4	
7F	00-06	Velocity Curve	
80	00-0F	Pan	0 (Left)-14 (Right), 15:Scaling
81	39-47	AEG Rate Scaling	
82	00-7F	AEG Scaling Center Note	
83	00-0F	AEG Key on Delay	
84	00-7F	AEG Attack Rate	
85	00-7F	AEG Decay 1 Rate	
86	00-7F	AEG Decay 2 Rate	
87	00-7F	AEG Release Rate	
88	00-7F	AEG Decay 1 Level	
89	00-7F	AEG Decay 2 Level	
8A	00-7F	Address Offset High	bit13-bit7
8B	00-7F	Address Offset Low	bit6-bit0
8C	39-47	Resonance Sensitivity	
8D			[Element 2]
:			same as [Element 1]
DC			”
			”
DD			[Element 3]
:			not used
12C			”
12D			[Element 4]
:			not used
17C			”
TOTAL SIZE	17D		”

nn=Voice Number (00-1F)

XG Normal Voice List

Bank Select MSB = 000, LSB = Bank Number

Voice names in bold typeface are voices that can be selected in the Disklavier.

The Disklavier can produce all the voices listed below, but can only display bank 0 voices.

Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element			
Piano	1	0	GrandPno	1	Organ	17	0	DrawOrgn	1	Bass	33	0	Aco.Bass	1	Ensemble	49	0	Strings1	1			
	1	1	GrndPnoK	1		32	32	DetDrwOr	2		40	40	JazzRthm	2		3	3	S.Strngs	2			
	18	18	MelloGrP	1		33	33	60sDrOr1	2		45	45	VXUpgrht	2		8	8	SlowStr	1			
	40	40	PianoStr	2		34	34	60sDrOr2	2		34	0	FngrBass	1		24	24	ArcoStr	2			
	41	41	Dream	2		35	35	70sDrOr1	2		18	18	FngrDrk	2		35	35	60sStrng	2			
	2	0	BritePno	1		36	36	DrawOrg2	2		27	27	FlangeBa	2		40	40	Orchestr	2			
	1	1	BritPnoK	1		37	37	60sDrOr3	2		40	40	Ba&DstEG	2		41	41	Orchstr2	2			
	3	0	E.Grand	2		38	38	EvenBar	2		43	43	FngrSlap	2		42	42	TremOrch	2			
	1	1	ElGrPnoK	2		40	40	16+2"2/3	2		45	45	FngBass2	2		45	45	VeloStr	2			
	32	32	Det.CP80	2		64	64	Organ Ba	1		65	65	ModAlem	2		50	0	Strings2	1			
	40	40	ElGrPno1	2		65	65	70sDrOr2	2		35	0	PickBass	1		3	3	S.SlwStr	2			
	41	41	ElGrPno2	2		66	66	CheezOrg	2		28	28	MutePkBa	1		8	8	LegatoSt	2			
	4	0	HnkyTonk	2		67	67	DrawOrg3	2		36	0	Fretless	1		40	40	Warm Str	2			
	1	1	HnkyTnkK	2		18	0	PercOrgn	1		32	32	Fretles2	2		41	41	Kingdom	2			
	5	0	E.Piano1	2		24	24	70sPcOr1	2		33	33	Fretles3	2		64	64	70s Str	1			
	1	1	EL.Pno1K	1		32	32	DetPrcOr	2		34	34	Fretles4	2		65	65	Str Ens3	1			
	18	18	MelloEP1	2		33	33	LiteOrg	2		96	96	SynFretl	2		51	0	Syn.Str1	2			
	32	32	Chor.EP1	2		37	37	PercOrg2	2		97	97	Smooth	2		27	27	ResoStr	2			
	40	40	HardELP	2		19	0	RockOrgn	2		37	0	SlapBas1	1		64	64	Syn Str4	2			
	45	45	VX EL.P1	2		64	64	RotaryOr	2		27	27	ResoSlap	1		65	65	SS Str	2			
	64	64	60sELP	1		65	65	SloRotar	2		32	32	PunchThm	2		52	0	Syn.Str2	2			
	6	0	E.Piano2	2		66	66	FstRotar	2		38	0	SlapBas2	1		53	0	ChoirAah	1			
	1	1	EL.Pno2K	1		20	0	ChrchOrg	2		43	43	VeloSlap	2		3	3	S.Choir	2			
	32	32	Chor.EP2	2		32	32	ChurOrg3	2		39	0	SynBass1	1		16	16	Ch.Aahs2	2			
	33	33	DX Hard	2		35	35	ChurOrg2	2		18	18	SynBa1Dk	1		32	32	MelChoir	2			
	34	34	DXLegend	2		40	40	NotreDam	2		20	20	FastResB	1		40	40	ChoirStr	2			
	40	40	DX Phase	2		64	64	OrgFlute	2		24	24	AcidBass	1		54	0	VoiceOoh	1			
	41	41	DX+Analg	2		65	65	TrmOrgFl	2		35	35	Clv Bass	2		55	0	SynVoice	1			
	42	42	DXKotoEP	2		21	0	ReedOrgn	1		40	40	TeknoBa	2		40	40	SynVox2	2			
	45	45	VX EL.P2	2		40	40	Puff Org	2		64	64	Oscar	2		41	41	Choral	2			
	7	0	Harpsi.	1		22	0	Acordion	2		65	65	SqrBass	1		64	64	AnaVoice	1			
	1	1	Harpsi.K	1		32	32	Accordlit	2		66	66	RubberBa	2		56	0	Orch.Hit	2			
	25	25	Harpsi.2	2		23	0	Harmnica	1		96	96	Hammer	2		35	35	OrchHit2	2			
	35	35	Harpsi.3	2		32	32	Harmo 2	2		40	0	SynBass2	2		64	64	Impact	2			
	8	0	Clavi.	2		24	0	TangoAcd	2		6	6	MelloSB1	1		Brass	57	0	Trumpet	1		
	1	1	Clavi. K	1		64	64	TngoAcd2	2		12	12	Seq Bass	2			16	16	Trumpet2	1		
	27	27	ClaviWah	2		Guitar	25	0	NylonGtr		1	18	18	ClkSynBa			2	17	17	BriteTrp	2	
	64	64	PulseClv	1			16	16	NylonGt2		1	19	19	SynBa2Dk			1	32	32	WarmTrp	2	
	65	65	PierceCl	2			25	25	NylonGt3		2	32	32	SmthBa 2			2	58	0	Trombone	1	
	Chromatic Percussion	9	0	Celesta			1	43	43		VelGtHrm	2	40	40			ModulrBa	2	18	18	Trmbone2	2
		10	0	Glocken			1	96	96		Ukulele	1	41	41			DX Bass	2	59	0	Tuba	1
		11	0	MusicBox			2	26	0		SteelGtr	1	64	64			X WireBa	2	16	16	Tuba 2	1
64		64	Orgel	2	16		16	SteelGt2	1	Strings	41	0	Violin	1	60		0	Mute.Trp	1			
12		0	Vibes	1	35		35	12StrGtr	2		8	8	SlowVln	1	61		0	Fr.Horn	2			
1		1	VibesK	1	40		40	Nyln&Stl	2		42	0	Viola	1	6		6	FrHrSolo	2			
45		45	HardVibe	2	41		41	Stl&Body	2		43	0	Cello	1	32		32	FrHorn2	1			
13		0	Marimba	1	96		96	Mandolin	2		44	0	Contrabs	1	37		37	HornOrch	2			
1		1	MarimbaK	1	27		0	Jazz Gtr	1		45	0	Trem.Str	1	62		0	BrasSect	1			
64		64	SineMrmb	2	18		18	MelloGtr	1		8	8	SlowTrStr	1	35		35	Tp&TbSec	2			
97	97	Balafon2	2	32	32		JazzAmp	2	40		40	Susp Str	2	40	40		BrssSec2	2				
98	98	Log Drum	2	28	0		CleanGtr	1	46		0	Pizz.Str	1	41	41		HiBrass	2				
14	0	Xylophon	1	32	32		ChorusGt	2	47		0	Harp	1	42	42		MelloBrs	2				
15	0	TubulBel	1	29	0		Mute.Gtr	1	40	40	YangChin	2	63	0	SynBras1		2					
96	96	ChrchBel	2	40	40		FunkGtr1	2	48	0	Timpani	1	12	12	QuackBr		2					
97	97	Carillon	2	41	41		MuteStlG	2	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	20	20		RezSynBr	2				
16	0	Dulcimer	1	43	43		FunkGtr2	2						24	24		PolyBrss	2				
	35	Dulcirm2	2	45	45		Jazz Man	1						27	27		SynBras3	2				
	96	Cimbalom	2	30	0		Ovrdrive	1						32	32		JumpBrss	2				
	97	Sanur	2	43	43		Gt.Pinrch	2						45	45	AnaVelBr	2					
				31	0		Dist.Gtr	1						64	64	AnaBrss1	2					
				40	40	FeedbkGt	2	64						0	SynBras2	1						
			41	41	FeedbGt2	2	18	18						Soft Brs	2							
			32	0	GtrHarmo	1	40	40						SynBras4	2							
			65	65	GtFeedbk	1	41	41						ChorBrss	2							
			66	66	GtrHrmo2	1	45	45	VelBras2	2												
								64	64	AnaBras2	2											

Bank 0 : (GM)

Bank 1 : Key Scale Planning

Bank 3 : Stereo

Bank 6 : Single

Bank 8 : Slow

Bank 12 : Fast Decay

Bank 14 : Double Attack

Bank 16 : Bright

Bank 17 : Bright

Bank 18 : Dark

Bank 19 : Dark

Bank 20 : Resonant

Bank 24 : Attack

Bank 24 : Release

Bank 27 : Reso Sweep

Bank 28 : Muted

Bank 32 : Detune 1

Bank 33 : Detune 2

Bank 34 : Detune 3

Bank 35 : Octave 1

Bank 36 : Octave 2

Bank 37 : 5th 1

Bank 38 : 5th 2

Bank 39 : Bend

Bank 40 : Tutti

Bank 41 : Tutti

Bank 42 : Tutti

Bank 43 : Velo-Switch

Bank 45 : Velo-Xfade

Bank 64 : Other wave

Bank 65 : Other wave

Bank 66 : Other wave

Bank 67 : Other wave

Bank 68 : Other wave

Bank 69 : Other wave

Bank 70 : Other wave

Bank 71 : Other wave

Bank 72 : Other wave

Bank 96 : Other wave

Bank 97 : Other wave

Bank 98 : Other wave

Bank 99 : Other wave

Bank Select

MSB = 064, LSB = 000

SFX Voice

Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Program #	MSB=064 LSB=000	Element	Program #	MSB=064 LSB=000	Element
Reed	65	0	SprnoSax	1	Synth Pad	92	0	ChoirPad	2	Ethnic	105	0	Sitar	1	1	CuttingNz	1	65	Tel.Dial	1
	66	0	Alto Sax	1		64	Heaven2	2	32		DetSitar	2	2	CttingNz2	2	66	DoorSgek	1		
	40		Sax Sect	2		66	Itopia	2	35		Sitar 2	2	3			67	Door Slam	1		
	43		HyprAlto	2		67	CC Pad	2	96		Tambra	2	4	Str Slap	1	68	Scratch	1		
	67	0	TenorSax	1		93	0	BowedPad	2		97	Tamboura	2	5			69	Scratch 2	2	
	40		BrthTnSx	2		64	Glacier	2	106		0	Banjo	1	6			70	WindChm	1	
	41		SoftTenr	2		65	GlassPad	2	28		MuteBnjo	1	7			71	Telphon2	1		
	64		TnrSax 2	1		94	0	MetalPad	2		96	Rabab	2	8			72			
	68	0	Bari.Sax	1		64	Tine Pad	2	97		Gopichnt	2	9			73				
	69	0	Oboe	2		65	Pan Pad	2	98		Oud	2	10			74				
	70	0	Eng.Horn	1		95	0	Halo Pad	2		107	0	Shamisen	1	11			75		
	71	0	Bassoon	1		96	0	SweepPad	2		108	0	Koto	1	12			76		
72	0	Clarinet	1		20	Shwimmer	2		96	T. Koto	2	13			77					
Pipe	73	0	Piccolo	1		27	Converge	2		97	Kanoon	2	14			78				
	74	0	Flute	1		64	PolarPad	2	109	0	Kalimba	1	15			79				
	75	0	Recorder	1		66	Celstial	2	110	0	Bagpipe	2	16			80				
	76	0	PanFlute	1	Synth Effects	97	0	Rain	2	111	0	Fiddle	1	17	Fl.KClik	1	81	CarEngin	1	
	77	0	Bottle	2			45	ClaviPad	2	112	0	Shanai	1	18			82	Car Stop	1	
	78	0	Shakhchi	2			64	HrmoRain	2		64	Shanai2	1	19			83	Car Pass	1	
	79	0	Whistle	1			65	AfrcnWnd	2		96	Pungi	1	20			84	CarCrash	1	
	80	0	Ocarina	1			66	Caribbean	2		97	Hichriki	2	21			85	Siren	2	
Synth Lead	81	0	SquareLd	2		98	0	SoundTrk	2	Percussive	113	0	TnklBell	2	22			86	Train	1
	6		Square 2	1			27	Prologue	2		96	Bonang	2	23			87	Jetplane	2	
	8		LMSquare	2			64	Ancestrl	2		97	Gender	2	24			88	Starship	2	
	18		Hollow	1	99	0	Crystal	2	98		Gamelan	2	25			89	Burst	2		
	19		Shmoog	2		12	SynDrCmp	2	99		S.Gamlan	2	26			90	Coaster	2		
	64		Mellow	2		14	Popcorn	2	100		Rama Cym	2	27			91	SbMarine	2		
	65		SoloSine	2		18	TinyBell	2	101		AsianBel	2	28			92				
	66		SineLead	1		35	RndGlock	2	114		0	Agogo	2	29			93			
	82	0	Saw.Lead	2		40	GlockChi	2	115		0	SteelDrm	2	30			94			
	6		Saw 2	1		41	ClearBel	2			97	GlasPerc	2	31			95			
	8		ThickSaw	2		42	ChorBell	2			98	ThaiBell	2	32			96			
	18		DynaSaw	1		64	SynMalet	1	116		0	WoodBlok	1	33	Rain	1	97	Laughing	1	
	19		DigiSaw	2		65	SftCryst	2			96	Castanet	1	34	Thunder	1	98	Scream	1	
	20		Big Lead	2		66	LoudGlok	2	117		0	TaikoDrm	1	35	Wind	1	99	Punch	1	
	24		HeavySyn	2		67	XmasBell	2			96	Gr.Cassa	1	36	Stream	2	100	Heart	1	
	25		WaspySyn	2		68	VibeBell	2	118		0	MelodTom	2	37	Bubble	2	101	FootStep	1	
	40		PulseSaw	2		69	DigiBell	2			64	Mel Tom2	1	38	Feed	2	102			
	41		Dr. Lead	2		70	AirBells	2			65	Real Tom	2	39			103			
	45		VeloLead	2		71	BellHarp	2			66	Rock Tom	2	40			104			
	96		Seq Ana	2		72	Gamelmba	2	119		0	Syn.Drum	1	41			105			
	83	0	CaliopLd	2	100	0	Atmosphr	2			64	Ana Tom	1	42			106			
	65		Pure Pad	2		18	WarmAtms	2			65	ElecPerc	2	43			107			
	84	0	Chiff Ld	2		19	HollwRls	2	Sound Effects		120	0	FretNoiz	2	44			108		
	64		Rubby	2		40	NylonEP	2			121	0	BrthNoiz	2	45			109		
	85	0	CharanLd	2		64	NylnHarp	2			122	0	BrthNoiz	2	46			110		
	64		DistLead	2		65	Harp Vox	2			123	0	Seashore	2	47			111		
	65		WireLead	2		66	AtmosPad	2			124	0	Tweet	2	48			112		
	86	0	Voice Ld	2		67	Planet	2			125	0	Telephone	1	49	Dog	1	113	MchinGun	1
	24		SynthAah	2	101	0	Bright	2			126	0	Helicptr	1	50	Horse	1	114	LaserGun	2
	64		VoxLead	2		64	FantaBel	2			127	0	Applause	1	51	Bird 2	1	115	Xplosion	2
	87	0	Fifth Ld	2		96	Smokey	2	128		0	Gunshot	1	52			116	FireWork	2	
	35		Big Five	2	102	0	Goblins	2					53			117				
	88	0	Bass &Ld	2		64	GobSyn	2					54			118				
	16		Big&Low	2		65	50sSciFi	2					55	Ghost	2	119				
	64		Fat&Prky	2		66	Ring Pad	2					56	Maou	2	120				
	65		SoftWurl	2		67	Ritual	2					57			121				
	Synth Pad	89	0	NewAgePd	2		68	ToHeaven	2					58			122			
64			Fantasy2	2		70	Night	2				59			123					
90		0	Warm Pad	2		71	Glisten	2				60			124					
16			ThickPad	2		96	BelChoir	2				61			125					
17			Soft Pad	2	103	0	Echoes	2				62			126					
18			SinePad	2		8	EchoPad2	2				63			127					
64			Horn Pad	2		14	Echo Pan	2				64			128					
65			RotarStr	2		64	EchoBell	2												
91		0	PolySyPd	2		65	Big Pan	2												
64			PolyPd80	2		66	SynPiano	2												
65		ClickPad	2		67	Creation	2													
66		Ana Pad	2		68	Stardust	2													
67		SquarPad	2		69	Reso Pan	2													
					104	0	Sci-Fi	2												
					64	Starz	2													

: No Sound

: No Sound

TG300B Normal Voice List

Bank Select MSB = Bank Number, LSB = 000

Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element	Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element		
Piano	1	0	GrandPno	1	Organ	17	0	DrawOrgn	1	Guitar	29	0	Mute.Gtr	1	Strings	41	0	Violin	1		
		8	GrndPnoK	1			1	70sDrOr1	2			8	FunkGtr1	2			8	SlowVln	1		
		16	MelloGrP	1			8	DetDrwOr	2			16	FunkGtr2	2			126	E-Organ4	2		
		126	A-Piano1	2			9	70sDrOr2	2			126	A-Bass	2			127	syncho1	2		
		127	a.piano1	1			16	60sDrOr1	2			127	synbass1	1		42	0	Viola	1		
	2	0	BritePno	1			17	60sDrOr2	2		30	0	Ovrdrive	1			126	E-Organ5	2		
		8	BritPnoK	1			18	60sDrOr3	2			126	Choir-1	1			127	rain	2		
		126	A-Piano2	2			24	CheezOrg	2			127	synbass2	1			43	0	Cello	1	
		127	a.piano2	1			32	DrawOrg2	2		31	0	Dist.Gtr	1		126		E-Organ6	2		
	3	0	E.Grand	2			33	EvenBar	2			8	FeedbkGt	2		127		synboe	2		
		1	ElGrPno1	2			40	Organ Ba	1			9	FeedbkGt2	2		44		0	Contrabs	1	
		2	ElGrPno2	2			126	Slap-2	2		126	Choir-2	1	126			E-Organ7	2			
		8	ElGrPnoK	2			127	harpsi1	1		127	synbass3	2	127			syncho2	2			
	4	126	A-Piano3	2		18	0	PercOrgn	1	32	0	GtrHarmo	1	45			0	Trem.Str	1		
		127	a.piano3	1			1	70sPcOr1	2		8	GtFeedbk	1			8	SlowTrStr	1			
		5	0	E.Piano1			2	8	DetPrcOr		2	126	Choir-3			2	9	Susp Str	2		
			8	HnkyTonk			2	32	PercOrg2	2	127	synbass4	1			126	E-Organ8	2			
	126		A-Piano4	2			126	Slap-3	2	Bass	33	0	Aco.Bass	1		127	synsolo	2			
	127	e.piano1	1	127			harpsi2	2	126			Choir-4	2	46		0	Pizz.Str	1			
	6	0	E.Piano2	2			19	0	RockOrgn			2	127			newagepd	2	126	E-Organ9	2	
		8	Chor.EP1	2				8	RotaryOr	2	34	0	FngrBass			1	127	synrdorg	2		
		16	VX El.P1	2				16	SloRotar	2		1	FngBass2			2	47	0	Harp	1	
		24	60sEl.P	1				24	FstRotar	2		126	Strngs-1	2		126		SoftTP-1	1		
	25	HardEl.P	2	126				Slap-4	2	127	synharmo	2	127	synbell		1					
	26	MelloEP1	2	127				harpsi3	1	35	0	PickBass	1	48		0		Timpani	1		
	32	El.Pno1K	1	20				0	ChrchOrg		2	8	MutePkBa			1	126	SoftTP-2	1		
	126	A-Piano5	1			8		ChurOrg2	2		126	Strngs-2	2			127	squareld	2			
	127	e.piano2	1			16		ChurOrg3	2	127	choir pd	2	49		0	Strings1	1				
	7	0	E.Piano2			2		24	OrgFlute	2	36	0		Fretless	1	1	Slow Str	1			
		8	Chor.EP2			2		32	TrmOrgFl	2		1		Fretles2	2	8	Orchestr	2			
		16	VX El.P2			2		126	Slap-5	2		2		Fretles3	2	9	Orchstr2	2			
		24	DX Hard	2		127		clavi1	1	3	Fretles4	2	10	TremOrch	2						
	32	El.Pno2K	1	21		0	ReedOrgn	1	4	SynFretl	2	11	ChoirStr	2							
	126	A-Piano6	1			126	Slap-6	2	5	Smooth	2	16	S.Strngs	2							
	127	e.piano3	1			127	clavi2	1	126	Strngs-3	2	24	VeloStr	2							
	8	0	Harpsi.	1		22	0	Acordion	2	127	bowed pd	2	126	TP/TRB-1	1						
		8	Harpsi.3	2			8	AccordIt	2	37	0	SlapBas1	1	127	strsect1	2					
		16	Harpsi.K	1			126	Slap-7	2		8	ResoSlap	1	50	0	Strings2	1				
		24	Harpsi.2	2			127	clavi3	1		126	Strngs-4	2		1	70s Str	1				
	126	A-Piano7	1	23			0	Harmnica	1	127	soundtrk	2	8		LegatoSt	2					
	127	e.piano4	1				1	Harmo 2	2	38	0	SlapBas2	1		9	Warm Str	2				
	9	0	Clavi.				2	126	Slap-8		2	126	E-Organ1	2	10	S.SlwStr	2				
		8	Clavi. K	1			127	celesta1	1		127	atmosphr	2	126	TP/TRB-2	1					
		126	E-Piano1	2			24	0	TangoAcd	2	39	0	SynBass1	1	127	strsect2	2				
		127	hnkytnk	2				126	Finger-1	1		1	SynBa1Dk	1	51	0	Syn.Str1	2			
	Chromatic Percussion	9	0	Celesta				1	Guitar	25		127	celesta2	1		8	AcidBass	1	1	Syn Str4	2
			126	E-Piano2			2	8			NylonGtr	1	9	FastResB		1	126	TP/TRB-3	1		
			127	e.piano1			2	16			Ukulele	1	10	TeknoBa		2	127	strsect3	2		
			10	0		Glocken	1	32			NylonGt3	2	16	ResoBass	1	52	0	Syn.Str2	2		
		126		E-Piano3		2	24	VelGtHrm			2	126	E-Organ2	2	126		TP/TRB-4	1			
127		e.piano2		2	32	NylonGt2	1	127			syn warm	2	127	pizz.str	1						
11		0		MusicBox	2	40	LequintG	1			40	0	SynBass2	2	53		0	ChoirAah	1		
		126	A-Guitr1	1	126	Finger-2	2	1				ClkSynBa	2	8		S.Choir	2				
		127	e.piano3	1	127	synbras1	2	2				ModulrBa	2	9		MelChoir	2				
		12	0	Vibes	1	26	0	SteelGtr			1	3	Seq Bass	2		32	Ch.Aahs2	2			
1	HardVibe		2	8	12StrGtr		2	8			DX Bass	2	126	TP/TRB-5	2						
8	VibesK		1	9	Nyln&Stl		2	9			X WireBa	2	127	violin 1	2						
126	A-Guitr2		2	16	Mandolin		2	16			RubberBa	2	54	0	VoiceOoh	1					
127	e.piano4	1	32	SteelGt2	1		17	SynBa2Dk	1	126	TP/TRB-6	2									
13	0	Marimba	1	126	Picked-1		1	18	MelloSB1	1	127	violin 2		1							
	8	MarimbaK	1	127	synbras2		2	19	SmthBa 2	2	55	0		SynVoice	1						
	17	Balafon2	2	27	0		Jazz Gtr	1	126	E-Organ3		2	8	SynVox2	2						
	24	Log Drum	2		1		MelloGtr	1	126	Sax-1		1									
126	A-Guitr3	2	8		PdlSteel		1	40	0	SynBass2		2	127	cello 1	1						
127	pipeorg1	2	126	Picked-2	2		1		ClkSynBa	2	56	0	Orch.Hit	2							
14	0	Xylophon	1	127	synbras3		2		2	ModulrBa		2	1	OrchHit2	2						
	126	E-Guitr1	2	28	0		CleanGtr	1	3	Seq Bass		2	8	Impact	2						
	127	pipeorg2	2		8	ChorusGt	2	8	DX Bass	2		16	LoFiRave	2							
	15	0	TubulBel		1	126	FretlsBs	1	9	X WireBa	2	126	Sax-2	1							
8		ChrchBel	2		127	synbras4	2	16	RubberBa	2	127	cello 2	1								
9		Carillon	2		Guitar	27	25	0	NylonGtr	1	40	0	SynBass2	2							
126		E-Guitr2	1					8	Ukulele	1		1	SynBa1Dk	1	51	0	Syn.Str1	2			
127	pipeorg3	2	16					NylonGt3	2	8		AcidBass	1	1		Syn Str4	2				
16	0	Dulcimer	1					24	VelGtHrm	2		9	FastResB	1		126	TP/TRB-3	1			
	1	Dulcimr2	2					32	NylonGt2	1		10	TeknoBa	2		127	strsect3	2			
	8	Cimbalom	2					40	LequintG	1		16	ResoBass	1	52	0	Syn.Str2	2			
	126	Slap-1	2					126	Finger-2	2		126	E-Organ2	2		126	TP/TRB-4	1			
127	acordion	2	127					synbras1	2	127		syn warm	2	127		pizz.str	1				
Chromatic Percussion	9	0	Celesta					1	Guitar	25		0	NylonGtr	1		40	0	SynBass2	2	53	0
		126	E-Piano2	2				8				Ukulele	1	1	ClkSynBa		2	8	S.Choir		2
		127	e.piano1	2				16				NylonGt3	2	2	ModulrBa		2	9	MelChoir		2
		10	0	Glocken	1	24	VelGtHrm	2			3	Seq Bass	2	32	Ch.Aahs2		2				
	126		E-Piano3	2	32	NylonGt2	1	8			DX Bass	2	126	TP/TRB-5	2						
	127		e.piano2	2	40	LequintG	1	9			X WireBa	2	127	violin 1	2						
	11		0	MusicBox	2	126	Finger-2	2			16	RubberBa	2	54	0		VoiceOoh	1			
		126	A-Guitr1	1	126	Picked-1	1	17			SynBa2Dk	1	126		TP/TRB-6		2				
		127	e.piano3	1	126	Picked-2	2	18			MelloSB1	1	127		violin 2		1				
		12	0	Vibes	1	127	synbras3	2			19	SmthBa 2	2		55		0	SynVoice	1		
1	HardVibe		2	27	0	Jazz Gtr	1	126			E-Organ3	2	8	SynVox2			2				
8	VibesK		1		1	MelloGtr	1	126			Sax-1	1									
126	A-Guitr2		2		8	PdlSteel	1	40			0	SynBass2	2	127		cello 1	1				
127	pipeorg1	2	126	Picked-2	2	1	ClkSynBa		2	56	0	Orch.Hit	2								
13	0	Marimba	1	127	synbras1	2	2		ModulrBa		2	1	OrchHit2	2							
	8	MarimbaK	1	28	0	CleanGtr	1	3	Seq Bass		2	8	Impact	2							
	17	Balafon2	2		8	ChorusGt	2	8	DX Bass		2	16	LoFiRave	2							
	24	Log Drum	2		126	FretlsBs	1	9	X WireBa	2	126	Sax-2	1								
126	A-Guitr3	2	127		synbras4	2	16	RubberBa	2	127	cello 2	1									
127	pipeorg2	2	Guitar		27	25	0	NylonGtr	1	40	0	SynBass2	2								
14	0	Xylophon					1	8	Ukulele		1	1	SynBa1Dk	1	51	0	Syn.Str1	2			
	126	E-Guitr1					2	16	NylonGt3		2	8	AcidBass	1		1	Syn Str4	2			
	127	pipeorg2					2	24	VelGtHrm		2	9	FastResB	1		126	TP/TRB-3	1			
	15	0					TubulBel	1	32		NylonGt2	1	10	TeknoBa		2	127	strsect3	2		
8		ChrchBel					2	40	LequintG		1	16	ResoBass	1	52	0	Syn.Str2	2			
9		Carillon					2	126	Finger-2		2	126	E-Organ2	2		126	TP/TRB-4	1			
126		E-Guitr2					1	127	synbras1		2	127	syn warm	2		127	pizz.str	1			
127	pipeorg3	2					27	0	Jazz Gtr		1	40	0	SynBass2		2	53	0	ChoirAah	1	
16	0	Dulcimer		1				1	MelloGtr		1		1	ClkSynBa	2	8		S.Choir	2		
	1	Dulcimr2		2				8	PdlSteel		1		2	ModulrBa	2	9		MelChoir	2		
	8	Cimbalom	2	126	Picked-2	2		3	Seq Bass	2	32	Ch.Aahs2	2								
	126	Slap-1	2	127	synbras3	2	8	DX Bass	2	126	TP/TRB-5	2									
127	acordion	2	127	synbras4	2	9	X WireBa	2	127	violin 1	2										

Instrument Group	Program #	Bank #	Voice Name	Element
Brass	57	0	Trumpet	1
		1	Trumpet2	1
		24	BriteTrp	2
		25	WarmTrp	2
		126	Sax-3	1
		127	contrabs	1
	58	0	Trombone	1
		1	Trmbone2	2
		126	Sax-4	2
		127	harp 1	1
	59	0	Tuba	1
		1	Tuba 2	1
		126	Brass-1	1
		127	harp 2	1
	60	0	Mute.Trp	1
		126	Brass-2	1
		127	guitar 1	1
	61	0	Fr.Horn	2
		1	FrHorn2	2
		8	FrHrSolo	1
		16	HornOrch	2
		126	Brass-3	2
		127	guitar 2	1
	62	0	BrasSect	1
		8	BrssSec2	2
		126	Brass-4	2
		127	elecgr1	2
	63	0	SynBras1	2
		1	PolyBrss	2
		8	SynBras3	2
		9	QuackBr	2
		16	AnaBrss1	2
	64	0	Brass-5	2
		126	elecgr2	2
		127	elecgr2	2
Reed	65	0	SprnoSax	1
		127	a.bass 1	1
	66	0	Alto Sax	1
		127	HyprAlto	2
	67	0	TnrSax 2	2
		127	e.bass 1	1
	68	0	Bari.Sax	1
		127	e.bass 2	1
	69	0	Oboe	2
		127	slapbas1	1
	70	0	Eng.Horn	1
		127	slapbas2	1
Pipe	71	0	Bassoon	1
		127	fretles1	1
	72	0	Clarinet	1
		127	fretles2	1
	73	0	Piccolo	1
		127	flute1	1
	74	0	Flute	1
		127	flute2	1
	75	0	Recorder	1
		127	piccolo1	1
	76	0	PanFlute	1
		127	piccolo2	2
Percussive	77	0	Bottle	2
		127	recorder	1
	78	0	Shakhchi	2
		127	panpipes	2
	79	0	Whistle	1
		127	sax1	2
	80	0	Ocarina	1
		127	sax2	1
Synth Lead	81	0	SquareLd	2
		1	Square 2	1
		2	Hollow	1
		3	Mellow	2
		4	SoloSine	2
		5	Shmoog	2
		6	LMSquare	2
		8	SineLead	1
		127	sax3	1
	82	0	Saw.Lead	2
		1	Saw 2	1
		2	PulseSaw	2
		3	ThickSaw	2
		4	Big Lead	2
		5	VeloLead	2
		6	HeavySyn	2
		7	DynaSaw	1
		8	Dr. Lead	2
		16	WaspySyn	2
		127	sax4	1
	83	0	CalioPad	2
		127	Pure Pad	2
Synth Pad	84	0	Chiff Ld	2
		127	clarint1	1
	85	0	CharanLd	2
		127	DistLead	2
	86	0	Voice Ld	2
		127	eng.horn	1
	87	0	Fifth Ld	2
		127	Big Five	2
	88	0	Bass &Ld	2
		127	Big&Low	2
	89	0	NewAgePd	2
		127	Fantasy2	1
	90	0	Warm Pad	2
		127	trumpet1	1
	91	0	PolySyPd	2
		127	trmbone1	2
	92	0	ChoirPad	2
		127	Heaven2	2
	93	0	BowedPad	2
		127	fr.horn1	1
	94	0	MetalPad	2
		127	Tine Pad	2
	95	0	Halo Pad	2
		127	tuba	2
	96	0	SweepPad	2
		127	PolarPad	2
Synth Effects	97	0	Rain	2
		1	HrmoRain	2
		2	AfrcnWnd	2
		8	ClaviPad	2
		127	brssect2	2
	98	0	SoundTrk	2
		1	Ancestrl	2
		2	Prologue	2
		127	vibe1	1
	99	0	Crystal	2
		1	SynMalet	1
		2	SftCryst	2
		3	RndGlock	2
		4	LoudGlok	2
		5	GlockChi	2
		6	ClearBel	2
		7	XmasBell	2
		8	VibeBell	2
		9	DigiBell	2
		16	ChorBell	2
Ethnic	100	0	AirBells	2
		17	BellHarp	2
		18	Gamelmba	2
		19	vibe2	1
	101	0	Atmosphr	2
		1	WarmAtms	2
		2	NylnHarp	2
		3	Harp Vox	2
		4	HollwRls	2
		5	NylonEP	2
		6	AtmosPad	2
		127	symallet	1
	102	0	Bright	2
		127	maletwin	2
	103	0	Goblins	2
		1	GobSyn	2
		2	50sSciFi	2
		127	glocken	2
	104	0	Echoes	2
		1	EchoBell	2
		2	Echo Pan	2
		3	EchoPad2	2
		4	Big Pan	2
		6	SynPiano	2
		127	tubulbel	1
	105	0	Sci-Fi	2
		1	Starz	2
		127	xylophon	1
	106	0	Sitar	1
		1	Sitar 2	2
		2	DetSitar	2
		8	Tambra	2
		16	Tamboura	2
		127	marimba	2
	107	0	Banjo	1
		1	MuteBnjo	1
		8	Rabab	2
		16	Gopichnt	2
		24	Oud	2
		127	koto	1
	108	0	Shamisen	1
		127	sho	2
	109	0	Koto	1
		8	T. Koto	2
		16	Kanoon	2
		127	shakhchi	2
	110	0	Kalimba	1
		127	whistle1	2
	111	0	Bagpipe	2
		127	whistle2	1
	112	0	Fiddle	1
		127	bottle	2
	113	0	Shanai	1
		1	Shanai2	1
		8	Pungi	1
		16	Hichriki	2
		127	breath	2
Sound Effects	114	0	TnklBell	2
		8	Bonang	2
		9	Gender	2
		10	Gamelan	2
		11	S.Gamla	2
		16	Rama Cym	2
		127	timpani	1
	115	0	Agogo	2
		127	melotom	1
	116	0	SteelDrm	2
		127	deepsnar	1
	117	0	WoodBlok	1
		127	Castanet	1
	118	0	e.perc1	1
		127	taiko	1
	119	0	TaikoDrm	1
		127	Real Tom	2
	120	0	Mel Tom2	1
		127	Rock Tom	2
	121	0	taikora	1
		127	RevCymb1	2
	122	0	Syn.Drum	1
		8	Ana Tom	1
		9	ElecPerc	2
		127	taikorim	1
	123	0	RevCymb1	2
		127	cymbal	2
	124	0	FretNoiz	2
		1	CuttingNz	1
		2	Str Slap	1
		3	CtngNz2	2
		127	castanet	1
	125	0	BrthNoiz	2
		1	FLKClick	1
		127	triangle	1
	126	0	Seashore	2
		1	Rain	1
		2	Thunder	1
		3	Wind	1
		4	Stream	2
		5	Bubble	2
		127	orchehit	1
	127	0	Tweet	2
		1	Dog	1
		2	Horse	1
		3	Bird 2	1
		127	telephone	1
	128	0	Telephone	1
		1	Tel.Dial	1
		2	DoorSqek	1
		3	DoorSlam	1
		4	Scratch	1
		5	WindChm	1
		6	Scratch2	2
		127	bird	1
	129	0	Helicptr	1
		1	CarEngin	1
		2	Car Stop	1
		3	Car Pass	1
		4	CarCrash	1
		5	Siren	2
		6	Train	1
		7	Jetplane	2
		8	Starship	2
		9	Burst	2
		16	Coaster	2
		127	jam	1
	130	0	Applause	1
		1	Laughing	1
		2	Scream	1
		3	Punch	1
		4	Heart	1
		5	FootStep	1
		127	efctwatr	2
	131	0	Gunshot	1
		1	MchinGun	1
		2	LaserGun	2
		3	Xplosion	2
		127	efctjngl	2

XG Drum Voice List

Bank Select MSB = Bank Number, LSB = 000

Drum kit names in bold typeface are those that can be selected in the Disklavier.

Bank	Program #	Note#	Note	Key off	Alternate assign	127	127	127	127	127	127	127	127	127	126	126
						Standard Kit	Standard2 Kit	Room Kit	Rock Kit	Electro Kit	Analog Kit	Jazz Kit	Brush Kit	Classic Kit	SFX 1	SFX 2
13	C#	-1		3		Surdo Mute										
14	D	-1		3		Surdo Open										
15	D#	-1				Hi Q										
16	E	-1				Whip Slap										
17	F	-1		4		Scratch Push										
18	F#	-1		4		Scratch Pull										
19	G	-1				Finger Snap										
20	G#	-1				Click Noise										
21	A	-1				Metronome Click										
22	A#	-1				Metronome Bell										
23	B	-1				Seq Click L										
24	C	0				Seq Click H										
25	C#	0				Brush Tap										
26	D	0	O			Brush Swirl L										
27	D#	0				Brush Slap										
28	E	0	O			Brush Swirl H				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal					
29	F	0	O			Snare Roll	Snare Roll 2									
30	F#	0				Castanet				Hi Q	Hi Q					
31	G	0				Snare L	Snare L 2		SD Rock M	Snare M	SD Rock H		Brush Slap L			
32	G#	0				Sticks										
33	A	0				Bass Drum L			Bass Drum M	Bass Drum H 4	Bass Drum M			Bass Drum L2		
34	A#	0				Open Rim Shot	Open Rim Shot 2									
35	B	0				Bass Drum M	Bass Drum M 2		Bass Drum H 3	BD Rock	BD Analog L			Gran Cassa		
36	C	1				Bass Drum H	Bass Drum H 2		BD Rock	BD Gate	BD Analog H	BD Jazz	BD Soft	Gran Cassa Mute	Guitar Cutting Noise	Dial Tone
37	C#	1				Side Stick					Analog Side Stick				Guitar Cutting Noise 2	Door Creaking
38	D	1				Snare M	Snare M 2	SD Room L	SD Rock	SD Rock L	Analog Snare L		Brush Slap M	Marching Sn M		Door Slam
39	D#	1				Hand Clap									String Slap	Scratch
40	E	1				Snare H	Snare H 2	SD Room H	SD Rock Rim	SD Rock H	Analog Snare H		Brush Tap H	Marching Sn H		Scratch 2
41	F	1				Floor Tom L		Room Tom 1	Rock Tom 1	E Tom 1	Analog Tom 1	Jazz Tom 1	Brush Tom 1	Jazz Tom 1		Windchime
42	F#	1	1			Hi-Hat Closed					Analog HH Closed 1					Telephone Ring2
43	G	1				Floor Tom H		Room Tom 2	Rock Tom 2	E Tom 2	Analog Tom 2	Jazz Tom 2	Brush Tom 2	Jazz Tom 2		
44	G#	1	1			Hi-Hat Pedal					Analog HH Closed 2					
45	A	1				Low Tom		Room Tom 3	Rock Tom 3	E Tom 3	Analog Tom 3	Jazz Tom 3	Brush Tom 3	Jazz Tom 3		
46	A#	1	1			Hi-Hat Open					Analog HH Open					
47	B	1				Mid Tom L		Room Tom 4	Rock Tom 4	E Tom 4	Analog Tom 4	Jazz Tom 4	Brush Tom 4	Jazz Tom 4		
48	C	2				Mid Tom H		Room Tom 5	Rock Tom 5	E Tom 5	Analog Tom 5	Jazz Tom 5	Brush Tom 5	Jazz Tom 5		
49	C#	2				Crash Cymbal 1					Analog Cymbal				Hand Cym.Open L	
50	D	2				High Tom		Room Tom 6	Rock Tom 6	E Tom 6	Analog Tom 6	Jazz Tom 6	Brush Tom 6	Jazz Tom 6		
51	D#	2				Ride Cymbal 1									Hand Cym.Closed L	
52	E	2				Chinese Cymbal									FL.Key Click	Engine Start
53	F	2				Ride Cymbal Cup										Tire Screech
54	F#	2				Tambourine										Car Passing
55	G	2				Splash Cymbal										Crash
56	G#	2				Cowbell					Analog Cowbell					Siren
57	A	2				Crash Cymbal 2								Hand Cym.Open H		Train
58	A#	2				Vibraslap										Jetplane
59	B	2				Ride Cymbal 2								Hand Cym.Closed H		Starship
60	C	3				Bongo H										Burst Noise
61	C#	3				Bongo L										Coaster
62	D	3				Conga H Mute					Analog Conga H					SbMarine
63	D#	3				Conga H Open					Analog Conga M					
64	E	3				Conga L					Analog Conga L					
65	F	3				Timbale H										
66	F#	3				Timbale L										
67	G	3				Agogo H										
68	G#	3				Agogo L									Rain	Laughing
69	A	3				Cabasa									Thunder	Screaming
70	A#	3				Maracas					Analog Maracas				Wind	Punch
71	B	3	O			Samba Whistle H									Stream	Heartbeat
72	C	4	O			Samba Whistle L									Bubble	Footsteps
73	C#	4				Güiro Short									Feed	
74	D	4	O			Güiro Long										
75	D#	4				Claves					Analog Claves					
76	E	4				Wood Block H										
77	F	4				Wood Block L										
78	F#	4				Cuica Mute				Scratch Push	Scratch Push					
79	G	4				Cuica Open				Scratch Pull	Scratch Pull					
80	G#	4	2			Triangle Mute										
81	A	4	2			Triangle Open										
82	A#	4				Shaker										
83	B	4				Jingle Bell										
84	C	5				Bell Tree									Dog	Machine Gun
85	C#	5													Horse Gallop	Laser Gun
86	D	5													Bird 2	Explosion
87	D#	5														FireWork
88	E	5														
89	F	5														
90	F#	5													Ghost	
91	G	5													Maou	

: Same as Standard kit

: No sound

TG300B Drum Voice List

Program #	Note#	Note	Alternate assign	1	9	17	25	26	33	41	49	57	128
				Standard Kit	Room Kit	Power Kit	Electro Kit	Analog Kit	Jazz Kit	Brush Kit	Orchestra Kit	SFX Set	C/M Kit
25	C#	0		Snare Roll									
26	D	0		Finger Snap									
27	D#	0		Hi Q									
28	E	0		Whip Slap							Hi-Hat Closed		
29	F	0	7	Scratch Push							Hi-Hat Pedal		
30	F#	0	7	Scratch Pull							Hi-Hat Open		
31	G	0		Sticks							Ride Cymbal 1		
32	G#	0		Click Noise									
33	A	0		Metronome Click									
34	A#	0		Metronome Bell									
35	B	0		Bass Drum M							BD Jazz		
36	C	1		Bass Drum H		BD Power	BD Electronic	BD Analog H	BD Jazz	BD Soft	Gran Cassa		
37	C#	1		Side Stick				Analog Side Stick					
38	D	1		Snare M		SD Power	SD Electronic	Analog Snare L		Brush Tap	Concert SD		
39	D#	1		Hand Clap						Brush Slap	Castanet	High-Q	
40	E	1		Snare H			SD Power			Brush Swirl	Concert SD	Slap	SD Electro
41	F	1		Floor Tom L	Room Tom 1	Room Tom 1	E Tom 1	Analog Tom 1	Jazz Tom 1	Jazz Tom 1	Timpani A	Scratch Push	
42	F#	1	1	Hi-Hat Closed				Analog HH Closed 1			Timpani F#	Scratch Pull	
43	G	1		Floor Tom H	Room Tom 2	Room Tom 2	E Tom 2	Analog Tom 2	Jazz Tom 2	Jazz Tom 2	Timpani G	Sticks	
44	G#	1	1	Hi-Hat Pedal				Analog HH Closed 2			Timpani G#	Square Click	Hi-Hat Open 1
45	A	1		Low Tom	Room Tom 3	Room Tom 3	E Tom 3	Analog Tom 3	Jazz Tom 3	Jazz Tom 3	Timpani A	Metronome Click	
46	A#	1	1	Hi-Hat Open				Analog HH Open			Timpani A#	Metronome Bell	Hi-Hat Open 2
47	B	1		Mid Tom L	Room Tom 4	Room Tom 4	E Tom 4	Analog Tom 4	Jazz Tom 4	Jazz Tom 4	Timpani B	Guitar Fret Noise	
48	C	2		Mid Tom H	Room Tom 5	Room Tom 5	E Tom 5	Analog Tom 5	Jazz Tom 5	Jazz Tom 5	Timpani C	Guitar Cutting Down	
49	C#	2		Crash Cymbal 1				Analog Cymbal			Timpani C#	Guitar Cutting Up	
50	D	2		High Tom	Room Tom 6	Room Tom 6	E Tom 6	Analog Tom 6	Jazz Tom 6	Jazz Tom 6	Timpani D	Ac Bass Slap	
51	D#	2		Ride Cymbal 1							Timpani D#	FL Key Click	
52	E	2		Chinese Cymbal			Reverse Cymbal				Timpani E	Laughing	
53	F	2		Ride Cymbal Cup							Timpani F	Screaming	
54	F#	2		Tambourine								Punch	
55	G	2		Splash Cymbal								Heartbeat	
56	G#	2		Cowbell				Analog Cowbell				Footsteps 1	
57	A	2		Crash Cymbal 2							Hand Cym.1	Footsteps 2	
58	A#	2		Vibraslap								Applause	
59	B	2		Ride Cymbal 2							Hand Cym.2	Door Creaking	
60	C	3		Bongo H								Door Slam	
61	C#	3		Bongo L								Scratch	
62	D	3		Conga H Mute				Analog Conga H				Windchime	
63	D#	3		Conga H Open				Analog Conga M				Engine Start	
64	E	3		Conga L				Analog Conga L				Tire Screech	
65	F	3		Timbale H								Car Passing	
66	F#	3		Timbale L								Crash	
67	G	3		Agogo H								Siren	
68	G#	3		Agogo L								Train	
69	A	3		Cabasa								Jetplane	
70	A#	3		Maracas				Analog Maracas				Helicopter	
71	B	3	2	Samba Whistle H								Starship	
72	C	4	2	Samba Whistle L								Gunshot	
73	C#	4	3	Guiro Short								Machine Gun	Vibraslap
74	D	4	3	Guiro Long								Laser Gun	
75	D#	4		Claves				Analog Claves				Explosion	
76	E	4		Wood Block H								Dog	Laughing
77	F	4		Wood Block L								Horse Gallop	Screaming
78	F#	4	4	Cuica Mute								Bird Tweet	Punch
79	G	4	4	Cuica Open								Rain	Heartbeat
80	G#	4	5	Triangle Mute								Thunder	Footsteps 1
81	A	4	5	Triangle Open								Wind	Footsteps 2
82	A#	4		Shaker								Seashore	Applause
83	B	4		Jingle Bell								Stream	Door Creaking
84	C	5		Bell Tree								Bubble	Door Slam
85	C#	5		Castanet									Scratch
86	D	5	6	Surdo Mute									Windchime
87	D#	5	6	Surdo Open									Engine Start
88	E	5									Applause		Tire Screech
89	F	5											Car Passing
90	F#	5											Crash
91	G	5											Siren
92	G#	5											Train
93	A	5											Jetplain
94	A#	5											Helicopter
95	B	5											Starship
96	C	6											Gunshot
97	C#	6											Machine Gun
98	D	6											Laser Gun
99	D#	6											Explosion
100	E	6											Dog
101	F	6											Horse Gallop
102	F#	6											Bird Tweet
103	G	6											Rain
104	G#	6											Thunder
105	A	6											Wind
106	A#	6											Seashore
107	B	6											Stream
108	C	7											Bubble

□ : Same as Standard kit

■ : No sound

Effect Type List

Exclusive		Effect Type	Description
MSB	LSB		
REVERB			
00	00	NO EFFECT	Effect turned off.
01	00	HALL1	Reverb simulating the resonance of a hall.
01	01	HALL2	Reverb simulating the resonance of a hall.
02	00	ROOM1	Reverb simulating the resonance of a room.
02	01	ROOM2	Reverb simulating the resonance of a room.
02	02	ROOM3	Reverb simulating the resonance of a room.
03	00	STAGE1	Reverb appropriate for a solo instrument.
03	01	STAGE2	Reverb appropriate for a solo instrument.
04	00	PLATE	Reverb simulating a metal plate reverb unit.
10	00	WHITE ROOM	A unique short reverb with a bit of initial delay.
11	00	TUNNEL	Simulation of a tunnel space expanding to left and right.
13	00	BASEMENT	A bit of initial delay followed by reverb with a unique resonance.
CHORUS			
00	00	NO EFFECT	Effect turned off.
41	00	CHORUS1	Conventional chorus program that adds natural spaciousness.
41	01	CHORUS2	Conventional chorus program that adds natural spaciousness.
41	02	CHORUS3	Conventional chorus program that adds natural spaciousness.
41	08	CHORUS4	Chorus with stereo input. The pan setting specified for the Part will also apply to the effect sound.
42	00	CELESTE1	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	01	CELESTE2	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	02	CELESTE3	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	08	CELESTE4	Celeste with stereo input. The pan setting specified for the Part will also apply to the effect sound.
43	00	FLANGER1	Adds a jet-airplane effect to the sound.
43	01	FLANGER2	Adds a jet-airplane effect to the sound.
43	08	FLANGER3	Adds a jet-airplane effect to the sound.
VARIATION			
00	00	NO EFFECT	Effect turned off.
01	00	HALL1	Reverb simulating the resonance of a hall.
01	01	HALL2	Reverb simulating the resonance of a hall.
02	00	ROOM1	Reverb simulating the resonance of a room.
02	01	ROOM2	Reverb simulating the resonance of a room.
02	02	ROOM3	Reverb simulating the resonance of a room.
03	00	STAGE1	Reverb appropriate for a solo instrument.
03	01	STAGE2	Reverb appropriate for a solo instrument.
04	00	PLATE	Reverb simulating a metal plate reverb unit.
05	00	DELAY L, C, R	A program that creates three delay sounds; L, R, and C (center).
06	00	DELAY L, R	A program that creates two delay sounds; L and R. Two feedback delays are provided.
07	00	ECHO	Two delays (L and R) and independent feedback delays for L and R.
08	00	CROSS DELAY	A program that crosses the feedback of two delays.
09	00	EARLY REF1	An effect that produces only the early reflection component of reverb.
09	01	EARLY REF2	An effect that produces only the early reflection component of reverb.
0A	00	GATE REVERB	A simulation of gated reverb.
0B	00	REVERSE GATE	A program that simulates gated reverb played backwards.
14	00	KARAOKE 1	A delay with feedback of the same types as used for karaoke reverb.
14	01	KARAOKE 2	A delay with feedback of the same types as used for karaoke reverb.
14	02	KARAOKE 3	A delay with feedback of the same types as used for karaoke reverb.
41	00	CHORUS1	Conventional chorus program that add natural spaciousness.
41	01	CHORUS2	Conventional chorus program that adds natural spaciousness.
41	02	CHORUS3	Conventional chorus program that adds natural spaciousness.
41	08	CHORUS4	Chorus with stereo input.
42	00	CELESTE1	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	01	CELESTE2	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	02	CELESTE3	A 3-phase LFO adds modulation and spaciousness to the sound.
42	08	CELESTE4	Celeste with stereo input.
43	00	FLANGER1	Adds a jet-airplane effect to the sound.
43	01	FLANGER2	Adds a jet-airplane effect to the sound.
43	08	FLANGER3	Adds a jet-airplane effect to the sound.
44	00	SYMPHONIC	A multi-phase version of CELESTE.
45	00	ROTARY SPEAKER	A simulation of a rotary speaker. You can use AC1 (assignable controller) etc. to control the speed of rotation.
46	00	TREMOLO	An effect that cyclically modulates the volume.
47	00	AUTO PAN	A program that cyclically moves that sound image to left and right, front and back.
48	00	PHASER1	Cyclically changes the phase to add modulation to the sound.
48	08	PHASER2	Phaser with stereo input.
49	00	DISTORTION	Adds a sharp-edged distortion to the sound.
4A	00	OVER DRIVE	Adds mild distortion to the sound.
4B	00	AMP SIMULATOR	A simulation of a guitar amp.
4C	00	3BAND EQ (MONO)	A mono EQ with adjustable LOW, MID, and HIGH equalizing.
4D	00	2BAND EQ (STEREO)	A stereo EQ with adjustable LOW and HIGH. Ideal for drum Parts.
4E	00	AUTO WAH (LFO)	Cyclically modulates the center frequency of a wah filter. With an AC1 etc. this can function as a pedal wah.
40	00	THRU	Bypass without applying any effect.

* MSB, LSB is represented in hexadecimal.

* LCB=0 is the basic effect type.

Effect Parameter List

No	Parameter	Range	Value	See Table	Control
HALL1, HALL2, ROOM 1, 2, 3, STAGE 1, 2, PLATE					
1	Reverb Time	0.3~30.0s	0-69	table#4	•
2	Diffusion	0~10	0-10	table#5	
3	Initial Delay	0~63	0-63		
4	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3	
5	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3	
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127	table#5	
11	Rev Delay	0~63	0-63		
12	Density	0~3	0-3		
13	Er/Rev Balance	E63>R ~ E=R ~ E>R63	1-127		
14					
15	Feedback Level	-63~+63	1-127		
16					
WHITE ROOM, TUNNEL, BASEMENT					
1	Reverb Time	0.3~30.0s	0-69	table#4	•
2	Diffusion	0~10	0-10	table#5	
3	Initial Delay	0~63	0-63		
4	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52	table#3	
5	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3	
6	Width	0.5~10.2m	0-37	table#11	
7	Height	0.5~20.2m	0-73	table#11	
8	Depth	0.5~30.2m	0-104	table#11	
9	Wall Vary	0~30	0-30		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127	table#5	
11	Rev Delay	0~63	0-63		
12	Density	0~3	0-3		
13	Er/Rev Balance	E63>R~E=R~E>R63	1-127		
14					
15	Feedback Level	-63~+63	1-127		
16					
DELAY L, C, R					
1	Lch Delay	0.1~715.0ms	1-7150	•	•
2	Rch Delay	0.1~715.0ms	1-7150		
3	Cch Delay	0.1~715.0ms	1-7150		
4	Feedback Delay	0.1~715.0ms	1-7150		
5	Feedback Level	-63~+63	1-127		
6	Cch Level	0~127	0-127		
7	High Damp	0.1~1.0	1-10		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	table#3	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58		
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
DELAY L, R					
1	Lch Delay	0.1~715.0ms	1-7150	•	•
2	Rch Delay	0.1~715.0ms	1-7150		
3	Feedback Delay1	0.1~715.0ms	1-7150		
4	Feedback Delay2	0.1~715.0ms	1-7150		
5	Feedback Level	-63~+63	1-127		
6	High Damp	0.1~1.0	1-10		
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	table#3	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58		
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		

No	Parameter	Range	Value	See Table	Con- trol
ECHO					
1	Lch Delay1	0.1~355.0ms	1-3350		•
2	Lch Feedback Level	-63~+63	1-127		
3	Rch Delay1	0.1~355.0ms	1-3550		
4	Rch Feedback Level	-63~+63	1-127		
5	High Damp	0.1~1.0	1-10		
6	Lch Delay2	0.1~355.0ms	1-3550		
7	Rch Delay2	0.1~355.0ms	1-3550		
8	Delay2 Level	0~127	0-127		
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	table#3	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58		
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
CROSS DELAY					
1	L->R Delay	0.1~355.0ms	1-3550		•
2	R->L Delay	0.1~355.0ms	1-3550		
3	Feedback Level	-63~+63	1-127		
4	Input Select	L, R, L&R	0-2		
5	High Damp	0.1~1.0	1-10		
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
14	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76	table#3	
15	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58		
16	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
EARLY REF1, EARLY REF2					
1	Type	S-H, L-H, Rdm, Rvs, Plt, Spr	0-5		•
2	Room Size	0.1~7.0	0-44		
3	Diffusion	0~10	0-10		
4	Initial Delay	0~63	0-63		
5	Feedback Level	-63~+63	1-127		
6	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52		
7	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11	Liveness	0~10	0-10		
12	Density	0~3	0-3		
13	High Damp	0.1~1.0	1-10		
14					
15					
16					
GATE REVERB, REVERSE GATE					
1	Type	TypeA, TypeB	0-1		•
2	Room Size	0.1~7.0	0-44		
3	Diffusion	0~10	0-10		
4	Initial Delay	0~63	0-63		
5	Feedback Level	-63~+63	1-127		
6	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52		
7	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60		
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11	Liveness	0~10	0-10		
12	Density	0~3	0-3		
13	High Damp	0.1~1.0	1-10		
14					
15					
16					

- : Can be controlled by AC1 (Assignable Controller 1)
- No.* : These numbers correspond to the Parameter Suffix numbers in <Table 1-3>
- See Table** : Refer to "Effect Data Assign Table"

No	Parameter	Range	Value	See Table	Control
KARAOKE 1, 2, 3					
1	Delay Time	0~127	0-127	table#7	•
2	Feedback Level	-63~-+63	1-127		
3	HPF Cutoff	Thru~8.0kHz	0-52		
4	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60		
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15					
16					
CHORUS 1, 2, 3, 4, CELESTE 1, 2, 3, 4					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	LFO PM Depth	0~127	0-127		
3	Feedback Level	-63~-+63	1-127		
4	Delay Offset	0~127	0-127	table#2	
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~-+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~-+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15	Input Mode	mono/stereo	0-1		
16					
FLANGER 1, 2, 3					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	LFO Depth	0~127	0-127		
3	Feedback Level	-63~-+63	1-127		
4	Delay Offset	0~63	0-63	table#2	
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~-+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~-+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14	LFO Phase Difference	-180~-+180deg	4-124		
15					
16					
SYMPHONIC					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	LFO Depth	0~127	0-127		
3	Delay Offset	0~127	0-127	table#2	
4					
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~-+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~-+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15					
16					

No	Parameter	Range	Value	See Table	Control
ROTARY SPEAKER					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	LFO Depth	0~127	0-127		
3					
4					
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15					
16					
TREMOLO					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	AM Depth	0~127	0-127		
3	PM Depth	0~127	0-127		
4					
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
10					
11					
12					
13					
14		-180~+180deg	4-124		
15	Input Mode	mono/stereo	0-1		
16					
AUTO PAN					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	L/R Depth	0~127	0-127		
3	F/R Depth	0~127	0-127		
4	PAN Direction	L<->R, L->R, L<-R, Lturn, Rturn, L/R	0-5		
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
PHASER1, PHASER2					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	•
2	LFO Depth	0~127	0-127		
3	Phase Shift	0~127	0-127		
4	Feedback Level	-63~+63	1-127		
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11	Stage	3~10	3-10		
12	Diffusion	Mono/Stereo	0-1		
13	LFO Phase Di	-180~+180deg	4-124		
14					
15					
16					

- : Can be controlled by AC1 (Assignable Controller 1)
- No.* : These numbers correspond to the Parameter Suffix numbers in <Table 1-3>
- See Table** : Refer to "Effect Data Assign Table"

No	Parameter	Range	Value	See Table	Control
DISTORTION, OVERDRIVE					
1	Drive	0~127	0-127		•
2	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
3	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
4	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3	
5	Output Level	0~127	0-127		
6					
7	EQ Mid Frequency	500Hz~10.0kHz	28-54	table#3	
8	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76		
9	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11	Edge (Clip Curve)	0~127	0-127	mild ~sharp	
12					
13					
14					
15					
16					
GUITAR AMP SIMULATOR					
1	Drive	0~127	0-127		•
2	AMP Type	Off, Stack, Combo, Tube	0-3		
3	LPF Cutoff	1.0k~Thru	34-60	table#3	
4	Output Level	0~127	0-127		
5					
6					
7					
8					
9					
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11	Edge (Clip Curve)	0~127	0-127	mild ~sharp	
12					
13					
14					
15					
16					
3-BAND EQ					
1	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
2	EQ Mid Frequency	500Hz~10.0kHz	28-54	table#3	
3	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76		
4	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120		
5	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

No	Parameter	Range	Value	See Table	Control
2-BAND EQ					
1	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
2	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
3	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
4	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11	EQ Mid Frequency	100Hz~10.0kHz	14-54	table#3	
12	EQ Mid Gain	-12~+12dB	52-76		
13	EQ Mid Width	1.0~12.0	10-120		
14					
15					
16					
AUTO WAH					
1	LFO Frequency	0.00~39.7Hz	0-127	table#1	
2	LFO Depth	0~127	0-127		
3	Cutoff Frequency	0~127	0-127		•
4	Resonance	1.0~12.0	10-120		
5					
6	EQ Low Frequency	50Hz~2.0kHz	8-40	table#3	
7	EQ Low Gain	-12~+12dB	52-76		
8	EQ High Frequency	500Hz~16.0kHz	28-58	table#3	
9	EQ High Gain	-12~+12dB	52-76		
10	Dry/Wet	D63>W~D=W~D<W63	1-127		
11					
12					
13					
14					
15					
16					

• : Can be controlled by AC1 (Assignable Controller 1)
No.* : These numbers correspond to the Parameter Suffix numbers in <Table 1-3>
See Table** : Refer to "Effect Data Assign Table"

Effect Data Assign Table

Table#1						Table#2						Table#3						Table#4							
LFO Frequency (Hz)						Modulation Delay Offset (ms)						EQ Frequency (Hz)						Reverb Time (ms)							
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value		
0	0.00	43	1.81	86	5.38	0	0.0	43	4.3	86	8.6	0	THRU(20)	43	2.8k	0	0.3	43	4.3	86	8.6	0	0.3	43	4.3
1	0.04	44	1.85	87	5.55	1	0.1	44	4.4	87	8.7	1	22	44	3.2k	1	0.4	44	4.4	87	8.7	1	0.4	44	4.4
2	0.08	45	1.89	88	5.72	2	0.2	45	4.5	88	8.8	2	25	45	3.6k	2	0.5	45	4.5	88	8.8	2	0.5	45	4.5
3	0.13	46	1.94	89	6.06	3	0.3	46	4.6	89	8.9	3	28	46	4.0k	3	0.6	46	4.6	89	8.9	3	0.6	46	4.6
4	0.17	47	1.98	90	6.39	4	0.4	47	4.7	90	9.0	4	32	47	4.5k	4	0.7	47	4.7	90	9.0	4	0.7	47	4.7
5	0.21	48	2.02	91	6.73	5	0.5	48	4.8	91	9.1	5	36	48	5.0k	5	0.8	48	4.8	91	9.1	5	0.8	48	4.8
6	0.25	49	2.06	92	7.07	6	0.6	49	4.9	92	9.2	6	40	49	5.6k	6	0.9	49	4.9	92	9.2	6	0.9	49	4.9
7	0.29	50	2.10	93	7.40	7	0.7	50	5.0	93	9.3	7	45	50	6.3k	7	1.0	50	5.0	93	9.3	7	1.0	50	5.0
8	0.34	51	2.15	94	7.74	8	0.8	51	5.1	94	9.4	8	50	51	7.0k	8	1.1	51	5.1	94	9.4	8	1.1	51	5.1
9	0.38	52	2.19	95	8.08	9	0.9	52	5.2	95	9.5	9	56	52	8.0k	9	1.2	52	5.2	95	9.5	9	1.2	52	5.2
10	0.42	53	2.23	96	8.41	10	1.0	53	5.3	96	9.6	10	63	53	9.0k	10	1.3	53	5.3	96	9.6	10	1.3	53	5.3
11	0.46	54	2.27	97	8.75	11	1.1	54	5.4	97	9.7	11	70	54	10.0k	11	1.4	54	5.4	97	9.7	11	1.4	54	5.4
12	0.51	55	2.31	98	9.08	12	1.2	55	5.5	98	9.8	12	80	55	11.0k	12	1.5	55	5.5	98	9.8	12	1.5	55	5.5
13	0.55	56	2.36	99	9.42	13	1.3	56	5.6	99	9.9	13	90	56	12.0k	13	1.6	56	5.6	99	9.9	13	1.6	56	5.6
14	0.59	57	2.40	100	9.76	14	1.4	57	5.7	100	10.0	14	100	57	14.0k	14	1.7	57	5.7	100	10.0	14	1.7	57	10.0
15	0.63	58	2.44	101	10.10	15	1.5	58	5.8	101	11.1	15	110	58	16.0k	15	1.8	58	5.8	101	11.1	15	1.8	58	11.0
16	0.67	59	2.48	102	10.80	16	1.6	59	5.9	102	12.2	16	125	59	18.0k	16	1.9	59	5.9	102	12.2	16	1.9	59	12.0
17	0.72	60	2.52	103	11.40	17	1.7	60	6.0	103	13.3	17	140	60	THRU(20.0k)	17	2.0	60	6.0	103	13.3	17	2.0	60	13.0
18	0.76	61	2.57	104	12.10	18	1.8	61	6.1	104	14.4	18	160			18	2.1	61	6.1	104	14.4	18	2.1	61	14.0
19	0.80	62	2.61	105	12.80	19	1.9	62	6.2	105	15.5	19	180			19	2.2	62	6.2	105	15.5	19	2.2	62	15.0
20	0.84	63	2.65	106	13.50	20	2.0	63	6.3	106	17.1	20	200			20	2.3	63	6.3	106	17.1	20	2.3	63	16.0
21	0.88	64	2.69	107	14.10	21	2.1	64	6.4	107	18.6	21	225			21	2.4	64	6.4	107	18.6	21	2.4	64	17.0
22	0.93	65	2.78	108	14.80	22	2.2	65	6.5	108	20.2	22	250			22	2.5	65	6.5	108	20.2	22	2.5	65	18.0
23	0.97	66	2.86	109	15.50	23	2.3	66	6.6	109	21.8	23	280			23	2.6	66	6.6	109	21.8	23	2.6	66	19.0
24	1.01	67	2.94	110	16.20	24	2.4	67	6.7	110	23.3	24	315			24	2.7	67	6.7	110	23.3	24	2.7	67	20.0
25	1.05	68	3.03	111	16.80	25	2.5	68	6.8	111	24.9	25	355			25	2.8	68	6.8	111	24.9	25	2.8	68	25.0
26	1.09	69	3.11	112	17.50	26	2.6	69	6.9	112	26.5	26	400			26	2.9	69	6.9	112	26.5	26	2.9	69	30.0
27	1.14	70	3.20	113	18.20	27	2.7	70	7.0	113	28.0	27	450			27	3.0					27	3.0		
28	1.18	71	3.28	114	19.50	28	2.8	71	7.1	114	29.6	28	500			28	3.1					28	3.1		
29	1.22	72	3.37	115	20.90	29	2.9	72	7.2	115	31.2	29	560			29	3.2					29	3.2		
30	1.26	73	3.45	116	22.20	30	3.0	73	7.3	116	32.8	30	630			30	3.3					30	3.3		
31	1.30	74	3.53	117	23.60	31	3.1	74	7.4	117	34.3	31	700			31	3.4					31	3.4		
32	1.35	75	3.62	118	24.90	32	3.2	75	7.5	118	35.9	32	800			32	3.5					32	3.5		
33	1.39	76	3.70	119	26.20	33	3.3	76	7.6	119	37.5	33	900			33	3.6					33	3.6		
34	1.43	77	3.87	120	27.60	34	3.4	77	7.7	120	39.0	34	1.0k			34	3.7					34	3.7		
35	1.47	78	4.04	121	28.90	35	3.5	78	7.8	121	40.6	35	1.1k			35	3.8					35	3.8		
36	1.51	79	4.21	122	30.30	36	3.6	79	7.9	122	42.2	36	1.2k			36	3.9					36	3.9		
37	1.56	80	4.37	123	31.60	37	3.7	80	8.0	123	43.7	37	1.4k			37	4.0					37	4.0		
38	1.60	81	4.54	124	33.00	38	3.8	81	8.1	124	45.3	38	1.6k			38	4.1					38	4.1		
39	1.64	82	4.71	125	34.30	39	3.9	82	8.2	125	46.9	39	1.8k			39	4.2					39	4.2		
40	1.68	83	4.88	126	37.00	40	4.0	83	8.3	126	48.4	40	2.0k			40	4.3					40	4.3		
41	1.72	84	5.05	127	39.70	41	4.1	84	8.4	127	50.0	41	2.2k			41	4.4					41	4.4		
42	1.77	85	5.22			42	4.2	85	8.5			42	2.5k			42	4.5					42	4.5		

Table#5						Table#6						Table#7						Table#8									
Delay Time (ms)						Room Size (m)						Delay Time (ms)						Reverb Width; Depth; Height									
Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value	Data	Value				
0	0.1	43	67.8	86	135.5	0	0.1	43	6.8	0	0.1	43	135.5	86	270.9	0	0.5	43	11.8	86	24.2	0	0.5	43	11.8	86	24.2
1	1.7	44	69.4	87	137.0	1	0.3	44	7.0	1	3.2	44	138.6	87	274.0	1	0.8	44	12.1	87	24.5	1	0.8	44	12.1	87	24.5
2	3.2	45	70.9	88	138.6	2	0.4			2	6.4	45	141.8	88	277.2	2	1.0	45	12.3	88	24.9	2	1.0	45	12.3	88	24.9
3	4.8	46	72.5	89	140.2	3	0.6			3	9.5	46	144.9	89	280.3	3	1.3	46	12.6	89	25.2	3	1.3	46	12.6	89	25.2
4	6.4	47	74.1	90	141.8	4	0.7			4	12.7	47	148.1	90	283.5	4	1.5	47	12.9	90	25.5	4	1.5	47	12.9	90	25.5
5	8.0	48	75.7	91	143.3	5	0.9			5	15.8	48	151.2	91	286.6	5	1.8	48	13.1	91	25.8	5	1.8	48	13.1	91	25.8
6	9.5	49	77.2	92	144.9	6	1.0			6	19.0	49	154.4	92	289.8	6	2.0	49	13.4	92	26.1	6	2.0	49	13.4	92	26.1
7	11.1	50	78.8	93	146.5	7	1.2			7	22.1	50	157.5	93	292.9	7	2.3	50	13.7	93	26.5	7	2.3	50	13.7	93	26.5
8	12.7	51	80.4	94	148.1	8	1.4			8	25.3	51	160.7	94	296.1												

MIDIインプリメンテーションチャート

Yamaha Disklavier
Model: E3

Date: 18-Mar-2011
Version: 1.00

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic	Default	1-16	1-16	Memorized
Channel	Changed	1-16	1-16	
Mode	Default	3	3	
	Messages	×	3, 4 (m=1) *2, *3	
	Altered	*****	×	
Note		0-127	0-127	
Number	: True voice	*****	0-127	
Velocity	Note ON	○ 9nH, v=1-127	○ v=1-127	
	Note OFF	○ 8nH, v=0-127	○	
After	Key's	○		

Mode 1 : OMNI ON. POLY
Mode 3 : OMNI OFF. POLY

Mode 2 : OMNI ON. MONO
Mode 4 : OMNI OFF. MONO

○ : YES
× : NO

ア

	ページ
アカウント	42, 44, 46
アコースティックモード	51
アルバム	17, 26 , 90
アルバムコピー	90
アルバム作成	93
アルバム消去	92
アルバムソート	95
アルバムタイトル変更	94
アンサンブルソング	17, 152
移調	58 , 152
インターネット	42 , 152
インターネットダイレクトコネクション	42
オーディオ CD	22, 26 , 28 , 63, 88
オーディオ機器	122
音色（おんしょく）	17, 54 , 82 , 152 , 155
音色グループ	54 , 82 , 155
音量バランス	63

カ

カウンター	32 , 103
キキホーダイ	45
鍵盤演奏データ	131
鍵盤ガイド機能	70
コントロールユニット	vi, 2, 12 , 13 , 18

サ

サーチ	36
最大同時発音数	152
残響効果	55
シーケンサー	127 , 152
主電源スイッチ	3, 20
消音演奏	8, 51
ショートカット	134
スキップスペース	69
スタンバイモード	22
ステレオバランス	65
ストーリーミング放送	152

ページ

ストリップ XP	105
スプリットポイント	75
スマートキー再生	70
スマートキーソング	70
スマートピアノソフト	17, 28, 88 , 89 , 152
ソング	17, 27 , 97, 152
ソングコピー	97
ソング消去	98
ソングソート	101
ソングタイトル変更	99
ソングフォーマット	32
ソングフォーマット変換	102

タ

タイマープレイ	65
タイムゾーン	141
データ CD	22 , 26
電源供給ユニット	3, 20
電子ピアノ音	51 , 55
テンポ	58 , 78
トーンジェネレーター	17, 152

ナ

内蔵音源	82 , 133, 155
内蔵メモリー	6, 10, 17, 26 , 30

ハ

パートキャンセル	61
ハーフペダル	152
パスコード	136
パスワード	42, 47
バックアップ	119
早送り／早戻し	35
早送り再生／早戻し再生	34
ピアノソフト	17, 28 , 152
ピアノソフトプラス	17, 28 , 152
ピアノパート	153
ピッチ	64 , 133

	ページ
ビデオ同時再生	10, 87
ビデオ同時録音	10, 83
ファイルフォーマット	23
フォーマット（フロッピーディスクの初期化）	118
プレイリスト	26, 27 , 30, 106
プレイリスト作成	108
プレイリスト消去	107
プレイリストタイトル変更	109
プレイリスト追加	106
フロッピーディスク	22 , 118, 153
ペダルパート	62

マ

メディア	17, 26 , 111
メディアコピー	111
メディア消去	112
メディアフォーマット	22
メトロノーム	71 , 80
メンテナンスモード	143

ラ

ライトプロテクトタブ	119
リストア	121
リセット	142
リバーブ	55
リピート	59
リムーバブルメディア	22
リモコン	3, 4, 14 , 19
ロゲイン	46 , 47

英数字

A～B リピート	60
CD 同時再生	89
CD 同時録音	88
DisklavierRadio	10, 26 , 30, 37 , 42, 44
E-SEQ フォーマット	23 , 32, 103, 153
FromToPC	114
General MIDI (GM)	153
Headphone モード	8, 51, 53 , 54
Local (ローカル)	131

	ページ
L/R ソング	17, 153
MAC アドレス	137
MIDI	17, 153
MIDI インプリメンテーションチャート	203
MIDI 機器	127
MIDI データ	105, 128 , 130
MIDI データフォーマット	182
PC キョウユウ	26 , 117
Quiet モード	51 , 54, 153
Silent Piano™ コントロールボックス	8, 16 , 51, 53, 54, 56
SMF フォーマット	23 , 32, 103, 153
TG マスターチューン	133
USB	26 , 30, 154
USB フラッシュメモリー	10, 22
USB フロッピーディスクドライブ	vii, 10, 22 , 118
XG	17, 154
XP イベント	105

保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたお買い上げの日付から1年です（現金、ローン、月賦などによる区別はございません）。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします。

保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。

保証書は大切に保管しましょう

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、保証規定に則り、お買い上げの日から向こう1年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。いつでもご提示いただけますように、十分ご配慮のうえで保管してください。また、後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。

保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金をいただく場合があります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介しますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

満1年の保証期間を過ぎますとサービスは有料になりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

本機についてのお問い合わせは、最寄りのヤマハピアノ特約店／下記のヤマハへ

◇ピアノの機能や取り扱いについてのお問い合わせ

最寄りの特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口

ナビダイヤル **0570-003-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4835へおかけください。

営業時間 月～金 10:00～18:00／土 10:00～17:00（日曜、祝日およびセンター指定休日を除く）
<http://jp.yamaha.com/support/>

◇ピアノの修理についてのお問い合わせ

お買い上げ店、または下記ヤマハ修理ご相談センターへお問い合わせください。

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル **0570-012-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4830へおかけください。

営業時間 月～金 9:00～18:00／土 9:00～17:00（日曜、祝日およびセンター指定休日を除く）

◇その他、本機全般についてのお問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン 楽器営業本部 商品企画部 ピアノ企画課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL 03-5488-5442

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1



この取扱説明書
は植物油インクで
印刷しています。



エコバルブ

この取扱説明書はエコバルブ
(ECF：無塩素系漂白パルプ)
を使用しています。